

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市曙交流館改築工事

1 現場の状況

- ・ 工事場所は、福山市曙交流館及び福山市立曙小学校敷地内です。
- ・ 曙交流館は通常通り施設の利用があります。曙小学校測定局舎は施設の利用及び測定機器が稼動しています。
- ・ 工事場所は、小学校及び住宅が隣接しています。

2 別途工事

- ・ 電気設備工事
- ・ 給排水衛生設備工事
- ・ 空気調和設備工事
- ・ ガス設備工事
- ・ カーテン取付工事

3 福山市週休2日適用工事について

（発注者が指定した工事に該当し実施については○印のついたものを適用する）

- 発注者指定型
- ・ 受注者希望型

本工事は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする福山市週休2日適用工事です。詳細については、別紙（公共建築工事における福山市週休2日適用工事の実施について）によるものとします。

4 留意事項

【共通事項】

- (1) 工事に当たっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、小学校及び近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
また、工事工程表・工事内容の説明書を作成し、近隣住民等へ配布し周知に努めてください。
- (2) 工事車両等の進入・退出・停車等に当たっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
また、周辺道路は曙小学校の児童通学路となっているため、工事車両等は登下校時間帯を避けて出入りしてください。登下校時間帯については小学校と協議してください。
- (3) 資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。
- (4) 道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路に係る維持管理（舗装・構造物等の保護養生、補修等）は、受注者で行ってください。
- (5) 工事場所外においても、駐車違反、速度制限、積載制限等交通法規を遵守し、

事故防止に万全を期してください。

- (6) 工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (7) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。また、工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (8) 高所作業に当たっては、適切な安全対策を講じ、事故の防止に努めてください。
- (9) 実施工程表は、契約後 14 日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (10) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (11) 建設リサイクル法の対象工事に該当します。特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。
- (12) 工事施工に必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。
- (13) 受注者は、地元企業、地場製品の活用にあつては、努めてください。
- (14) 受注者は、各種工事の職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。
- (15) 受注者は、工事实績情報システム（コリンズ）への登録を登録内容について、あらかじめ監督員の承諾を受けたのちに、次表の期間内に登録申請をしてください。

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500 万以上	契約後 10 以内	変更契約後 10 以内	工事完成後 10 以内

変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行ってください。なお請負代金のみ変更の場合には変更登録は不要です。

登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出してください。なお、変更時と工事完成時の間が 10 日に満たない場合は、変更時の提出を省略できます。

- (16) 本工事は、インターネットを利用して、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事です。

本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い、利用料の支払いをしてください。運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）及び「情報共有システム利用手引（建築工事）」とします。

発注者指定型のため、共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいます。受注者は、本システムを利用できない特別の事由ある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができます。

- (17) 再資源化を図るものは、「アスファルトコンクリート」「コンクリート」「木材」「コンクリート及び鉄からなる建設資材」です。

発生材については、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等による他、建設副産物適正処理推進要綱に従い、適正に処理をしてください。

【特記事項】

- (1) 工事範囲内において工事用進入路確保のために行う鉄板敷き等の必要な措置は、受注者で行ってください。
また、仮囲い等については、設計図書等を基に確実にを行い、工事途上で屋外工事等のために仮囲い等の移設又は一時撤去復旧が必要となった場合は、関連工事と十分な調整を行い、必要に応じて可動フェンス（H=1.8m）等により工事範囲の明示と安全の確保を行ってください。
- (2) 受注者は、小学校行事並びに地域行事の運営等を円滑に行えるよう、小学校及び地域との調整に努めてください。
- (3) 重機作業等作業については、十分な振動・騒音・粉塵対策を講じてください。
なお、騒音・振動計の設置・測定（2台）を見込んでいます。
- (4) 大型車等の搬出入、出入口付近の仮囲い設置・撤去に際しては、必要に応じて交通誘導員を適切に配置した上で徐行運転及び一旦停止を行ってください。
なお、交通誘導員の配置については、160人を見込んでいます。
- (5) 現在構内既存水道設備は、使用中止状態のため、工事用水として利用する際は上下水道局に仮設使用の申請が必要です。
- (6) 本施設の西側にある曙交流館、測定局舎、小学校出入口及び公園出入口は工事期間中も通常通り施設の利用ができる工事計画としてください。
- (7) 本施設の南側にある公園に一般車両仮駐車場スペース（交流館及び小学校利用者用）として既存仮囲い（ガードフェンス+単管）を設置しています。工事期間中はこの仮囲いについても安全管理をしてください。
- (8) 工事着手前に敷地周辺の現況を調査のうえ写真等での記録を速やかに監督員へ提出し、承諾を受けてください。

公共建築工事における福山市週休2日適用工事の実施について

- 1 本工事は、発注者が週休2日に取り組むことを指定する週休2日適用工事である。
- 2 本工事において「週休2日」とは、次の各号に定める区分に応じ、当該各号に定める条件を満たすものをいう。
 - (1) 完全週休2日(土日) 対象期間の全ての週(原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。)毎に現場閉所又は現場休息(以下「現場閉所等」という。)を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1週間に2日以上現場閉所等を行うものをいう。ただし、当該期間に、日数が7日に満たない週を含む場合においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで、1週間に2日以上現場閉所等を行っているものとみなす。
 - (2) 月単位の週休2日 対象期間の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4週8休(現場閉所等の割合が28.5%(8日/28日)以上のものをいう。以下同じ。)以上であるものをいう。ただし、当該期間に、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では4週8休に満たない月又は日数が28日に満たない月を含む場合においては、当該月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより、4週8休以上であるものとみなす。
- 3 本適用工事に係る用語の定義は、次の各号に定めるものとする。
 - (1) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (2) 現場休息 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (3) 対象期間 工事着手日(準備期間(契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。)を除く。)から工事の完成日(後片付け期間(契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。)を除く。)までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
- 4 受注者は、工事着手までに監督員に対し、実施する週休2日の区分について申し出るとともに、現場閉所(現場休息)計画表兼実績表(以下「計画表」という。)を提出するものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。

- (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
- (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を、施設管理者の承諾を得て所定の様式により公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 経費については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数を用いて労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費とする。）及び現場管理費を補正するものとする。
- なお、発注時点では、月単位の週休2日の経費を見込んでおり、現場閉所等の実績に基づき、完全週休2日（土日）を達成したと認められた場合は、完全週休2日（土日）の補正係数を適用し、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて、変更契約を行うものとする。
- (1) 完全週休2日（土日）
- | | |
|---------|------|
| ア 労務費 | 1.02 |
| イ 現場管理費 | 1.01 |
- (2) 月単位の週休2日
- | | |
|-----|------|
| 労務費 | 1.02 |
|-----|------|
- 11 週休2日を達成したときは、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。
- なお、週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。
- 12 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

工事名称

福山市曙交流館改築工事

福山市建設局建築部営繕課				2024年 11月	
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長

図 面 リ ス ト					
番号	図 面 名 称	番号	図 面 名 称	番号	図 面 名 称
A-01	建築工事特記仕様書 No. 1	A-36	建具表 (2)	S-01	鉄筋工事仕様書 No. 1
A-02	建築工事特記仕様書 No. 2	A-37	法規チェック	S-02	鉄筋工事仕様書 No. 2
A-03	建築工事特記仕様書 No. 3	A-38	建具詳細図 (1)	S-03	木質構造特記仕様書 (1)
A-04	建築工事特記仕様書 No. 4	A-39	建具詳細図 (2)	S-04	木質構造特記仕様書 (2)
A-05	建築工事特記仕様書 No. 5	A-40	建具詳細図 (3)	S-05	木質構造標準図 (1)
A-06	建築工事特記仕様書 No. 6	A-41	建具詳細図 (4)	S-06	木質構造標準図 (2)
A-07	建築工事特記仕様書 No. 7	A-42	部分詳細図 (1)	S-07	木質構造標準図 (3)
A-08	建築工事特記仕様書 No. 8	A-43	部分詳細図 (2)	S-08	木質構造標準図 (4)
A-09	建築工事特記仕様書 No. 9	A-44	部分詳細図 (3)	S-09	木質構造標準図 (5)
A-10	工事区分表	A-45	部分詳細図 (4)	S-10	木質構造標準図 (6)
A-11	付近見取図・配置図	A-46	部分詳細図 (5)	S-11	木質構造標準図 (7)
A-12	敷地面積求積図	A-47	家具標準仕様書	S-12	ボーリング柱状図
A-13	床面積求積図	A-48	家具配置図	S-13	柱状地盤改良地業 特記仕様書
A-14	敷地断面図	A-49	家具詳細図 (1)	S-14	柱状地盤改良地業伏図
A-15	平均地盤面算定図	A-50	家具詳細図 (2)	S-15	基礎伏図・基礎リスト
A-16	仕上表	A-51	家具詳細図 (3)	S-16	1F柱・土台伏図、柱頭柱脚金物伏図
A-17	平面図	A-52	白板・掲示板詳細図	S-17	小屋伏図、母屋伏図
A-18	屋根伏図	A-53	サイン配置図・サイン特記仕様・サイン詳細図 (1)	S-18	軸組図 1
A-19	立面図	A-54	サイン詳細図 (2)	S-19	軸組図 2
A-20	断面図	A-55	自転車置場 詳細図	S-20	軸組図 3
A-21	天井伏図	A-56	測定局舎棟 外部仕上表・平面図・屋根伏図・立面図	S-21	軸組図 4
A-22	平面詳細図 (1)	A-57	雨水排水配置図・雨水排水勾配図	S-22	軸組図 5、部材断面表
A-23	平面詳細図 (2)	A-58	外構配置図	S-23	CLTパネル詳細図
A-24	断面詳細図 (1)	A-59	外構詳細図 (1)	S-24	CLT接合詳細図
A-25	断面詳細図 (2)	A-60	外構詳細図 (2)		
A-26	断面詳細図 (3)	A-61	道路改築平面図 (1)		
A-27	断面詳細図 (4)	A-62	道路改築断面図 (1)		
A-28	展開図 (1)	A-63	道路改築平面図 (2)		
A-29	展開図 (2)	A-64	道路改築断面図 (2)		
A-30	展開図 (3)	A-65	仮設計画図		
A-31	展開図 (4)	A-66	配置図 (参考)		
A-32	展開図 (5)				
A-33	展開図 (6)				
A-34	建具配置図				
A-35	建具表 (1)				

章	項 目	特記事項	章	項 目	特記事項	章	項 目	特記事項																																																																													
③ 土中工事	○ 埋戻し及び盛土	材料及び工法 ※ 標準仕様書 表 3. 2. 1 による ・ A 種 施工箇所 () ○ B 種 施工箇所 (全て) ・ C 種 施工箇所 () 土質 () ・ 受渡場所 () ・ D 種 施工箇所 () ○ 建設発生土の処理 処理 (3. 2. 5) ・ 構外搬出 (搬出先:) ・ 構内指定場所に増積 ・ 構内指定場所に敷均し	4. 地盤工事	○ 杭の継手の工法 ・ 溶接継手 ・ 溶接材料 ・ 標準仕様書 7. 2. 5 (1) (2) による ・ 機械式継手 杭頭の処理等 ・ 処理する ・ 処理しない (4. 3. 8) (4. 4. 6) ・ 処理方法 (切断に伴う補強方法含む) ・ 図示による	○ 地盤改良 (透層混合処理工法)	材料 固化材の種類 ・ セメント固化材 (4. 8. 2) 工法 (4. 8. 3) 方式 ※ 原位置混合方式 ・ 改良体の設計基準強度 (F _c)、改良対象土、改良範囲、改良厚さ ・ 図示による 固化材の配合量を決定するための対象とする地層 ・ 図示による 室内配合試験における一軸圧縮試験の供試体数 ・ 図示による 改良工事完了後の試験 一軸圧縮試験の検査対象、コア採取方法、供試体数、検査方法 ・ 図示による 六価クロム溶出試験 ○ 適用する ・ 適用しない	・ 溶接継手	施工完了後の継手部の試験 (5. 5. 5) 外観試験 試験項目及び合否判定 ※ 標準仕様書 表 5. 5. 1～表 5. 5. 3 による ・ 図示による 外観試験で不合格となった場合の措置 (5. 5. 6) ※ 標準仕様書 5. 5. 6 (1) による ・ 図示による ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 図示による ・ 超音波測定試験で不合格となった場合の措置 (5. 5. 6) ・ 図示による																																																																													
	○ 試験及び報告書等	○ 直接基礎 (4. 2. 1) ・ 支持地盤の位置及び土質 (基礎底部の位置含む) ○ 図示による ・ 試験掘り (根切り底の状態の確認等) ・ 行う ○ 行わない ・ 位置等 ・ 図示による ・ 杭基礎 (4. 2. 2) (4. 3. 4) (4. 3. 5) (4. 5. 5) (4. 5. 6) ・ 支持層の位置及び土質 (杭先端の位置含む) ・ 図示による ・ 試験杭の位置、本数及び寸法 ・ 図示による ・ 杭の載荷試験 (4. 2. 3) ・ 適用する ・ 適用しない ・ 載荷試験の方法 ・ 鉛直載荷試験 ・ 地盤工学会基準 JGS () による ・ ・ 水平載荷試験 ・ 地盤工学会基準 JGS1831I による ・ ・ 載荷試験の試験杭の位置、本数及び載荷荷重 ・ 図示による ・ 報告書の記載事項 ○ 地盤の載荷試験 (4. 2. 4) ・ 適用する ○ 適用しない ・ 載荷試験の方法 ・ 平板載荷試験 ・ 地盤工学会基準 JGS1521I による ・ ・ 載荷試験の位置、載荷荷重 ・ 図示による ・ 報告書の記載事項 ・ ・ 既製コンクリート杭地盤 材料 (4. 3. 3) ・ 杭の種類 ・ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC 杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC 杭) ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭 (SC 杭) ・ SC 杭の鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ ・ ・ 杭の性能及び曲げ強度等による区分等 ・ 図示による ・ 杭の寸法、継手の箇所数等 ・ 図示による 杭先端部形状 (4. 3. 3) ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 ・ 工法 ・ セメントミルク工法 (4. 3. 1) (4. 3. 4) ・ 掘削深さ ・ 図示による ・ 杭の支持層への根入れ長さ ・ 図示による ・ 杭の水平方向の位置ずれ精度 ・ 杭径の 1/4 かつ 100mm 以下 ・ 掘削め液及び杭周囲固定液の管理試験 ※ 標準仕様書 4. 3. 4 (6) (コ) による ・ ・ 特定埋込杭工法 (4. 3. 1) (4. 3. 5) ・ ブレボーリング拡大根固め工法 ・ 中掘り拡大根固め工法 ・ ・ 平成 13 年国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式で α=250 を採用できる工法 ・ 平成 13 年国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式のうち、α、β、γ が以下の値を採用できる工法 α= ()、β= ()、γ= () 継手 (4. 3. 3) (4. 3. 6) (7. 2. 5) ・ 杭の継手の工法 ・ 溶接継手 ・ 溶接材料 ・ 標準仕様書 7. 2. 5 (1) (2) による ・ ・ 機械式継手 杭頭の処理 (4. 3. 8) ・ 処理する ・ 処理しない ・ 処理方法 (切断に伴う補強方法含む) ・ 図示による ・ 鋼杭地盤 材料 (4. 4. 3) ・ 鋼杭の材料 ・ 図示による ・ 工法 ・ 特定埋込杭工法 (4. 3. 5) (4. 4. 4) ・ 中掘り拡大根固め工法 ・ ・ 平成 13 年国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式で α=250 を採用できる工法 ・ 平成 13 年国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式のうち α、β、γ が以下の値を採用できる工法 α= ()、β= ()、γ= ()							・ 場所打ちコンクリート杭地盤 材料その他 (4. 5. 4) 鉄筋の種類 (4. 5. 4) (5. 2. 1) <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び径 (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ SD295</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ SD345</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 帯筋の加工及び組立 (4. 5. 4) ・ 図示による 鉄筋の最小かぶり厚さ (4. 5. 4) ・ 100mm 鉄筋かごの補強 (4. 5. 4) ・ 図示による 組み立てた鉄筋の節ごとの継手 (4. 5. 4) (5. 3. 4) ※ 重ね継手 重ね継手の長さ ※ 標準仕様書 表 5. 3. 2 による ・ 主筋の基礎底盤への定着長さ (4. 5. 4) (5. 3. 4) ・ 図示による セメントの種類 (4. 5. 4) ※ 高炉セメント B 種 コンクリートの設計基準強度 (F _c) (4. 5. 4) ・ 図示による コンクリートの種別 (4. 5. 4) (表 4. 5. 1) ・ A 種 ・ B 種 ・ 評定等の内容による スランプ (4. 5. 4) ※ 21cm ・ 18cm ・ () cm 構造体強度補正値 (S) (4. 5. 4) ※ 3N/mm2 ・ 図示による ・ 評定等の内容による 鋼材部分の材料 ・ 図示による 工法 (4. 5. 1) (4. 5. 4～4. 5. 6) ・ アースドリル工法 ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 ・ ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管の種類 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ ・ 拡張杭工法 ・ 杭の支持層への根入れ長さ ・ 図示による 杭の水平方向の位置ずれ精度 ・ 杭径の 1/4 かつ 100mm 以下 孔壁の確認 (超音波測定器による) ・ 行う ・ 測定箇所 ・ 試験杭 () 箇所、本杭 () 箇所 ・ ○ 砂利地盤 材料 (4. 6. 2) ・ 再生クラッシュラン ○ 切込砂利 ○ 切込砕石 砂利地盤の厚さ (4. 6. 3) ※ 60mm ○ 図示 範囲 ・ 基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下、土間コンクリート下 ○ 図示による ・ ・ 砂地盤 材料 (4. 6. 2) ・ シルト ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 砂地盤の厚さ (4. 6. 3) ※ 60mm 範囲 ・ 図示による ・ ○ 捨コンクリート地盤 捨コンクリートの厚さ (4. 6. 4) ※ 50mm 範囲 ・ 基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下 ○ 図示による ・ コンクリートの種別 (4. 6. 4) (6. 14. 1) ※ 普通コンクリート 標準仕様書 表 6. 2. 1 以外のコンクリートを用いる場合 (4. 6. 4) (6. 14. 1) ・ 図示による 設計基準強度 (4. 6. 4) (6. 14. 1) ※ 18N/mm2 スランプ (4. 6. 4) (6. 14. 1) ※ 15cm又は18cm ・ ○ 床下防湿層 防湿層 (4. 6. 5) ○ 適用する 材料 (4. 6. 2) ※ ポリエチレンフィルム厚さ 0.15mm 以上 範囲 (4. 6. 5) ○ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く) ○ 図示による ・ ○ 地盤改良 (透層混合処理工法) 材料 (4. 7. 2) ・ 固化材の種類 ○ セメント固化材 工法 (4. 7. 3) ・ 方式 ※ 機械攪拌方式 改良体の設計基準強度 (F _{co})、改良体長さ、改良率、改良体幅 ○ 図示による ・	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	・ SD295			・ SD345			・			○ 鉄筋 (5. 2. 1) <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び径 (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>○ SD295</td><td>○ D16以下</td><td></td></tr><tr><td>○ SD345</td><td>○ D19以上</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 鉄線の形状等 (5. 2. 2) <table><tr><th>種類</th><th>種類の記号</th><th>鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)</th><th>使用部位</th></tr><tr><td>○ 溶接金網</td><td>WFC</td><td>格子 φ6×150×150</td><td>コンクリート舗装</td></tr></table> 鉄筋の折曲げ形状及び寸法 (5. 3. 2) ・ 鉄筋の折曲げ角度が 90° 未満の折曲げ内法直径 (D) (3d) 以上 鉄筋の継手の方法等 (5. 3. 4) <table><tr><th>部位</th><th>継手の方法</th><th>呼び径 (mm)</th></tr><tr><td>柱及び梁主筋</td><td>・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ○ 重ね継手</td><td>・</td></tr><tr><td>耐力壁の鉄筋</td><td>・ 重ね継手 ・</td><td>・</td></tr><tr><td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td><td>○ 重ね継手 ・ ガス圧接</td><td>・</td></tr><tr><td>上記以外 ()</td><td>・ 重ね継手 ・</td><td>・</td></tr></table> 継手位置 (5. 3. 4) ○ 図示による 柱及び梁主筋の重ね継手の長さ (5. 3. 4) ・ 図示による ○ 40d 耐力壁の重ね継手の長さ (5. 3. 4) ※ 標準仕様書 5. 3. 4 (3) (ア) による ・ 図示による ・ 先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同箇所に設ける場合 ・ 図示による 鉄筋の定着長さ (5. 3. 4) ※ 標準仕様書 表 5. 3. 4 による ・ 図示による ・ 標準仕様書 5. 3. 4 (5) (イ) の場合の折り曲げ定着の方法 ※ 標準仕様書 図 5. 3. 3 により 5. 3. 4 (5) (イ) を全て満足する ・ 機械式定着工法 (5. 3. 4) ・ 適用する ○ 適用しない ・ 適用箇所 ・ 図示による ・ 種類 ・ 図示による ・ ○ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む) (5. 3. 5) 最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) ※ 標準仕様書 表 5. 3. 6 による ・ 柱及び梁の主筋に D29 以上の使用の有無 ・ 有り 使用箇所 () ・ 主筋のかぶり厚さを径の 1.5 倍以上確保する ・ 軽量コンクリートの適用の有無 ・ 有り 適用箇所 () ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm ・ ・ 耐久性上不利な箇所の有無 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・ 有り 適用箇所 () ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm ・ ・ 図示による ○ 各部配筋 (5. 3. 7) ○ 図示による ・ ・ 圧接完了後の圧接部の試験 (5. 4. 10) (5. 4. 11) 抜取試験 ※ 超音波探傷試験 標準仕様書 5. 4. 10 (イ) (a) による ・ 引張試験 ・ 試験方法等 ・ 図示による ・ ・ 機械式継手 (5. 5. 3) 適用箇所 (5. 5. 3) ・ 図示による ・ 平成 12 年建設省告示第 1463 号に適合する性能 ・ A 級 ・ 機械式継手の種類 (5. 5. 3) ・ 図示による ・ 鉄筋相互のあき (5. 5. 3) ・ 評定等の内容による ・ 図示による	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	○ SD295	○ D16以下		○ SD345	○ D19以上		・			・			種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	○ 溶接金網	WFC	格子 φ6×150×150	コンクリート舗装	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ○ 重ね継手	・	耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手 ・	・	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	○ 重ね継手 ・ ガス圧接	・	上記以外 ()	・ 重ね継手 ・	・	○ コンクリートの種類 (6. 2. 1) (表 6. 2. 1) ※ I 類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ・ II 類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) ○ 普通コンクリート (6. 2. 1～6. 2. 4) (表 6. 2. 2) <table><tr><th>設計基準強度 (N/mm2)</th><th>スランプ (cm)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>○ 21</td><td>※ 15又は18</td><td>基礎、基礎梁、土間スラブ、その他</td></tr><tr><td>・</td><td>※ 18</td><td>柱、梁、スラブ、壁</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table> ・ 軽量コンクリート (6. 2. 1) (6. 10. 2) ・ ・ 建築基準法第 37 条第 2 号の規定に基づき認定を受けたコンクリート (6. 2. 1) 適用箇所 () 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6. 2. 5) (表 6. 2. 4) <table><tr><th>種別</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>○ A 種</td><td>○ 図示による</td></tr><tr><td>・ B 種</td><td>・ 図示による</td></tr><tr><td>・ C 種</td><td>・ 図示による</td></tr></table> コンクリートの仕上げの平たんさ (6. 2. 5) (表 6. 2. 5) <table><tr><th>種別</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>○ a 種</td><td>・ 図示による ○ 基礎巾木、階段立上り、道路立上り地</td></tr><tr><td>○ b 種</td><td>・ 図示による ○ 土間スラブ・土間コンクリート上面</td></tr><tr><td>○ c 種</td><td>・ 図示による ○ 床タイル部土間コンクリート上面、基礎土中見え隠れ部</td></tr></table> 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント A 種、シリカセメント A 種又はフライアッシュセメント A 種 適用箇所 (※ 下記以外全て) ・ 高炉セメント B 種 適用箇所 () ・ フライアッシュセメント B 種 適用箇所 () ・ 普通エコセメント 適用箇所 () ○ 骨材 (6. 3. 1) フェロニッケルスラグ骨材、鋼スラグ細骨材及び電気炉酸化スラグ骨材 ・ 適用する 適用箇所 () ○ 適用しない 再生骨材 H (普通エコセメントを使用するコンクリート) (6. 3. 1) ・ 適用する 適用箇所 () ○ 適用しない アルカリシリカ反応性による区分 (6. 3. 1) ※ A ・ B ○ 混和材料 (6. 3. 1) 混和材料の適用及び種類 (6. 3. 1) ○ 混和剤 ・ 混和剤の種類 ※ 標準仕様書 6. 3. 1 (4) (a) による ・ 混和材 (6. 3. 1) ・ 混和材の種類 ※ 標準仕様書 6. 3. 1 (4) (b) による 標準仕様書 6. 3. 2 (イ) (イ) の①～③以外の混和材料 (6. 3. 2) 使用方法及び使用量 ※ 監督職員の承諾による ・ ○ コンクリートの調合 (6. 3. 2) 調合管理強度 構造体強度補正値 (S) ※ 標準仕様書 表 6. 3. 2 による ・ ・ ○ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6. 6. 4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※ スパンの中央又は端から 1/4 の付近 ・ 図示による ・ 柱及び壁 ※ スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・ 図示による ・ 目地の寸法 (6. 6. 4) (6. 8. 1) (9. 7. 3) ※ 標準仕様書 9. 7. 3 (1) (ア) による ・ 図示による ・ ひび割れ誘発目地の位置、形状 ・ 図示による ○ 3m 以内毎	設計基準強度 (N/mm2)	スランプ (cm)	適用箇所	○ 21	※ 15又は18	基礎、基礎梁、土間スラブ、その他	・	※ 18	柱、梁、スラブ、壁	・	・		・	・		種別	適用箇所	○ A 種	○ 図示による	・ B 種	・ 図示による	・ C 種	・ 図示による	種別
種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																																																			
・ SD295																																																																																					
・ SD345																																																																																					
・																																																																																					
種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																																																			
○ SD295	○ D16以下																																																																																				
○ SD345	○ D19以上																																																																																				
・																																																																																					
・																																																																																					
種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																																																		
○ 溶接金網	WFC	格子 φ6×150×150	コンクリート舗装																																																																																		
部位	継手の方法	呼び径 (mm)																																																																																			
柱及び梁主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ○ 重ね継手	・																																																																																			
耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手 ・	・																																																																																			
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	○ 重ね継手 ・ ガス圧接	・																																																																																			
上記以外 ()	・ 重ね継手 ・	・																																																																																			
設計基準強度 (N/mm2)	スランプ (cm)	適用箇所																																																																																			
○ 21	※ 15又は18	基礎、基礎梁、土間スラブ、その他																																																																																			
・	※ 18	柱、梁、スラブ、壁																																																																																			
・	・																																																																																				
・	・																																																																																				
種別	適用箇所																																																																																				
○ A 種	○ 図示による																																																																																				
・ B 種	・ 図示による																																																																																				
・ C 種	・ 図示による																																																																																				
種別	適用箇所																																																																																				
○ a 種	・ 図示による ○ 基礎巾木、階段立上り、道路立上り地																																																																																				
○ b 種	・ 図示による ○ 土間スラブ・土間コンクリート上面																																																																																				
○ c 種	・ 図示による ○ 床タイル部土間コンクリート上面、基礎土中見え隠れ部																																																																																				
工事名称 福山市曙交流館改築工事																																																																																					
図面名称 建築工事特記仕様書 No- 2																																																																																					
		福山市建設局建築部営繕課		 有限会社ティーズ設計事務所		縮尺率	図面No																																																																														
設計		2025 年 9 月		設計者		一級建築士 第 239406 号 戸梶 好喜	A1=100% A2= 71% A3= 50%																																																																														
						A																																																																															
						02																																																																															

⑥

○

打増し厚さ
(打放し仕上げ部)

打増し厚さ
(6.8.1)

○ 打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)
○ 20mm
・ 打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)
・ 10mm ・ 20mm

打増し範囲

○ 図示による

○

型枠

せき板の材料
(6.8.2)
※ 標準仕様書6.8.2(1)(ア)、(イ)による
合板 (厚さ ※ 12mm)
・ 断熱材を兼用した型枠
使用箇所
・ 図示による
・ MCR工法用シート
(6.8.2)
適用箇所
・ 図示による
(6.8.2)
スリーブの材質・規格等
・ 図示による
(6.8.4)
型枠の最小存置期間
・ セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()

・

軽重コンクリート

適用箇所
・ 図示による
(6.10.1)
種類
・ 1種 ・ 2種
(6.10.2) (表6.10.1)
気乾単位容積重量
() t/m3
スランプ
※ 21cm

○

寒中コンクリート

適用期間
(6.11.1)
・ 図示による ○ 11月下旬～3月上旬
構造体強度補正值 (S)
○ 標準仕様書6.11.2(3)(ア)による
・ 積算温度を基に定める ()

○

暑中コンクリート

スランプ
※ 21cm
構造体強度補正值 (S)
※ 標準仕様書 表6.12.1による

・

マスコンクリート

適用箇所
(6.13.1)
・ 図示による
(6.13.2)
セメントの種類
(6.13.2)
・ 普通ポルトランドセメント
・ 中熱ポルトランドセメント
・ 低熱ポルトランドセメント
・ 高炉セメントB種
・ フライアッシュセメントB種
・ シリカセメント
(6.13.2)
混和剤
(6.13.2)
・ 混和剤の種類
※ 標準仕様書6.13.2(2)(ア)による
・ 混和材
混和材の種類
※ 標準仕様書6.13.2(2)(イ)による
(6.13.2)
スランプ
※ 15cm
構造体強度補正值 (S)
※ 標準仕様書6.13.1による

・

無筋コンクリート

コンクリートの種類
(6.14.1)
※ 普通コンクリート
(6.14.1)
設計基準強度
※ 18 (N/mm2)
(6.14.1)
スランプ
※ 15cm又は18cm
(6.14.1)
適用箇所
(6.14.1)
※ 標準仕様書6.14.1(4)による
・ 図示による
(6.14.1)
・ 標準仕様書表6.2.1以外のコンクリートをを用いる場合 ()

・

流動化コンクリート

適用箇所
(6.15.1)
・ 図示による
空気量
※ 4.5%

・

高流動コンクリート

適用箇所 (部位、部材)
(6.16.1)
・ 図示による
材料及び割合
スランプフロー
・ 図示による
空気量
※ 4.5%
単位粗骨材かさ容積
※ 0.50m3/m3以上

7.

鉄骨工事

鉄骨製作工場
(7.1.3)
鉄骨製作工場の加工能力
・ 国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 () グレード以上
・ 監督職員の承認する工場
・ 施工管理技術者
(7.1.3) (7.1.4)
鉄骨制作工場における施工管理技術者
・ 適用する
(7.2.1)
種類等
(7.2.1)
種類の記号 適用箇所 (主要な部分) 規格
・ JISによる
・ JISによる
・ JISによる
・ JISによる
・ JISによる
・ JISによる

・

鋼材

種類等
(7.2.1)
種類の記号 適用箇所 (主要な部分) 規格
・ JISによる
・ JISによる
・ JISによる
・ JISによる
・ JISによる
・ JISによる

章

項目

特記事項

・

高力ボルト

形状および寸法
(7.2.1)
・ 適用する
(7.2.10)
板厚方向に引張力を受ける鋼材の試験
・ 行う (適用箇所：) ・ 行わない
(7.2.2)
高力ボルトの種類
・ トルシア形高力ボルト
・ JIS形高力ボルト
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト
・ 建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト
(7.2.2)
ボルトの寸法
ねじの呼び 図示による
(7.3.2)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・ 図示による
(7.4.2)
摩擦面の性能及び処理
・ すべり試験
試験の方法等
・ 図示による
(7.12.5)
・ 溶融亜鉛めっき面の摩擦面の処理方法
※ 標準仕様書7.12.5(1)(ア)、(イ)による

・

普通ボルト

JIS形高力ボルトの締付け (本締め)
ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量
・ 図示による
(7.2.3)
ボルト及びナットの材料
※ 標準仕様書表7.2.3による
ボルトの形状及び寸法
ねじの呼び 図示による
(7.2.3)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・ 図示による
(7.3.2)
母屋又は副縁の取付けに使用するボルトの孔径
※ ねじの呼び径+1.0mm
(7.3.8)

・

アンカーボルト

種類
(7.2.4)
・ 構造用アンカーボルト
・ ABR400 ・ ABR490
・ 建方用アンカーボルト
・ SS400
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※ 標準仕様書表7.2.3による
(7.3.2)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・ 図示による

・

溶接材料

溶接材料
(7.2.5)
※ 標準仕様書7.2.5(1)、(2)による
・ 図示による

・

ターンバックル

種類
(7.2.6)
建築用ターンバックルボルト
※ 羽子板ボルト
建築用ターンバックル胴
※ 割棒式
ねじの呼び等
・ 図示による
(7.2.6)

・

床構造用デッキプレート

材質、形状及び寸法
(7.2.7)
・ デッキプレート単独の構法
・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法

鉄骨部材への溶接方法
・ 図示による
(7.7.8)
種類等
(7.2.8)
呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所
・ 16
・ 19
・ 22

柱底均しモルタル
(7.2.9) (表7.2.5)
調合等
・ 標準仕様書7.2.9(1)によるモルタル
・ 無収縮モルタル
無収縮モルタルの材料、調合等
※ 標準仕様書7.2.9(2)による

・

鉄骨の仮組

仮組の実施
(7.3.10)
・ する
仮組を行なう範囲
・ 図示による
(7.6.3)
技量付加試験
・ 行う ・ 行わない
試験の要領 図示による

・

溶接作業を行う技能資格者

開先の形状
(7.6.4)
・ 図示による
(7.6.7)
鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲
・ 図示による
切断面の仕上げ
※ 標準仕様書7.6.7(1)(力)(b)②による
(7.6.7)
低応力高サイクル疲労を受けやすい部位
図示による
(7.6.7)
スカラップの形状
・ 図示による
(7.6.12)
溶接部の外観試験
平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験
試験の方法等
・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」(鉄骨製作管理技術者登録機構)3.5.2受人検査による。
※ 抜き取り検査② ・ 抜き取り検査①

・

溶接接合

溶接部の試験
(7.6.12)
溶接部の外観試験
平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験
試験の方法等
・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」(鉄骨製作管理技術者登録機構)3.5.2受人検査による。
※ 抜き取り検査② ・ 抜き取り検査①

章

項目

特記事項

・

禁止塗装

完全溶込み部の超音波探傷試験
(7.6.12)
・ 適用する ・ 適用しない
工場溶接の場合
AQL (%) ※ レベルⅡ ・ レベルⅠ
節 ・ 全て
検査水準 ※ 第6水準

塗装の範囲
(7.8.2)
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・ 図示による
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
※ 標準仕様書7.8.2(1)による
・ 図示による
下記以外の塗料の種類は、18章による
・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の阻止め塗料の種類
※ A種 ・ B種
(7.8.4) (表18.3.1)
・ 耐火被覆が接着する面の塗料の種類

種類、材料、工法等
(7.9.2～7.9.8)
種 類 材料・工法 耐火性能 (時間) 適用箇所 (部位・部分)
・ 乾式吹付けロックウール
・ 半乾式吹付けロックウール
・ 耐火材吹付け
・ 湿式ロックウール
・ 耐火板張り
・ 繊維混入がい酸カルシウム板
・ 耐火材巻付け
・ 高断熱ロックウール
・ ラス張り
モルタル塗り
耐火塗料

構造用アンカーボルトの形状及び寸法
(7.10.3)
・ 図示による
構造用アンカーボルトの保持及び埋込み
(7.10.3)
※適切な鋼製アンカーフレーム等を設置して固定する方法
・ 図示による
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
(7.10.3) (表7.10.1)
種別 ・ A種 ・ B種
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別
(7.10.3) (表7.10.2)
厚さ mm
種別 ※ A種
ボルト接合方法
(7.11.2)
・ 普通ボルト接合

8.
コンクリートブロック造
(8.2.2)
材料
適用箇所 ブロックの種類 (断面形状及び圧縮強さによる区分) 正味厚さ (mm) モジュール呼び寸法 (mm) 備考
長さ 高さ

モルタルの調合 (容積比)
(8.2.3)
※ブロックの区分がA (08)、B (12)、C (16) の場合で、目地幅が10mm程度の場合
※ 標準仕様書表8.2.1による
各部の配筋 図示による
(8.2.5)
目地仕上げ ・ 押し目地仕上げ ・ 化粧目地仕上げ
(8.2.7)
まぐさを受ける開口部両側のブロックにおいて、モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲
・ 図示による
(8.2.8)
材料
(8.3.2) (表8.2.2)
適用箇所 ブロックの種類 (断面形状及び圧縮強さによる区分) 正味厚さ (mm) モジュール呼び寸法 (mm) 備考
長さ 高さ
※ 標準仕様書表8.3.1
適用箇所が隅の場合で化粧有りのブロック
・ 適用する (適用箇所：) ・ 適用しない
モルタルの調合 (容積比)
(8.3.3) (8.3.3)
※ブロックの区分がA (08)、B (12)、C (16) の場合で、目地幅が10mm程度の場合
※ 標準仕様書表8.2.1による
鉄筋の継手、定着及び束端部の折り曲げ形状
・ 図示による
(8.3.4)
各部の配筋 図示による
(8.3.4)
材料、構法
(8.4.2～8.4.5) (表8.4.2～表8.4.4)
用途 パネルの区分 単位荷重 (N/m2) 厚さ (mm) 幅及び長さ (mm) 耐火性能 (時間) 構法の種別
・ 外壁用 ・ 一般 ・ 平 ・ 100 ・ 図示 ・ 有 (1) ・ A種
・ コーナー ・ 意匠 ・ ・ による ・ ・ ・ B種
・ 間仕切壁用 ・ 一般 ・ 平 ・ 100 ・ 図示 ・ 有 (1) ・ C種
・ コーナー ・ 意匠 ・ ・ による ・ ・ ・ D種
・ 屋根版用 — — ・ 100 ・ 図示 ・ 有 (0.5) ・ F種
・ 床版用 — — ・ 100 ・ 図示 ・ 有 () ・ ・ による ・

・

アスファルト防水

屋根保護防水
(9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3～表9.2.6)
防水層の種類
種類 施工箇所 断熱材 絶縁用シート
・ A-1 ※ ポリエチレンフィルム厚さ
・ A-2 0.15mm以上又はフラットヤー
・ A-3 ンクロス70g/m2程度
・ B-1 ・
・ B-2 ・
・ A1-1 (厚さ) ※ フラットヤーンクロス70g/m2
・ A1-2 mm 程度
・ A1-3 ・
・ B1-1 ・
・ B1-2 ・

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
(9.2.2)
※ 標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・ R種 ・ N種
材料構成による区分 ・ R種 ・ N種
厚さ mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
(9.2.2)
※ 標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・ R種 ・ N種
材料構成による区分 ・ R種 ・ N種
厚さ mm以上
押え金物の材質及び形状寸法
(9.2.2)
※ アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度
・
立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置
(表9.2.4) (表9.2.6)
・ 適用する ・ 適用しない

屋根露出防水
(9.2.2) (9.2.3) (表9.2.7) (表9.2.8)
防水層の種類
種類 施工箇所 断熱材 仕上塗料 使用量
・ D-1 種 類 ※ 製造所の仕様による
・ D-2 ・
・ D1-1 種類

⑨
防水工事

特記事項

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 2. 8 による
・ JIS A 6013 に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・ 材料構成による区分
・ R 種
・ N 種
厚さ
mm 以上

(9. 2. 2)

特記事項

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 2. 7 及び表 9. 2. 8 による
・ JIS A 6013 に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・ 材料構成による区分
・ R 種
・ N 種
厚さ
mm 以上

(9. 2. 2)

特記事項

押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度

(9. 2. 2)

特記事項

絶縁工法及び断熱絶縁工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定

(9. 2. 3)

特記事項

設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定
個

(9. 2. 3)

特記事項

屋内防水
(9. 2. 2) (9. 2. 3) (表 9. 2. 9)

(9. 2. 2) (9. 2. 3) (表 9. 2. 9)

特記事項

保護層
・ 設ける (・ 図示による)
・ 設けない

(9. 2. 3)

特記事項

E-1 の工程 3 を行う場合の部位
※ 貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位

(表 9. 2. 9)

特記事項

施工
(9. 2. 4)

(9. 2. 4)

特記事項

防水層の下地のモルタル塗り
・ 適用する (施工範囲 ・ 図示による)
・ 適用しない

(9. 2. 4)

特記事項

防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ
※ 標準仕様書表 6. 2. 4 の B 種

(9. 2. 4)

特記事項

断熱断熱工法のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
・ 図示による

(9. 2. 4)

特記事項

保護層等の施工
(9. 2. 5)

(9. 2. 5)

特記事項

平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※ 80mm 以上
床タイル張り ※ 60mm 以上

(9. 2. 5)

特記事項

立上り部の保護工法
・ 乾式保護材
乾式保護材の材料
・ コンクリート押え
・ モルタル押え (屋内等)
・ れんがが押え (・ 図示による)
・ れんがの材料
・ JIS R 1250 (普通れんが及び化粧れんが)

(9. 2. 2)

特記事項

屋上排水溝の設置
・ 図示による

(9. 2. 2)

特記事項

改質アスファルトシート防水
(9. 3. 2) (9. 3. 3) (表 9. 3. 1～表 9. 3. 3)

(9. 3. 2) (9. 3. 3) (表 9. 3. 1～表 9. 3. 3)

特記事項

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度

(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)

特記事項

屋根露出防水断熱工法、屋根露出防水断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
個

(9. 3. 3)

特記事項

防水層の種類
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

特記事項

合成高分子系ルーフィングシート防水
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

改質アスファルトシート防水

特記事項

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度

(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)

特記事項

屋根露出防水断熱工法、屋根露出防水断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
個

(9. 3. 3)

特記事項

防水層の種類
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

特記事項

合成高分子系ルーフィングシート防水
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

○ 壁膜防水

特記事項

防水層の種類
(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

特記事項

ケイ酸質系塗膜防水
(9. 6. 4)

(9. 6. 4)

特記事項

シーリング
(9. 7. 2)

(9. 7. 2)

特記事項

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度

(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)

特記事項

屋根露出防水断熱工法、屋根露出防水断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
個

(9. 3. 3)

特記事項

防水層の種類
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

特記事項

合成高分子系ルーフィングシート防水
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

○ 壁膜防水

特記事項

防水層の種類
(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

特記事項

ケイ酸質系塗膜防水
(9. 6. 4)

(9. 6. 4)

特記事項

シーリング
(9. 7. 2)

(9. 7. 2)

特記事項

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度

(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)

特記事項

屋根露出防水断熱工法、屋根露出防水断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
個

(9. 3. 3)

特記事項

防水層の種類
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

特記事項

合成高分子系ルーフィングシート防水
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

○ シーリング

特記事項

防水層の種類
(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

特記事項

ケイ酸質系塗膜防水
(9. 6. 4)

(9. 6. 4)

特記事項

シーリング
(9. 7. 2)

(9. 7. 2)

特記事項

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度

(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)

特記事項

屋根露出防水断熱工法、屋根露出防水断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
個

(9. 3. 3)

特記事項

防水層の種類
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

特記事項

合成高分子系ルーフィングシート防水
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

○ シーリング

特記事項

防水層の種類
(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

特記事項

ケイ酸質系塗膜防水
(9. 6. 4)

(9. 6. 4)

特記事項

シーリング
(9. 7. 2)

(9. 7. 2)

特記事項

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度

(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)

特記事項

屋根露出防水断熱工法、屋根露出防水断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
個

(9. 3. 3)

特記事項

防水層の種類
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

特記事項

合成高分子系ルーフィングシート防水
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

○ シーリング

特記事項

防水層の種類
(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

特記事項

ケイ酸質系塗膜防水
(9. 6. 4)

(9. 6. 4)

特記事項

シーリング
(9. 7. 2)

(9. 7. 2)

特記事項

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度

(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)

特記事項

屋根露出防水断熱工法、屋根露出防水断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
個

(9. 3. 3)

特記事項

防水層の種類
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

特記事項

合成高分子系ルーフィングシート防水
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

○ シーリング

特記事項

防水層の種類
(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

特記事項

ケイ酸質系塗膜防水
(9. 6. 4)

(9. 6. 4)

特記事項

シーリング
(9. 7. 2)

(9. 7. 2)

特記事項

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度

(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)

特記事項

屋根露出防水断熱工法、屋根露出防水断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
個

(9. 3. 3)

特記事項

防水層の種類
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

特記事項

合成高分子系ルーフィングシート防水
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

○ シーリング

特記事項

防水層の種類
(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

特記事項

ケイ酸質系塗膜防水
(9. 6. 4)

(9. 6. 4)

特記事項

シーリング
(9. 7. 2)

(9. 7. 2)

特記事項

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度

(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)

特記事項

屋根露出防水断熱工法、屋根露出防水断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
個

(9. 3. 3)

特記事項

防水層の種類
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

特記事項

合成高分子系ルーフィングシート防水
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

○ シーリング

特記事項

防水層の種類
(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

特記事項

ケイ酸質系塗膜防水
(9. 6. 4)

(9. 6. 4)

特記事項

シーリング
(9. 7. 2)

(9. 7. 2)

特記事項

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度

(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)

特記事項

屋根露出防水断熱工法、屋根露出防水断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
個

(9. 3. 3)

特記事項

防水層の種類
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

特記事項

合成高分子系ルーフィングシート防水
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

○ シーリング

特記事項

防水層の種類
(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

特記事項

ケイ酸質系塗膜防水
(9. 6. 4)

(9. 6. 4)

特記事項

シーリング
(9. 7. 2)

(9. 7. 2)

特記事項

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度

(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)

特記事項

屋根露出防水断熱工法、屋根露出防水断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
個

(9. 3. 3)

特記事項

防水層の種類
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

特記事項

合成高分子系ルーフィングシート防水
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

○ シーリング

特記事項

防水層の種類
(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

特記事項

ケイ酸質系塗膜防水
(9. 6. 4)

(9. 6. 4)

特記事項

シーリング
(9. 7. 2)

(9. 7. 2)

特記事項

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度

(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)

特記事項

屋根露出防水断熱工法、屋根露出防水断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
個

(9. 3. 3)

特記事項

防水層の種類
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

特記事項

合成高分子系ルーフィングシート防水
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

○ シーリング

特記事項

防水層の種類
(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

特記事項

ケイ酸質系塗膜防水
(9. 6. 4)

(9. 6. 4)

特記事項

シーリング
(9. 7. 2)

(9. 7. 2)

特記事項

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度

(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)

特記事項

屋根露出防水断熱工法、屋根露出防水断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
個

(9. 3. 3)

特記事項

防水層の種類
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

特記事項

合成高分子系ルーフィングシート防水
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

○ シーリング

特記事項

防水層の種類
(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

特記事項

ケイ酸質系塗膜防水
(9. 6. 4)

(9. 6. 4)

特記事項

シーリング
(9. 7. 2)

(9. 7. 2)

特記事項

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度

(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)

特記事項

屋根露出防水断熱工法、屋根露出防水断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
個

(9. 3. 3)

特記事項

防水層の種類
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

特記事項

合成高分子系ルーフィングシート防水
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

○ シーリング

特記事項

防水層の種類
(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

(9. 5. 3) (表 9. 5. 1) (表 9. 5. 2)

特記事項

ケイ酸質系塗膜防水
(9. 6. 4)

(9. 6. 4)

特記事項

シーリング
(9. 7. 2)

(9. 7. 2)

特記事項

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表 9. 3. 2 及び表 9. 3. 3 による
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度

(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)
(9. 3. 2)

特記事項

屋根露出防水断熱工法、屋根露出防水断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
個

(9. 3. 3)

特記事項

防水層の種類
(9. 4. 2～9. 4. 4) (表 9. 4. 1) (表 9. 4. 2)

(9. 4. 2～9. 4.

[illegible]

左官工事	⑮	・ ラス系下地	下地の種類 ・ 通気工法 (・ 二層下地 ・ 単層下地) ・ 直張り工法 (・ ラスモルタル下地 ・ ラスシートモルタル下地) 外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気構法を行う場合 ・ 図示による 材料 ラス材及び補強用プラス 材料記号 (※ K ・) 種類及び単位面積当たりの質量 ・ 二層下地通気構法 ・ 波形ラス (W700) ・ こぶラス (K800) ・ カ骨付きラス (B P700) ・ 単層下地通気構法 ・ リプラス C (RC800) に裏打ち材と一体化したラス ・ ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分 耐力壁以外 ・ LS1 ・ LS2 ・ LS3 ・ LS4 耐力壁 ※ LS4 ステープルの形状及び寸法 リプラス ※ L925TS以上 (リプラス C (RC800) の場合) ・ 波形ラス ※ L1019JS以上 (波形ラス (W700) の場合) ・ 施工 二層下地通気構法 換気口部の措置 ※ 講ずる ・ 講じない 直張り工法 (ラスシートモルタル下地の場合) 建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工 ・ 図示による 材料 せっこうボード、せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ せっこうボード 種類 (GB-R) 厚さ (12.5 9.5 mm) せっこうラスボード 種類 () 厚さ (mm) 木質系セメント板 種類 () 厚さ (mm) ・ こまい下地 建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・ 無し ・ 有り () ・ 木ずり下地 材料 木ずり用小幅板の材種 ※ 杉 (心去り材) ・ ・ モルタル塗り モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (・ 図示による ・) ・ 設けない 床の目地 ・ 設ける 目地割 ※ 2㎓程度 (最大目地間隔3㎓程度) ・ 種類 ※ 押し目地 ・ ・ 設けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない ⑯ 仕上塗材仕上げ 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 材料 ・ 薄付け仕上塗材 (表15. 6. 1) (その1) 呼び名 仕上げの形状 工 法 吸放湿性 防火材料 ・ 外装薄塗材Si ・ 砂壁状 ・ 吹付け ・ 吹付け ・ ローラー塗り ・ 吹付け ・ 吹付け ・ ロー
------	---	---------	--

章	項 目	特記事項	章	項 目	特記事項	章	項 目	特記事項	章	項 目	特記事項
16 建築工事	○ 自動ドア開閉装置	性能・機構 戸の開閉方式 ○ 図示による 自動ドア開閉装置の性能 駆動装置の性能 ※ 引き戸用駆動装置の場合、標準仕様書表16.9.1による 防錆 ○ 適用する ・ 適用しない 車椅子使用者用便所出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※ 標準仕様書表16.9.2による 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない 検出装置の性能 ※ 引き戸用検出装置の性能は標準仕様書表16.9.3による 防錆 ○ 適用する ・ 適用しない 引き戸用検出装置の種類 種類 ・ 光線（反射）センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ○ 光電センサー ・ 電波センサー ・ タッチスイッチ ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光電式タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ ・ 車椅子使用者便所用操作スイッチ ・ 大形（開・閉）押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ 凍結防止措置 ・ 適用する ○ 適用しない	ガラスブロック	・ 倍強化ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類 ・ 図示（※ 建具表 ・ ）による ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.14.2) (16.14.3) (図16.14.1) ガラスの種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ (mm) アルミニウム製 ◎ グレージングチャンネル ※ 建具の製造所の仕様による ○ シーリング材 ・ 樹脂製 ※ 押縁及びグレージングガasket ※ 建具の製造所の仕様による ・ 鋼製及び鋼製軽量 ○ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による ・ ステンレス製 ・ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による ・ ガラス端部で枠にのみ込まない部分の小口加工 (16.14.4) ・ 建具表による 材料等 (16.14.5) 表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅 (mm) 伸縮調整目地位置 (mm) ・ 正方形 ・ 160×160 95 ・ ・ ※ 6～15 外側 ※ 6m以下 下に幅 10～25mm ・ 200×200 95 ・ ・ ・ ※ 15以下 ・ 長方形 ・ ・ ・ ・ 内側 ※ 6以上 ・ ・ ・ ・ ・ 壁用金属枠及び補強材 ・ 設ける（形状 ・ 図示による ・ ） ・ 設けない カ青 材質 ※ ステンレス鋼（SUS304） 寸法 ※ 径5.5mm 形状 ※ はしご形状複筋及び単筋 シーリング材の種類（ ） 金属強化紐カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ・ 図示による ・ 形状 ・ 図示による ・ 工法 (16.14.5) 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ・ 図示による 木下地の場合の壁用金属枠のアンカー等の留付け間隔 ・ mm（450mm以下） 目地部の横力骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による	17 カーテンウォール工事	性能 (17.1.3) 耐風圧性 水平方向 垂直方向 水密性 気密性 耐火性 差性 遮音性 断熱性 ・ 1.0 ・ 0.5 ・ ・ ・ 30分 ・ 80 ・ ・ ・ 1時間 ・ 70 ・ ・ ・ ・ 60 性能の確認方法及び判定方法 (17.1.3) ※ 監督員の承諾による 適用は以下によるほか、カーテンウォール図による 材料 (17.2.2) 金属系材料の種類 ・ アルミニウム材 ・ 鋼材 ・ ステンレス鋼材 シーリング材（ガラスの取付けは除く） (17.2.2) 下表以外は標準仕様書表9.7.1による 被着体の組合せ シーリング材の種類 記号 主成分による区分 ガラスの取付け材料 ・ シーリング材の種類（ ） ・ 構造ガasket（材質、形状等： ・ 図示 ・ ） 断熱材 種類（ ） 厚さ（mm） 施工箇所 ・ 図示による 形状及び仕上げ (17.2.3) 製品の寸法許容差（アルミニウム合金鋼物を除く） ※ 標準仕様書表17.2.1による 製品の見え掛り部分の仕上げ ガラス溝の寸法、形状等 ※ カーテンウォールの製造所の仕様 取付け (17.2.5) 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 ※ 標準仕様書表17.2.2による ・ 図示による カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 ※ 標準仕様書表17.2.3による ・ 図示による ガラスの取付け方法 ・ 図示による 材料 (17.3.2) コンクリート 種類 ・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート1種 品質 設計基準強度（Fc） ※ 30N/mm2 スランプ ※ 12cm 気乾単位容積質量の標準 ・ 普通コンクリートの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下 ・ 軽量コンクリートの場合 1.8t/m3～2.1t/m3 単位水量の最大値 ※ 185kg/m3 鉄筋 種類記号 ※ SD295 補強鉄線 径 ・ 3.2mm ・ 4.0mm ・ 5.0mm ・ 6.0mm 網目寸法	18 塗装工事	シーリング材 下表以外は標準仕様書表9.7.1による 被着体の組合せ シーリング材の種類 記号 主成分による区分 ガラスの取付け材料 ・ 構造ガasket 材質、形状等： ・ 図示による 耐火目地材 断熱材 種類（ ） 厚さ（mm） 施工箇所 ・ 図示による 先付けの材料 (17.3.2) ・ 先付け材料の仕上材 ・ 石材（ ・ 花こう岩 ・ 大理石 ・ ） ・ セラミックタイル ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール 形状及び仕上げ (17.3.3) (表17.3.1) 製品の見え掛り部の寸法許容差 ※ 標準仕様書表17.3.1による ・ 上記以外 辺長（mm）、対角線長の差（mm） 版厚（mm） 開口部内法寸法（mm）、ねじれ、そり（mm） 曲がり（mm）、面の凹凸（mm） 先付け金物の位置（mm） カーテンウォールの仕上げ 構造ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差（mm） 図示による 製作 (17.3.4) 配筋 ※ 監督職員の承諾による ・ 図示による 取付け (17.3.4) 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 ※ 標準仕様書表17.2.2による ・ 図示による カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 ※ 標準仕様書表17.3.2による ・ 図示による ガラスの取付け方法 (17.3.6) ・ 図示による ○ 材料 (18.1.3) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 防火材料 ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする（箇所： ） ○ 素地ごしらえ ○ 錆止め塗料塗り ○ 塗装	19 内装工事	○ 接着剤等 接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2) (19.3.2) (19.5.4) (19.5.5) (19.7.2) (19.9.3) ※ F☆☆☆☆ 接着剤の主成分による区分 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合 ビニル床シート及びビニル床タイル用 (19.2.2) (表19.2.1) ・ 図示による ○ 標準仕様書 表19.2.1による ゴム床タイル用 (19.2.2) (表19.2.2) ・ 図示による 下地の施工 (19.2.3) 標準仕様書表19.2.3（1）（ア）から（ウ）以外の下地の工法 ・ 図示による ○ ビニル床シート (19.2.2) 材料 種類の記号 色 柄 厚さ (mm) 備 考 ※ FS（複層ビニル床シート） ○ マーブル ※ 2.0 特殊機能：図示 ・ 接合部の処理 ※ 熱溶接工法 ・ (19.2.3) ○ ビニル床タイル (19.2.2) 材料 種類の記号 色 柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備 考 ※ KT（コンポジションビニル床タイル） ・ 無地 ・ 300×300 ※ 2.0 ・ TT（単層ビニル床タイル） ○ 標準柄 ○ 450×450 ○ 3.0 ・ FT（複層ビニル床タイル） ・ FOA（直置きビニル床タイル） ・ FOB（薄型直置きビニル床タイル） ○ 特殊機能床 (19.2.2) 材料 シートの種類 種類 性能 厚さ、寸法、形状 (mm) ・ 帯電防止床シート 厚さ： ・ 帯電防止床タイル 寸法： 厚さ： ○ 視覚障がい者用床タイル T T ― 形状：厚さ：8.0 寸法：300角 ・ 耐動荷重性床シート ― 厚さ： ・ 防滑性シート ― 厚さ： ・ 防滑性床タイル ― 寸法： 厚さ： ○ ビニル幅木 (19.2.2) 材質の種類 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ ※ 60mm ・ 70mm ・ 100mm ○ 75mm 厚さ ※ 1.5mm以上 ・ ゴム床タイル (19.2.2) 種類 ・ 単層品 ・ 積層品 色柄（ ） 寸法（mm） 厚さ（mm） ・ 3.0mm ・ 4.5mm ・ 6.0mm ・ 9.0mm ・ カーペット敷き (19.3.2) (表19.3.1) 織じゅうたん 織り方 バイル形状 帯電性 備 考 ・ ウィルトンカーペット ・ カットバイル ・ 適用する ・ ダブルフェースカーペット ・ ループバイル ・ 適用しない ・ アキスミンスターカーペット ・ カット・ループ併用 色柄、バイル糸の種類等 (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) ※ 色柄は模様のない無地のもの 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 下敷き材 (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) ※ JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種1号 呼び厚さ 8mm 見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、形状等 ・ 図示による ・ ） ・ 適用しない 織じゅうたんの接合方法 (19.3.3) ※ ヒートボンド工法 ・ タフテッドカーペット (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) バイルの形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 帯電性 備 考 ・ カットバイル ・ グリッパー工法 ・ 適用する ・ ループバイル ・ 全面接着工法 ・ 適用しない ・ カット・ループ併用 ・ 下敷き材（グリッパー工法の場合） (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) ※ JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種1号 呼び厚さ 8mm 見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、形状等 ・ 図示による ・ ） ・ 適用しない ・ タイルカーペット (19.3.2) (19.3.3) 種類 バイル形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 施工箇所 備 考 ※ 第一種 ※ ループバイル ※ 500×500 ※ 6.5 ※ 第二種 ・ カットバイル ・ ※ 第一種 ・ カットバイル ※ 500×500 ※ 6.5 ※ 第二種 ・ カット・ループ併用 ※ 500×500 ※ 6.5 ・	
	○ 自閉式上吊り引戸装置	性能 (16.10.3) ※ 標準仕様書表16.10.1による ・ 図示による		17.1 カーテンウォール工事	性能 (17.1.3) 耐風圧性 水平方向 垂直方向 水密性 気密性 耐火性 差性 遮音性 断熱性 ・ 1.0 ・ 0.5 ・ ・ ・ 30分 ・ 80 ・ ・ ・ 1時間 ・ 70 ・ ・ ・ ・ 60 性能の確認方法及び判定方法 (17.1.3) ※ 監督員の承諾による 適用は以下によるほか、カーテンウォール図による 材料 (17.2.2) 金属系材料の種類 ・ アルミニウム材 ・ 鋼材 ・ ステンレス鋼材 シーリング材（ガラスの取付けは除く） (17.2.2) 下表以外は標準仕様書表9.7.1による 被着体の組合せ シーリング材の種類 記号 主成分による区分 ガラスの取付け材料 ・ シーリング材の種類（ ） ・ 構造ガasket（材質、形状等： ・ 図示 ・ ） 断熱材 種類（ ） 厚さ（mm） 施工箇所 ・ 図示による 形状及び仕上げ (17.2.3) 製品の寸法許容差（アルミニウム合金鋼物を除く） ※ 標準仕様書表17.2.1による 製品の見え掛り部分の仕上げ ガラス溝の寸法、形状等 ※ カーテンウォールの製造所の仕様 取付け (17.2.5) 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 ※ 標準仕様書表17.2.2による ・ 図示による カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 ※ 標準仕様書表17.2.3による ・ 図示による ガラスの取付け方法 ・ 図示による 材料 (17.3.2) コンクリート 種類 ・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート1種 品質 設計基準強度（Fc） ※ 30N/mm2 スランプ ※ 12cm 気乾単位容積質量の標準 ・ 普通コンクリートの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下 ・ 軽量コンクリートの場合 1.8t/m3～2.1t/m3 単位水量の最大値 ※ 185kg/m3 鉄筋 種類記号 ※ SD295 補強鉄線 径 ・ 3.2mm ・ 4.0mm ・ 5.0mm ・ 6.0mm 網目寸法	○ 材料 (18.1.3) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 防火材料 ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする（箇所： ） ○ 素地ごしらえ ○ 錆止め塗料塗り ○ 塗装	○ 接着剤等 接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2) (19.3.2) (19.5.4) (19.5.5) (19.7.2) (19.9.3) ※ F☆☆☆☆ 接着剤の主成分による区分 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合 ビニル床シート及びビニル床タイル用 (19.2.2) (表19.2.1) ・ 図示による ○ 標準仕様書 表19.2.1による ゴム床タイル用 (19.2.2) (表19.2.2) ・ 図示による 下地の施工 (19.2.3) 標準仕様書表19.2.3（1）（ア）から（ウ）以外の下地の工法 ・ 図示による ○ ビニル床シート (19.2.2) 材料 種類の記号 色 柄 厚さ (mm) 備 考 ※ FS（複層ビニル床シート） ○ マーブル ※ 2.0 特殊機能：図示 ・ 接合部の処理 ※ 熱溶接工法 ・ (19.2.3) ○ ビニル床タイル (19.2.2) 材料 種類の記号 色 柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備 考 ※ KT（コンポジションビニル床タイル） ・ 無地 ・ 300×300 ※ 2.0 ・ TT（単層ビニル床タイル） ○ 標準柄 ○ 450×450 ○ 3.0 ・ FT（複層ビニル床タイル） ・ FOA（直置きビニル床タイル） ・ FOB（薄型直置きビニル床タイル） ○ 特殊機能床 (19.2.2) 材料 シートの種類 種類 性能 厚さ、寸法、形状 (mm) ・ 帯電防止床シート 厚さ： ・ 帯電防止床タイル 寸法： 厚さ： ○ 視覚障がい者用床タイル T T ― 形状：厚さ：8.0 寸法：300角 ・ 耐動荷重性床シート ― 厚さ： ・ 防滑性シート ― 厚さ： ・ 防滑性床タイル ― 寸法： 厚さ： ○ ビニル幅木 (19.2.2) 材質の種類 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ ※ 60mm ・ 70mm ・ 100mm ○ 75mm 厚さ ※ 1.5mm以上 ・ ゴム床タイル (19.2.2) 種類 ・ 単層品 ・ 積層品 色柄（ ） 寸法（mm） 厚さ（mm） ・ 3.0mm ・ 4.5mm ・ 6.0mm ・ 9.0mm ・ カーペット敷き (19.3.2) (表19.3.1) 織じゅうたん 織り方 バイル形状 帯電性 備 考 ・ ウィルトンカーペット ・ カットバイル ・ 適用する ・ ダブルフェースカーペット ・ ループバイル ・ 適用しない ・ アキスミンスターカーペット ・ カット・ループ併用 色柄、バイル糸の種類等 (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) ※ 色柄は模様のない無地のもの 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 下敷き材 (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) ※ JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種1号 呼び厚さ 8mm 見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、形状等 ・ 図示による ・ ） ・ 適用しない 織じゅうたんの接合方法 (19.3.3) ※ ヒートボンド工法 ・ タフテッドカーペット (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) バイルの形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 帯電性 備 考 ・ カットバイル ・ グリッパー工法 ・ 適用する ・ ループバイル ・ 全面接着工法 ・ 適用しない ・ カット・ループ併用 ・ 下敷き材（グリッパー工法の場合） (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) ※ JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種1号 呼び厚さ 8mm 見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、形状等 ・ 図示による ・ ） ・ 適用しない ・ タイルカーペット (19.3.2) (19.3.3) 種類 バイル形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 施工箇所 備 考 ※ 第一種 ※ ループバイル ※ 500×500 ※ 6.5 ※ 第二種 ・ カットバイル ・ ※ 第一種 ・ カットバイル ※ 500×500 ※ 6.5 ※ 第二種 ・ カット・ループ併用 ※ 500×500 ※ 6.5 ・				
	○ 自重式上吊り引戸装置	性能 (16.10.3) ※ 標準仕様書表16.10.1による ・ 図示による		17.2 カーテンウォール工事	性能 (17.2.2) 金属系材料の種類 ・ アルミニウム材 ・ 鋼材 ・ ステンレス鋼材 シーリング材（ガラスの取付けは除く） (17.2.2) 下表以外は標準仕様書表9.7.1による 被着体の組合せ シーリング材の種類 記号 主成分による区分 ガラスの取付け材料 ・ シーリング材の種類（ ） ・ 構造ガasket（材質、形状等： ・ 図示 ・ ） 断熱材 種類（ ） 厚さ（mm） 施工箇所 ・ 図示による 形状及び仕上げ (17.2.3) 製品の寸法許容差（アルミニウム合金鋼物を除く） ※ 標準仕様書表17.2.1による 製品の見え掛り部分の仕上げ ガラス溝の寸法、形状等 ※ カーテンウォールの製造所の仕様 取付け (17.2.5) 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 ※ 標準仕様書表17.2.2による ・ 図示による カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 ※ 標準仕様書表17.2.3による ・ 図示による ガラスの取付け方法 ・ 図示による 材料 (17.3.2) コンクリート 種類 ・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート1種 品質 設計基準強度（Fc） ※ 30N/mm2 スランプ ※ 12cm 気乾単位容積質量の標準 ・ 普通コンクリートの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下 ・ 軽量コンクリートの場合 1.8t/m3～2.1t/m3 単位水量の最大値 ※ 185kg/m3 鉄筋 種類記号 ※ SD295 補強鉄線 径 ・ 3.2mm ・ 4.0mm ・ 5.0mm ・ 6.0mm 網目寸法	○ 材料 (18.1.3) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 防火材料 ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする（箇所： ） ○ 素地ごしらえ ○ 錆止め塗料塗り ○ 塗装	○ 接着剤等 接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2) (19.3.2) (19.5.4) (19.5.5) (19.7.2) (19.9.3) ※ F☆☆☆☆ 接着剤の主成分による区分 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合 ビニル床シート及びビニル床タイル用 (19.2.2) (表19.2.1) ・ 図示による ○ 標準仕様書 表19.2.1による ゴム床タイル用 (19.2.2) (表19.2.2) ・ 図示による 下地の施工 (19.2.3) 標準仕様書表19.2.3（1）（ア）から（ウ）以外の下地の工法 ・ 図示による ○ ビニル床シート (19.2.2) 材料 種類の記号 色 柄 厚さ (mm) 備 考 ※ FS（複層ビニル床シート） ○ マーブル ※ 2.0 特殊機能：図示 ・ 接合部の処理 ※ 熱溶接工法 ・ (19.2.3) ○ ビニル床タイル (19.2.2) 材料 種類の記号 色 柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備 考 ※ KT（コンポジションビニル床タイル） ・ 無地 ・ 300×300 ※ 2.0 ・ TT（単層ビニル床タイル） ○ 標準柄 ○ 450×450 ○ 3.0 ・ FT（複層ビニル床タイル） ・ FOA（直置きビニル床タイル） ・ FOB（薄型直置きビニル床タイル） ○ 特殊機能床 (19.2.2) 材料 シートの種類 種類 性能 厚さ、寸法、形状 (mm) ・ 帯電防止床シート 厚さ： ・ 帯電防止床タイル 寸法： 厚さ： ○ 視覚障がい者用床タイル T T ― 形状：厚さ：8.0 寸法：300角 ・ 耐動荷重性床シート ― 厚さ： ・ 防滑性シート ― 厚さ： ・ 防滑性床タイル ― 寸法： 厚さ： ○ ビニル幅木 (19.2.2) 材質の種類 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ ※ 60mm ・ 70mm ・ 100mm ○ 75mm 厚さ ※ 1.5mm以上 ・ ゴム床タイル (19.2.2) 種類 ・ 単層品 ・ 積層品 色柄（ ） 寸法（mm） 厚さ（mm） ・ 3.0mm ・ 4.5mm ・ 6.0mm ・ 9.0mm ・ カーペット敷き (19.3.2) (表19.3.1) 織じゅうたん 織り方 バイル形状 帯電性 備 考 ・ ウィルトンカーペット ・ カットバイル ・ 適用する ・ ダブルフェースカーペット ・ ループバイル ・ 適用しない ・ アキスミンスターカーペット ・ カット・ループ併用 色柄、バイル糸の種類等 (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) ※ 色柄は模様のない無地のもの 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 下敷き材 (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) ※ JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種1号 呼び厚さ 8mm 見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、形状等 ・ 図示による ・ ） ・ 適用しない 織じゅうたんの接合方法 (19.3.3) ※ ヒートボンド工法 ・ タフテッドカーペット (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) バイルの形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 帯電性 備 考 ・ カットバイル ・ グリッパー工法 ・ 適用する ・ ループバイル ・ 全面接着工法 ・ 適用しない ・ カット・ループ併用 ・ 下敷き材（グリッパー工法の場合） (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) ※ JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種1号 呼び厚さ 8mm 見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、形状等 ・ 図示による ・ ） ・ 適用しない ・ タイルカーペット (19.3.2) (19.3.3) 種類 バイル形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 施工箇所 備 考 ※ 第一種 ※ ループバイル ※ 500×500 ※ 6.5 ※ 第二種 ・ カットバイル ・ ※ 第一種 ・ カットバイル ※ 500×500 ※ 6.5 ※ 第二種 ・ カット・ループ併用 ※ 500×500 ※ 6.5 ・				
	○ 自重式上吊り引戸装置	性能 (16.10.3) ※ 標準仕様書表16.10.1による ・ 図示による		17.3 カーテンウォール工事	性能 (17.3.2) コンクリート 種類 ・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート1種 品質 設計基準強度（Fc） ※ 30N/mm2 スランプ ※ 12cm 気乾単位容積質量の標準 ・ 普通コンクリートの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下 ・ 軽量コンクリートの場合 1.8t/m3～2.1t/m3 単位水量の最大値 ※ 185kg/m3 鉄筋 種類記号 ※ SD295 補強鉄線 径 ・ 3.2mm ・ 4.0mm ・ 5.0mm ・ 6.0mm 網目寸法	○ 材料 (18.1.3) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 防火材料 ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする（箇所： ） ○ 素地ごしらえ ○ 錆止め塗料塗り ○ 塗装	○ 接着剤等 接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2) (19.3.2) (19.5.4) (19.5.5) (19.7.2) (19.9.3) ※ F☆☆☆☆ 接着剤の主成分による区分 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合 ビニル床シート及びビニル床タイル用 (19.2.2) (表19.2.1) ・ 図示による ○ 標準仕様書 表19.2.1による ゴム床タイル用 (19.2.2) (表19.2.2) ・ 図示による 下地の施工 (19.2.3) 標準仕様書表19.2.3（1）（ア）から（ウ）以外の下地の工法 ・ 図示による ○ ビニル床シート (19.2.2) 材料 種類の記号 色 柄 厚さ (mm) 備 考 ※ FS（複層ビニル床シート） ○ マーブル ※ 2.0 特殊機能：図示 ・ 接合部の処理 ※ 熱溶接工法 ・ (19.2.3) ○ ビニル床タイル (19.2.2) 材料 種類の記号 色 柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備 考 ※ KT（コンポジションビニル床タイル） ・ 無地 ・ 300×300 ※ 2.0 ・ TT（単層ビニル床タイル） ○ 標準柄 ○ 450×450 ○ 3.0 ・ FT（複層ビニル床タイル） ・ FOA（直置きビニル床タイル） ・ FOB（薄型直置きビニル床タイル） ○ 特殊機能床 (19.2.2) 材料 シートの種類 種類 性能 厚さ、寸法、形状 (mm) ・ 帯電防止床シート 厚さ： ・ 帯電防止床タイル 寸法： 厚さ： ○ 視覚障がい者用床タイル T T ― 形状：厚さ：8.0 寸法：300角 ・ 耐動荷重性床シート ― 厚さ： ・ 防滑性シート ― 厚さ： ・ 防滑性床タイル ― 寸法： 厚さ： ○ ビニル幅木 (19.2.2) 材質の種類 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ ※ 60mm ・ 70mm ・ 100mm ○ 75mm 厚さ ※ 1.5mm以上 ・ ゴム床タイル (19.2.2) 種類 ・ 単層品 ・ 積層品 色柄（ ） 寸法（mm） 厚さ（mm） ・ 3.0mm ・ 4.5mm ・ 6.0mm ・ 9.0mm ・ カーペット敷き (19.3.2) (表19.3.1) 織じゅうたん 織り方 バイル形状 帯電性 備 考 ・ ウィルトンカーペット ・ カットバイル ・ 適用する ・ ダブルフェースカーペット ・ ループバイル ・ 適用しない ・ アキスミンスターカーペット ・ カット・ループ併用 色柄、バイル糸の種類等 (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) ※ 色柄は模様のない無地のもの 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 下敷き材 (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) ※ JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種1号 呼び厚さ 8mm 見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、形状等 ・ 図示による ・ ） ・ 適用しない 織じゅうたんの接合方法 (19.3.3) ※ ヒートボンド工法 ・ タフテッドカーペット (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) バイルの形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 帯電性 備 考 ・ カットバイル ・ グリッパー工法 ・ 適用する ・ ループバイル ・ 全面接着工法 ・ 適用しない ・ カット・ループ併用 ・ 下敷き材（グリッパー工法の場合） (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) ※ JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種1号 呼び厚さ 8mm 見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、形状等 ・ 図示による ・ ） ・ 適用しない ・ タイルカーペット (19.3.2) (19.3.3) 種類 バイル形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 施工箇所 備 考 ※ 第一種 ※ ループバイル ※ 500×500 ※ 6.5 ※ 第二種 ・ カットバイル ・ ※ 第一種 ・ カットバイル ※ 500×500 ※ 6.5 ※ 第二種 ・ カット・ループ併用 ※ 500×500 ※ 6.5 ・				
	○ 自重式上吊り引戸装置	性能 (16.10.3) ※ 標準仕様書表16.10.1による ・ 図示による		17.4 カーテンウォール工事	性能 (17.4.1) コンクリート 種類 ・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート1種 品質 設計基準強度（Fc） ※ 30N/mm2 スランプ ※ 12cm 気乾単位容積質量の標準 ・ 普通コンクリートの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下 ・ 軽量コンクリートの場合 1.8t/m3～2.1t/m3 単位水量の最大値 ※ 185kg/m3 鉄筋 種類記号 ※ SD295 補強鉄線 径 ・ 3.2mm ・ 4.0mm ・ 5.0mm ・ 6.0mm 網目寸法	○ 材料 (18.1.3) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 防火材料 ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする（箇所： ） ○ 素地ごしらえ ○ 錆止め塗料塗り ○ 塗装	○ 接着剤等 接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2) (19.3.2) (19.5.4) (19.5.5) (19.7.2) (19.9.3) ※ F☆☆☆☆ 接着剤の主成分による区分 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合 ビニル床シート及びビニル床タイル用 (19.2.2) (表19.2.1) ・ 図示による ○ 標準仕様書 表19.2.1による ゴム床タイル用 (19.2.2) (表19.2.2) ・ 図示による 下地の施工 (19.2.3) 標準仕様書表19.2.3（1）（ア）から（ウ）以外の下地の工法 ・ 図示による ○ ビニル床シート (19.2.2) 材料 種類の記号 色 柄 厚さ (mm) 備 考 ※ FS（複層ビニル床シート） ○ マーブル ※ 2.0 特殊機能：図示 ・ 接合部の処理 ※ 熱溶接工法 ・ (19.2.3) ○ ビニル床タイル (19.2.2) 材料 種類の記号 色 柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備 考 ※ KT（コンポジションビニル床タイル） ・ 無地 ・ 300×300 ※ 2.0 ・ TT（単層ビニル床タイル） ○ 標準柄 ○ 450×450 ○ 3.0 ・ FT（複層ビニル床タイル） ・ FOA（直置きビニル床タイル） ・ FOB（薄型直置きビニル床タイル） ○ 特殊機能床 (19.2.2) 材料 シートの種類 種類 性能 厚さ、寸法、形状 (mm) ・ 帯電防止床シート 厚さ： ・ 帯電防止床タイル 寸法： 厚さ： ○ 視覚障がい者用床タイル T T ― 形状：厚さ：8.0 寸法：300角 ・ 耐動荷重性床シート ― 厚さ： ・ 防滑性シート ― 厚さ： ・ 防滑性床タイル ― 寸法： 厚さ： ○ ビニル幅木 (19.2.2) 材質の種類 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ ※ 60mm ・ 70mm ・ 100mm ○ 75mm 厚さ ※ 1.5mm以上 ・ ゴム床タイル (19.2.2) 種類 ・ 単層品 ・ 積層品 色柄（ ） 寸法（mm） 厚さ（mm） ・ 3.0mm ・ 4.5mm ・ 6.0mm ・ 9.0mm ・ カーペット敷き (19.3.2) (表19.3.1) 織じゅうたん 織り方 バイル形状 帯電性 備 考 ・ ウィルトンカーペット ・ カットバイル ・ 適用する ・ ダブルフェースカーペット ・ ループバイル ・ 適用しない ・ アキスミンスターカーペット ・ カット・ループ併用 色柄、バイル糸の種類等 (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) ※ 色柄は模様のない無地のもの 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 下敷き材 (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) ※ JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種1号 呼び厚さ 8mm 見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、形状等 ・ 図示による ・ ） ・ 適用しない 織じゅうたんの接合方法 (19.3.3) ※ ヒートボンド工法 ・ タフテッドカーペット (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) バイルの形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 帯電性 備 考 ・ カットバイル ・ グリッパー工法 ・ 適用する ・ ループバイル ・ 全面接着工法 ・ 適用しない ・ カット・ループ併用 ・ 下敷き材（グリッパー工法の場合） (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.2) ※ JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種1号 呼び厚さ 8mm 見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、形状等 ・ 図示による ・ ） ・ 適用しない ・ タイルカーペット (19.3.2) (19.3.3) 種類 バイル形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 施工箇所 備 考 ※ 第一種 ※ ループバイル ※ 500×500 ※ 6.5 ※ 第二種 ・ カットバイル ・ ※ 第一種 ・ カットバイル ※ 500×500 ※ 6.5 ※ 第二種 ・ カット・ループ併用 ※ 500×500 ※ 6.5 ・				
	○ 自重式上吊り引戸装置	性能 (16.10.3) ※ 標準仕様書表16.10.1による ・ 図示による		17.5 カーテンウォール工事	性能 (17.5.1) コンクリート 種類 ・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート1種 品質 設計基準強度（Fc） ※ 30N/mm2 スランプ ※ 12cm 気乾単位容積質量の標準 ・ 普通コンクリートの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下 ・ 軽量コンクリートの場合 1.8t/m3～2.1t/m3 単位水量の最大値 ※ 185kg/m3 鉄筋 種類記号 ※ SD295 補強鉄線 径 ・ 3.2mm ・ 4.0mm ・ 5.0mm ・ 6.0mm 網目寸法	○ 材料 (18.1.3) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 防火材料 ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする（箇所： ） ○ 素地ごしらえ ○ 錆止め塗料塗り ○ 塗装	○ 接着剤等 接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2) (19.3.2) (19.5.4) (19.5.5) (19.7.2) (19.9.3) ※ F☆☆☆☆ 接着剤の主成分による区分 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合 ビニル床シート及びビニル床タイル用 (19.2.2) (表19.2.1) ・ 図示による ○ 標準仕様書 表19.2.1による ゴム床タイル用 (19.2.2) (表19.2.2) ・ 図示による 下地の施工 (19.2.3) 標準仕様書表19.2.3（1）（ア）から（ウ）以外の下地の工法 ・ 図示による ○ ビニル床シート (19.2.2) 材料 				

⑨
内装工事

項 目

・ 合成樹脂塗床

○ フローリング張り

○ 畳敷き

○ セッコウボード、その他ボード及び合板張り

特記事項

見切り、押え金物
・適用する（材質、形状等）
・適用しない
タイルカーベットの敷き方
平場 ※市松敷き ・模様流し ・
階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・

合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
(19.4.2) (19.4.2) (19.4.3) (表19.4.1～表19.4.8)

種 類	工 法	仕上げの種類	施工箇所
・ 厚膜型塗床材 (弾性ウレタン樹脂系塗床材)		※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	
・ 厚膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床材)		・ 平滑仕上げ ・ 厚膜流しの工法 ・ 樹脂モルタル工法	
・ 薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床材)		※ 平滑仕上げ	
-			

フローリングのホルムアルデヒド放散量
※ 標準仕様書19.5.2(2)による
・
(19.5.2～19.5.5)

単層フローリング
(19.5.2～19.5.5)

種 類	工 法	樹種	厚さ、幅及び長さ
・ フローリングボード1等	・ 釘留め工法 (根太張り)	-	※ 標準仕様書 表19.5.1による
	・ 釘留め工法 (直張り)	-	※ 標準仕様書 表19.5.3による
	・ 接着工法	-	※ 標準仕様書 表19.5.5による
・ フローリングブロック1等	・ 接着工法	-	-

複合フローリング
(19.5.2～19.5.5)

種 類	工 法	樹種	厚さ、幅及び長さ
○ 複合フローリング (天然木化粧)	・ 釘留め工法 (根太張り)	-	※ 標準仕様書 表19.5.2による ・ A種 ・ B種 ・ C種
	○ 釘留め工法 (直張り)	○ 杉 (県産材)	※ 標準仕様書 表19.5.4による ・ A種 ・ B種 ○ C種
	・ 接着工法	-	※ 標準仕様書 表19.5.6による ・ A種 ・ B種 ・ C種

接着工法の場合の不陸緩衝材
※ 合成樹脂発泡シート
・
(19.6.2) (表19.6.1)

種別
(19.6.2) (表19.6.1)
・ A種 (畳表： ・ JS ・ J1)
・ B種
・ C種 (畳表： ・ PS-C20 ・ PS-C25 ・ PS-C30)
・ D種
(畳表： ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)
○ 図示
・ 衝撃緩和型畳
畳表 (JIS A5902) ・ C1 ・ C2

○ セッコウボード、その他ボード及び合板張り

材料
(19.7.2) (表19.7.1)

規格名称	種 類	厚さ (mm)等
木質系セメント板	・ 硬質木毛セメント板	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
	・ 中質木毛セメント板	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
	・ 普通木毛セメント板	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
	・ 硬質木片セメント板	・ 12 ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
	・ 普通木片セメント板	・ 30 ・
	・ 繊維強化セメント板	○ けい酸カルシウム板 タイプ2 (無繊維) ○ 6 ・ 8
火山性ガラス質複層板 (VSボード)	・ 火山性ガラス質複層板	・ 図示による
繊維板	・ ミディアムデンシティ ファイバーボード (MDF)	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・
	・ ハードボード (素地)	・ 無研磨板 (・ スタンダード ・ テンバード) ・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンバード) ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7
	・ ハードボード (化粧)	・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7
	・ インシュレーション ボード	A級 (・ 天井仕上 ・ 内装仕上 ・ ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・
パーティクルボード	・ 単板張りパーティクル ボード	・ 無研磨板 ・ 研磨板 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・
	・ 化粧パーティクル ボード	・ 単板オーバーレイ ・ プラスチックオーバーレイ ・ 塗装 ・ 10 ・ 12
吸音材料	○ ロックウール化粧 吸音板	○ フラットタイプ (○ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・) ・ 凹凸タイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・)
	・ ロックウール吸音 ボード1号	・ 25 ・
	・ グラスウール吸音 ボード32K	・ 25 (ガラスクロス包) ・
	○ セッコウボード	○ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ○ 9.5
セッコウボード製品	・ 不燃積層セッコウ ボード	・ 化粧無 (下地張り用) ・ 化粧有 (トラバーチン模様) ・ 9.5 (不燃)
	○ シーリングセッコウ ボード	○ 12.5 (不燃) ・
	・ 強化セッコウボード	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)
	・ セッコウラスボード	・ 9.5 ・
	・ 化粧セッコウボード (木目)	模様 (・ 柃目 ・ 柃目) 専用下地材張り ・ 12.5 (不燃) 幅440mm程度
	○ 化粧セッコウボード (トラバーチン模様)	○ 9.5 (準不燃)

項 目

○ 壁紙張り

○ 断熱材

② ユニット及びその他の工事

・ 可動間仕切

特記事項

パーティクルボード及びWDFのホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
ボード表面への化粧張仕上の有無
・ 有り (種類：) ・

天井のボードの重ね張りの張り付け方法
(ロックウール吸音板を除く)
()
セッコウボードの目地工法
(19.7.3)
種類
○ 継目処理工法 ○ 突付け工法 ・ 目透し工法
セッコウボードのエッジの種類 (突付け工法、目透し工法の場合)
○ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ

材料 (19.7.2)

種 類	規 格	防火処理
○ 普通合板	品名 (ラワン合板) 厚さ (※ 5.5mm ○ 9.0mm) 板面の品質 () 広葉樹 (※ 2等以上) 針葉樹 (※ C-D以上) 単板の樹種名 (ラワン)	・ 行う ・ 行わない
・ 天然木化粧合板	厚さ (mm) 化粧板の単板の樹種名 ()	・ 行う ・ 行わない
・ 特殊加工化粧合板	品名 () 厚さ (mm) 接着の程度 () 単板の樹種名 () 化粧加工の方法 ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装	・ 行う ・ 行わない

合板のホルムアルデヒド放散量
※ 標準仕様書19.7.2(2)(イ)のいずれかによる
・
(19.7.3) (表19.7.3)

合板の張付け ・ A種 ・ B種
(19.7.3) (表19.7.3)

ホルムアルデヒド放散量 (19.8.2)
壁紙 ※ F☆☆☆☆
接着剤 ※ F☆☆☆☆

種類 (19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類						防火性能	備考
	紙	繊維	プラスチック	無機質	塩化ビニル	その他		
壁・天井	・	・	・	・	○		・ 不燃 ○ 準不燃 ・ 難燃	
	・	・	・	・	・			

施工 (19.8.3)
モルタル面及びセッコウプラスター面の素地ごしらえ (表18.2.4)
※ B種 ・ A種
コンクリート面の素地ごしらえ (表18.2.5)
※ B種 ・ A種
セッコウボード面及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらえ (表18.2.7)
※ B種 ・ A種

○ 断熱材打込み工法 (19.9.3)

種 類		厚さ (mm)	施工箇所
断熱材名		種類 (記号)	
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材			
○ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)		1種BC	○25 土間下
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材			
○ フェノールフォーム断熱材		1種2号CⅡ	○30 屋根

フェノールフォームを使用した断熱材及び開口部等修繕のための張付け用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
・ 断熱材現場発泡工法 (19.9.4)
断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H
吹付け厚さ ・ mm
施工箇所 ・ 図示による

章

○ 移動間仕切

○ トイレブース

○ 手すり

・ 階段滑り止め

○ 黒板及びホワイトボード

○ 鏡

○ 表示

・ タラップ

・ 煙突ライニング

・ ブラインド

・ ロールスクリーン

・ カーテン

特記事項

材料及び性能等 (20.2.4)

操作方法による種類	圧接装置の操作方法	パネル表面材		遮音性能 (dB/500Hz)
		材質	仕上げ	
・ 手動式	・ プッシュ式	・ 鋼板	・ 焼付塗装	○ 36未満
○ 電動式	・ ハンドル式	○ アルミ材	・ 壁紙張り	・ 36以上
・ 部分電動式	・		○硬質電圧タッチシート	

ハンガーレールの取付け下地
※ 標準仕様書20.2.3(3)(ウ)による
・ 図示による
ハンガーレール
※ 標準仕様書20.2.4(3)(エ)による
・ 図示による
ランナー
※ 標準仕様書20.2.4(3)(オ)による
・ 図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
※ 標準仕様書20.2.4(3)(カ)による
・ 図示による
あと施工アンカー
・ 使用する
(種類： 材質： 寸法：)
○ 使用しない

材料及等 (20.2.5)

パネル表面材の材質	脚部の種類	ドアエッジの材質
○ メラミン樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ	※ 製造所の仕様による
・ ポリエステル樹脂系化粧板	・	・ アルミニウム製
・		・ ステンレス製
		・ 表面材と同材

パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
・
(20.2.6)

材料の種類 ○ 木製 ○ ステンレス製
仕上げ ○ 塗装品 ○ HL仕上

材料及等 (20.2.7)

材 種	形 状	寸法 (mm)	取付け工法
・ ステンレス製 (SUS304)	・ ひも状	・	※ 接着工法
・ 黄銅製押出し型材	・ タイヤ型	・	・ 埋込み工法
・ アルミニウム製押出し型材			

・ 黒板 (20.2.9)
区分 ※ 焼付け ・
種類 ・ 銅板黒板 ・ ほうろう黒板

○ ホワイトボード (20.2.9)
(色：白 暗線：なし 枠：木製、アルミ製)

取付箇所 (各便所) (20.2.10)
寸法 ○ 図示による ・
厚さ ※ 5mm ○ 図示による

○ 衝突防止表示 (20.2.11)<
形状、寸法 (○ 30φ ・)
材質 (・ ステンレス製 ・)

・ 非常用進入口等の表示等 (20.2.11)
※ 消防法に適合する市販品 ・

室名札、ビクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式 (20.2.11)
○ 図示による

材料及の種類 ※ ステンレス製 (20.2.12)
仕上げ ※ 研磨等の仕上げを行わない ・

煙突用成形ライニング材 (20.2.13)
適用安全使用温度 ・ ℃
工法 ()

材料及等 (20.2.14)
・ 横形ブラインド
種類 ※ ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式
幅、高さ ・ 図示による ・
スラットの幅 ※ 25mm ・
材質
スラット ※ アルミニウム合金製 ・
ヘッドボックス ※ 鋼製 ・
ボトムレール ※ 鋼製 ・
・ 縦形ブラインド
幅、高さ ・ 図示による ・
開閉方式 ・ 片開き ・ 両開き
操作方法 ※ 2本操作コード方式 ・ 1本操作コード方式
スラットの材質 ・ 焼付け塗装仕上げのアルミスラット
・ 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工クロススラット
スラットの幅 ・ mm

材料及等 (20.2.15)

材 質	品 質	操作方式	幅、高さ	取付箇所
・ ポリエステル	・	・ 電動式 ・ スプリング式 ・ チェーン式	・ 図示	・ 図示
・				

巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料
※ 製造所の仕様による

材料及等 (20.2.16) (表20.2.1)

形 式	開閉操作方式	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・ シングル	・ 片引き	・ つまひだ (三つ山ひだ、二つ山ひだ)	・	・	・ 図示
・ ダブル	・ 引分け	・ ひも引き ・ 電動	・ 箱ひだ、片ひだ ・ プレーンひだ	・	・
・	・	・	・	・	

専用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
※ 300mm以上

章

・ カーテンレール

・ ブレキャストコンクリート

○ ブラインドボックス及びカーテンボックス

○ 天井点検口

・ 床点検口

・ 耐震スリット

・ 止水板

・ エキスパンジョイント金物

・ くつきマット

特記事項

(20.2.16)
材料等
レール及びブラケットの強さによる区分
※ 10～90
レールの材料による区分
※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
・ ステンレス製
レールの仕上げ ※ アルマイト
レールの形状 ※ 角形
カーテン付属物 フック (ひるかん)
※ 鋼製 ・ 樹脂製

補強鉄線の径及び網目寸法 (20.3.2)
・ 図示による

製作 (20.3.3)
コンクリートの設計基準強度 (Fc)
※ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m3を満足するように定める
・ 図示による

配筋
※ 監督職員の承諾による
・ 図示による

取付け方法 (20.3.4)
・ 図示による

材料及等 (20.4.2)

材 料	材 種	種 類	質量区分	備考
・ 間知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩	―		
・ コンクリート間知ブロック	―		・ A ・ B	

工法 (20.4.3)
積み方 ※ 谷積み ・ 布積み
目塗り ・ 図示による ・
伸縮調整目地 材種 ・ 図示による ・
厚さ ・ 図示による

溝幅×深さ (mm)
・ 90×150 ※ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80
○ 図示による

材質 ・ 集成材 (仕上げ：) ○ 木製 (仕上げ：図示)
・ アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
種別 (標準仕様書表14.2.1) ・ B C―1種
・ B C―2種
色合い ・ 標準色 ()
・ 特注色 ()
・ 鋼製 (仕上げ：)

材 種	寸法	形 式		外 枠	内 枠
○ アルミニウム製	○ 450×450 ○ 600×600 ・	○ 一般形	・ 屋内外用 ○ 屋内用	○ 縦線タイプ ・ 目地タイプ	○ 縦線タイプ ・ 目地タイプ
・	・				

材 種	寸法	形 式		備 考
・ アルミニウム製	・ 450×450 ・ 600×600	・ 一般形	・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 鍵付き
・ ステンレス製	・	・ 密閉形	・	
・ 鋼製	・	・		

方 向	タイプ	耐火性能	防水性能	備 考
・ 垂直方向	・ 完全 (全貫通型)	・ 耐火型	・ 有り	
・ 水平方向	・	・ 非耐火型	・ 無し	

目地

目 地		内 壁		外 壁	
・ 目地材	・ シーリング材 (見え掛り部のみ)	・ シーリング材 (見え掛り部のみ)	・ シーリング材 (内外とも)		
・ 目地寸法 (mm)	・ 幅20×深さ10	・ 幅20×深さ10	・		

目地材の材質は標準仕様書表9.7.2による

形式 ・ 差込式 ・ 据置式 ・ 壁張り式
施工箇所 ・ 図示による

材 種	クリアランス	耐火性能	備 考
・ アルミニウム製	・ 50 ・ 100	・ 有り ()	
・ ステンレス製	・ 150 ・	・ 無し	

(注) 外部は防水型とする

材 種		受 け 枠		備 考
・ 塩化ビニル又はゴム製		・ ステンレス鋼 (SUS304)		
・ 硬質アルミニウム合金製		・ 硬質アルミニウム合金		
・ ステンレス鋼 (SUS304) 製		・		

工事名称
福山市曙交流館改築工事

図面名称
建築工事特記仕様書 No-8



福山市建設局建築部営繕課



有限会社ティーズ設計事務所

設計
2025年 9月

設計者 一級建築士 第239406号 戸根 好喜

縮尺率
A1=100%
A2= 71%
A3= 50%

図面No
A

08

23

○

流し台ユニット

特記事項

材 種

寸法 (mm)

備 考

○ 流し台

○ 1,200

・ 550

・ 800

○ 850

市販品

・ 1,500

○ 600

・ 850

トラップ付き

○ 1,800

・ 650

・

天板ステンレス製

・ コンロ台

・ 600

・ 550

・ 620

市販品

・

・

・ 600

・ 670

天板ステンレス製

○ つり戸棚

○ 1,200

○ 450

○ 500

市販品

○ 300, 450

○ 370

○ 700

・

○ 水切り

○ 1,200

・ 900

・ 600

市販品

・

・

・

ステンレス製

○ 1段式

・

品質、性能

○ 図示による

・

形状

○ 図示による

・

・ 旗竿

材 質

形 式

高さ (m)

操作方法

固定方法

備考

・ アルミニウム合金製

・ テーパー型

・

・ ハンドル式

・ 埋込み式

・

・

・ 同一断面型

・

・ ロープ式

・ ベース式

・ バンド式

・ 旗竿受金物

材種

・ ステンレス製 (SUS304)

・

○ 車止め支柱

形 式

材 種

柱径・肉厚 (mm)

高さ (mm)

○ 上下式鎖内蔵型

○ 標準品

○ ステンレス製

○ 76.3φ

○ 700

・

・ スプリング式

・

・

・

○ 差込式

・ 標準品

・ ステンレス製

○ 42.7φ

○ 650

・

○ フェンス

フェンスの種類

○ ビニル被覆エキスパンドフェンス

・ 樹脂塗装メッシュフェンス

・ 鋼管フェンス

・ アルミフェンス

高さ

○ 図示による

・

・ 鋼製書架及び物品棚

種 類

規格等

耐荷重による種類

・ 鋼製書架

・

・ 1種

・ 2種

・ 3種

・ 鋼製物品棚

JIS S 1039による

・ 4種

・ 5種

・ 6種

・

○ 屋内掲示板

枠の材質

・ アルミニウム製

○ 木製

表面の材質

○ 塩化ビニルシート張り

・

○ 洗面カウンター

材質

・メラミン樹脂化粧板張り (心材：集成材)

○ 人工大理石

奥行き

○ 約450mm

・ 約600mm

・

・ 防煙垂れ壁

・ 固定式

材 質

厚さ (mm)

高さ (mm)

備 考

・ 網入り磨き板ガラス

・

・ 6.8

・ 500

アルミ製枠付き

・ 網入り磨き板ガラス

・

・

・

・

・ 可動式

種 類

材 質

高さ (mm)

備 考

・ 垂直降下式 (巻取り型)

※ 不燃布

・ 500

ガイドレール

・

・

・ 800

・ 固定式 (壁埋込み型)

・ 回転降下式

鋼板製又はアルミ製

・ 500

表面仕上げ

・

・ 800

・

・ 天井材張り

(注) 降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込み型)

・ 収納家具

材質形状・寸法

・ 図示による

・

合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放数量

※ F☆☆☆☆

・

○ 屋外掲示板

照明器具

○ 有り

・ 無し

施設

○ 有り

・ 無し

・

・ 敷地境界石種

種類

・ コンクリートブロック製 (市販品)

・ 花こう石類 (文字記号等入り)

○ 屋外雨水排水

排水管材料

(21.2.1) (表21.2.1)

材 種

種類・記号

形状

呼び径

備 考

・ 遠心力鉄筋コンクリート管

外圧管 (1種)

・ B形管

・

・ 図示

・

・

・

・

・

○ 硬質ポリ塩化ビニル管

・ V P

・

・ 図示

・

○ V U

・

○ 図示

・

・ R S-V U

・

・

・

○ 硬質ポリ塩化ビニル管継手

・ D V

・

・ 図示

・

○ V U継手

・

○ 図示

・

基礎の厚さ及び種類

・ 図示による

○ 厚さ：100mm

種類：砂

(21.2.2)

硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料

(21.2.2)

※ 接着剤

・ ゴム輪

・

側溝の形状及び寸法

・ 図示による

・

(21.2.1)

排水溝の種類

○ 図示による

・

(21.2.1)

砂地業に用いる材料

(21.2.1)

・ シルト

○ 山砂

○ 川砂

○ 砕砂

砂利地業に用いる材料

(21.2.1)

○ 再生クラッシャーラン

・ 切込砂利

・ 切込砕石

○ 現場打ちの場合のコンクリート材料

(21.2.1)

※ 普通コンクリート

・

・

設計基準強度

※ 18/mm2

・

スラブ

※ 15cm又は18cm

・

○ 現場打ちの場合の鉄筋

種類の記号

(21.2.1)

※ S D295

・

○ 項目

特記事項

(21.2.1)

凍上抑制層に用いる材料

(21.2.1)

砂を用いる場合の粒度試験

・ 行う

・ 行わない

・ 鉄鉄製ふた

種類

(21.2.1)

名 称

種 類

適用荷重

鍵

備 考

・ 水封形

・ 簡易密閉形 (パッキン式)

・ T-2用

・ 有り

左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209による。

・ 密閉形 (テーパー・パッキン式)

・ T-6用

・ 無し

・

・ 中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)

・ T-20用

・

・

○ グレーチング

材料等

(21.2.1)

材 質

形 式

用 途

適用荷重

メインバーピッチ

垂れめつき (付着量)

上面形状

○ 鋼製

・ 受枠付き、ボルト固定

・ 溝ふた (横断用)

・ 溝ふた (側溝用)

・ 溝ふた用

○ U字溝

○ T-2用

・ T-6用

○ T-14用

○ T-20用

○ T-25用

・

・

・

・

・

・ ステンレス製

・ 受枠付き、ボルト固定

・ 溝ふた (横断用)

・ 溝ふた (側溝用)

・ 溝ふた用

・ U字溝

・

・

・

・

・

○ 埋戻し土

※ B種 (標準仕様書 表3.2.1)

・

(21.2.1)

○ 街きよ、緑石、側溝

形状・寸法

(21.3.1) (表21.3.1)

○ 街きよ、緑石

○ 図示による

・

・ L形側溝

・ 図示による

・

○ U形側溝

○ 図示による

・

○ U形側溝ふた

○ 図示による

・

・

・

・

・

・

砂地業の材料

(21.3.1)

シルト

○ 山砂

○ 川砂

○ 砕砂

砂利事業に用いる材料

(21.3.1)

○ 再生クラッシャーラン

・ 切込砂利

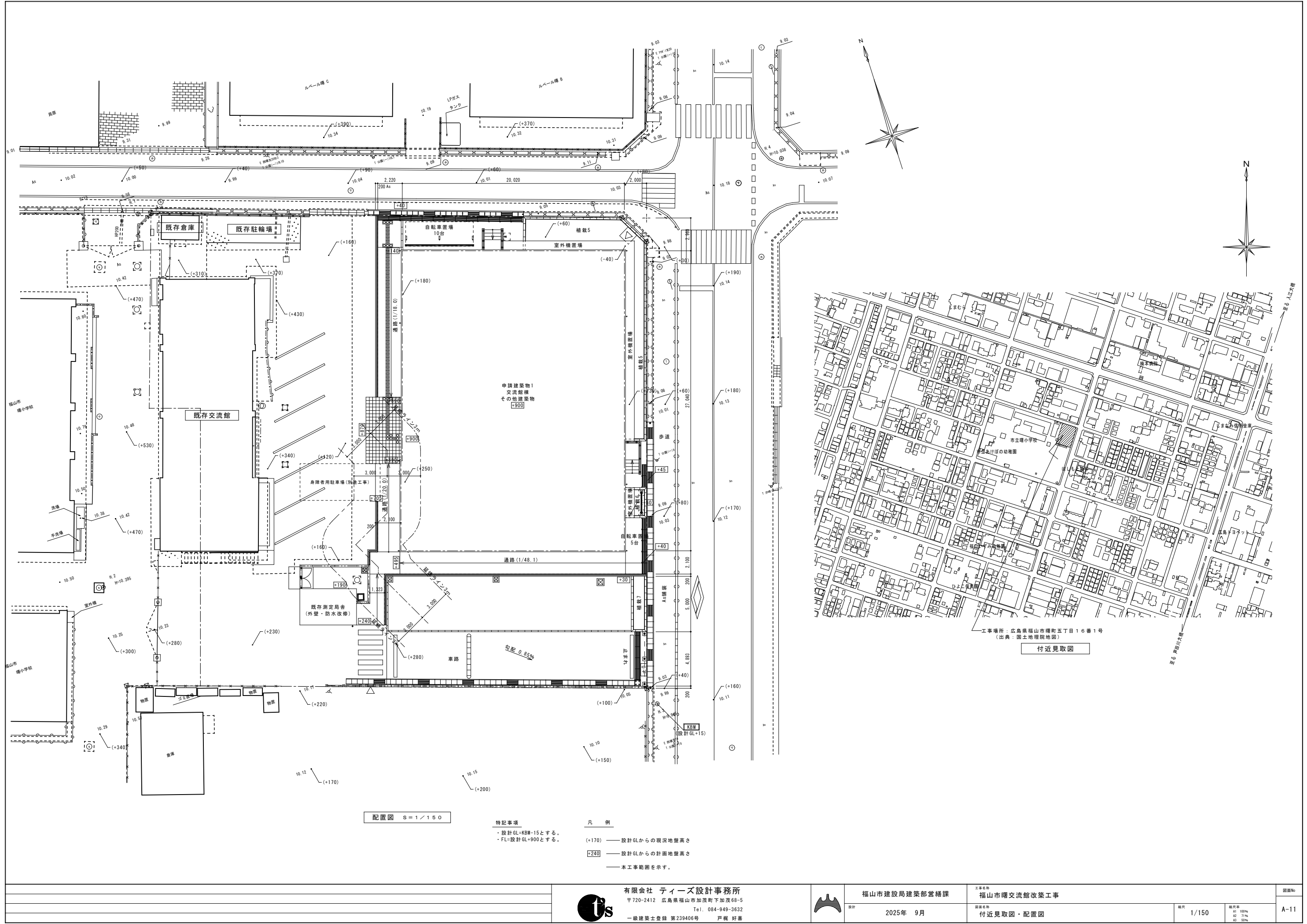
・ 切込砕石

砂利事業の厚さ

※ 100 (mm)

○ 図示

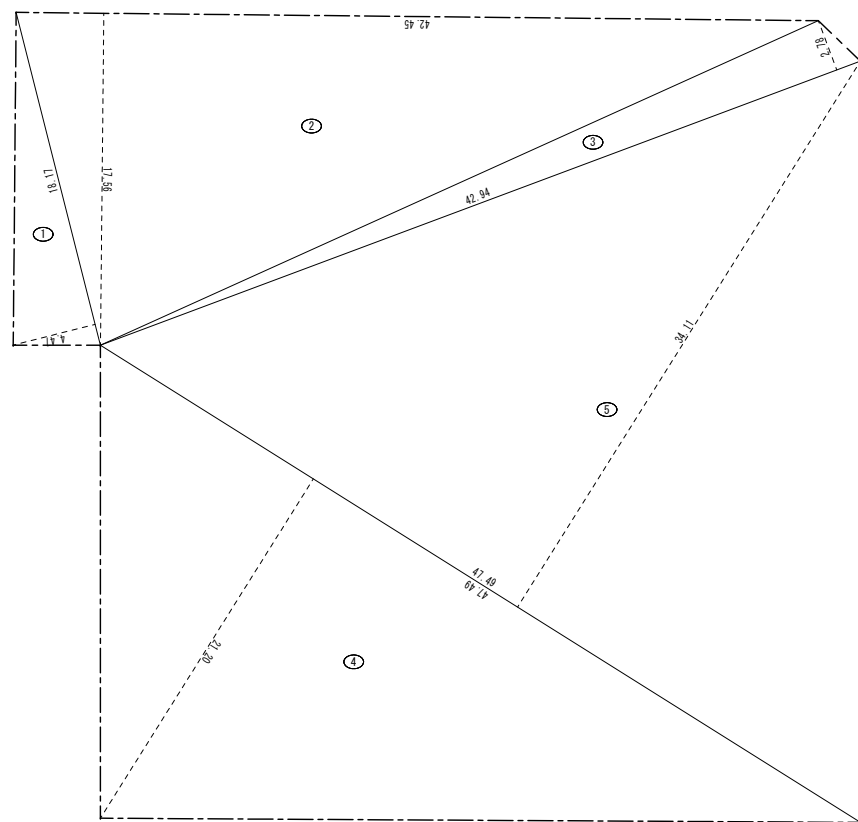
福 山 市 工 事 区 分 表							分 類	区分							分 類	区分							分 類	区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1. 区分は設計図書に明記なき限り、※印のついたものを適用する。 2. 複数の区分が適用となる場合は、関連工事別に施工する。								項 目	建 築	電 気	給 排 水	空 調	ガ ス	昇 降 機		項 目	建 築	電 気	給 排 水	空 調	ガ ス	昇 降 機		項 目	建 築	電 気	給 排 水	空 調	ガ ス	昇 降 機	項 目	建 築	電 気	給 排 水	空 調	ガ ス	昇 降 機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
分 類	項 目						6 建具等	1. 防火（煙）シャッター及び自動閉鎖装置の製作及び設置 2. 同上用連動制御器と感知器の製作・設置及び電気配管配線工事 3. 防火戸の扉、枠の製作・設置（自動閉鎖装置用切り込み補強共） 4. 同上用自動閉鎖装置の製作・設置 5. 同上用連動制御器及び感知器の製作・設置 6. 同上用自動閉鎖装置、連動制御器及び感知器の電気配管配線工事 7. 可動式防煙壁及び自動降下装置緩衝装置の製作・設置 8. 同上用連動制御器、感知器の製作・設置及び電気配管配線工事 9. 電動式排煙窓の開放装置の製作・設置及び二次側電気配管配線工事 10. 同上一次側電気配管配線工事 11. 電動シャッター、自動ドアなどの制御盤及び二次側電気配管配線工事 12. 同上一次側電気配管配線工事	9 ビット・マンホール・水槽等	1. 湧水槽、蓄熱槽等のRC造躯体、断熱層、内外の防水及び仕上げ 2. 同上マンホール蓋及びタラップの設置 3. 屋内の排水溝、配管ビット、配線ビットの内外の防水及び仕上げ 4. 同上付属蓋類及びタラップの設置 5. 同上内設備配管類の架台の製作及び設置 6. 屋内マンホールのRC造躯体、錆鉄蓋及び化粧蓋の設置 7. 屋外マンホールのRC造躯体、錆鉄蓋の設置 8. 屋外マンホールの化粧蓋の設置 9. 同上化粧蓋の仕上 10. 浄化槽設備のRC造躯体、内外防水及び仕上げ 11. 同上用マンホール蓋及びタラップの設置 12. FRP製浄化槽等の設置（RC造躯体は除く） 13. 排水槽、浄化槽等の内外装置の設置 14. 湧水槽、蓄熱槽等用液面電極取付け座の設置 15. 同上用各種満減水警報、液面電極棒取付け 16. 同上電気配管配線工事	10 電気設備等	1. 自家発電設備用オイルタンク、サービスタンクの製作・設置及び油配管工事 2. 同上用防油堤RC造躯体及び仕上げ 3. 自家発電設備用一次側給排水配管工事 4. 自家発電運転用給排水設備工事 5. 機器類付属制御盤の設置及び二次側電気配管配線工事 6. 自動制御などの現場盤への電源接続 7. 設備用機器、付属制御盤への電源接続及び接地工事	11 空調・換気設備等	1. 一般換気扇（壁付型を含む）、全熱交換器の設置 2. 同上用の取付け枠の製作及び設置 3. 同上電気配管配線工事（スイッチ含む） 4. ユニットバスの換気扇の設置 5. 同上一次側電気配管配線工事 6. 空調機器のスイッチの設置 7. 同上二次側電気配管工事 8. 同上二次側電気配線工事 9. 同上一次側電気配管配線工事 10. 防火（煙）ダンパーの製作及び設置 11. 同上一次側電気配管配線工事	12 消火設備等	1. 消火栓ボックスの設置 2. 同上起動押釦、表示灯、電話の設置及び電気配管配線工事 3. 消火ポンプ起動制御盤の設置及び二次側電気配管配線工事 4. 同上一次側電気配管配線工事 5. 排煙窓手動開放装置のリミットスイッチの設置 6. 同上一次側電気配管配線工事 7. ガス漏れ警報設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	1 設備基礎	2 設備機器類取付下地	3 躯体貫通	4 躯体以外の貫通・開口	5 点検口・ガラリ	13 昇降機											14 その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1 設備基礎	1. 建物内の機器類の基礎 2. 同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み設置、架台の製作及び設置 3. 建物外部の機器類の基礎 4. 同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み設置、架台の製作及び設置 5. 外灯基礎の製作及び設置	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	



配置図 S=1/150

特記事項
・設計GL=KBW-15とする。
・FL=設計GL+900とする。

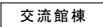
- 凡 例
- (+170) ——— 設計GLからの現況地盤高さ
 - [+240] ——— 設計GLからの計画地盤高さ
 - 本工事範囲を示す。



敷地面積 求積表

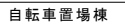
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	18.17	4.47	81.2199	40.60995
2	42.45	17.56	745.4220	372.71100
3	42.94	2.78	119.3732	59.68660
4	47.49	21.20	1,006.7880	503.39400
5	47.49	34.11	1,619.8839	809.94195
合 計				1,786.34350
敷 地 面 積				1,786.34 m ²

敷地面積求積図 S=1/200



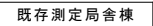
符号	計 算 式	面 積
1	20.020×18.920	378.7784
2	20.140×8.120	163.5368
3	1.300×18.920	24.5960
4	1.180×8.120	9.5816
合 計		576.4928
建 築 面 積		576.49 m ²

符号	计 算 式	面 积
1	20.020×18.920	378.7784
2	20.140×8.120	163.5368
合 计		542.3152
床 面 积		542.31 m ²



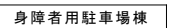
符号	計 算 式	面 積
5	6.094×2.200	13.4068
合 計		13.4068
建 築 面 積		13.40 m ²

符号	计 算 式	面 积
5	6.094×2.200	13.4068
	合 计	13.4068
	床 面 积	13.40 m ²



符 号	計 算 式	面 積
6	4.940×3.060	15.1164
合 計		15.1164
建 築 面 積		15.11 m ²

符号	计 算 式	面 积
6	4.940×3.060	15.1164
	合 计	15.1164
	床 面 积	15.11 m ²

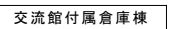


符号	計 算 式	面 積
7	7.220×3.320	23.9704
合 計		23.9704
建 築 面 積		23.97 m ²

符号	計 算 式	面 積
7	7.220×3.320	23.9704
	合 計	23.9704
	床 面 積	23.97 m ²

符号	計 算 式	面 積
8	5.129×1.8625	9.5527
合 計		9.5527
建 築 面 積		9.55 m ²

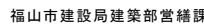
符号	計 算 式	面 積
8	5.129×1.8625	9.5527
	合 計	9.5527
	床 面 積	9.55 m ²

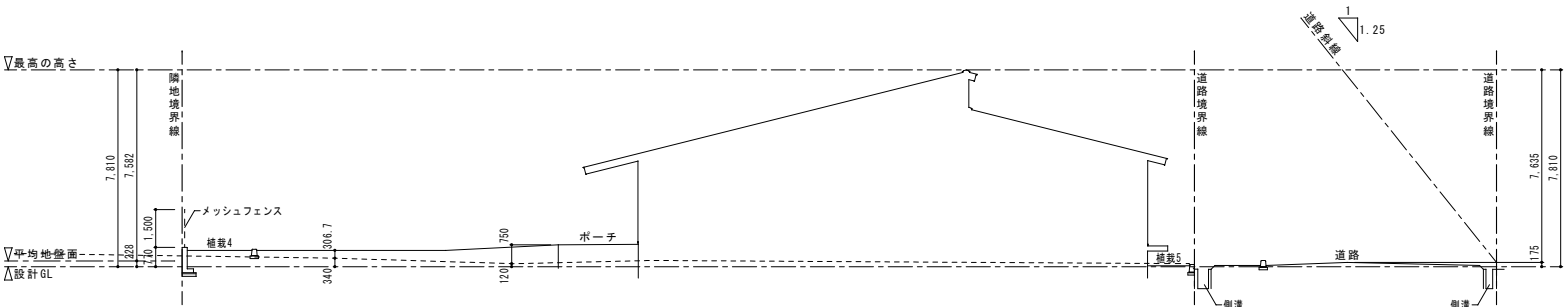


工事区分	構 名	建築面積	延べ床面積
本工事	交流館棟	576.49 m ²	542.31 m ²
	自転車置場棟	13.40 m ²	13.40 m ²
	既存測定局舎棟	15.11 m ²	15.11 m ²
	昇降器用駐車場棟	23.97 m ²	23.97 m ²
別働工事	交流館付風倉庫棟	9.55 m ²	9.55 m ²
	合 計	638.52 m ²	604.34 m ²
自動車庫庫容等の部分：13.40+23.97+37.37≦604.34×1/5=120.86㎡			

自動車車庫等の部分：13.40+23.97=37.37m² ≤ 604.34 × 1/5 = 120.86m²

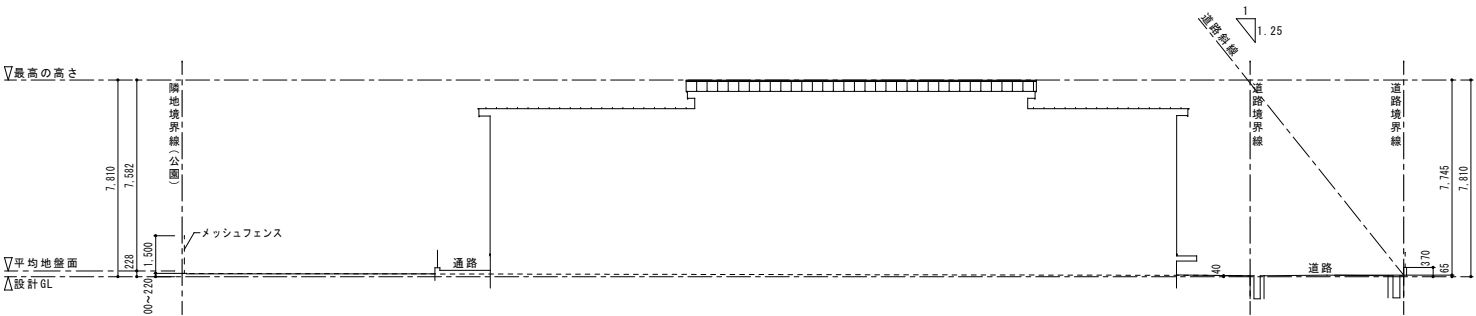
工事区分	棟 名	構造・規模	延べ床面積
別途工事	既存交流館棟	RC造 2階建て	359.40 m ²
	倉庫棟	補強CB造 平家建て	6.40 m ²
	自転車置場棟	S造 平家建て	18.40 m ²





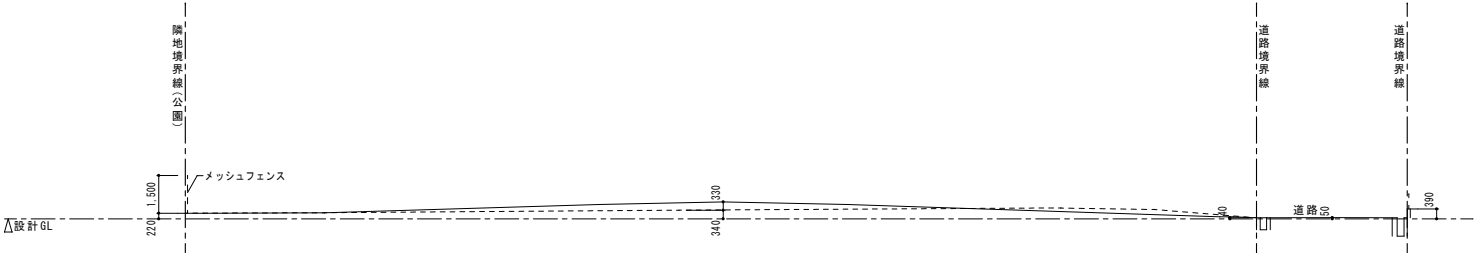
隣地斜線制限については、建物の最高の高さが20m以下の為、適合している。

A-A敷地断面図 S=1/150



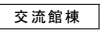
隣地斜線制限については、建物の最高の高さが20m以下の為、適合している。

B-B敷地断面図 S=1/150



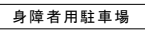
C-C敷地断面図 S=1/150

凡 例
----- 現況地盤面
———— 計画地盤面



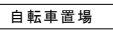
流符號	平均地面積計算表	值
A-B	$(1.495+1.89)/2 \times 3.2$	14.016
B-C	1.89×0.12	0.2268
C-D	1.89×5.635	10.651
D-E	$(1.89+1.125)/2 \times 1.3 \times 285$	20.123
E-F	1.097×295	323.715
G-H	$(1.09+1.045)/2 \times 1.893$	2.207
H-I	1.045×0.2	0.2090
I-J	1.045×0.1	0.1045
J-K	1.045×1.5	1.5675
K-L	1.045×0.1	0.1045
L-M	1.045×0.2	0.2090
M-N	$(1.045+1.09)/2 \times 1.893$	2.207
P-Q	1.09×1.755	1.9195
Q	0.91×9.27	8.4327
Q-R	$(0.91+0.94)/2 \times 1.245$	15.516
R-S	$(0.94+0.905)/2 \times 1.4$	1.2915
T-U	1.045×0.3	3.1350
U-V	1.045×0.2	0.2090
V	1.045×0.1	0.1045
W-X	$(1.045+1.08)/2 \times 1.2$	1.2750
Y	1.08×0.95	2.6625
Y-A	$(1.08+1.495)/2 \times 20.34$	26.1877
計		125.4380

125.4380/102=1.2280
 平均地面積=設計比×2280



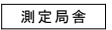
符号	面積計算式	值
A-B	$(1.58+1.65)/2 \times 3.32$	5.3618
B-C	$(1.65+1.875)/2 \times 7.22$	12.7252
C-D	$(1.875+1.71)/2 \times 3.32$	5.9511
D-A	$(1.71+1.58)/2 \times 7.22$	11.8769
計		59.8314

$35.9150/21.08=1.7037$
 平均地盤面=設計GL+703



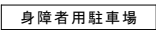
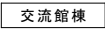
符号	面積計算式	値
A-B	$(1.09+1.04)/2 \times 2.2$	2.3430
B-C	1.04×6.0	6.2400
C-D	$(1.04+1.09)/2 \times 2.2$	2.3430
D-A	1.09×6.0	6.5400
計		59.8314

$17.4660/16.40=1.0650$
 平均地盤面=設計GL+65

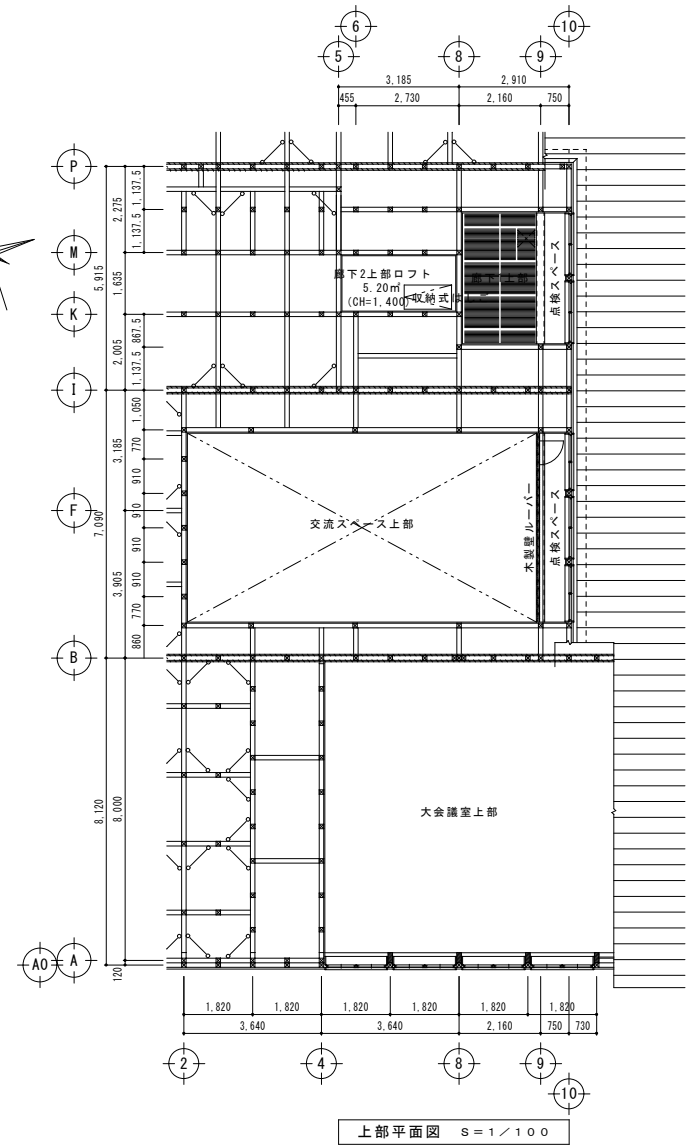


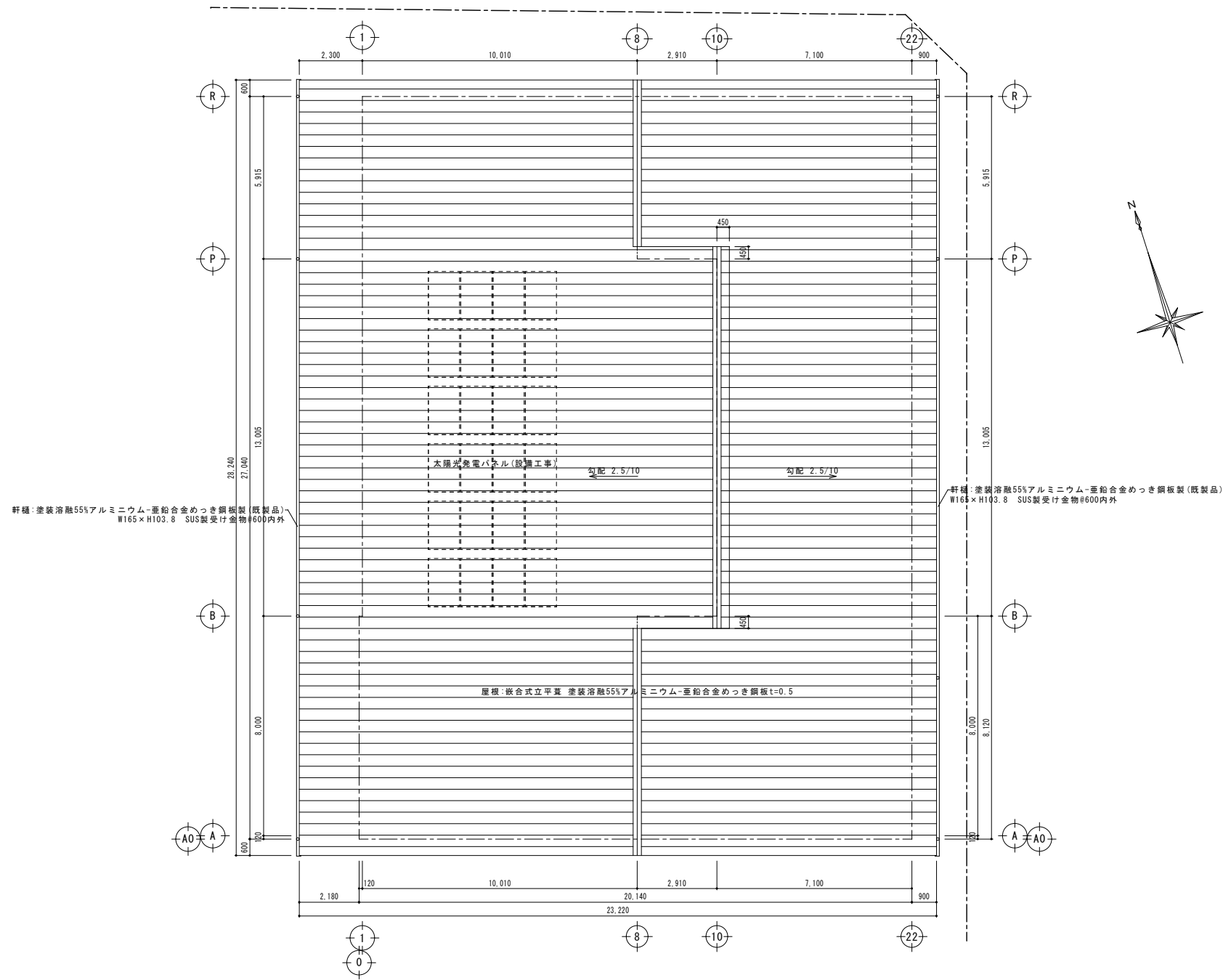
符 号	面積計算式	值
A-B	$(1.25+1.41)/2 \times 3.27$	4.3491
B-C	1.41×1.2	1.6920
D-E	1.19×3.91	4.6529
E-F	1.19×1.125	1.3387
G-H	$(1.36+1.22)/2 \times 2.145$	2.7670
H-A	$(1.22+1.25)/2 \times 5.11$	6.3108
計		59.8314

$21.1105/16.76=1.2595$
 平均地盤面=設計GL+259

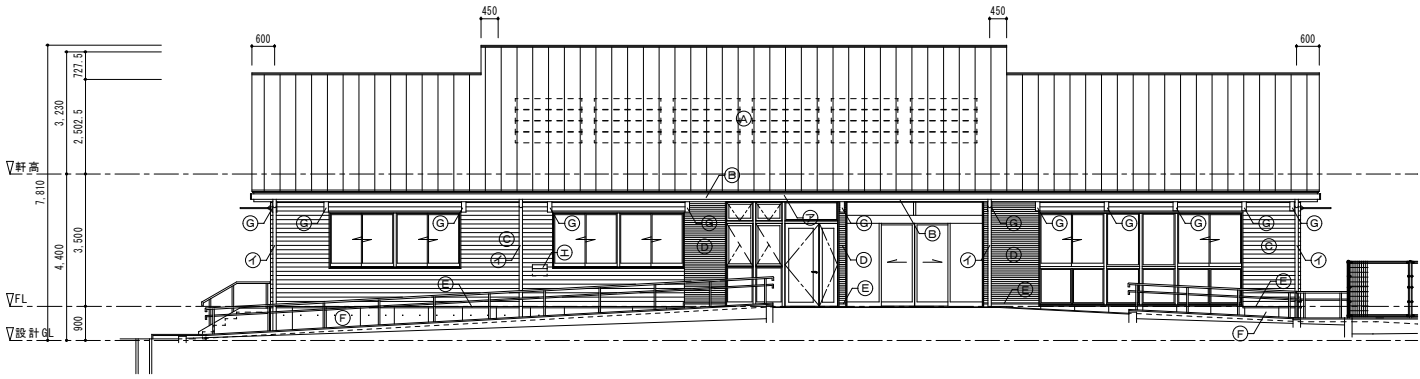


外部仕上表																					
屋根	統合式立平葺：塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき銅板t=0.5 下葺き材：アスファルトルーフィング940 野地板：構造用合板t=12 通気重木：45×75@455 断熱材：フェノールフォーム断熱材t=30(縦目気密テープ貼り) 下地板：構造用合板t=24 軒先唐草・軒先水切等：屋根同材t=0.5 換気棟等：塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき銅板製(既製品) 破風板・鼻隠：縦縫混入セメント珪藻土押出成形板240×17(塗装品) 構造用面材+透湿防水シート+通気胴縁+留付金具t=5+高気密化樹脂サイディングt=16横張り ※延焼のおそれのある部分：30分防火構造(屋内側被覆：パティクルボードt=9) 一部：構造用面材+透湿防水シート+通気胴縁+ガラス繊維入モルタルセメント板t=12.5 +石積調タイル張り ※延焼のおそれのある部分：30分防火構造(屋内側被覆：パティクルボードt=9) 防風付通気土台水切：塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき銅板t=0.35					基礎巾木	コンクリート打放し(A種) 透湿撥水アクリルシリコン系クリアー塗装			屋外階段	取込・踏面部：モルタル金ごて仕上げ 笠木部：コンクリート金ごて仕上げ 立上り部：コンクリート打放し(A種) 透湿撥水アクリルシリコン系クリアー塗装 ステンレス製手摺			室外機置場	コンクリート直押え こて目地切り@1,820程度						
	軒天	木製軒天井下地化粧バルブ縦縫混入セメント板t=12張り 化粧梁・方杖：自然保護塗料塗り 軒天換気材(軒先)：塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき銅板製(既製品)			外部建具	アルミ製 複層ガラス 開口部全周：防水テープ(ブチルテープ)及びシーリング打ち			その他	館名文字 郵便受け アルミ形材庇(ツヅギ グロンダートUシリーズ同等品) 木製外壁ルーバー											
外壁	ポーチ	300角床タイル張り 視覚障がい者用300角床タイル			種	軒種：塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき銅板製W165×H103.8 SUS製受け金物#600内外 壁種：塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき銅板製φ89 SUS製受け金物#1,200内外															
	通路	スロープ部：コンクリート剛毛引き仕上げ 踊り場・笠木部：コンクリート金ごて仕上げ 立上り部：コンクリート打放し(A種) 透湿撥水アクリルシリコン系クリアー塗装 視覚障がい者用ブロック ステンレス製2段手摺																			
内部仕上表																					
階	室 名	内装制限	床仕上げ ※防火性能	床		巾 木	壁		廻り縁	天 井		天井高さ	ボックス類			室名札	点検口	備 考	室 名	階	
				下地	仕 上		下地	仕 上		下地	仕 上		ブラインド	カーテン	ロ-吹きりん						
1	風除室		±0 -50	M	モルタル塗り下地 300角床タイル張り	石製巾木 H=75	W	ガラス繊維入モルタルセメント板t=12.5下地 石積調壁タイル張り	—	W	石こうボードt=9.5下地 ロックウール化粧吸音板t=9張り	2,800						案内板(ホワイトボード) 衝突防止柵 傘立 視覚障がい者用300角床タイル(1 類 無ゆう) パッケージ型消火設備1型(別途工事)	風除室	1	
	交流スペース		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床タイルt=3.0張り	木製巾木 H=75 自然保護塗料塗り	W	石こうボードt=12.5下地 EP-G張り ラワン合板t=9下地 天然木ウォールパネル(塗装品)張り H=2,800 腰壁：ラワン合板t=9下地 天然木リブパネル(塗装品)張り H=1,100 CLT壁：自然保護塗料塗り 化粧柱、土台、梁、方杖、小屋梁、まぐさ：自然保護塗料塗り	塩ビ	W	石こうボードt=9.5下地 ロックウール化粧吸音板t=9張り	2,800			木製	平付型	○	受付カウンター 本棚 掲示板 視覚障がい者用ビニル床タイル 木製手摺 ビクチャーレール	交流スペース		
	交流スペース上部		+3,524 +3,500	W	点検スペース：構造用合板t=24現し	木製巾木 H=75 素地	W	石こうボードt=12.5下地 EP-G張り	塩ビ	W	石こうボードt=9.5下地 ロックウール化粧吸音板t=9張り 化粧梁：自然保護塗料塗り	勾配						木製壁ルーバー	交流スペース上部		
	廊下1		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床タイルt=3.0張り	木製巾木 H=75 自然保護塗料塗り	W	石こうボードt=12.5下地 EP-G張り 腰壁：ラワン合板t=9下地 天然木リブパネル(塗装品)張り H=1,100	塩ビ	W	石こうボードt=9.5下地 ロックウール化粧吸音板t=9張り	2,500						木製手摺 消火器ボックス ABC10型消火器 木製天井ルーバー ビクチャーレール	廊下1		
	廊下1上部		+3,524 +3,500	W	構造用合板t=24現し	木製巾木 H=75 素地	W	石こうボードt=12.5下地 EP-G張り	塩ビ	W	化粧石こうボードt=9.5張り	勾配							廊下1上部		
	EPS		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り	木製巾木 H=75 素地	W	ラワン合板t=9張り 素地 H=2,700 CLT壁：現し	—	—	小屋裏現わし	直天							EPS		
	収納4		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り	木製巾木 H=75 素地	W	ラワン合板t=9張り 素地 CLT壁：現し	塩ビ	W	化粧石こうボードt=9.5張り	2,500						中段 枕棚	収納4		
	多目的室		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り	木製巾木 H=115 自然保護塗料塗り	W	石こうボードt=12.5下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り CLT壁：自然保護塗料塗り 化粧柱、土台：自然保護塗料塗り	塩ビ	W	石こうボードt=9.5下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り	2,500	木製			平付型	○	ホワイトボード 置き敷き垫t=13 半帖30枚 (大建工業こちこ和産「清流(防災)」同等品)	多目的室		
	収納2-1		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り	木製巾木 H=75 素地	W	ラワン合板t=9張り 素地	塩ビ	W	化粧石こうボードt=9.5張り	2,500						中段 枕棚	収納2-1		
	収納2-2		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り	木製巾木 H=75 素地	W	ラワン合板t=9張り 素地	塩ビ	W	化粧石こうボードt=9.5張り	2,500						中段 枕棚	収納2-2		
	廊下2		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床タイルt=3.0張り	木製巾木 H=75 自然保護塗料塗り	W	石こうボードt=12.5下地 EP-G張り 腰壁：ラワン合板t=9下地 天然木リブパネル(塗装品)張り H=1,100	塩ビ	W	石こうボードt=9.5下地 ロックウール化粧吸音板t=9張り	2,500							廊下2		
	廊下2上部ロフト		+2,844 +2,820	W	点検スペース：構造用合板t=24現し	木製巾木 H=75 素地	W	ラワン合板t=9張り 素地	塩ビ	W	化粧石こうボードt=9.5張り	1,400						収納式はしご (大建工業スライドタラップ9尺用同等品)	廊下2上部ロフト		
	湯沸室		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り	ビニル巾木 H=75	W	耐水石こうボードt=12.5下地 化粧けい酸カルシウム板t=6張り (目地シール)	塩ビ	W	化粧石こうボードt=9.5張り	2,400						平付型 ステンレス床見切 面台 流し台L=1,200 吊戸棚L=1,200 水切棚L=1,200	湯沸室		
	印刷室		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り	ビニル巾木 H=75	W	石こうボードt=12.5下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り	塩ビ	W	化粧石こうボードt=9.5張り	2,500				平付型	○	用紙保管棚	印刷室		
	事務室		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り	ビニル巾木 H=75	W	石こうボードt=12.5下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り 化粧柱：自然保護塗料塗り	塩ビ	W	化粧石こうボードt=9.5張り	2,500	木製		木製	平付型	○	文書ボックス 収納 総合壁(別途工事) 予定表(ホワイトボード)	事務室		
	廊下3		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床タイルt=3.0張り	木製巾木 H=75 自然保護塗料塗り	W	石こうボードt=12.5下地 EP-G張り 腰壁：ラワン合板t=9下地 天然木リブパネル(塗装品)張り H=1,100	塩ビ	W	石こうボードt=9.5下地 ロックウール化粧吸音板t=9張り	2,500					○	木製手摺	廊下3		
	実習室	準不燃	±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り (耐汚染・消臭仕様)	ビニル巾木 H=75	W	耐水石こうボードt=12.5下地 化粧けい酸カルシウム板t=6張り (目地シール)	塩ビ	W	石こうボードt=9.5下地 ロックウール化粧吸音板t=9張り	2,650					平付型	○	試食台 調理台(ガス) 収納棚 食器棚 作業台 面台 ホワイトボード 消火器ボックス ABC10型消火器	実習室	
	収納3		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り	ビニル巾木 H=75	W	石こうボードt=12.5下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り	塩ビ	W	化粧石こうボードt=9.5張り	2,500						壁点検口	収納3		
	相談室		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り	ビニル巾木 H=75	W	石こうボードt=12.5下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り	塩ビ	W	石こうボードt=9.5下地 ロックウール化粧吸音板t=9張り	2,500	木製				平付型	○	ベビーシート	相談室	
	団体交流室		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り	ビニル巾木 H=75	W	石こうボードt=12.5下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り	塩ビ	W	石こうボードt=9.5下地 ロックウール化粧吸音板t=9張り	2,500	木製				平付型	○	ホワイトボード	団体交流室	
	小会議室		±0 -150	乾式 二重床システム	ラワン合板t=12下地 WPCフローリング(杉)t=12張り 化粧土台：自然保護塗料塗り	木製巾木 H=115 自然保護塗料塗り	W	石こうボードt=12.5下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り 化粧柱、土台、梁：自然保護塗料塗り プレース：SUS製	塩ビ	W	石こうボードt=9.5下地 ロックウール化粧吸音板t=9張り	2,800				木製	平付型	○	移動間仕切り	小会議室	
	大会議室		±0 -150	乾式 二重床システム	ラワン合板t=12下地 WPCフローリング(杉)t=12張り 化粧土台：自然保護塗料塗り	木製巾木 H=115 自然保護塗料塗り	W	小屋裏隔壁面：45分準耐火間仕切壁下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り 小屋裏隔壁下部：石こうボードt=9.5+石こうボードt=12.5下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り 石こうボードt=12.5下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り 化粧柱：自然保護塗料塗り プレース：SUS製	塩ビ	W	石こうボードt=9.5下地 ロックウール化粧吸音板t=9張り 化粧梁：自然保護塗料塗り	勾配			木製	平付型		スクリーン 手動昇降ボタン スクリーン兼ボタンBOX 扉付鏡見張 扉付ホワイトボード	大会議室		
	収納1		±0 -15	C	セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り	木製巾木 H=75 素地	W	ラワン合板t=9張り 素地	塩ビ	W	化粧石こうボードt=9.5張り	3,250						○	木製吊棚	収納1	
	廊下4		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床タイルt=3.0張り 便所前：セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り(耐汚染・消臭仕様)	木製巾木 H=75 自然保護塗料塗り	W	石こうボードt=12.5下地 EP-G張り ラワン合板t=9下地 天然木ウォールパネル(塗装品)張り H=2,800 腰壁：ラワン合板t=9下地 天然木リブパネル(塗装品)張り H=1,100	塩ビ	W	石こうボードt=9.5下地 ロックウール化粧吸音板t=9張り	2,500						○	ステンレス床見切 本棚 木製手摺 パッケージ型消火設備1型(別途工事)	廊下4	
	収納5		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り (耐汚染・消臭仕様)	木製巾木 H=75 素地	W	ラワン合板t=9張り 素地	塩ビ	W	化粧石こうボードt=9.5張り	2,500							掃除具掛け棚	収納5	
	SK		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り (耐汚染・消臭仕様)	ビニル床シート立上 げ巾木 H=75	W	耐水石こうボードt=12.5下地 化粧けい酸カルシウム板t=6張り (目地シール)	塩ビ	W	化粧石こうボードt=9.5張り	2,500							面台 棚	SK	
	多目的便所		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り (耐汚染・消臭仕様)	ビニル床シート立上 げ巾木 H=75	W	耐水石こうボードt=12.5下地 化粧けい酸カルシウム板t=6張り (目地シール)	塩ビ	W	化粧石こうボードt=9.5張り	2,500					平付型	○	ユニバーサルシート はね上げ手摺 L型手摺 荷物用フック 鏡 面台	多目的便所	
	男子便所		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り (耐汚染・消臭仕様)	ビニル床シート立上 げ巾木 H=75	W	耐水石こうボードt=12.5下地 化粧けい酸カルシウム板t=6張り (目地シール)	塩ビ	W	化粧石こうボードt=9.5張り	2,500					平付型	○	トイレブース 洗面カウンター ベビーチェア 鏡 汚重石 小便器用手摺 L型手摺 荷物棚 面台	男子便所	
	女子便所		±0 -15	C	セメント系セルフレベリング材塗り下地 ビニル床シートt=2.0張り (耐汚染・消臭仕様)	ビニル床シート立上 げ巾木 H=75	W	耐水石こうボードt=12.5下地 化粧けい酸カルシウム板t=6張り (目地シール)	塩ビ	W	化粧石こうボードt=9.5張り	2,500					平付型	○	トイレブース 洗面カウンター ベビーチェア 鏡 L型手摺 荷物棚 面台	女子便所	
防火材料 認定番号	□不燃材料認定 ・せっこうボード t=12.5 ・耐水石こうボード t=12.5 ・化粧けい酸カルシウム板 t=6 ・ロックウール化粧吸音板t=9	NW-8619 NW-8612 NW-9639 NW-9346 NW-4227 NW-4121 NW-8599	□準不燃材料・難燃材料認定 ・せっこうボード t=9.5 ・化粧せっこうボード t=9.5 ・耐水せっこうボード t=9.5 t=12.5 ・化粧吸音せっこうボード t=9.5 ・吸放湿化粧せっこうボード t=9.5	QM-9828 QM-0524 QM-9824 QM-0898 QM-0493 QM-9822 QM-0172 QM-9086 QM-0977 (1)	□壁装材材料(性能により条件異なる) ・無機質系壁紙 ・塩化ビニル樹脂系壁紙	NM-9951 QM-0803	□塗料 ・不燃認定の必要な塗料 不燃材料NM-8585 準不燃材料QM-9816 難燃材料RM-9364	□下地種別 C：コンクリート下地 M：モルタル W：木下地	□耐火・準耐火・防火認定 ・外壁：高気密化樹脂サイディングt=16横張り (屋内側被覆：木質ボード系) ※延焼のおそれのある部分 30分防火構造PC0308E-9201 ・外壁：ガラス繊維入モルタルセメント板t=12.5+ 石積調タイル張り(屋内側被覆：木質ボード系) ※延焼のおそれのある部分 30分防火構造PC0308E-1300 ・小屋裏隔壁：GB-Rt=12.5+GB-Rt=9.5両面張り 45分準耐火構造H12建告1358号	□特記事項 ※外壁断熱材(グラスウール 24kg/m3 t=100)を入れること。 ※天井裏断熱材(グラスウール 24kg/m3 t=50)を敷込むこと。 ※壁に手摺、棚、衛生設備器具等を取付ける場合は、下地補強 を行なう。 ※室内の規制対象建築材料等は、全てF☆☆☆☆を使用する。 ※天井裏・小屋裏等の下地材・断熱材等は、全てF☆☆☆☆以上を 使用する。 ※ブラインド、スクリーン類は防火加工品とする。 ※ガスコンロより上方80cm以上は防火空間を確保する。 ※ガスコンロより側方15cm、上方100cm以内は不燃材料とする。 ※構造材、造作材の杉及び松は、全て広島県産材とする。	□参考指定材料 ※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき銅板製軒種：タニタ HAKO(GH12号)同等品 ※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき銅板製壁種：タニタ 大型ガルバリウムたてとい(89φ)同等品 ※軒天換気材(軒先)：城東テクノ 防火対応軒天換気材(FV-DE12-I-L18)同等品 ※石積調壁タイル：LIXIL LUMINOS(ルミノス)同等品 ※天然木リブパネル：天龍木材 特製ストライブパネル(スギ県産材)同等品 ※天然木ウォールパネル：天龍木材 バンビー(スギ県産材)同等品	□乾式二重床：フクビ エアロビクスシステム同等品 ※WPCフローリング(杉：県産材)t=12：大建工業 タニタ コミュニケーションタフⅡDW(地域産材対応突板)同等品 ※内部 自然保護塗料：オスモカラー (ウッドワックス又はワンコートオナリー)同等品 ※外部 自然保護塗料：オスモカラー(ウッドステインプロテクター)同等品 ※郵便受け：ユニソール ルージュ ムント05同等品 ※流し台・吊戸棚戸									

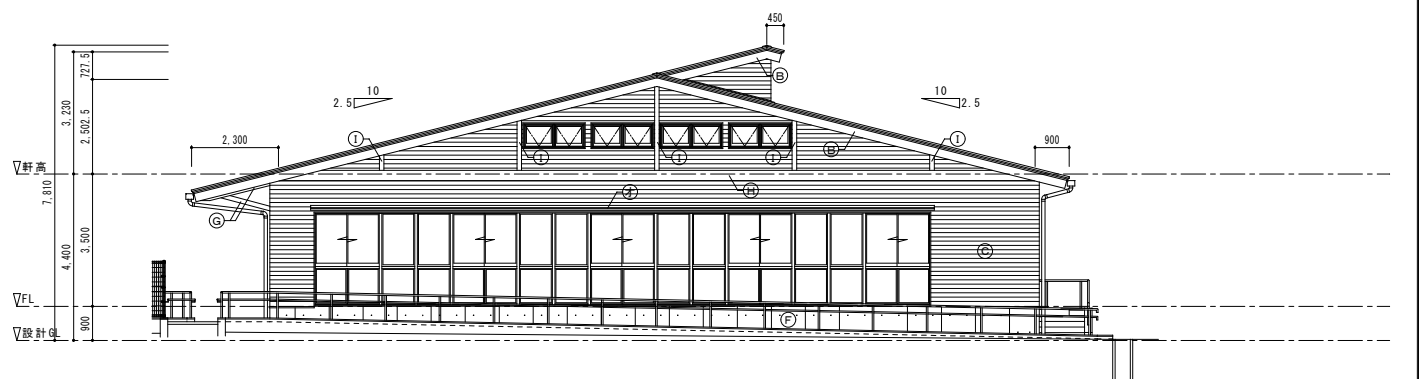




屋根伏図 S=1/100



西立面図 S=1/100



南立面図 S=1/100

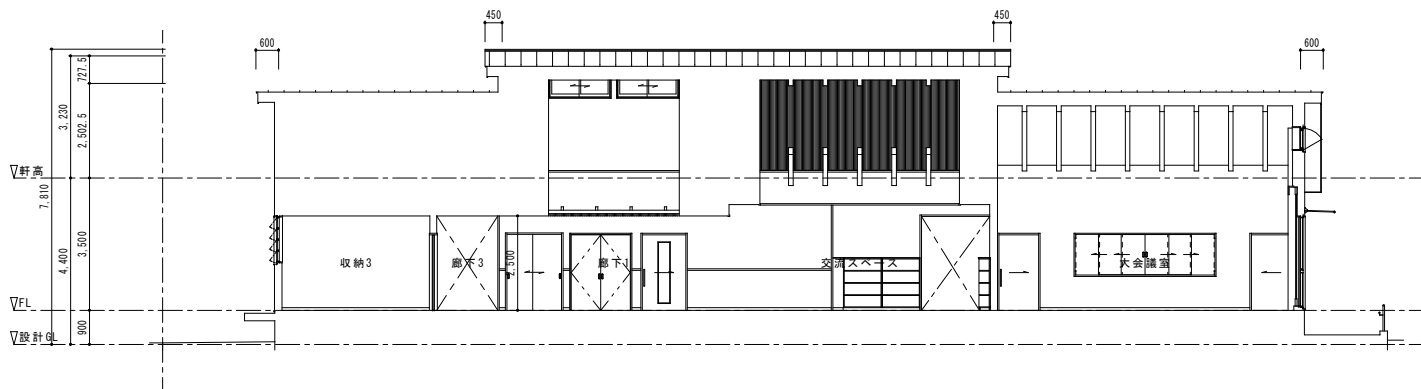


東立面図 S=1/100

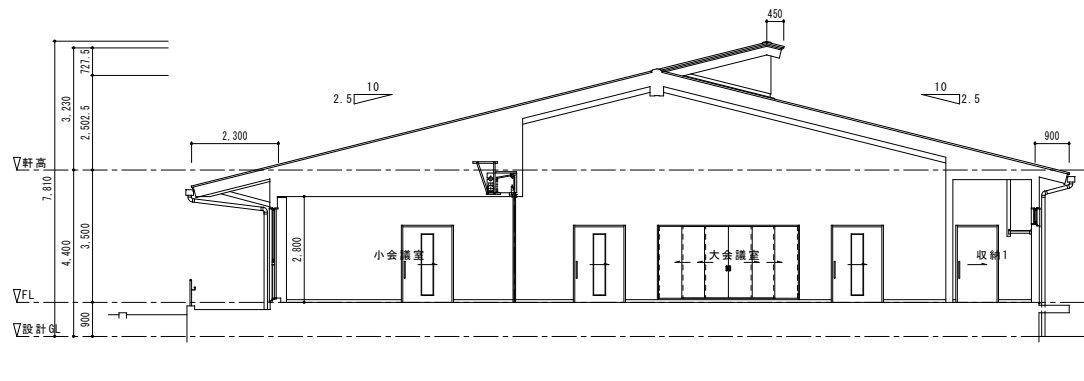


北立面図 S=1/100

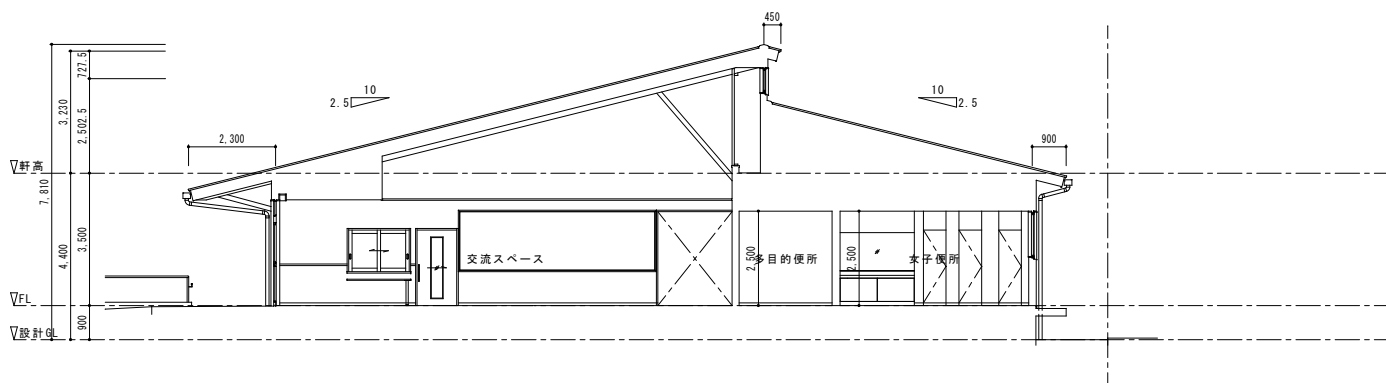
凡	例
(A)	嵌合式立平葺：塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき銅板t=0.5
(B)	破風板・鼻隠：繊維混入セメントけい酸カルシウム押出成形板210×17(塗装品)
(C)	外壁：窯業系化粧サイディングt=16横張り
(D)	外壁：ガラス繊維入りモルタルセメント板t=12.5+石積調タイル張り
(E)	防風付通気土台水切：塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき銅板製
(F)	基礎巾木：コンクリート打放し 透湿撥水アクリルシリコン系クリアー塗装
(G)	化粧梁・方柱：自然保護塗料塗り
(H)	付梁：桧 45×270 自然保護塗料塗り
(I)	付柱：桧 30×120 自然保護塗料塗り
(J)	軒樋：塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき銅板製W165×H103.8
(K)	笠樋：塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき銅板製φ89
(L)	木製外壁ルーバー：桧 45×60 #100 自然保護塗料塗り
(M)	郵便受け
(N)	アルミ形材底 D=800



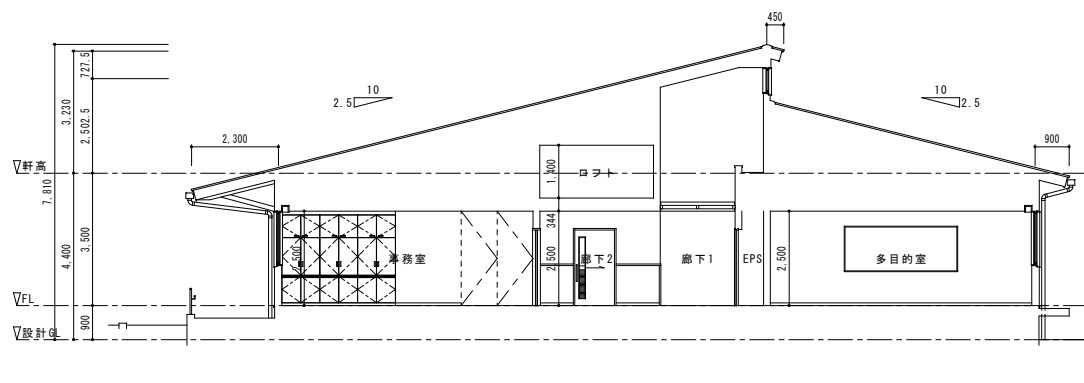
A-A断面図 S=1/100



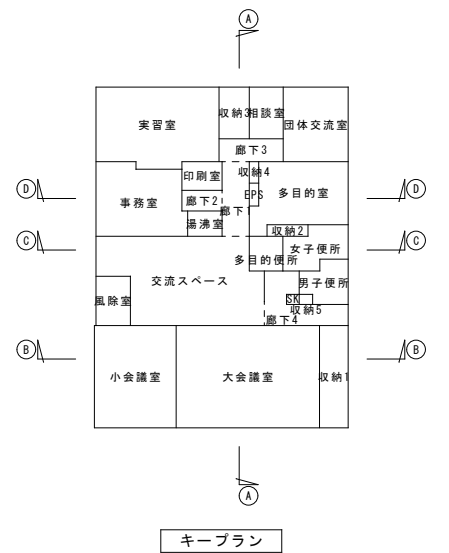
B-B断面図 S=1/100

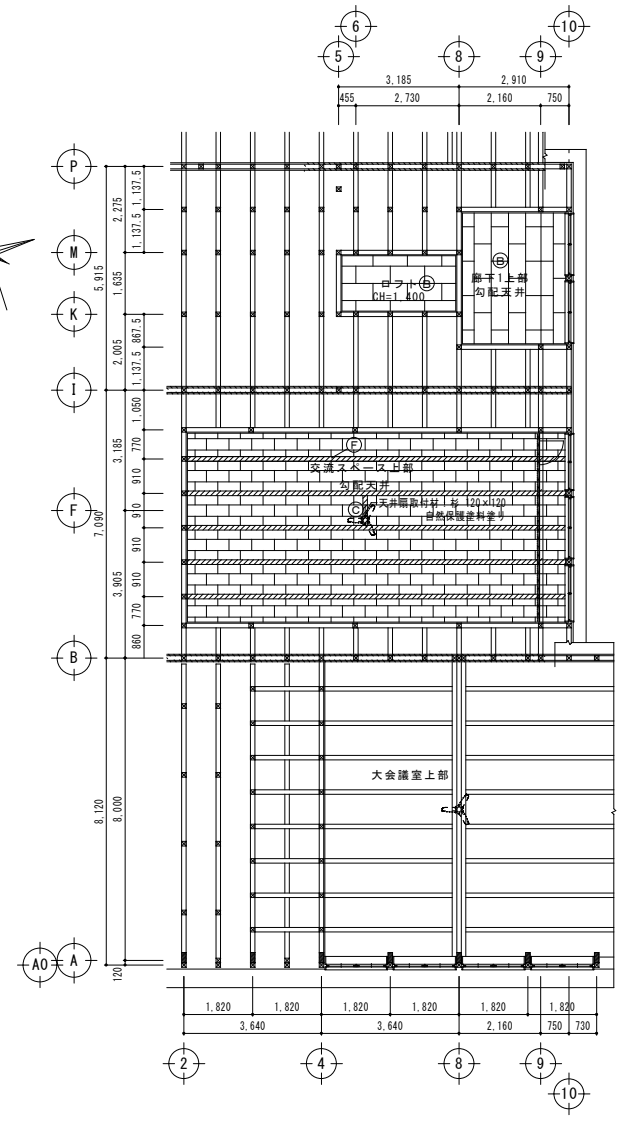


C-C断面図 S=1/100



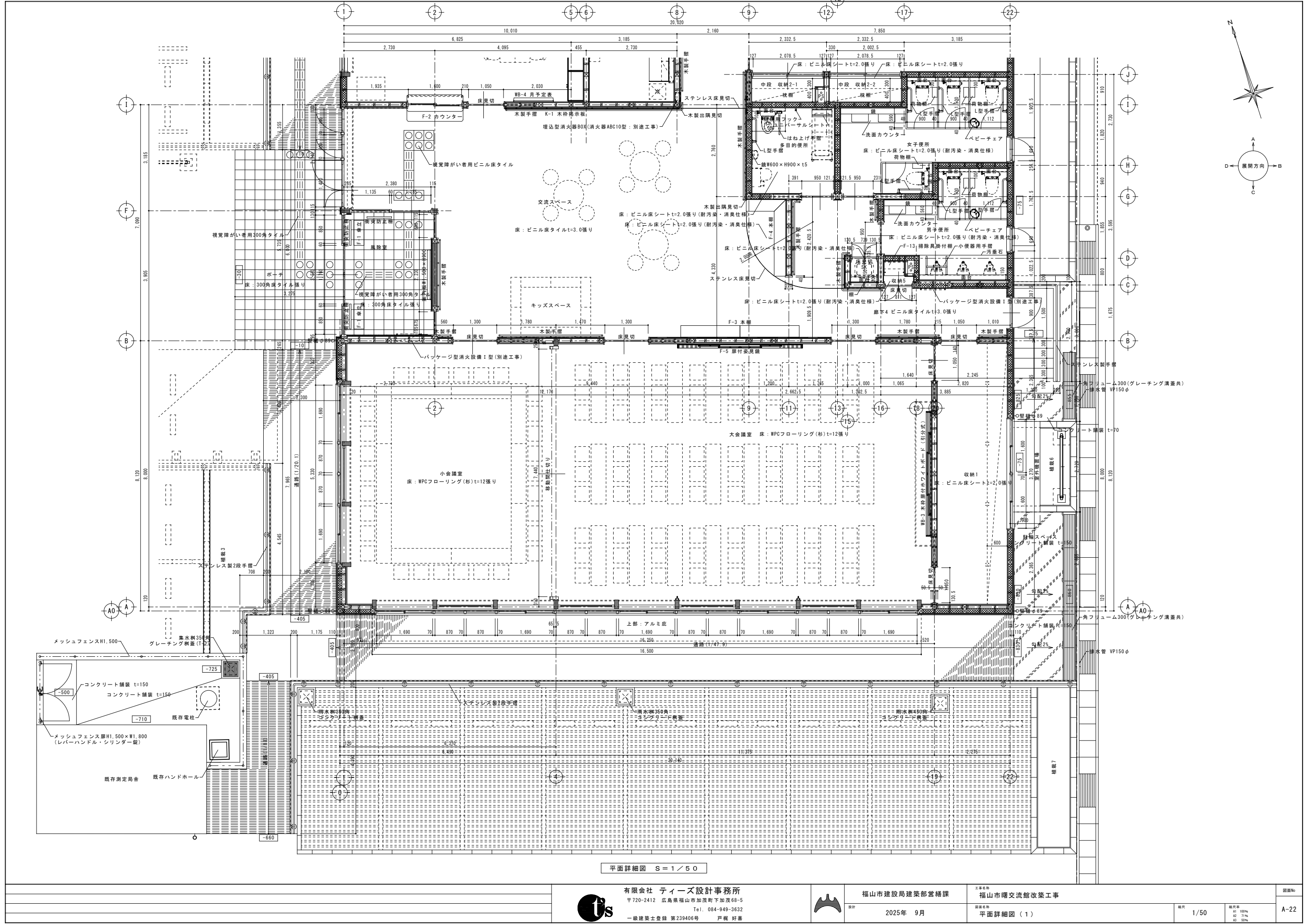
D-D断面図 S=1/100

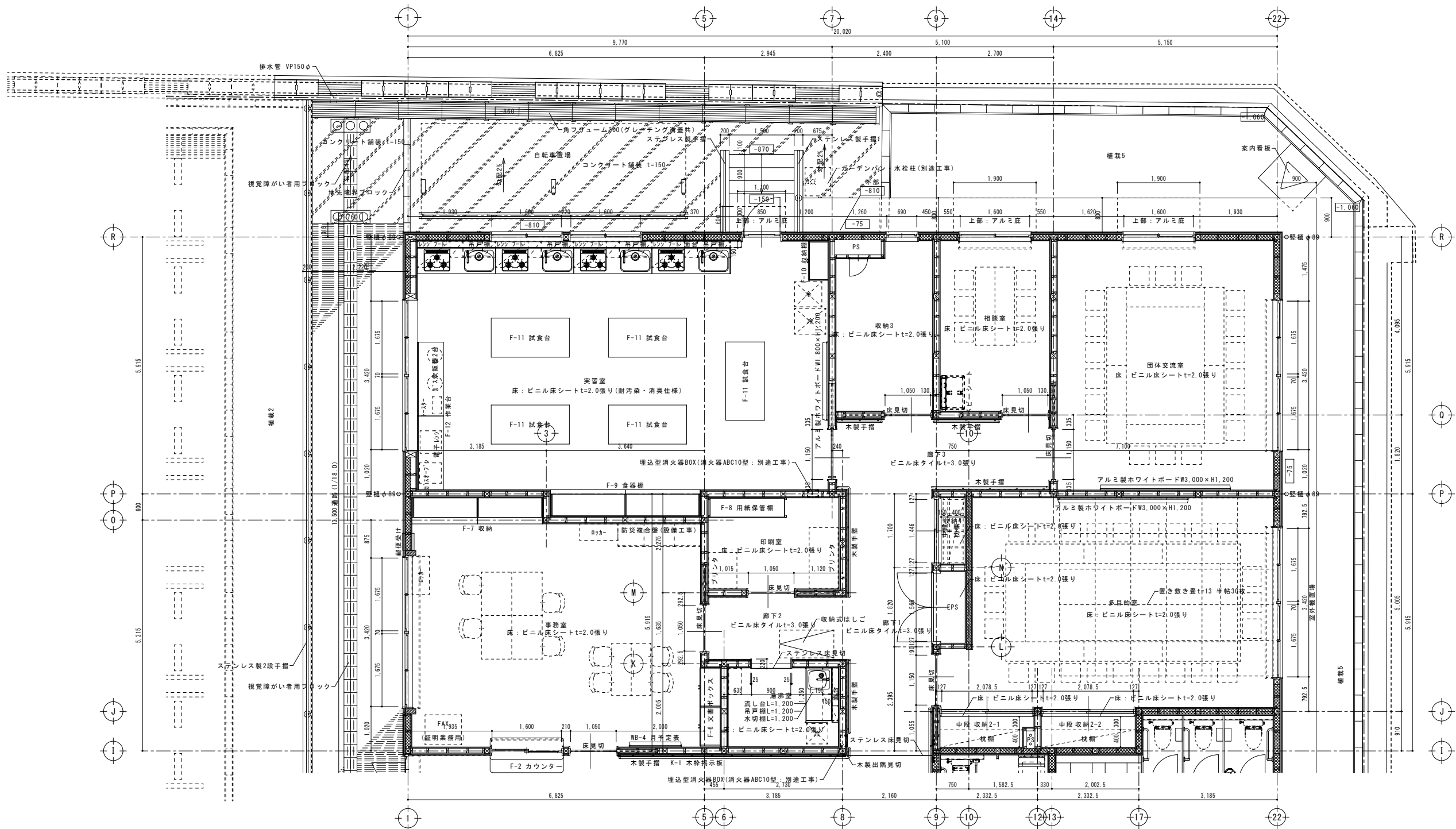
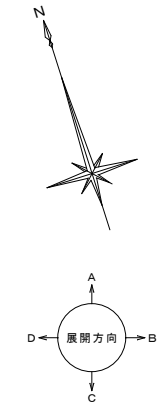




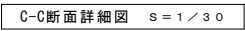
凡	例
(A)	化粧バルブ機構混入セメント板t=12張り
(B)	化粧石こうボードt=9.5張り
(C)	石こうボードt=9.5地下地ロックウール化粧吸音板t=9張り
(D)	石こうボードt=9.5地下地塩化ビニル樹脂系壁紙張り
(F)	化粧梁：自然保護塗料塗り
(G)	小屋裏処理
(7)	軒天換気材（軒先）：塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板製
(2)	木製天井天吊りバー：杉 30×60 #60 自然保護塗料塗り
(4)	木製天井出隅見切：杉 40×40 自然保護塗料塗り
B81	木製ブラインドBOX W150×H150（天井埋込）
S81	木製スクリーンBOX W150×H150（壁付）
S82	木製スクリーンBOX W150×H150（天井半埋込）
S83	木製スクリーンBOX W120×H200（壁付）
S84	木製スクリーンBOX W199×H150（天井半埋込）
S85	木製スクリーンBOX W199×H485（天井半埋込）
B82	木製スクリーン兼バトンBOX W450×H200（壁付）
PR	ビクチャーレール（壁付）
	天井点検口：アルミ製450×450 裏面：ラワン合板t=4
800	天井点検口：アルミ製600×600 裏面：ラワン合板t=4

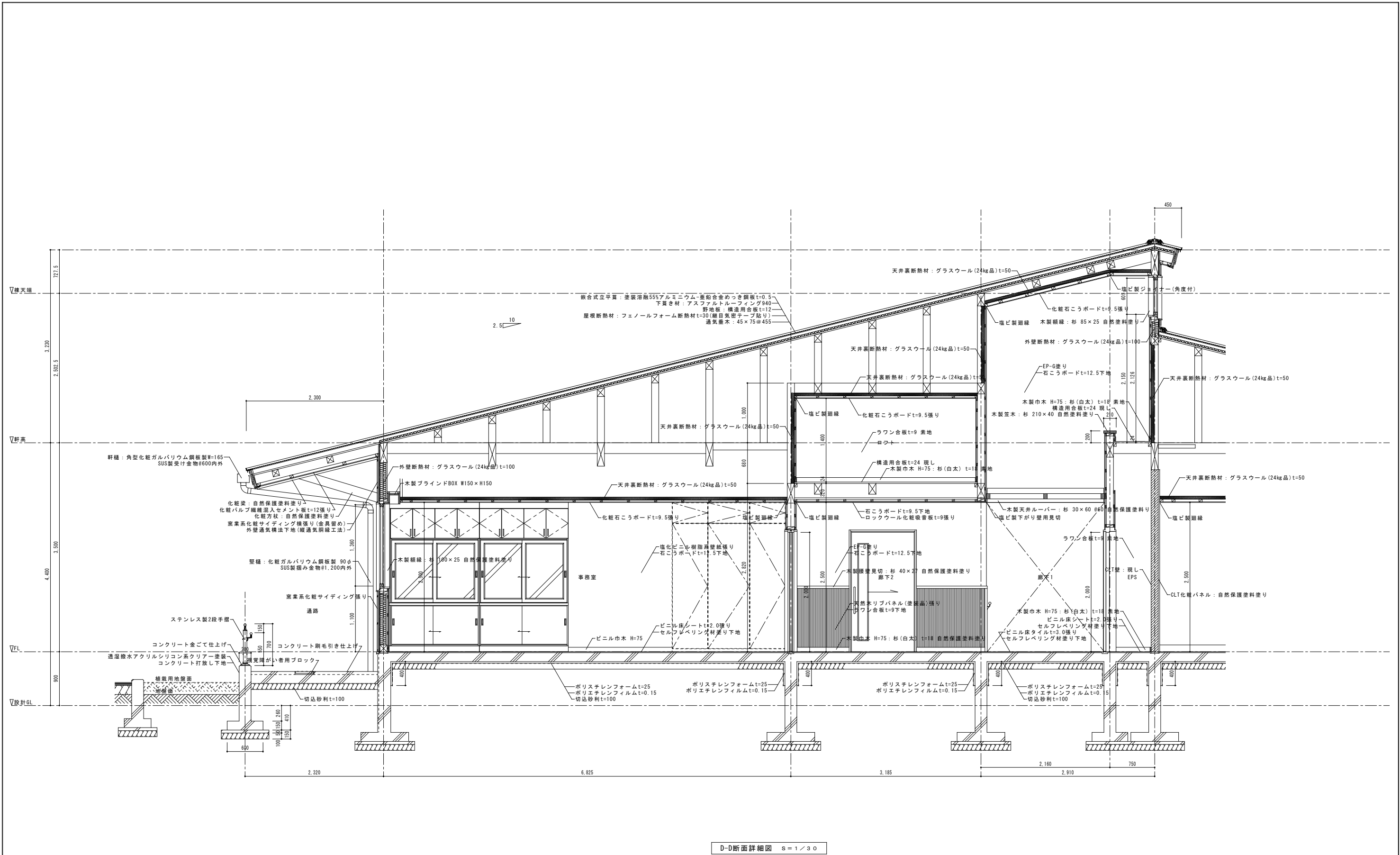
※天井裏断熱材(グラスウール 24kg/m³ t=50を敷込むこと。



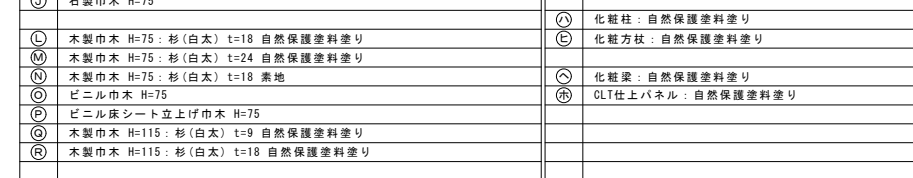
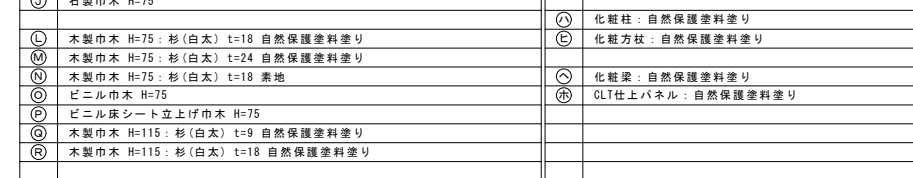
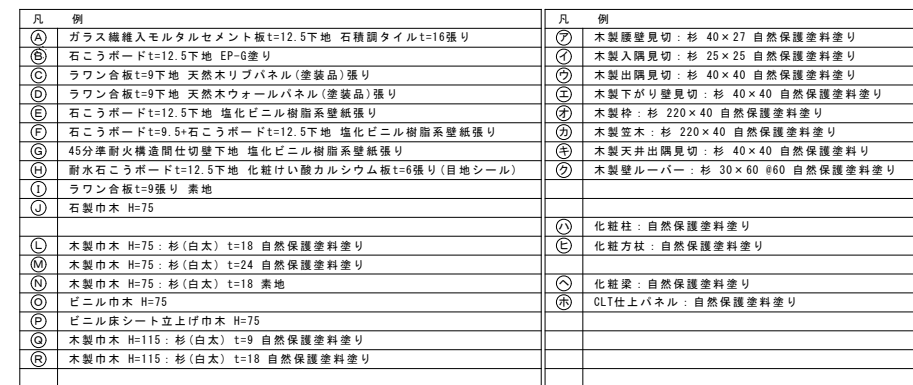


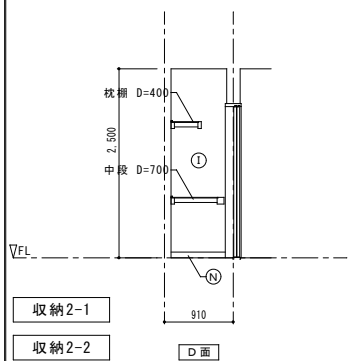
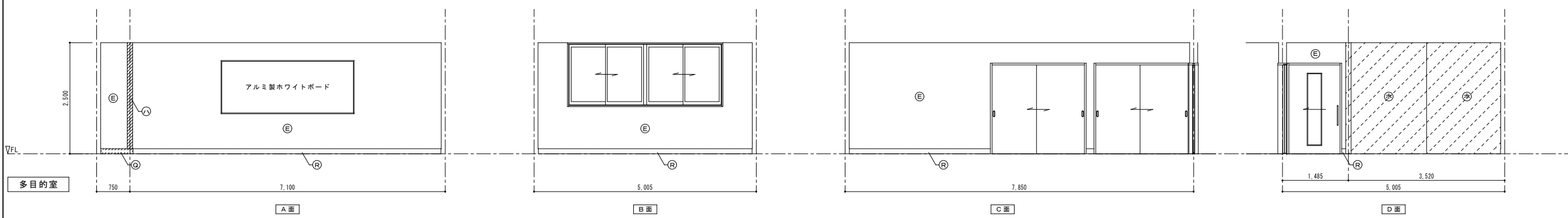
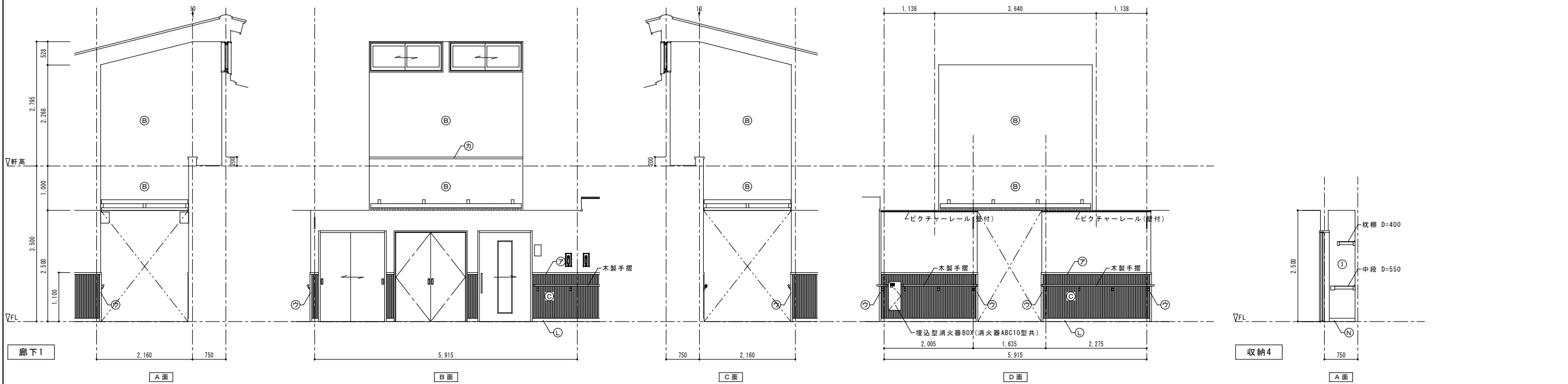
平面詳細図 S = 1 / 5.0



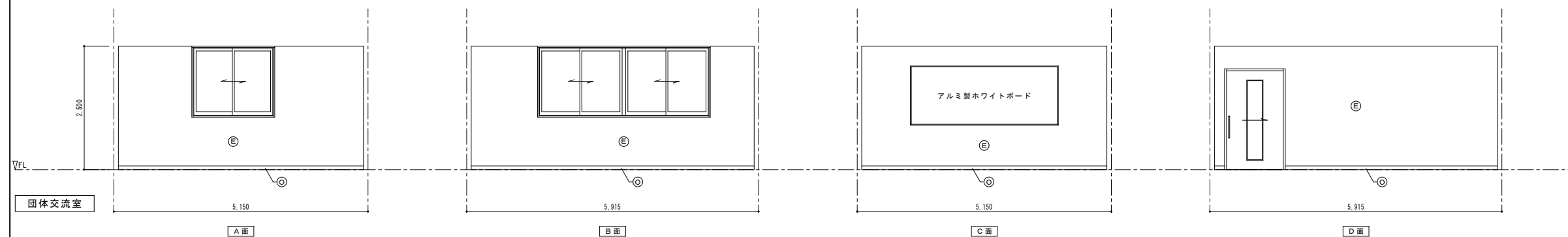
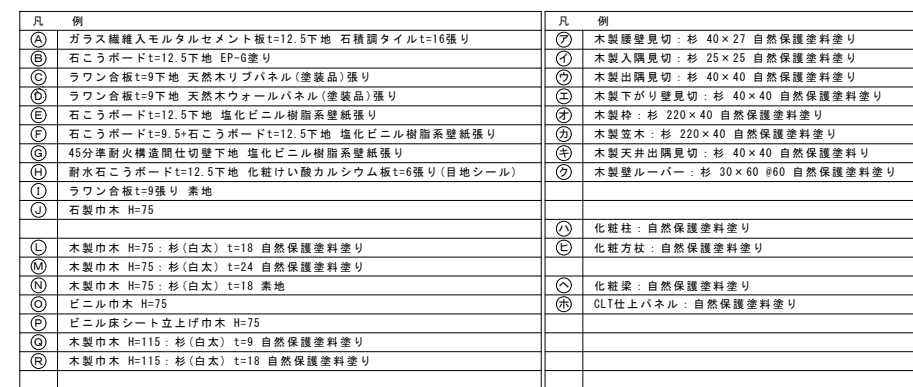


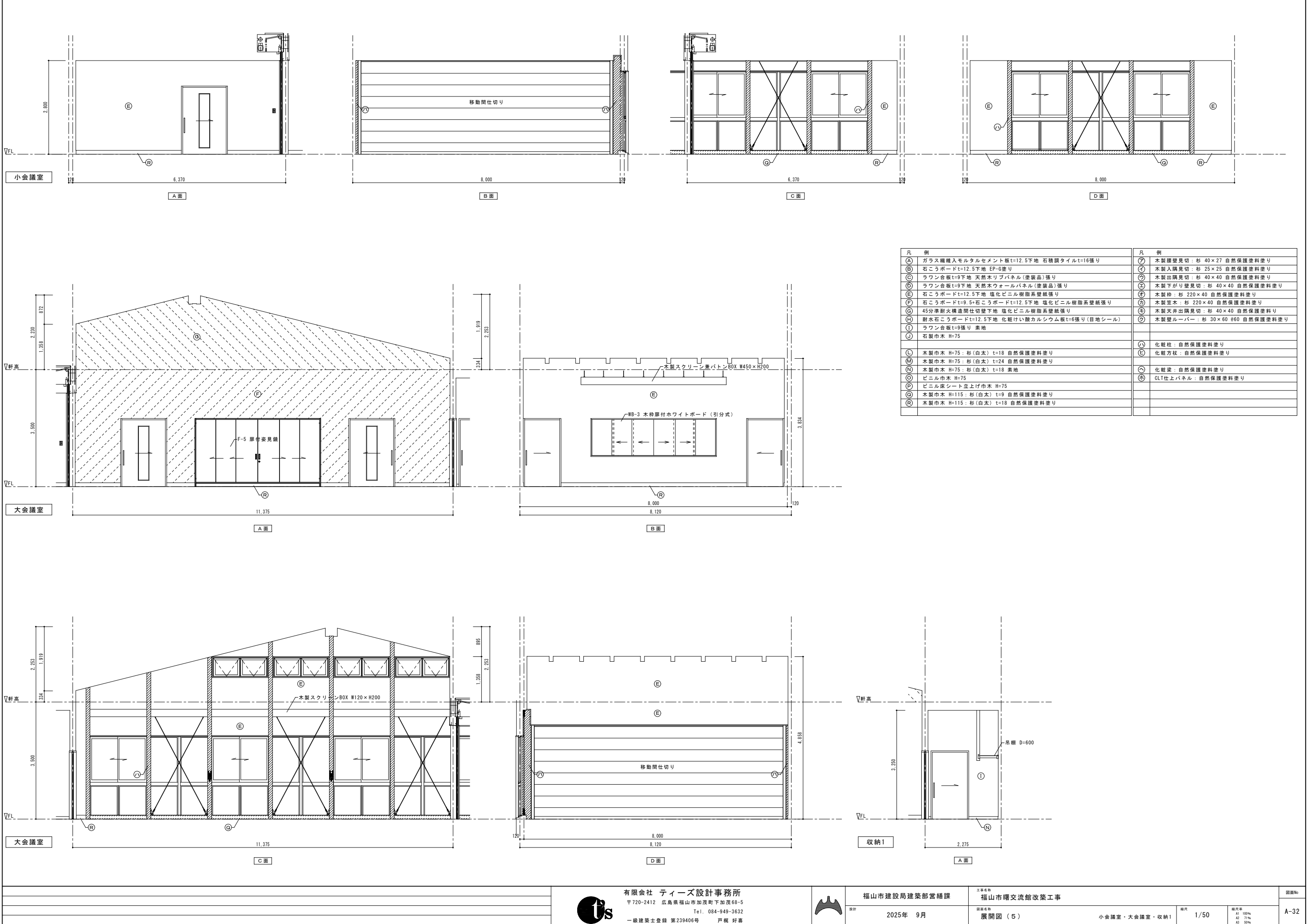
D-D断面詳細図 S=1/30





凡 例	凡 例
(A) ガラス繊維入モルタルセメント板t=12.5下地 石積調タイルt=16張り	(ツ) 木製腰壁見切：杉 40×27 自然保護塗料塗り
(B) 石こうボードt=12.5下地 EP-G塗り	(イ) 木製入隅見切：杉 25×25 自然保護塗料塗り
(C) ラワン合板t=9下地 天然木リブパネル(塗装品)張り	(ウ) 木製出隅見切：杉 40×40 自然保護塗料塗り
(D) ラワン合板t=9下地 天然木ウォールパネル(塗装品)張り	(ニ) 木製下がり壁見切：杉 40×40 自然保護塗料塗り
(E) 石こうボードt=12.5下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り	(オ) 木製枠：杉 220×40 自然保護塗料塗り
(F) 石こうボードt=9.5+石こうボードt=12.5下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り	(カ) 木製笠木：杉 220×40 自然保護塗料塗り
(G) 45分耐火構造間仕切壁下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り	(キ) 木製天井出隅見切：杉 40×40 自然保護塗料塗り
(H) 耐水石こうボードt=12.5下地 化粧けい酸カルシウム板t=6張り(目地シール)	(ク) 木製壁ルーバー：杉 30×60 #60 自然保護塗料塗り
(I) ラワン合板t=9張り 素地	
(J) 石製巾木 H=75	
(L) 木製巾木 H=75：杉(白木) t=18 自然保護塗料塗り	(ハ) 化粧柱：自然保護塗料塗り
(M) 木製巾木 H=75：杉(白木) t=24 自然保護塗料塗り	(ヒ) 化粧方柱：自然保護塗料塗り
(N) 木製巾木 H=75：杉(白木) t=18 素地	
(O) ビニル巾木 H=75	(コ) 化粧梁：自然保護塗料塗り
(P) ビニル床シート立上げ巾木 H=75	(セ) CLT仕上パネル：自然保護塗料塗り
(Q) 木製巾木 H=115：杉(白木) t=9 自然保護塗料塗り	
(R) 木製巾木 H=115：杉(白木) t=18 自然保護塗料塗り	





凡 例	凡 例
(A) ガラス繊維入モルタルセメント板t=12.5下地 石積調タイルt=16張り	(ア) 木製腰壁見切：杉 40×27 自然保護塗料塗り
(B) 石こうボードt=12.5下地 EP-G塗り	(イ) 木製入隅見切：杉 25×25 自然保護塗料塗り
(C) ラワン合板t=9下地 天然木リブパネル(塗装品)張り	(ロ) 木製出隅見切：杉 40×40 自然保護塗料塗り
(D) ラワン合板t=9下地 天然木ウォールパネル(塗装品)張り	(ハ) 木製下がり壁見切：杉 40×40 自然保護塗料塗り
(E) 石こうボードt=12.5下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り	(ニ) 木製枠：杉 220×40 自然保護塗料塗り
(F) 石こうボードt=9.5+石こうボードt=12.5下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り	(ホ) 木製葺木：杉 220×40 自然保護塗料塗り
(G) 45分準耐火構造間仕切り壁下地 塩化ビニル樹脂系壁紙張り	(ヘ) 木製天井出隅見切：杉 40×40 自然保護塗料塗り
(H) 耐水石こうボードt=12.5下地 化粧けい酸カルシウム板t=6張り(自地シール)	(コ) 木製壁ルーバー：杉 30×60 #60 自然保護塗料塗り
(I) ラワン合板t=9張り 素地	
(J) 石製巾木 H=75	
	(カ) 化粧柱：自然保護塗料塗り
(L) 木製巾木 H=75：杉(白太) t=18 自然保護塗料塗り	(キ) 化粧方杖：自然保護塗料塗り
(M) 木製巾木 H=75：杉(白太) t=24 自然保護塗料塗り	
(N) 木製巾木 H=75：杉(白太) t=18 素地	(ク) 化粧梁：自然保護塗料塗り
(O) ビニル巾木 H=75	(ケ) CLT仕上パネル：自然保護塗料塗り
(P) ビニル床シート立上げ巾木 H=75	
(Q) 木製巾木 H=115：杉(白太) t=9 自然保護塗料塗り	
(R) 木製巾木 H=115：杉(白太) t=18 自然保護塗料塗り	



有限会社 ティーズ設計事務所
〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂68-5
Tel. 084-949-3632
一級建築士登録 第239406号 戸根 好喜



福山市建設局建築部営繕課

設計 2025年 9月

工事名称 福山市曙交流館改築工事

図面名称 展開図 (5)

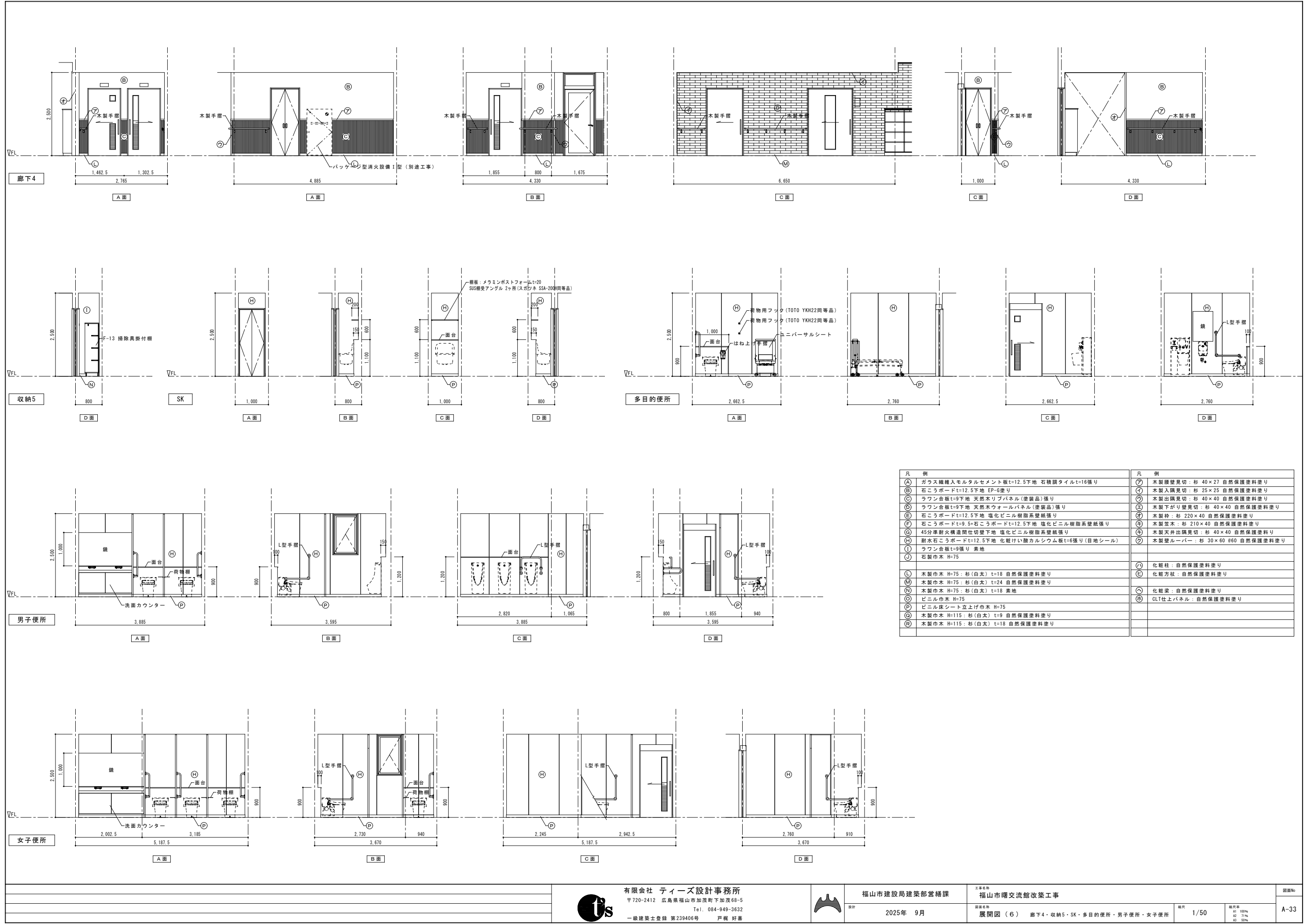
小会議室・大会議室・収納1

縮尺 1/50

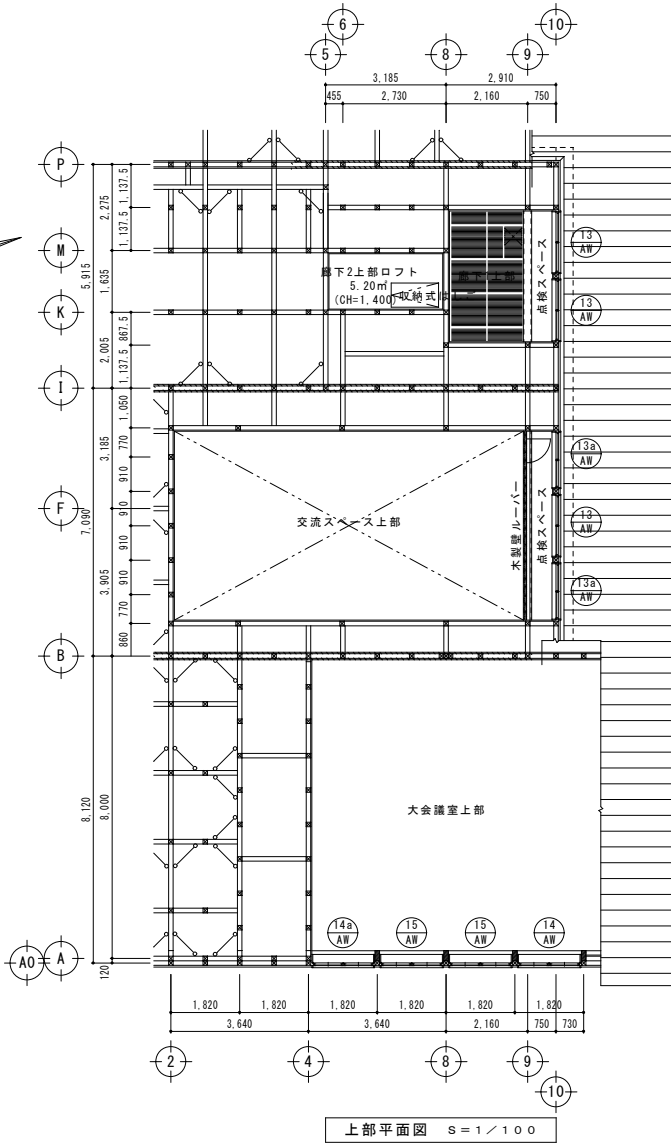
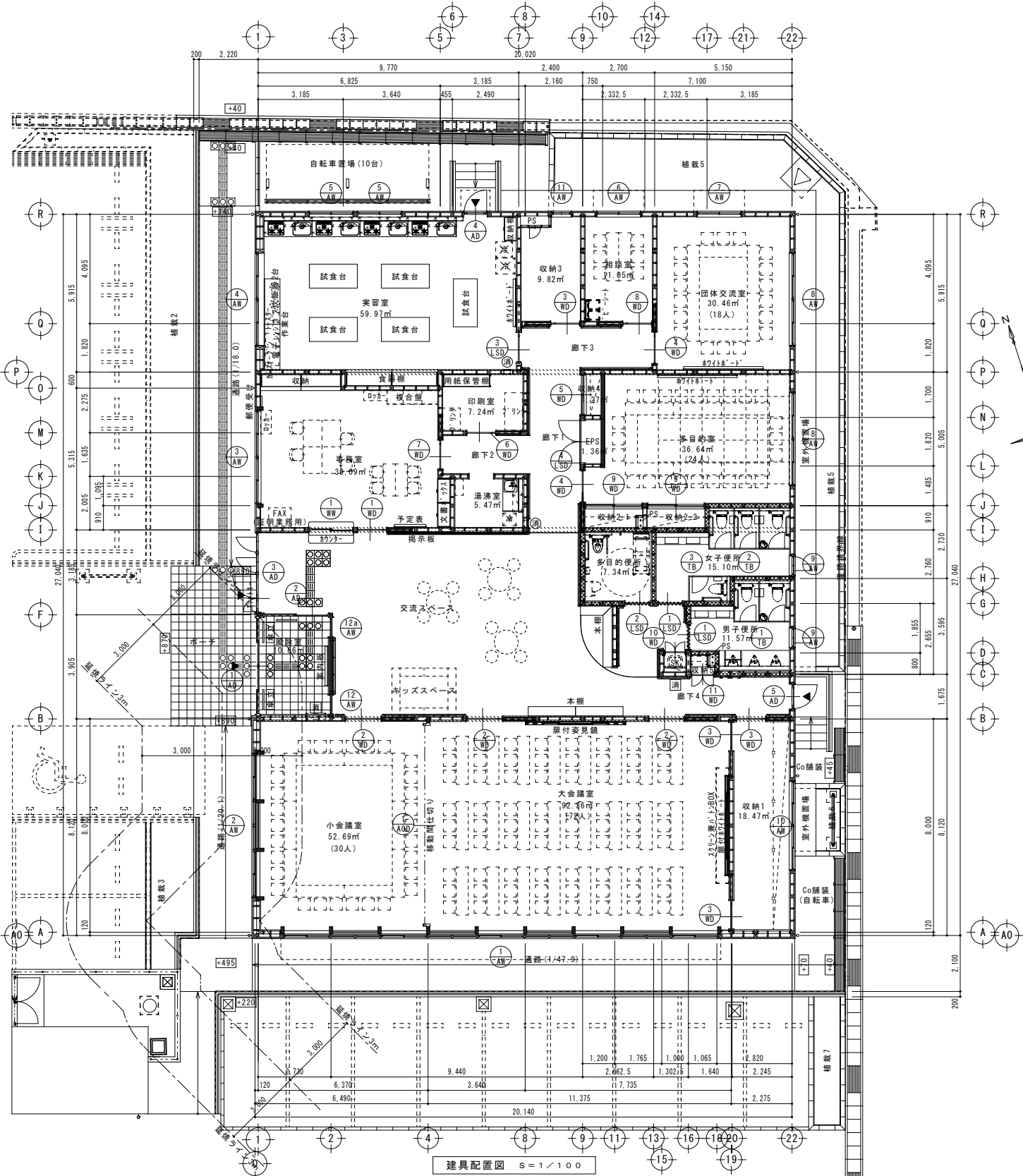
縮尺率
A1: 100%
A2: 71%
A3: 50%

図面No

A-32

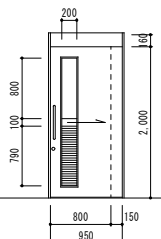
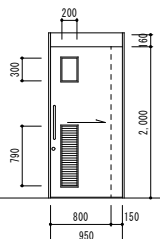
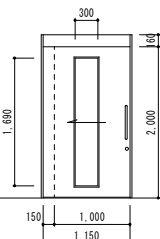
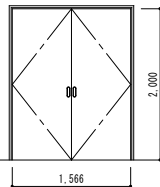
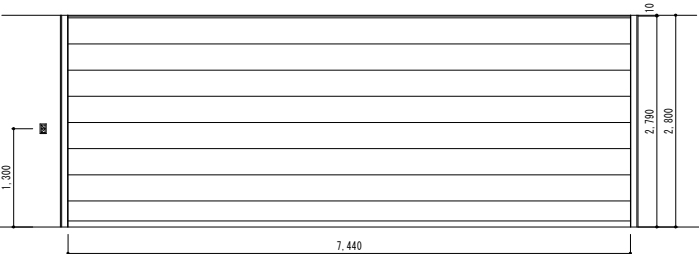
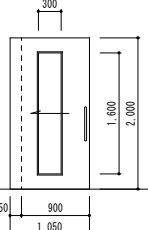
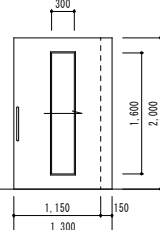
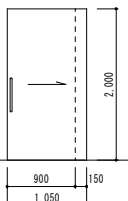
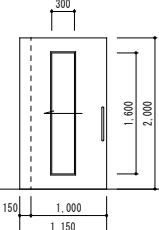
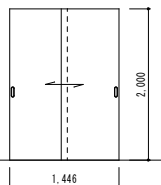
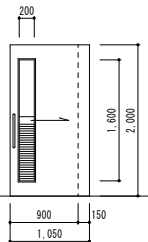
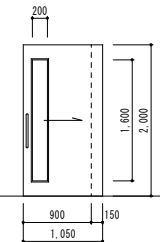
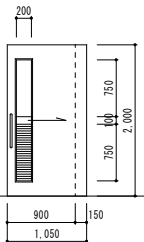
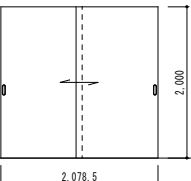
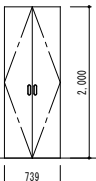
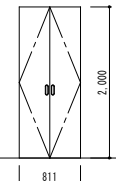
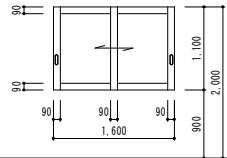
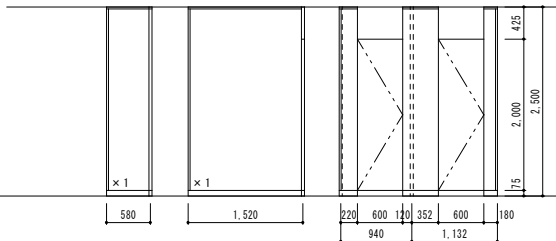
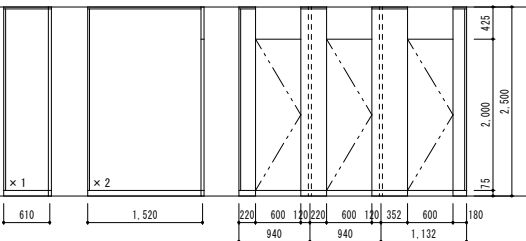
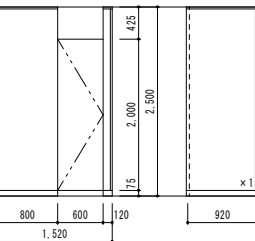


共通事項（特記なき限り下記仕様とする。）									
1. 網戸は、防虫網とする。									
2. Fixのガラス留めはシーリング材とする。									
建具略号									
種別	戸	窓	ガラス	シャッター	オーバードア	トイレ	バスタイム	スライディング	障子機
7&ミニミ	AD	AW	AG	AS	AOD		APT		
鋼製	SD	SW	SG	SS	SOD		SPT		
鋼製軽重	LSD	LSW		LS				LSL	
スチレス	SSD	SSW	SSG	SSS					
木製	WD	WW	WG			TB	WSL	S	F
建具枠及び納まり形状 ※但し、開口仕様（引き・開き・FIX等）は建具表による。									
アルミミニウム装上下及び縦枠									
A1	A2	A3	A4						
鋼製鋼製軽重ステンレス装上下及び縦枠									
S1	S2	S3	S4	S5					
S6	S7	S8							
S9	S10								
木装上下及び縦枠									
W1	W2	W3	W4						
下枠・ベニヤ・水切り等									
K1	K2	K3	K4	K5					
K6	K7	K8	K9	K10					
K11	K12	K13	K14	K15					
K16	K17	K18	K19	K20					
K21	K22	K23	K24						
ガラス									
G1	G2	G3							
※網戸に種類がある場合は、上記略号の後に（透明P・型F・すりS・色C）等の記号を付ける。									
※合せ網戸は略号の後に（-略号+略号）を書く。									
※ペア網戸は略号の後に（-略号+Air+略号）を書く。									
網戸種類略号									
略号	網戸等種類	略号	網戸等種類	略号	網戸等種類	略号	網戸等種類	略号	網戸等種類
FL	フロート板網戸 L (i) Low-E (取得型) HRes 耐熱網戸	FR	フロート網戸						
F	型板網戸 L (s) Low-E (遮蔽型) HRes 耐熱反射網戸	AC	アクリル板						
W	網入板網戸 T 強化網戸 HA 熱線吸収網戸	PO	ポリアミド板						
LP	網入板網戸 ST 学校用強化網戸 PA ペア網戸 AP アルミパネル								
※網戸に種類がある場合は、上記略号の後に（透明P・型F・すりS・色C）等の記号を付ける。									
※合せ網戸は略号の後に（-略号+略号）を書く。									
※ペア網戸は略号の後に（-略号+Air+略号）を書く。									

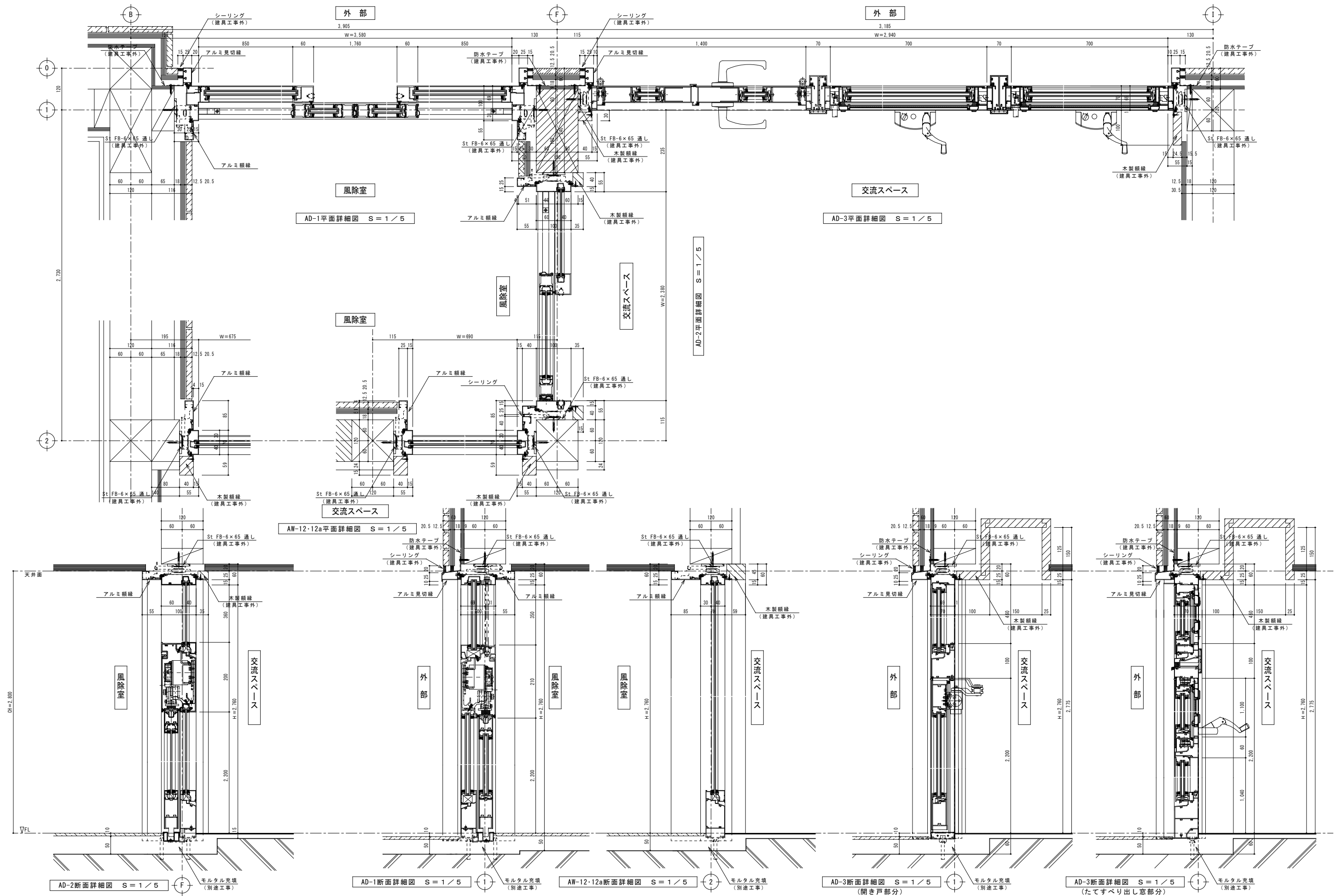


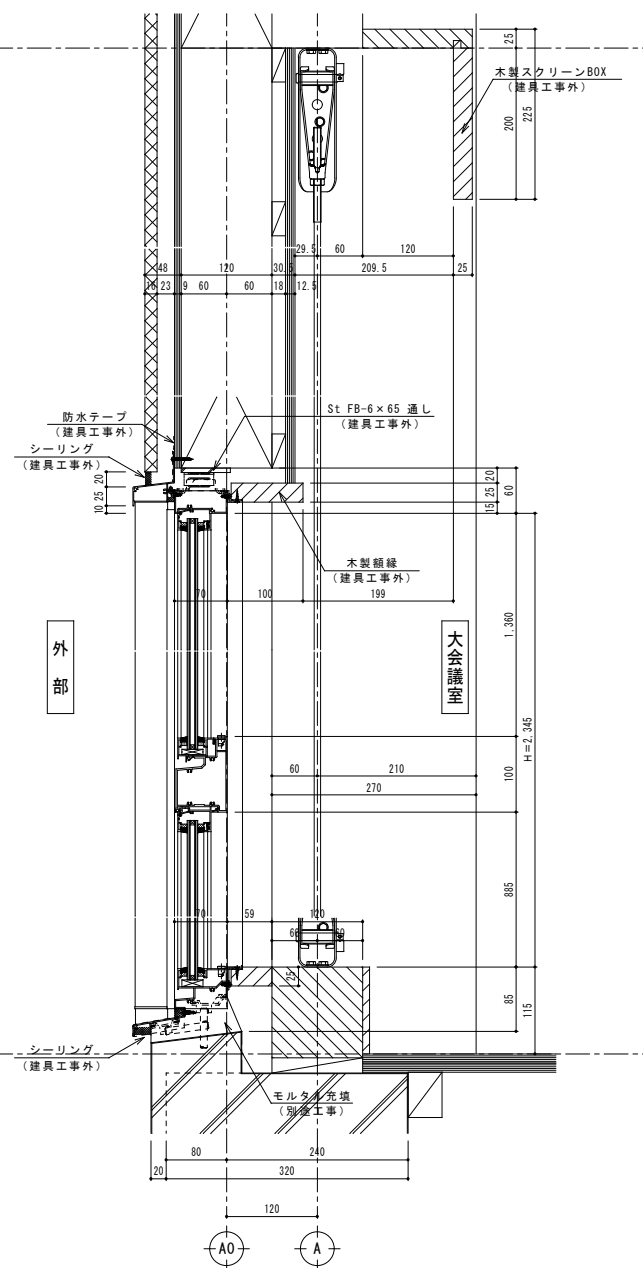
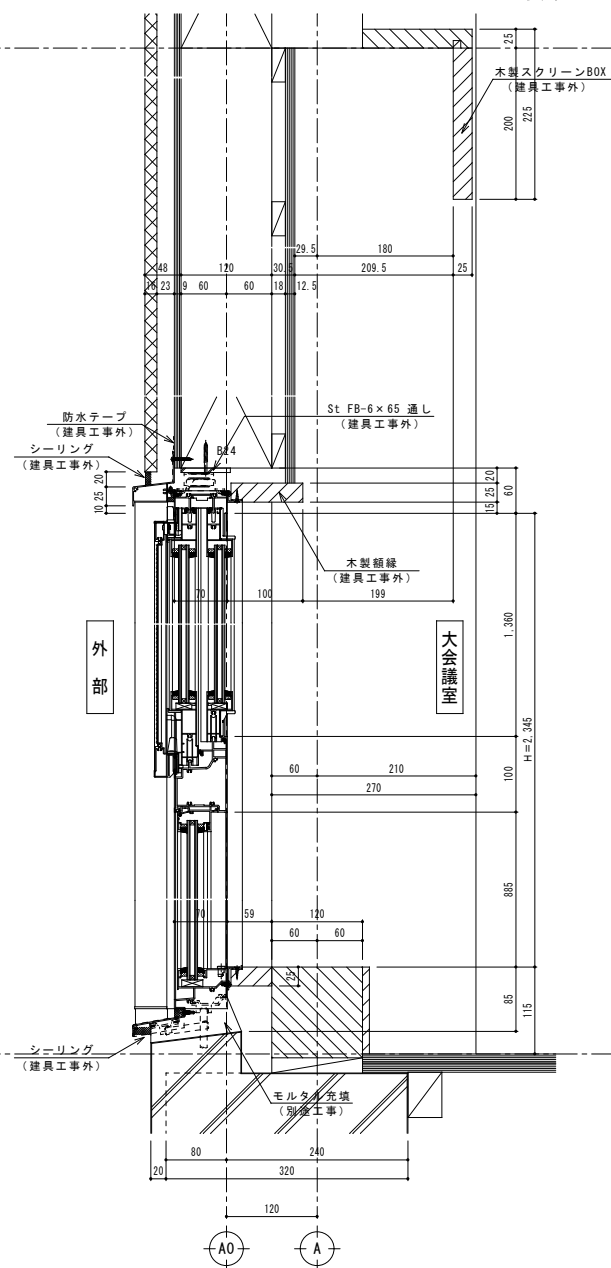
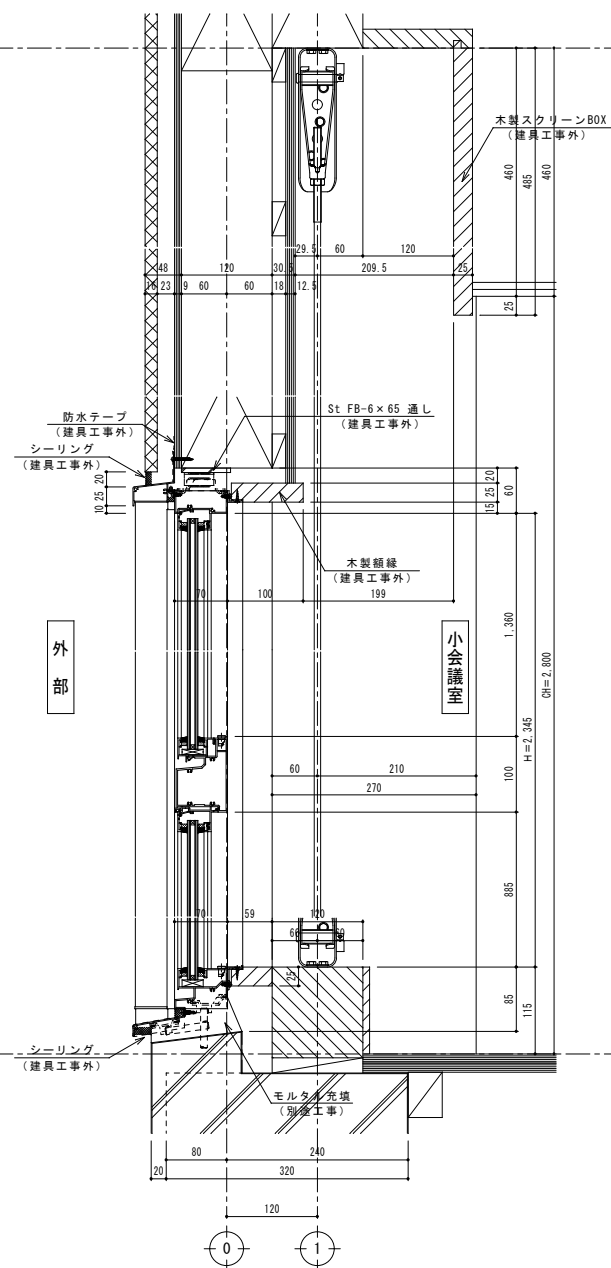
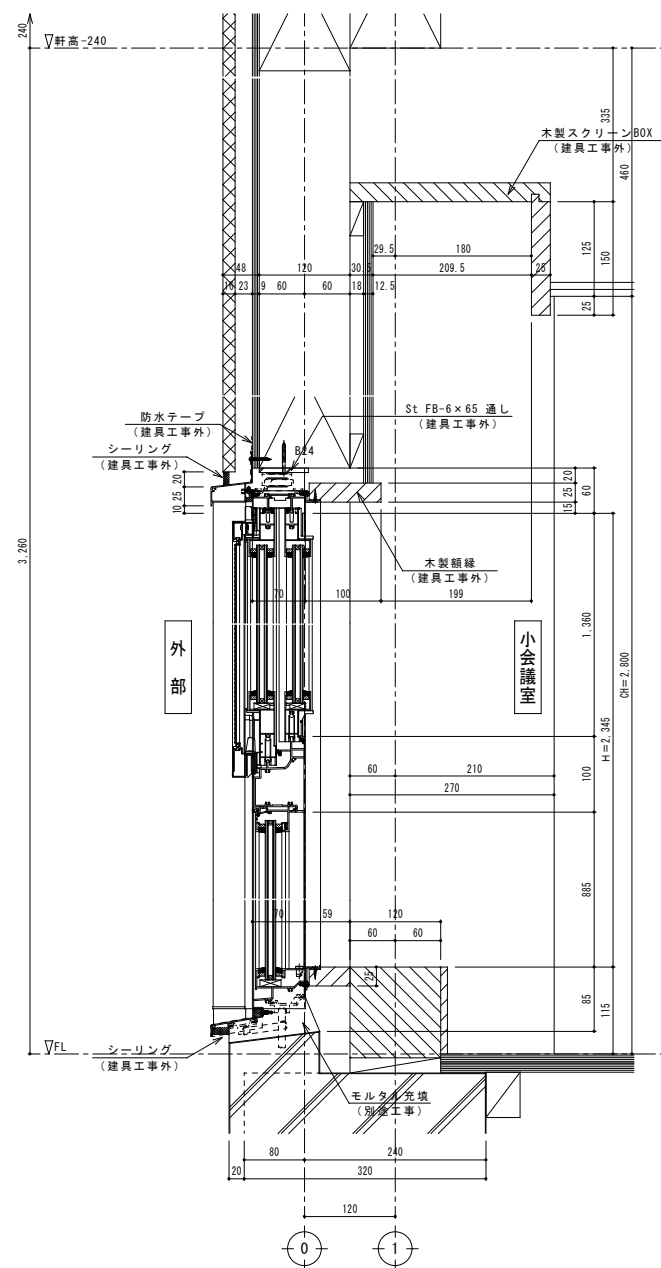
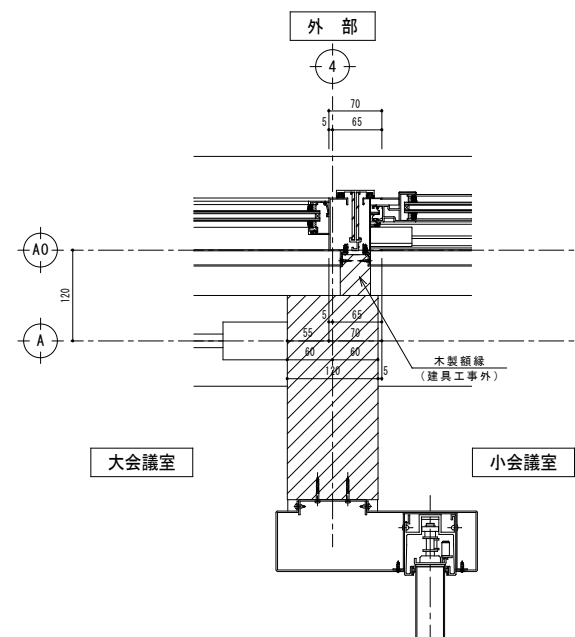
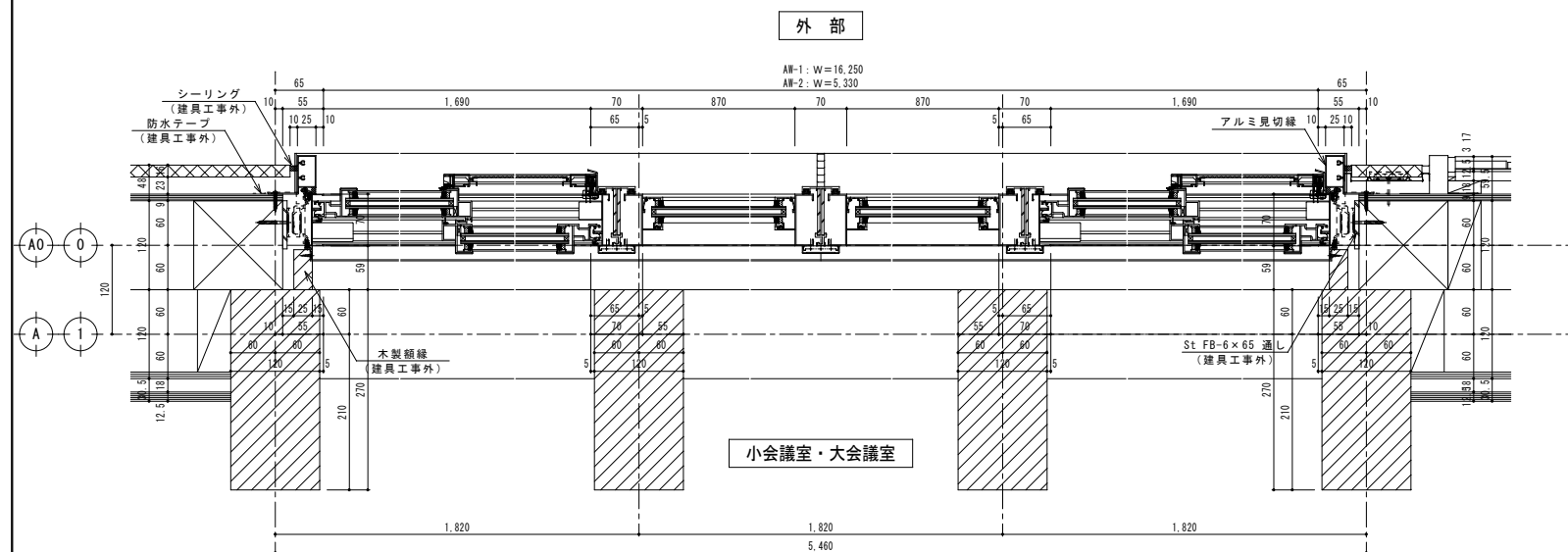
- 埋込型消火器BOX (消火器ABC10型: 別途工事)
- パッケージ型消火設備1型 (別途工事)
- 小屋裏隔壁
- 吸音材 (グラスウール 24kg/m³ t=100)
- 小屋裏隔壁+吸音材 (グラスウール 24kg/m³ t=100)

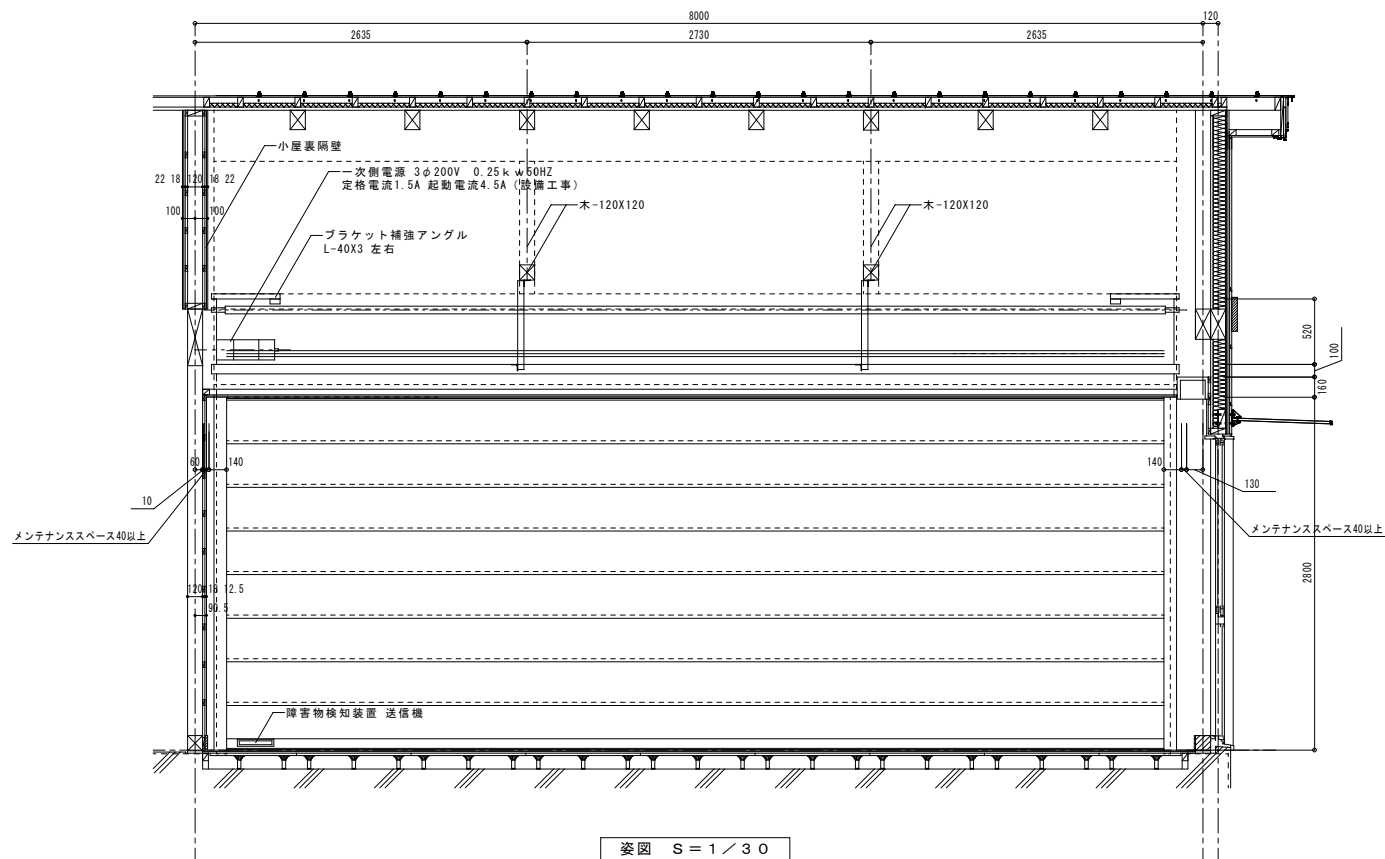
[illegible]

記号・仕様	① LSD 自閉式片引き戸		② LSD 自閉式片引き戸		③ LSD 自閉式片引き戸		④ LSD 両開き戸		① AOD 天井収納型電動間仕切		
											
場所・数量	男子便所 女子便所 2		多目的便所 1		実習室 1		EPS 1		小会議室 1		
見込・枠形状	222 S7 K20 G3		222 S7 K20 G3		222 S7 K20		212.5 S3 K22		別図		
硝子	T4(F)		T4(F)		T4(フロスト)		-		-		
仕上	枠：溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 焼付塗装 扉：化粧鋼板t=0.6		枠：溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 焼付塗装 扉：化粧鋼板t=0.6		枠：溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 焼付塗装 扉：化粧鋼板t=0.6		枠：溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 焼付塗装 扉：化粧鋼板t=0.6		ガイドレール：アルミ押出型材 セクション材：アルミ押出型材 板厚1.4mm セクション表面材：硬質塩ビタックシート張り(建具工事外)		
金物等	SUS引き棒L=450(抗菌仕様) 戸先ゴム 戸尻ゴム 指詰め防止ゴム 標準金物一式		SUS引き棒L=450(抗菌仕様) 戸先ゴム 戸尻ゴム 指詰め防止ゴム 上吊式引戸金具 引戸錠(表示錠/大型サムターン) 標準金物一式		SUS引き棒L=450(抗菌仕様) 戸先ゴム 戸尻ゴム 指詰め防止ゴム 上吊式引戸金具 引戸錠(シリンダー/サムターン) 標準金物一式		掘込取手 シリンダー錠 SUS丁番 ドアクローザー(ストップ付) 標準金物一式		スイッチボックス ハンドル リミットスイッチ 障害物感知装置 まぐさ 座金 標準金物一式		
備考	-		-		-		-		三和シャッター機 スーパーウォール40同等 硬質塩ビタックシート：サンゲツ リアテックTAシリーズ同等		
記号・仕様	① WD 自閉式片引き戸		② WD 自閉式片引き戸		③ WD 自閉式片引き戸		④ WD 自閉式片引き戸		⑤ WD 引違い戸		
図面・寸法											
	場所・数量 事務室 1		小会議室 大会議室 3		収納1 収納3 4		多目的室 団体交流室 2		収納4 1		
見込・枠形状	36 別図		36 別図		36 別図		36 別図		36 別図		
硝子	T4(フロスト)		T4(フロスト)		-		T4(フロスト)		-		
仕上	表面板：両面メラミン樹脂化粧板 小口・押縁：桧 自然塗装		表面板：両面メラミン樹脂化粧板 小口・押縁：桧 自然塗装		表面板：両面メラミン樹脂化粧板 小口・桧 自然塗装		表面板：両面メラミン樹脂化粧板 小口・押縁：桧 自然塗装		表面板：片面メラミン樹脂化粧板(裏面しな合板) 小口・桧 自然塗装		
金物等	SUS引き棒L=450 戸先ゴム 引戸錠(シリンダー/サムターン) 上吊式引戸金具		SUS引き棒L=450 戸先ゴム 引戸錠(シリンダー/サムターン) 上吊式引戸金具		SUS引き棒L=450 戸先ゴム 引戸錠(シリンダー/サムターン) 上吊式引戸金具		SUS引き棒L=450 戸先ゴム 引戸錠(シリンダー/サムターン) 上吊式引戸金具		掘込取手 戸先ゴム 引違い錠(シリンダー/サムターン) SUSフラットレール SUS戸車		
備考	-		-		-		-		-		
記号・仕様	⑥ WD 自閉式片引き戸		⑦ WD 自閉式片引き戸		⑧ WD 自閉式片引き戸		⑨ WD 引違い戸		⑩ WD 両開き戸		
図面・寸法											
	場所・数量 印刷室 1		事務室 1		相談室 1		多目的室 2		SK 1		
見込・枠形状	36 別図		36 別図		36 別図		36 別図		36 別図		
硝子	T4(F)		T4(F)		T4(F)		-		-		
仕上	表面板：両面メラミン樹脂化粧板 小口・押縁・ガラリ：桧 自然塗装		表面板：両面メラミン樹脂化粧板 小口・押縁：桧 自然塗装		表面板：両面メラミン樹脂化粧板 小口・押縁・ガラリ：桧 自然塗装		表面板：片面メラミン樹脂化粧板合板(裏面しな合板) 小口：桧 自然塗装		表面板：片面メラミン樹脂化粧板合板(裏面しな合板) 小口：桧 自然塗装		
金物等	SUS引き棒L=450 戸先ゴム 引戸錠(シリンダー/サムターン) 上吊式引戸金具		SUS引き棒L=450 戸先ゴム 引戸錠(シリンダー/サムターン) 上吊式引戸金具		SUS引き棒L=450 戸先ゴム 引戸錠(シリンダー/サムターン) 上吊式引戸金具		掘込取手 戸先ゴム SUSフラットレール SUS戸車		掘込取手 SUS丁番 ラッチ		
備考	ガラリ有効面積0.073㎡以上 ガラリ形状G3		-		ガラリ形状G3		-		-		
記号・仕様	⑪ WD 両開き戸		① WW 引違い窓		① TB トイレブース		② TB トイレブース		③ TB トイレブース		
図面・寸法											
	場所・数量 収納5 1		事務室 1		男子便所 1		女子便所 1		女子便所 1		
見込・枠形状	36 別図		36 別図		40 -		40 -		40 -		
硝子	-		強化ガラスt=4		-		-		-		
仕上	表面板：片面メラミン樹脂化粧板合板(裏面しな合板) 小口：桧 自然塗装		框：桧 自然塗装		表面材：高圧メラミン樹脂化粧板 枠材：MDF 芯材：ペーパーコア		表面材：高圧メラミン樹脂化粧板 枠材：MDF 芯材：ペーパーコア		表面材：高圧メラミン樹脂化粧板 枠材：MDF 芯材：ペーパーコア		
金物等	掘込取手 SUS丁番 ラッチ		掘込取手 戸先ゴム 戸当たりゴム 引違い錠(空/サムターン) SUSレール SUS戸車		中心吊グレビティヒンジ 表示付スライドロック(非常開錠付) 戸当り 標準金物一式		中心吊グレビティヒンジ 表示付スライドロック(非常開錠付) 戸当り 標準金物一式		中心吊グレビティヒンジ 表示付スライドロック(非常開錠付) 戸当り 標準金物一式		
備考	-		-		-		-		-		
				有限会社 ティーズ設計事務所 〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂68-5 Tel. 084-949-3632 一級建築士登録 第239406号 戸梶 好喜				福山市建設局建築部営繕課 設計 2025年 9月		工事名称 福山市曙交流館改築工事 図面名称 建具表(2)	
								縮尺 1/50		縮尺率 A1: 100% A2: 71% A3: 50%	
										図面No A-36	

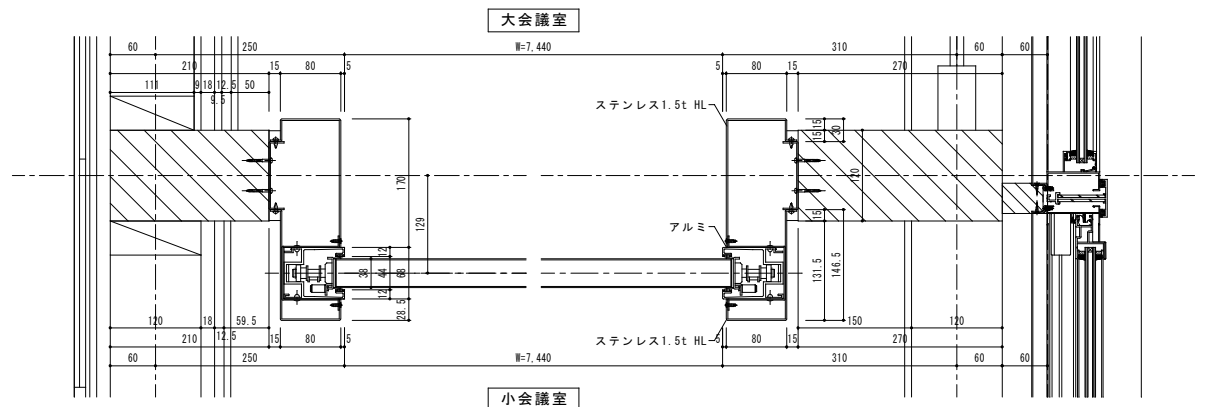
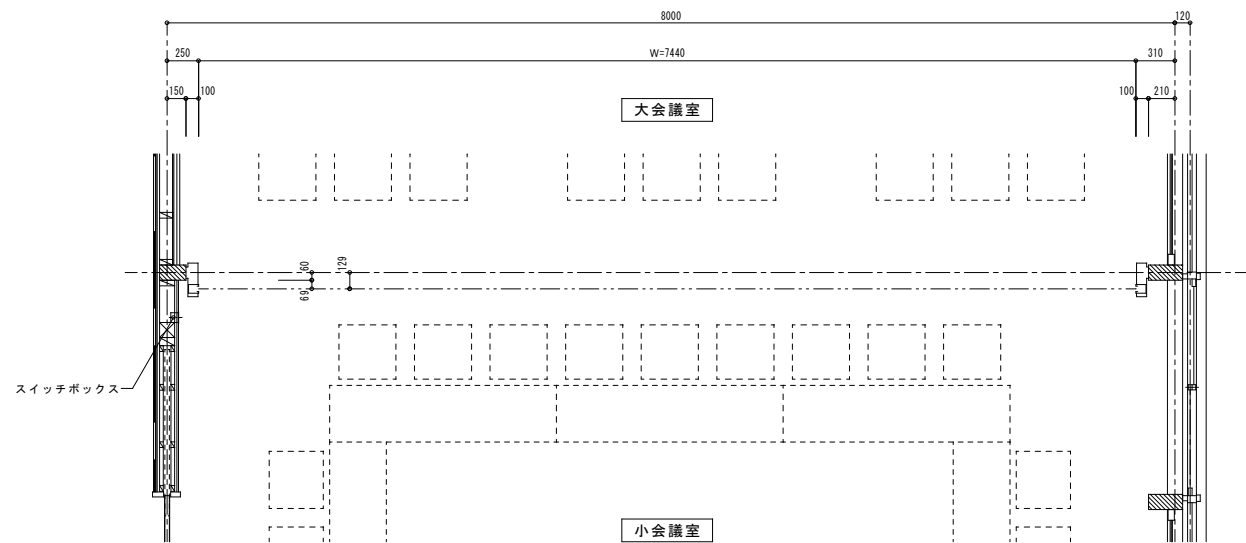
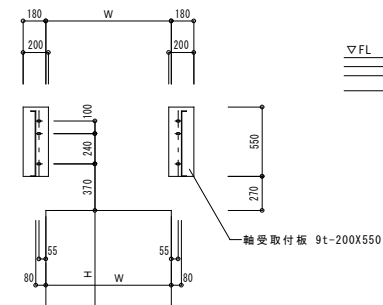
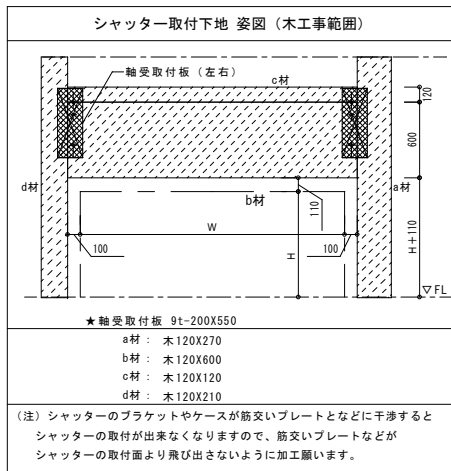
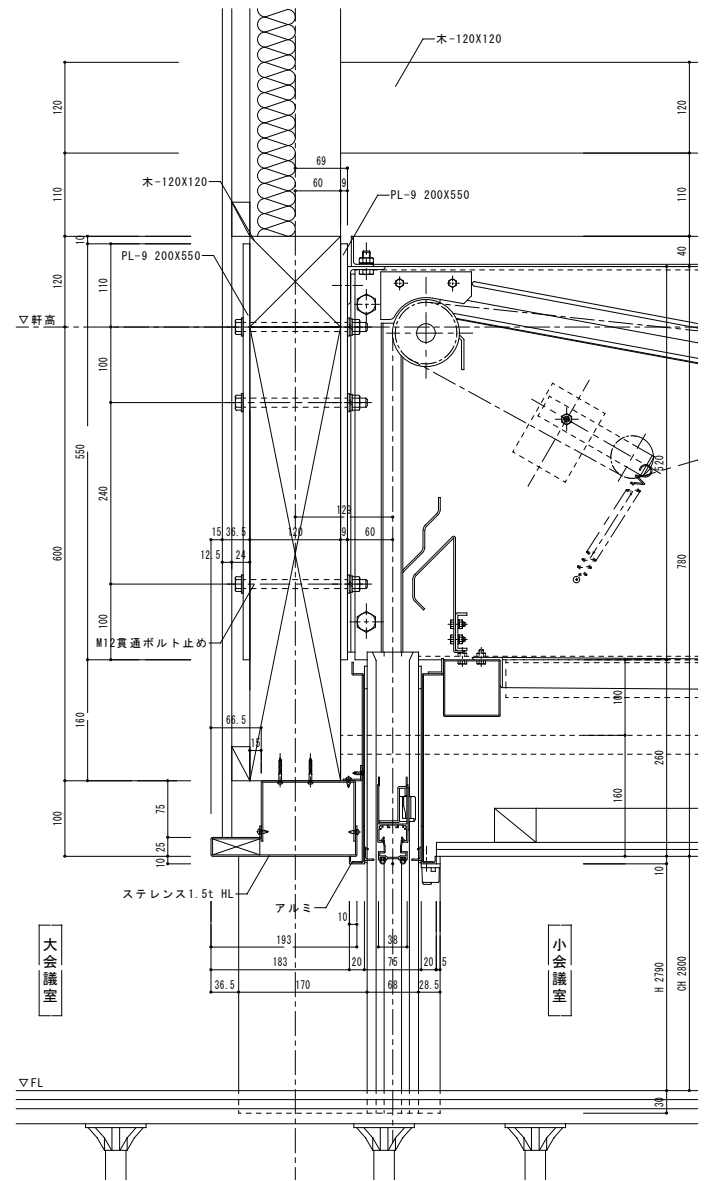
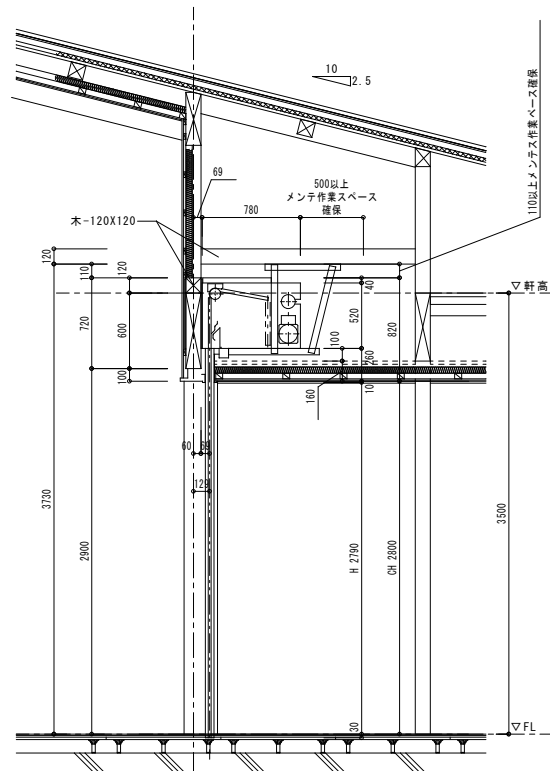
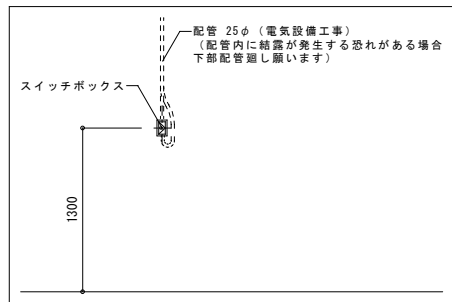
階	室名	床面積	天井高	採光無窓の検討						換気無窓の検討						排煙無窓の検討														
				必要面積 1/20	建具符号	開口面積 (㎡)	採光補正係数 (A)	有効採光面積	判定	必要面積 1/20	建具符号	有効換気面積	判定	必要面積 1/50	建具符号	有効排煙面積	判定													
1	交流スペース	80.85㎡	勾配天井	4.0425㎡	AD-3	1.400×2.200×1×1=3.0800	∴A=3	3.0800×3.0=9.2400	OK	4.0425㎡	AD-3	1.400×2.200×1×1=3.0800	OK	1.6170㎡	AD-3	0.700×0.460×2×1=0.6440	OK													
						1.400×0.460×1×1=0.6440		0.6440×3.0=1.9320				0.700×1.100×2×1=1.5400				AW-13a		1.440×2×0.605×1×2=0.8712												
						0.700×1.100×2×1=1.5400		1.5400×3.0=4.6200				0.700×0.460×2×1=0.6440				AW-13		1.580×2×0.605×1×1=0.4779												
						0.700×0.920×2×1=1.2880		1.2880×3.0=3.8640																						
						0.700×0.460×2×1=0.6440		0.6440×3.0=1.9320																						
						AW-13a		1.440×0.605×1×2=1.7424				1.7424×3.0=5.2272																		
						AW-13		1.580×0.605×1×1=0.9559				0.9559×3.0=2.8677																		
						合計		29.6829>4.0425				合計				6.6131>4.0425		合計	1.9931>1.6170											
						事務室		39.09㎡				2.500m				1.9545㎡		AW-3	1.675×1.360×2×1=4.5560	∴A=3	4.5560×3.0=13.6680	OK	1.9545㎡	AW-3	1.675/2×1.360×2×1=2.2780	OK	0.7818㎡	AW-3	1.675/2×0.760×2×1=1.2730	OK
						合計													13.6680>1.9545		合計				2.2780>1.9545				合計	
多目的室	36.64㎡	2.500m	1.8320㎡	AW-8	1.675×1.360×2×1=4.5560	1.100/1.610×6-1.4=2.69	∴A=2.6	4.5560×2.6=11.8456	OK	1.8320㎡	AW-8	1.675/2×1.360×2×1=2.2780	OK	0.7328㎡	AW-8	1.675/2×0.760×2×1=1.2730	OK													
合計					11.8456>1.8320			合計				2.2780>1.8320				合計		1.2730>0.7328												
実習室	59.97㎡	2.650m	2.9985㎡	AW-4	1.675×1.360×2×1=4.5560	∴A=3	4.5560×3.0=13.6680	OK	2.9985㎡	AW-4	1.675/2×1.360×2×1=2.2780	OK	1.1994㎡	AW-4	1.675/2×0.610×2×1=1.0217	OK														
AD-4					0.850×2.000×1×1=1.7000		1.7000×3.0=5.1000				AD-4				0.850×2.000×1×1=1.7000		0.850×0.360×1×1=0.3060													
AD-4					0.850×0.360×1×1=0.3060		0.3060×3.0=0.9180				AD-4				0.850×0.360×1×1=0.3060		0.850×0.360×1×1=0.3060													
合計					19.6860>2.9985		合計				4.2840>2.9985				合計		1.4552>1.1994													
相談室	11.05㎡	2.500m	0.5525㎡	AW-6	1.600×1.360×1×1=2.1760	∴A=3	2.1760×3.0=6.5280	OK	0.5525㎡	AW-6	1.600/2×1.360×1×1=1.0880	OK	0.2210㎡	AW-6	1.600/2×0.760×1×1=0.6080	OK														
合計					6.5280>0.5525		合計				1.0880>0.5525				合計		0.6080>0.2210													
団体交流室	30.46㎡	2.500m	1.5230㎡	AW-7	1.600×1.360×1×1=2.1760	∴A=3	2.1760×3.0=6.5280	OK	1.5230㎡	AW-7	1.600/2×1.360×1×1=1.0880	OK	0.6092㎡	AW-7	1.600/2×0.760×1×1=0.6080	OK														
AW-8					1.675×1.360×2×1=4.5560		1.100/1.610×6-1.4=2.69				∴A=2.6				4.5560×2.6=11.8456		1.675/2×1.360×2×1=2.2780	1.675/2×0.760×2×1=1.2730												
合計					18.3736>1.5230										合計		3.3660>1.5230	合計	1.8810>0.6092											
小会議室					52.69㎡		2.800m				2.6345㎡				AW-1		1.690×1.360×2×1=4.5968	∴A=3	4.5968×3.0=13.7904	OK	2.6345㎡	AW-1	1.690/2×1.360×2×1=2.2984	OK	1.0538㎡	AW-1	1.690/2×0.460×2×1=0.7774	OK		
0.835×0.900×4×1=3.0060	3.0060×3.0=9.0180	AW-2	1.690/2×1.360×1×1=1.1492	1.690/2×0.460×1×1=0.3887																										
0.870×1.360×2×1=2.3664	2.3664×3.0=7.0992																													
0.870×0.900×2×1=1.5660	1.5660×3.0=4.6980																													
AW-2	1.690×1.360×1×1=2.2984	∴A=3	2.2984×3.0=6.8952																											
0.835×0.900×2×1=1.5030	1.5030×3.0=4.5090	∴A=3	1.5030×3.0=4.5090																											
0.870×1.360×1×1=1.1832	1.1832×3.0=3.5496	∴A=3	1.1832×3.0=3.5496																											
0.870×0.900×1×1=0.7830	0.7830×3.0=2.3490	∴A=3	0.7830×3.0=2.3490																											
合計	51.9084>2.6345	合計	3.4476>2.6345	合計		1.1661>1.0538																								
大会議室	92.36㎡	勾配天井	4.6180㎡	AW-1		1.690×1.360×3×1=6.8952		∴A=3	6.8952×3.0=20.6856	OK		4.6180㎡	AW-1	1.690/2×1.360×3×1=3.4476		OK	1.8472㎡		AW-14				0.7890×1=0.7890				OK			
0.835×0.900×6×1=4.5090					4.5090×3.0=13.5270	AW-14a	0.7780×1=0.7780																							
0.870×1.360×6×1=7.0992					7.0992×3.0=21.2976	AW-14a	0.780×0.550×2×1=0.8580																							
0.870×0.900×6×1=4.6980					4.6980×3.0=14.0940	AW-15	0.790×0.550×2×2=1.7380																							
合計					69.6042>4.6180	合計	6.9126>4.6180		合計		1.9112>1.8472																			

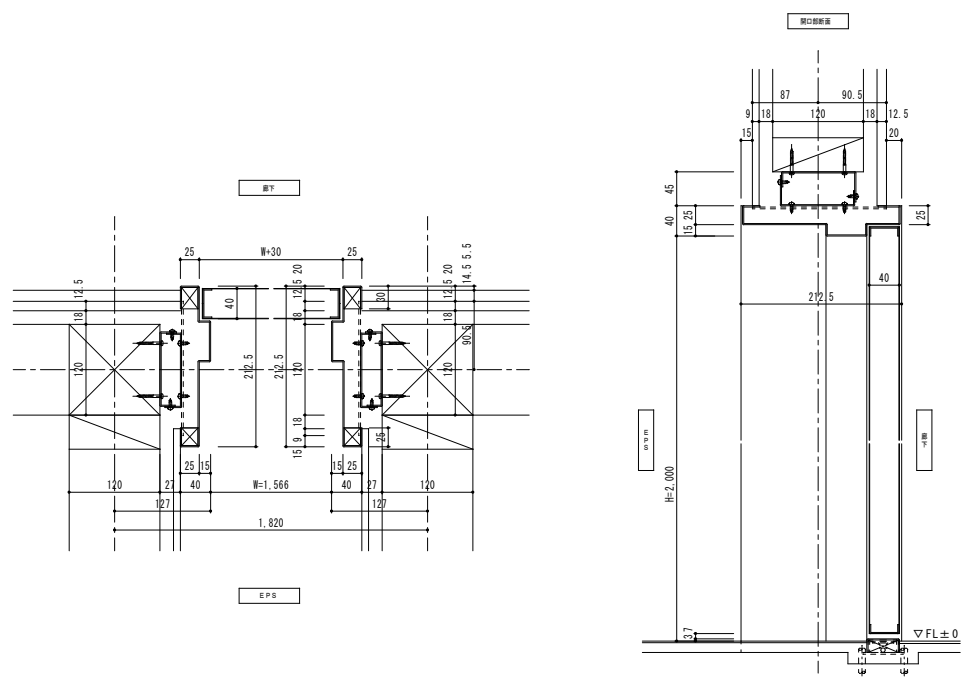


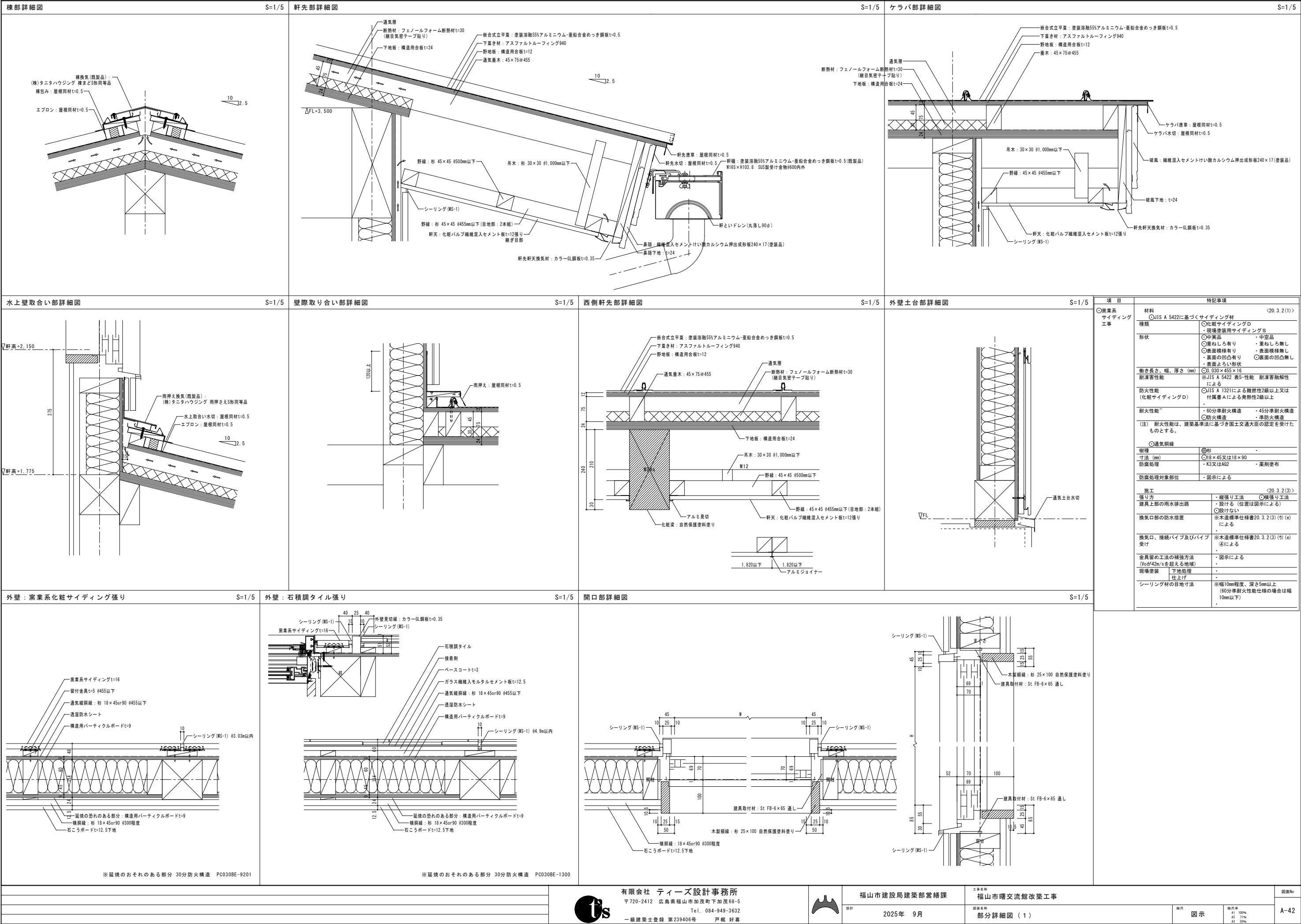


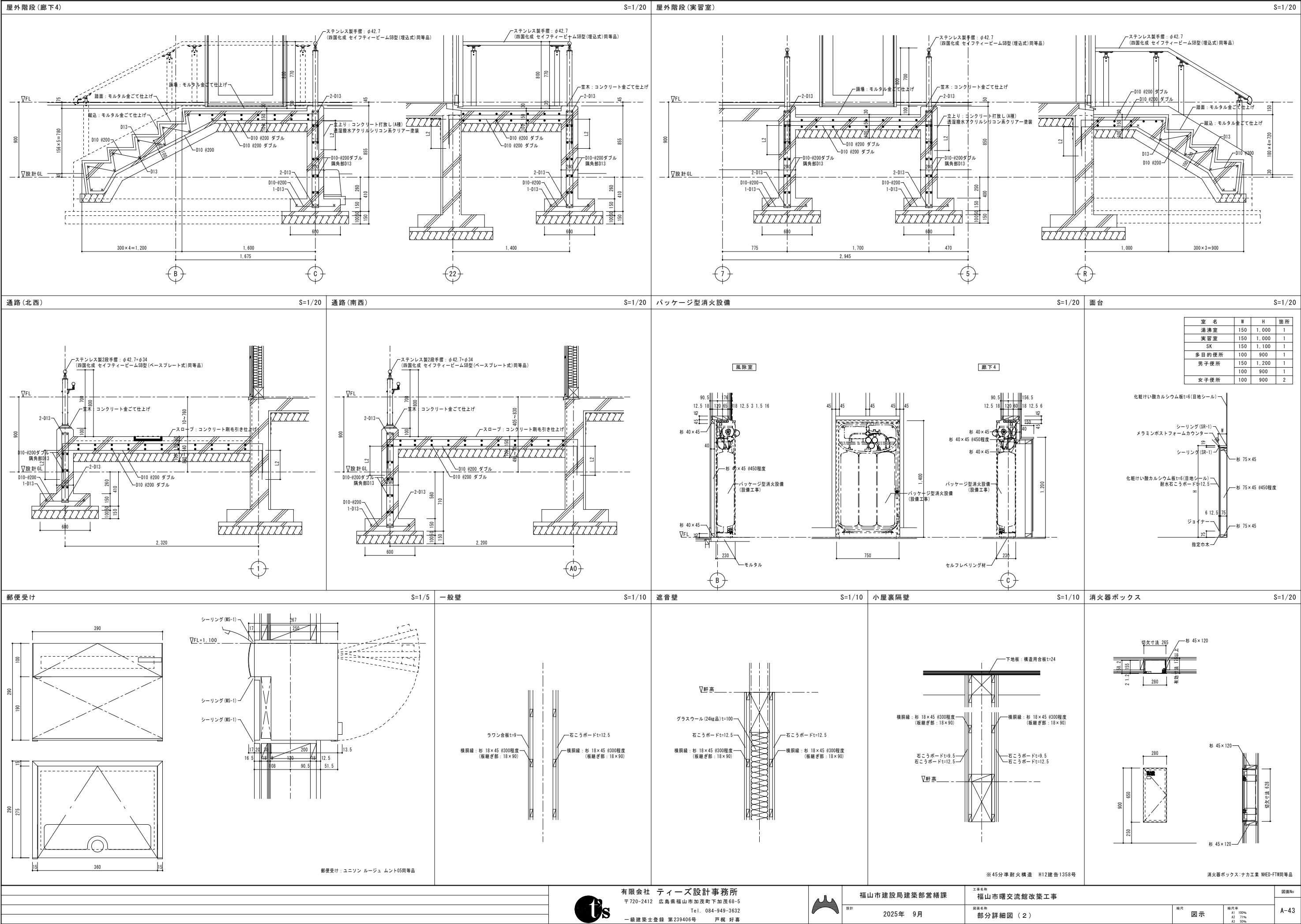


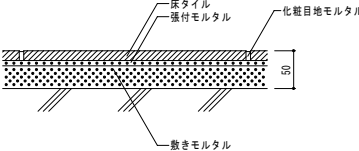
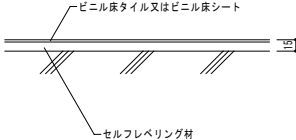
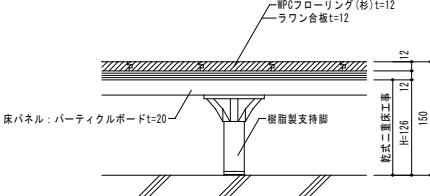
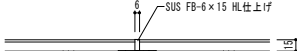
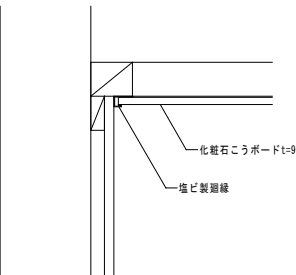
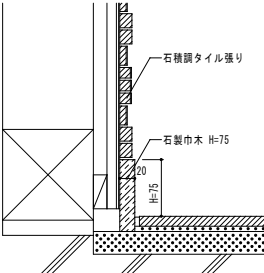
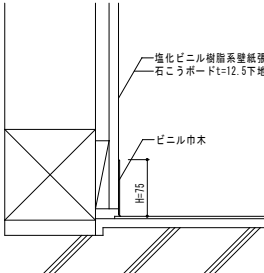
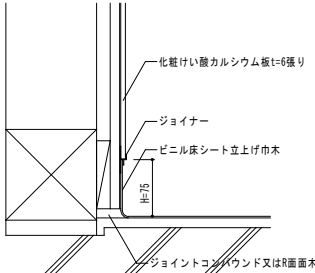
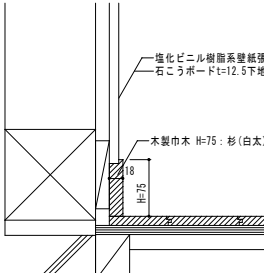
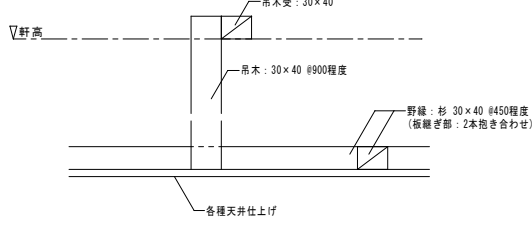
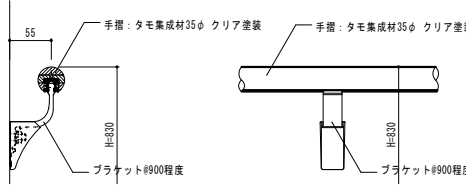
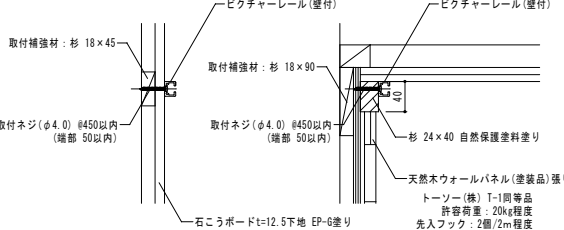
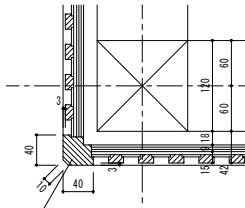
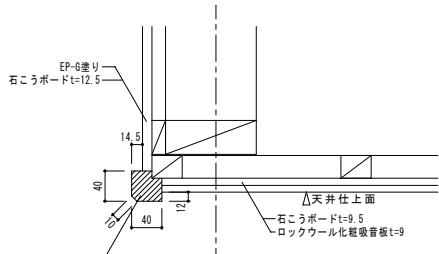
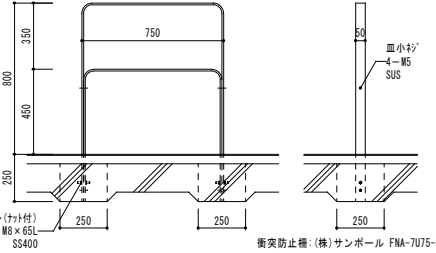
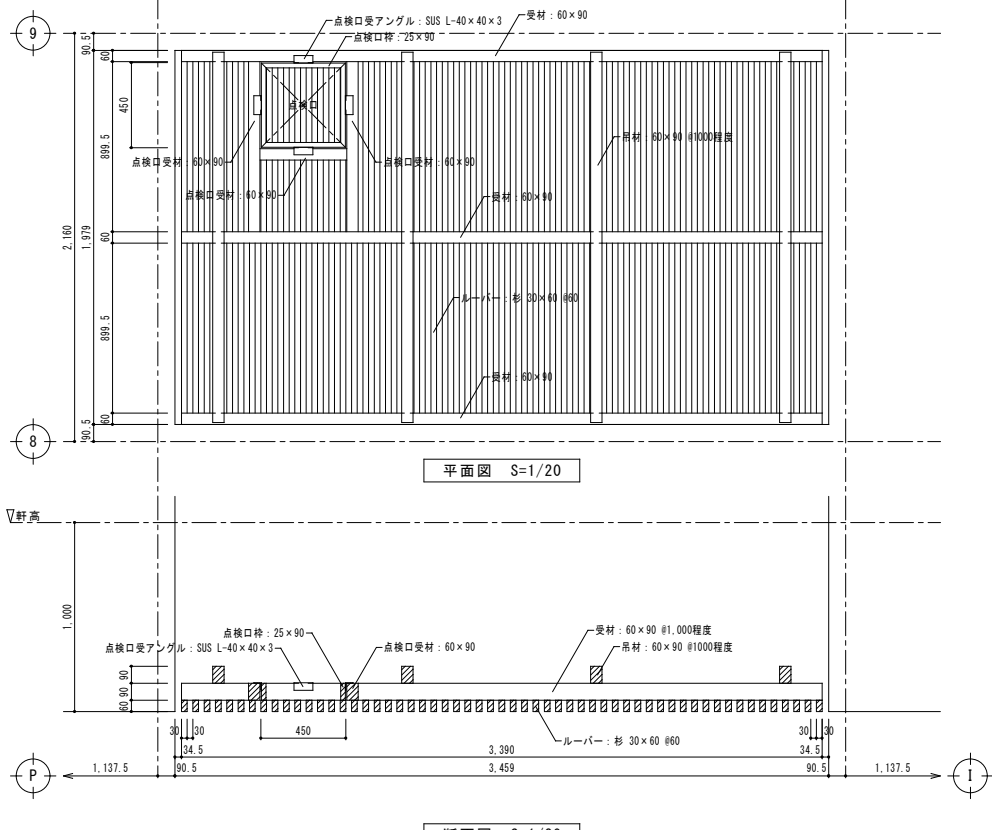
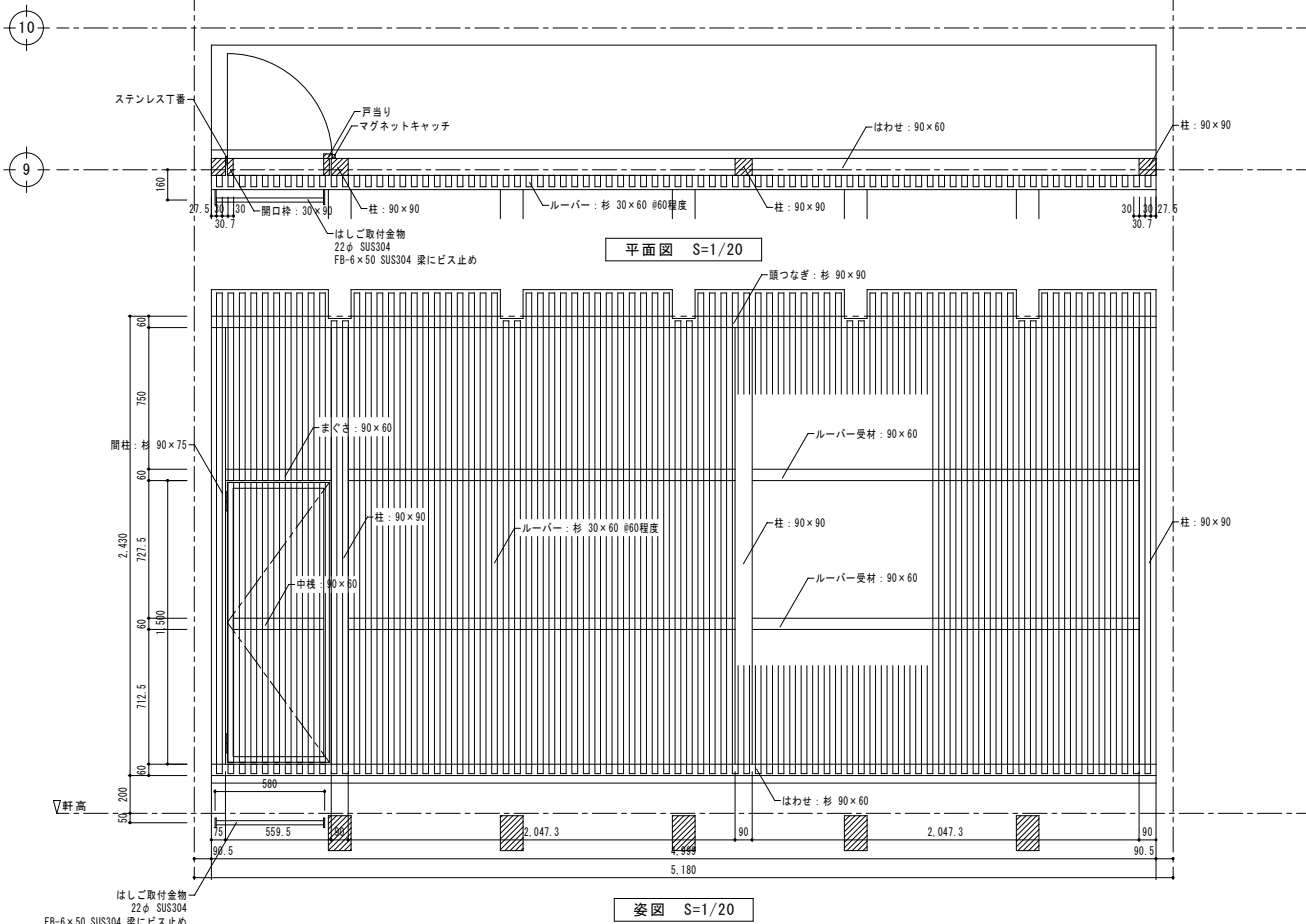
障害物検知装置：座板スイッチ方式
※注意事項
床面から約50mmの範囲は障害物検知装置は
働きません。

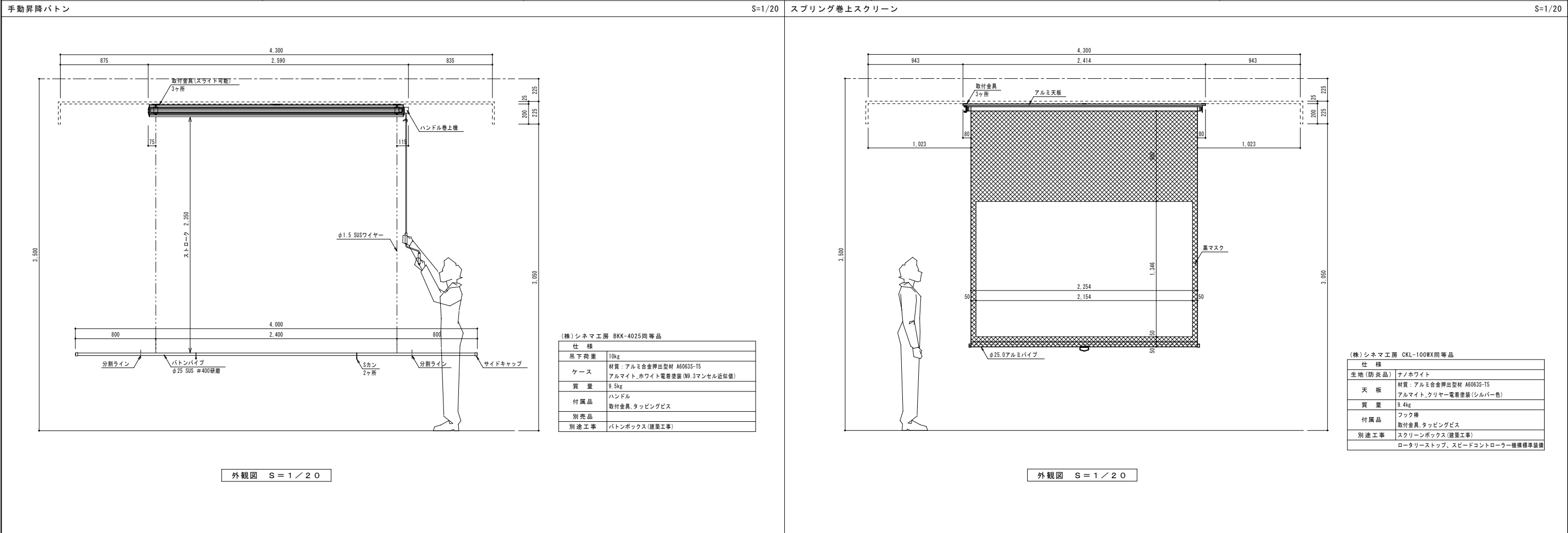
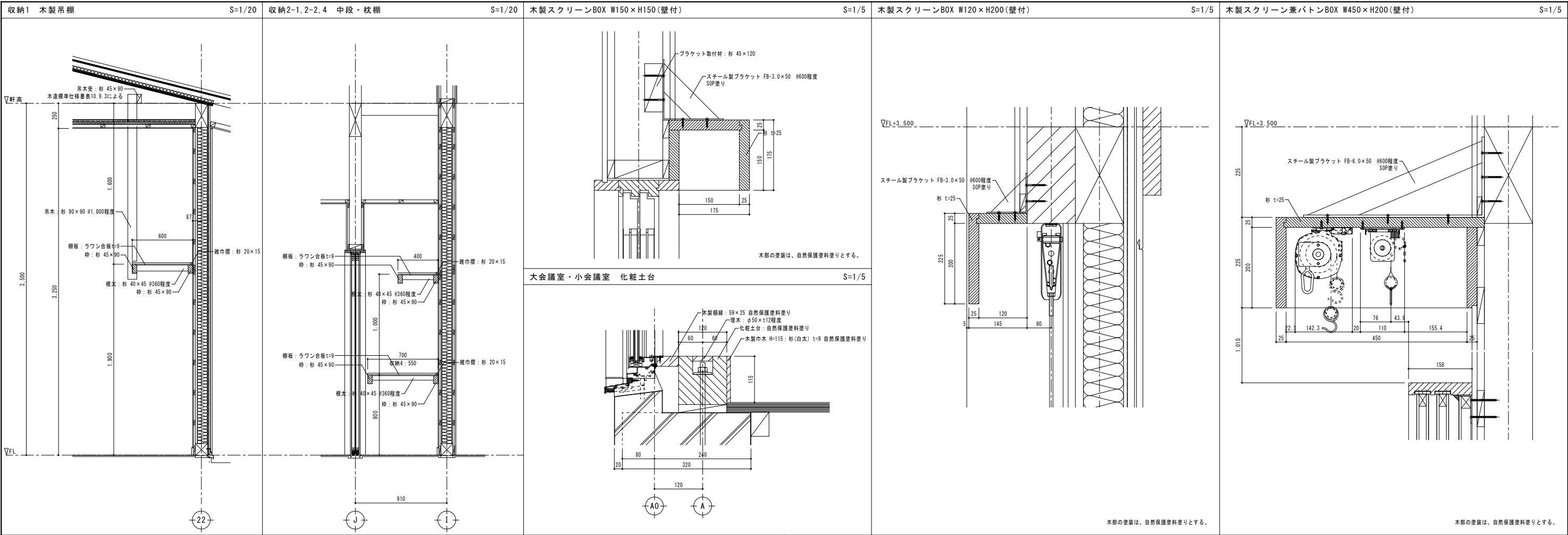








	S=1/5		S=1/5		S=1/5		S=1/5		S=1/5	
石製巾木	S=1/5	ビニル巾木	S=1/5	ビニル床シート立上げ巾木	S=1/5	木製巾木	S=1/5	木製天井下地	S=1/5	
										
木製手摺	S=1/5	ビクチャーレール（壁付）	S=1/5	壁出隅見切	S=1/5	天井出隅見切	S=1/5	衝突防止柵	S=1/20	
										
木製天井ルーバー	S=1/20	木製壁ルーバー	S=1/20							
										
				吊材は、受材に釘打ちとする。 木部の塗装は、自然保護塗料塗りとする。				吊つなぎは、受り梁に釘打ちとする。 柱は、はわせと吊つなぎに釘打ちとする。 木部の塗装は、自然保護塗料塗りとする。		
有限会社 ティーズ設計事務所 〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂68-5 Tel. 084-949-3632 一級建築士登録 第239406号 戸根 好喜				福山市建設局建築部営繕課 2025年 9月				工事名称 福山市曙交流館改築工事 図示 部分詳細図（3）		図面No A-44



地球環境問題（リサイクル、温暖化等）に配慮し、かつ室内におけるホルムアルデヒドの気中濃度を下げる事に主眼を置き、各種有機溶剤や可塑剤等の有害物質についてもその残留、放散を極力抑制する為に以下の仕様とする。

樹脂コート化粧板 パーティクルボード (ECOボードプラス同等)	ホルムアルデヒド放散量「0.04mg/l」以下とする。 マテリアルリサイクル可能品（メラミン樹脂含浸の低圧メラミン等は使用不可） 「JIS A 5908」適合品の国内生産品とする。 表面材：単色は防汚機能を有するメラミンコート、木目柄は天然木の質感を持つ高意匠ウレタンコート
樹脂コート化粧MDF (NEOボードプラス同等)	JIS-F☆☆☆☆適合品 MDFは国産木材の使用比率70%以上とし、「間伐材マーク」、「木づかいサイクルマーク」取得品とする 「JIS A 5905」適合品の国内生産品とする。 表面材：単色は防汚機能を有するメラミンコート、木目柄は天然木の質感を持つ高意匠ウレタンコート
ポリエステル 化粧合板	JAS-F☆☆☆☆適合品 低スチレン仕様（放散速度：30 μg/m ² /hr以下とする）
各種合板	JAS-F☆☆☆☆適合品
接着剤	厚生労働省のVOC指定13物質を含んでいないものを使用する。 F☆☆☆☆適合品
塗料	厚生労働省のVOC指定13物質を含んでいないものを使用する。 F☆☆☆☆適合品

本体	主材：樹脂コート化粧パーティクルボード t 20 背板、地板取外し部：樹脂コート化粧MDF t 4
木口	本体見掛け：非塩ビ化粧樹脂シート t 1.0貼 本体見隠れ：非塩ビ化粧樹脂シート t 0.45貼
天板、中天	高圧メラミン化粧板貼 ポストフォーム加工 ※ポストフォーム天板に使用するメラミンの厚さはt0.8以上とする。
開戸（板戸）	樹脂コート化粧パーティクルボード t 20、木口：非塩ビ化粧樹脂シート t0.45貼 ワンタッチ脱着式スライド丁番（キャッチ機能付） 105° 開き
木製引違戸 （板戸）	樹脂コート化粧パーティクルボード t 20、木口：非塩ビ化粧樹脂シート t0.45貼 樹脂製戸車（立付け調整可能）、PP樹脂製空気孔付舟底引手、硬質樹脂製敷居・鴨居
木製引違戸 （ガラス戸）	樹脂コート化粧パーティクルボード t 20、木口：非塩ビ化粧樹脂シート t0.45貼 樹脂製戸車（立付け調整可能）、PP樹脂製空気孔付舟底引手、硬質樹脂製敷居・鴨居 透明強化ガラス t4mm、樹脂製セーフティガラス押え
ガラス戸（アルミ枠）	四方枠：スリムアルミ押出し成形品（シルバー塗装） 透明強化ガラス t4、引手金物
引出	口板：樹脂コート化粧パーティクルボード t 20、木口：非塩ビ化粧樹脂シート t0.45貼 底板、先板：樹脂コート化粧パーティクルボード 側板兼用鋼製スライドレール、口板取付けブラケット（調整機能付）、品名差付ラインハンドル
可動式棚板	樹脂コート化粧MDFフラッシュ 棚板底面にずれ止めのダボジャクリを施すこと。 ※W600以上の棚板は強度を考慮し、パーティクルボードの使用は不可とする。 また、フラッシュ芯材にもパーティクルボードの使用は不可とする。 棚受けダボ：φ9mmネジ込式（W1/4） アルミ製ニッケルメッキ P=60mm 3段
台輪	ポリエステル化粧合板貼 下地：ランバーコア合板 t15（四方組） ※家具側板を床に接地させる前巾木のみは不可とする。 ※壁面固定の家具は不陸調整の上、台輪化粧材「後貼」とする。
ステンレス天板	SUS304及びSUS430 t1.0 表面仕上：#400 低温アルゴン溶接加工品 下地：合板 t9
共 通	※「日本家具保証協会」認定企業の生産製品、及び監理製品とする。 ※施工承認時に製作家具のカタログを提出し、監理者へ商品説明をおこなうこと。 ※「西尾家具工芸社」製品、又は同等品以上とすること。 ※製作家具本体は国内生産品とする。

Technical drawings of two components:

- PP製空気孔付舟底引手 (PP Air Hole Boat Bottom Puller):**
 - Top view: A rectangle with a width of 25 and a height of 110. The center contains a rectangular area with a grid pattern, labeled "空気孔" (Air Hole).
 - Side view: Shows the profile of the puller with a curved bottom edge. A label "背面手掛り" (Back Handle) points to the curved surface.
- ABS製ハンドル (ABS Handle):**
 - Top view: A rectangle with a width of 29 and a height of 13.2. It has a central dot.
 - Side view: A rectangle with a height of 111.4. It has a central dot.

20

木口 t1.0化粧シート貼

標準本体見え掛り

Technical drawing of the door assembly showing the hinge and handle details. The drawing includes dimensions and labels for various components.

Dimensions (mm):

- Top left: 23 (width), 35 (height)
- Bottom left: 20 (width), 78 (width), 12 (width)
- Right side: 35 (height), 20 (width)

Labels and Components:

- 品名差 透明プレート厚0.5mm (Product name difference: transparent plate thickness 0.5mm)
- 品名差付ラインハンドル (PP樹脂成型品) (Product name difference: line handle (PP resin molded product))
- ワンタッチ脱着式 スライド丁番 (キャッチ付) (One-touch detachable sliding bolt (with catch))
- 開戸 樹脂コート化粧パーティクルボード (Opening: resin-coated decorative particle board)
- 吊元側 (Hanging side)

引出口板

樹脂コート化粧パーティクルボード

側板兼用鋼製スライドレール

引出先板・座板

樹脂コート化粧パーティクルボード

口板取り付けブラケット

口板調整機能付

板戸

13

PP樹脂成型品

引違戸

樹脂コート化粧パーティクルボード

20

20

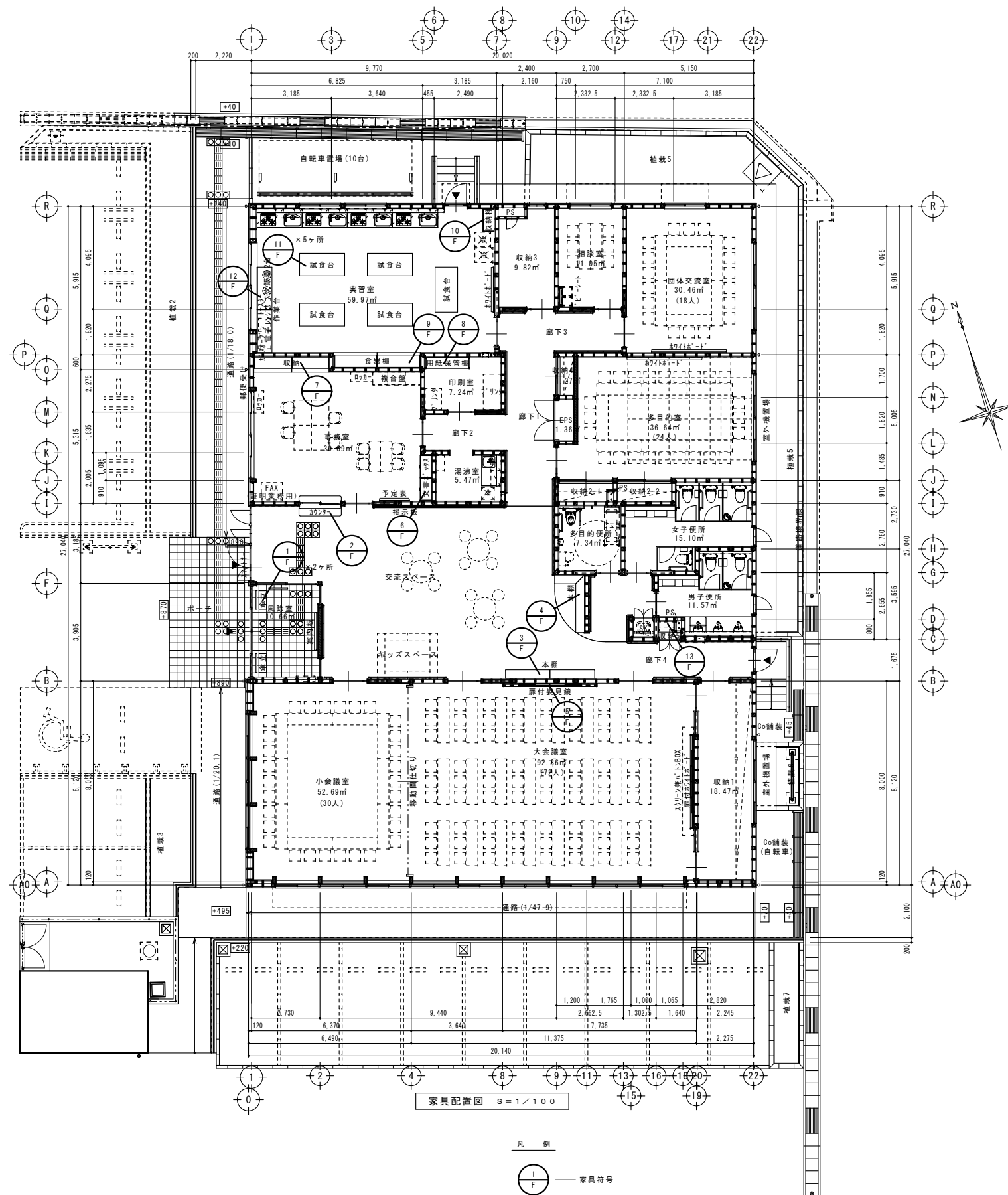
樹脂製戸車
(立付調整可)

数層

PP樹脂成型品

5

※W600以上の棚板は強度を考慮し、
パーティクルボードの使用は不可とする。
また、フラッシュ芯材にもパーティクルボードの
使用は不可とする。



家具配置図 S=1/100

凡 例

1/F — 家具符号

F-1

風除室 傘立て

2台

品番

GSK-SS5.8同等

仕 様

本 体

ステンレスラッド管φ25、ABS樹脂（ブラック）

脚 部

アジャスター（ブラック）×4

水受皿

ABS樹脂（ブラック）×2枚

スリーブ

ABS樹脂

30本用

スリーブ

426

F-2

交流スペース/事務室 カウンター

1ヶ所

仕 様

天 板

ラバーウッド集成材 UC塗装

アンクル

スチール製 t 9 400×400 メラミン焼付塗装 3ヶ所

スチール製 t 9 250×400 メラミン焼付塗装 1ヶ所

1690

4-R50

500

300

440

2-R50

ボールφ60×1本

上下R2

1690

30

170

200

30

570

700

900

ボールφ60（ラバーウッド集成材）
受座・7ヶ所

交流スペース側

事務室側

※下レール用加工は要打合せ
（下レールは家具工事外）

アンクル取付下地補強要
（家具工事外）

F-13

収納5 掃除具掛付棚

1ヶ所

仕 様

本体主材

樹脂コート化粧パーティクルボード
木口：樹脂シートt1.0mm貼

背 板

樹脂コート化粧MDF貼

棚 板

樹脂コート化粧MDFフラッシュ
木口：樹脂シートt1.0mm貼

台 輪

ポリ合板貼

附属品

フック

SUS製フック（EL-25）

2

430

631

1800

1500

100

20

591

20

631

430

100

100

200

固定棚

23

固定棚

10

固定棚

30

400

F-3

交流スペース 本棚

1ヶ所

仕 様

天 板

ラバーウッド集成材 UC塗装

本体主材

樹脂コート化粧パーティクルボード
木口：樹脂シートt1.0mm貼

背 板

樹脂コート化粧MDF貼

棚 板

樹脂コート化粧MDFフラッシュ
木口：樹脂シートt1.0mm貼

台 輪

ポリ合板貼

附属品

アルミ品名差

アルミレール、名札：PET樹脂 t 0.8

※棚板は たわみ防止の為、W560mmを超える長さは不可とする。

350

上下R5

20

60

20

100

1420

1300

1200

290

23

10

30

300

330

上下R5

20

1420

1400

20

560

20

560

20

560

20

560

20

560

20

1180

10

F-4

交流スペース 本棚

1ヶ所

仕 様

天 板

ラバーウッド集成材 UC塗装

本体主材

樹脂コート化粧パーティクルボード
木口：樹脂シートt1.0mm貼

背 板

樹脂コート化粧MDF貼

棚 板

樹脂コート化粧MDFフラッシュ
木口：樹脂シートt1.0mm貼

台 輪

ポリ合板貼

附属品

アルミ品名差

アルミレール、名札：PET樹脂 t 0.8

※棚板は たわみ防止の為、W560mmを超える長さは不可とする。

天板：現場切欠き

天板：現場切欠き

天板：現場切欠き

A 展開図

上下R5

20

1420

1400

20

452.5

20

452.5

20

452.5

20

452.5

20

965

10

B 展開図

上下R5

20

1420

1400

20

362.5

20

362.5

20

830

10

上下R5

20

1420

1300

1200

290

23

10

30

300

330

有限会社 ティーズ設計事務所

〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂68-5

Tel. 084-949-3632

一級建築士登録 第239406号 戸梶 好喜

福山市建設局建築部営繕課

2025年 9月

福山市曙交流館改築工事

家具詳細図（1）

F-1～F-4

縮尺 1/20

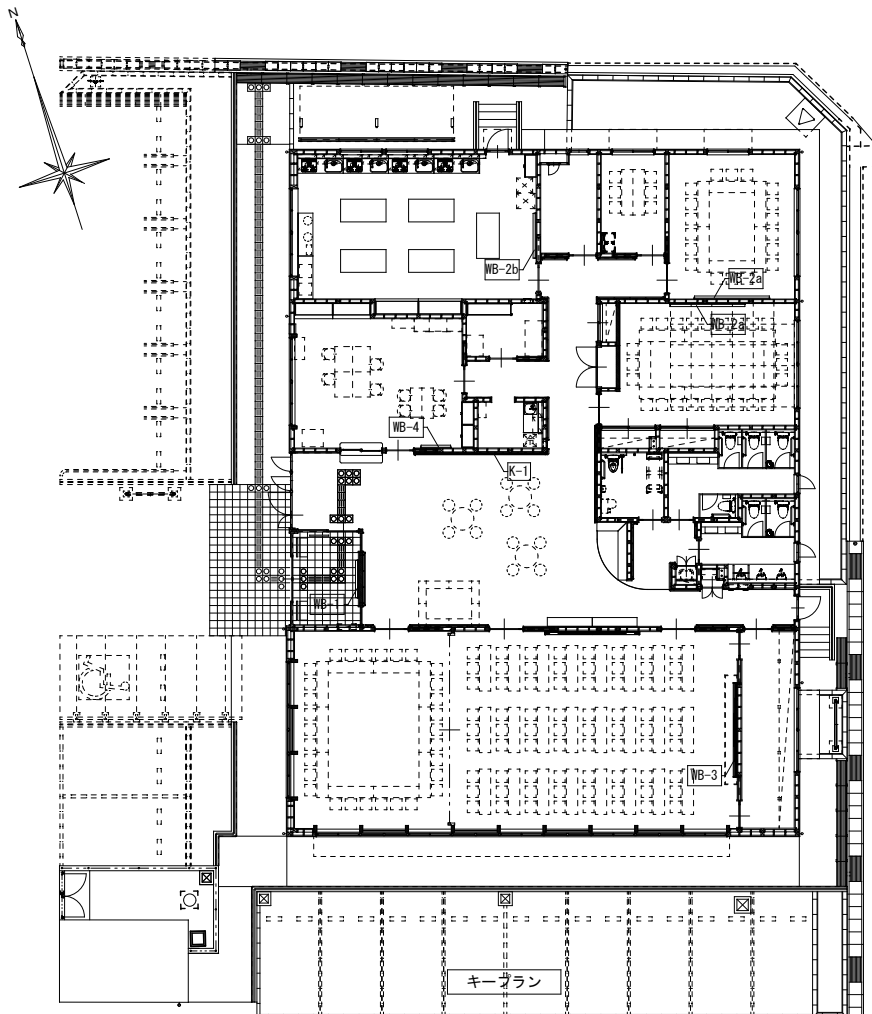
縮尺率
A1 100%
A2 71%
A3 50%

図面No

A-49

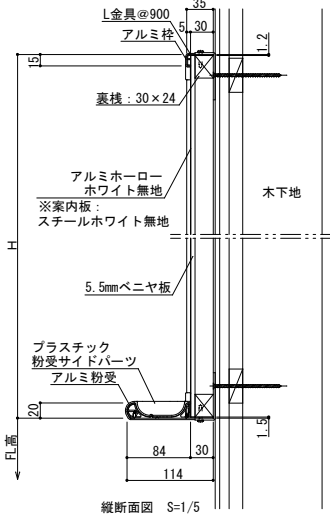
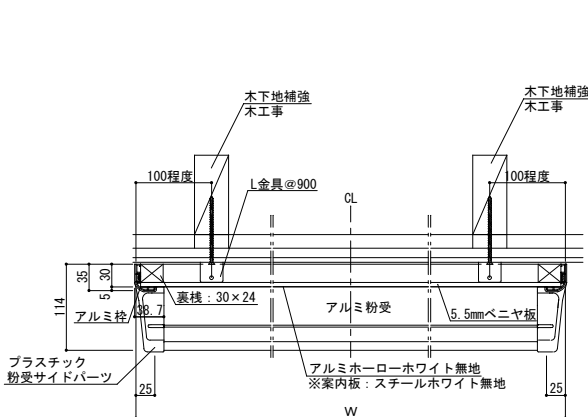
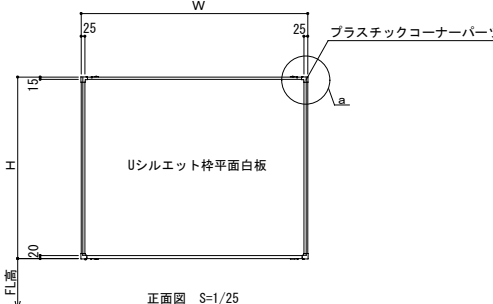
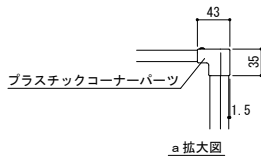
WB-1, WB-2a, WB-2b, WB-4

Uシルエット枠平面白板



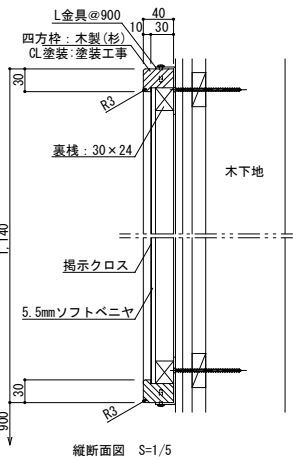
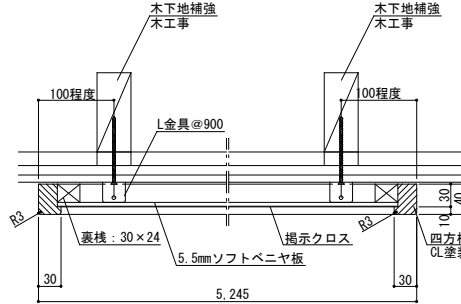
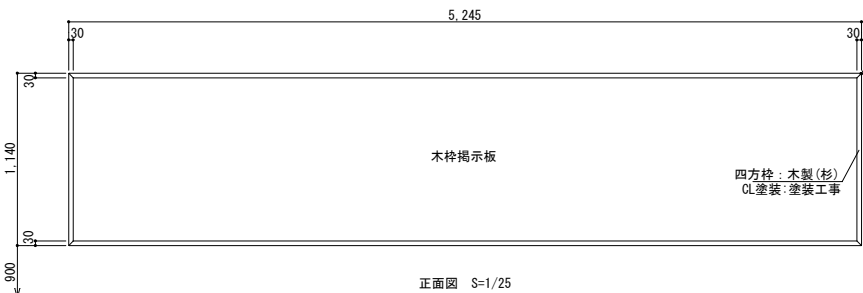
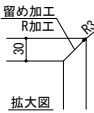
白板・掲示板リスト

室名	記号	枠	寸法 (W×H)	取付高さ	備考
風除室	WB-1	アルミ枠	1,500× 900	FL+1,100	案内板 (ホワイトボード)
多目的室	WB-2a	アルミ枠	3,000×1,200	FL+ 900	暗線なし (ホワイトボード)
団体交流室	WB-2a	アルミ枠	3,000×1,200	FL+ 900	暗線なし (ホワイトボード)
実習室	WB-2b	アルミ枠	1,800×1,200	FL+ 900	暗線なし (ホワイトボード)
大会議室	WB-3	木枠 (集成材)	3,760×1,140	FL+ 900	暗線なし (ホワイトボード) 扉付 (ポリ合板)
事務室	WB-4	アルミ枠	1,200× 900	FL+1,100	月予定表 (ホワイトボード)
交流スペース	K-1	木枠 (集成材)	5,245×1,140	FL+ 900	マグネットクロス (掲示板)



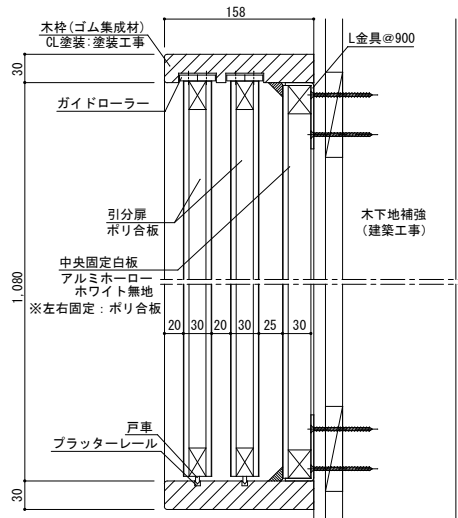
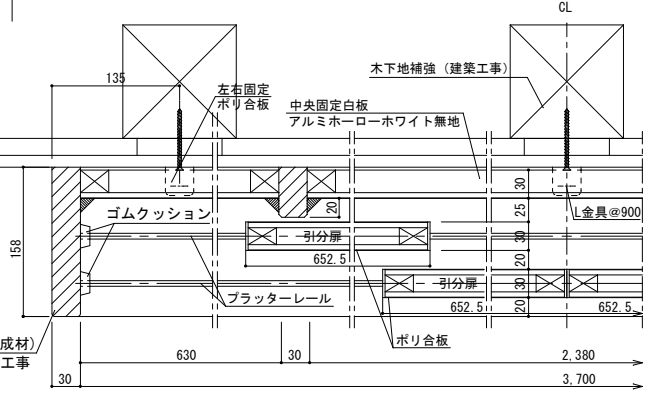
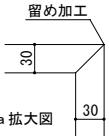
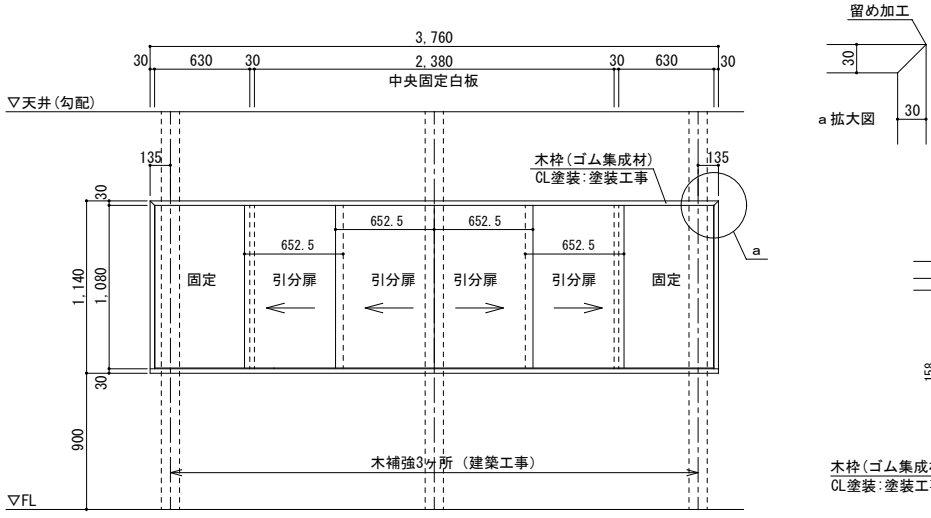
K-1

木枠掲示板



WB-3

木枠扉付ホワイトボード (引分式)



WB-1案内板 罫線文字提案図

※監督員の承諾を受けること

行事予定表				行事予定表			
月	日	午前	午後	月	日	午前	午後
大会議室				大会議室			
小会議室				小会議室			
多目的室				多目的室			
団体交流室				団体交流室			
相談室				相談室			
実習室				実習室			

ラミネートシート貼

S=1/10



有限会社 ティーズ設計事務所
〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂68-5
Tel. 084-949-3632
一級建築士登録 第239406号 戸根 好喜



福山市建設局建築部営繕課
設計 2025年 9月

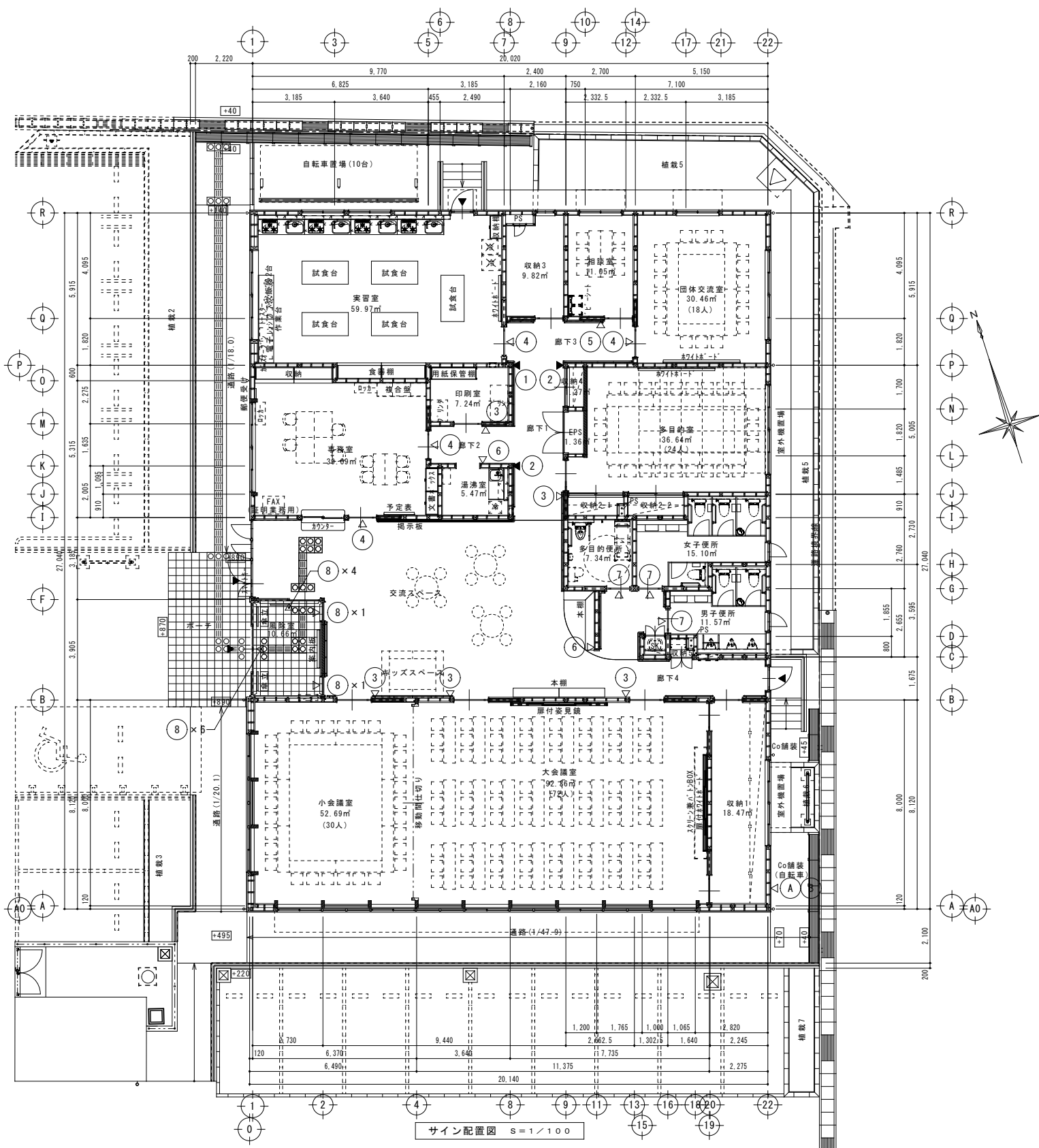
工事名称 福山市曙交流館改築工事
図面名称 白板・掲示板詳細図

縮尺 1/25・1/10
1/5・1/4

縮尺率 A1: 100%
A2: 71%
A3: 50%

図面No

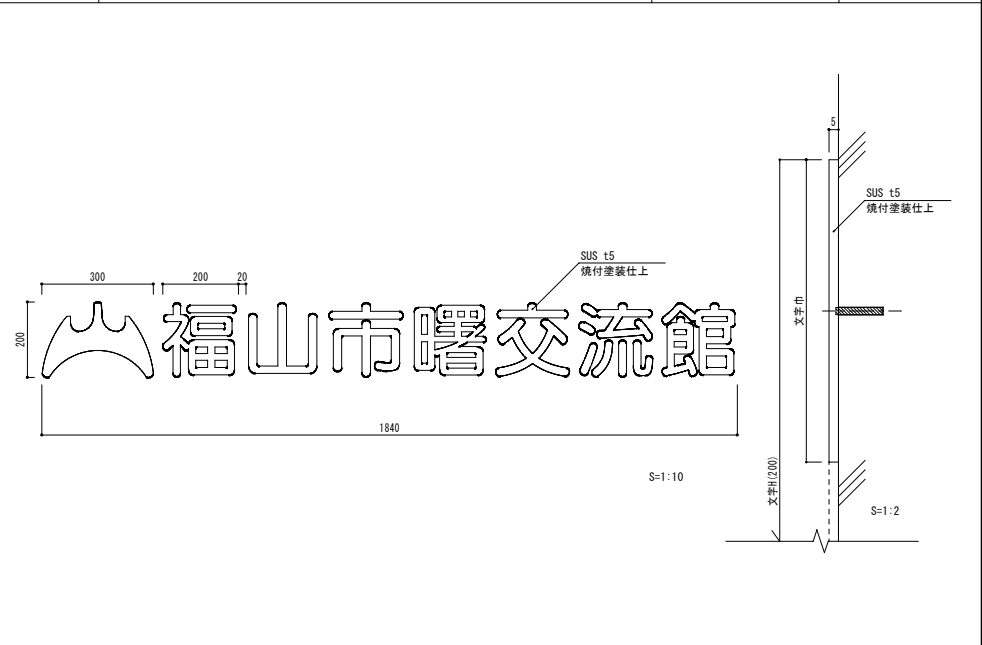
A-52



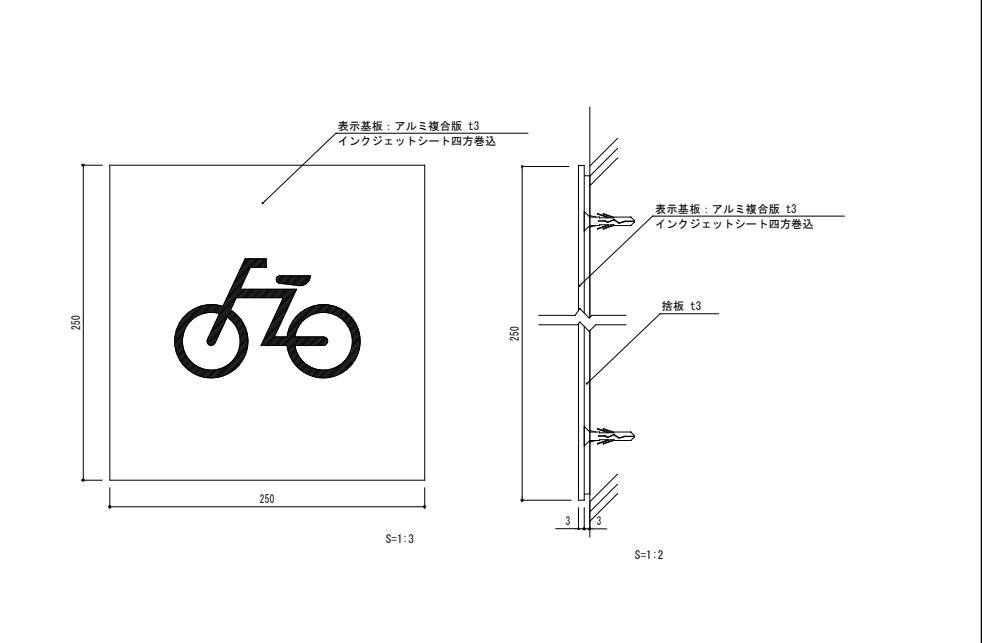
■サイン特記仕様

- [1]使用材料
- a. 木材 : VOC商品 (ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応) とする。
 - b. アルミ : JIS-H4100 A-6063 S-T5 (アルミ押出型材)
 - c. アクリル : JIS-K-6718-1 (キャスト板) , JIS-K-6718-2 (押出板)
 - d. ステンレス : JIS-G4305 SUS304, HL仕上
- [2]フォント
- a. 書体については、丸ゴシックは「スーラDB」、角ゴシックは「新ゴM」を基準とする。
※ただし、監督員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。
- [3]ピクトグラム
- a. 図柄については、原稿を作成し監督員の承認を受けること。
- [4]ユニバーサルデザイン
- a. ピクトグラム表示や点字サインの導入を推奨する。
 - b. 多様な色覚に対応した配色や明度差を理解しているCUD賛助会員による製作とする。
- [5]取付位置・方法
- a. 取付位置については、視認性を考慮し監督員と協議の上決定する。
 - b. 取付方法については、取付位置の下地などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。
 - c. 障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、監督員と協議の上決定する。
- [6]その他
- a. 室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。
又、室名札脱着の際には スライドロック機構、専用吸盤などを利用し
商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様とすること。
 - b. サイン計画については、監督員と充分に調整協議をすること。

A	市章・施設名文字(切文字)	縮尺	1:2, 1:10	数量	1
---	---------------	----	-----------	----	---



B	駐輪場サイン	縮尺	1:2, 1:3	数量	1
---	--------	----	----------	----	---

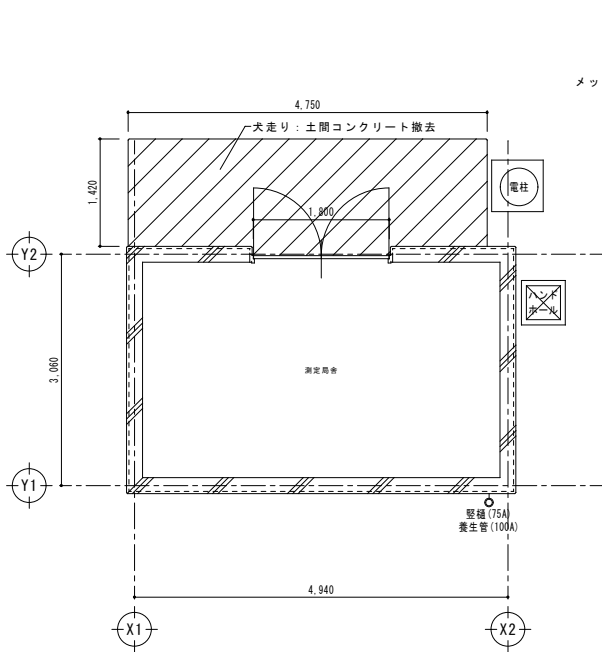


1	持出型プレート(室名)	縮尺 1:3	数量 1
2	持出型プレート(ピクト)	縮尺 1:3	数量 2
3	平付型プレート(室名1)	縮尺 1:3	数量 5
4	平付型プレート(室名2)	縮尺 1:3	数量 4
5	平付型プレート(在空中表示付室名)	縮尺 1:3	数量 1
6	平付型プレート(ピクト1)	縮尺 1:3	数量 2
7	平付型プレート(ピクト2)	縮尺 1:3	数量 3
8	衝突防止表示	縮尺 1:2	数量 12セット

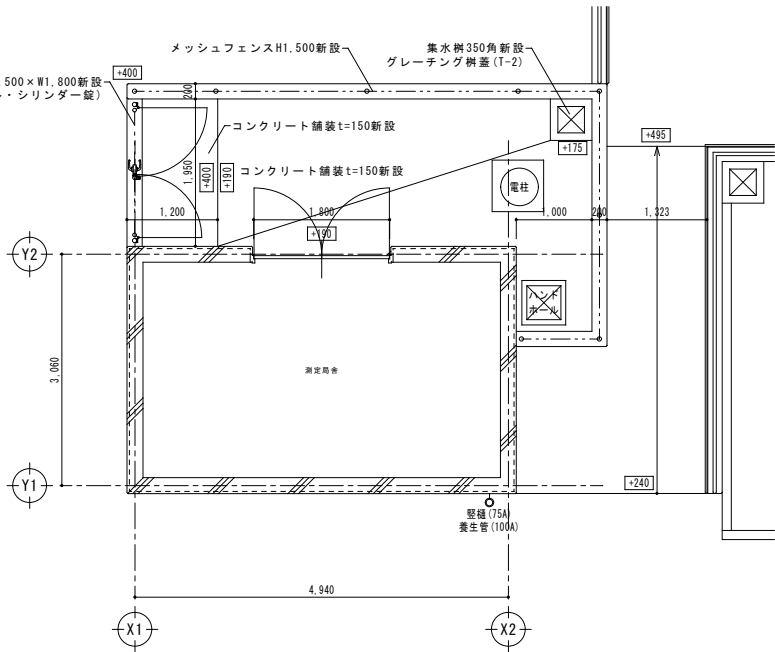
※スイング可能角度 160° ※取付ビス位置		

有限会社 ティーズ設計事務所 〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂 68-5 Tel. 084-949-3632 一級建築士登録 第239406号 戸根 好喜		福山市建設局建築部営繕課 福山市曙交流館改築工事 図面名称 サイン詳細図（２） 縮尺 1/3 1/2 総枚数 A1 100% A2 71% A3 100%		図面No A-54
--	--	---	--	--------------

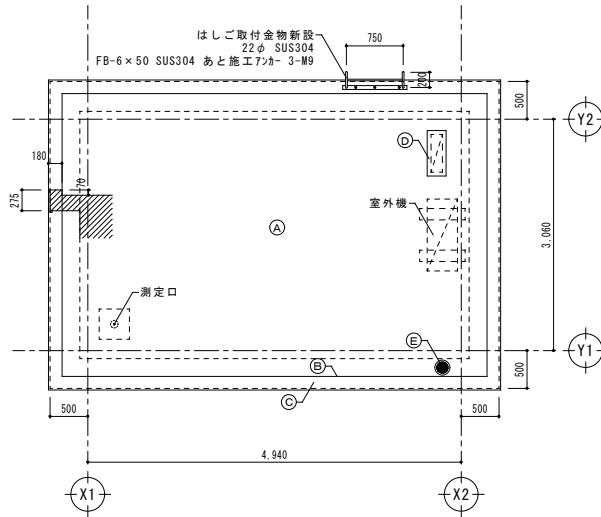
外部仕上表		
屋根	改修前	モルタル下地ウレタン系塗膜防水(X-2) 立上り部：モルタル下地ウレタン系塗膜防水(X-2) 笠木部：モルタル下地ウレタン系塗膜防水(X-2) 制御盤基礎：コンクリート下地ウレタン系塗膜防水(X-2) ルーフドレン：75A(バルコニー用)
	改修後	下地処理の上ウレタン系塗膜防水(X-2) 立上り部：下地処理の上ウレタン系塗膜防水(X-2) 笠木部：下地処理の上ウレタン系塗膜防水(X-2) 制御盤基礎：下地処理の上ウレタン系塗膜防水(X-2) ルーフドレン：既存のまま
軒裏	改修前	コンクリート下地外装薄塗材E(ゆず肌状ローラー)
	改修後	下地調整の上外装薄塗材E(ゆず肌状ローラー)
外壁	改修前	コンクリート下地複層塗材E(ゆず肌状ローラー) パラペット部：モルタル下地複層塗材E(ゆず肌状ローラー)
	改修後	下地調整の上複層塗材E(ゆず肌状ローラー) パラペット部：下地調整の上複層塗材E(ゆず肌状ローラー)
建具	改修前	鋼製建具面SOP塗り
	改修後	下地調整の上SOP塗り
基礎巾木	改修前	コンクリート筋引き仕上げ
	改修後	既存のまま
大走り	改修前	モルタル金こて仕上げ
	改修後	土間コンクリート撤去
とい	改修前	硬質塩化ビニル雨どい 75A 足金物(溶融亜鉛めっき) φ1.2m以下 SGP養生管 100A H=200
	改修後	雨どい：取替え 足金物：既存のまま 養生管：取替え



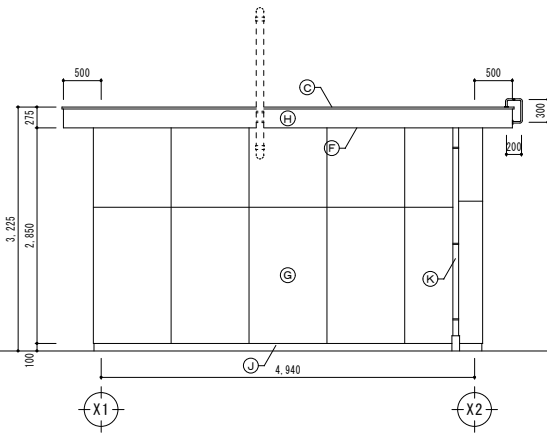
改修前平面図 S = 1 / 5 0



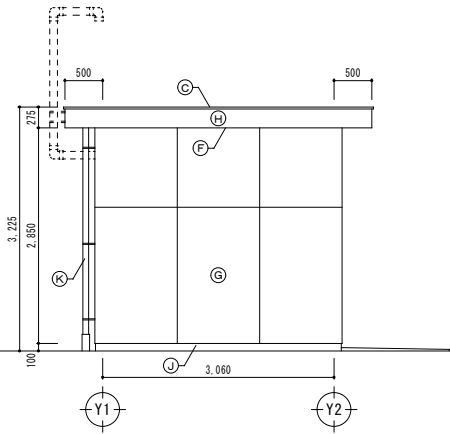
改修後平面図 S = 1 / 5 0



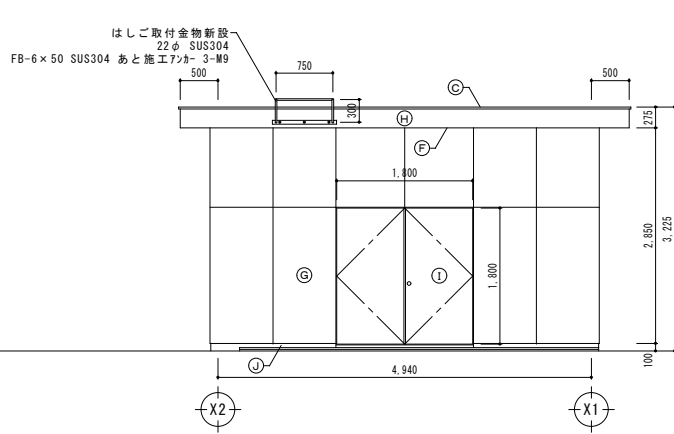
屋根伏図 S = 1 / 5 0



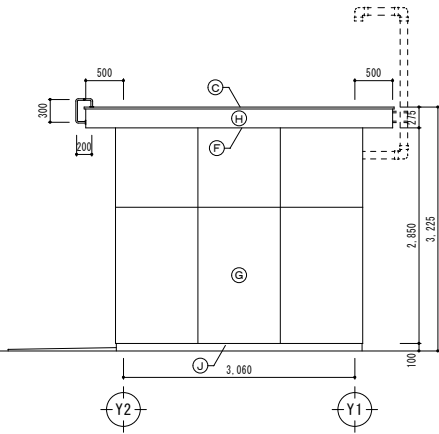
南立面図 S = 1 / 5 0



東立面図 S = 1 / 5 0

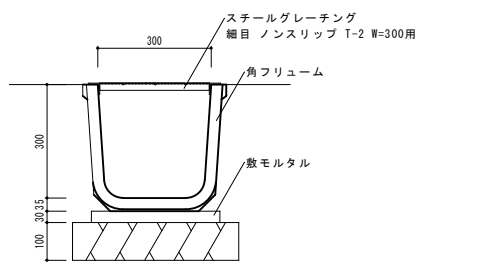
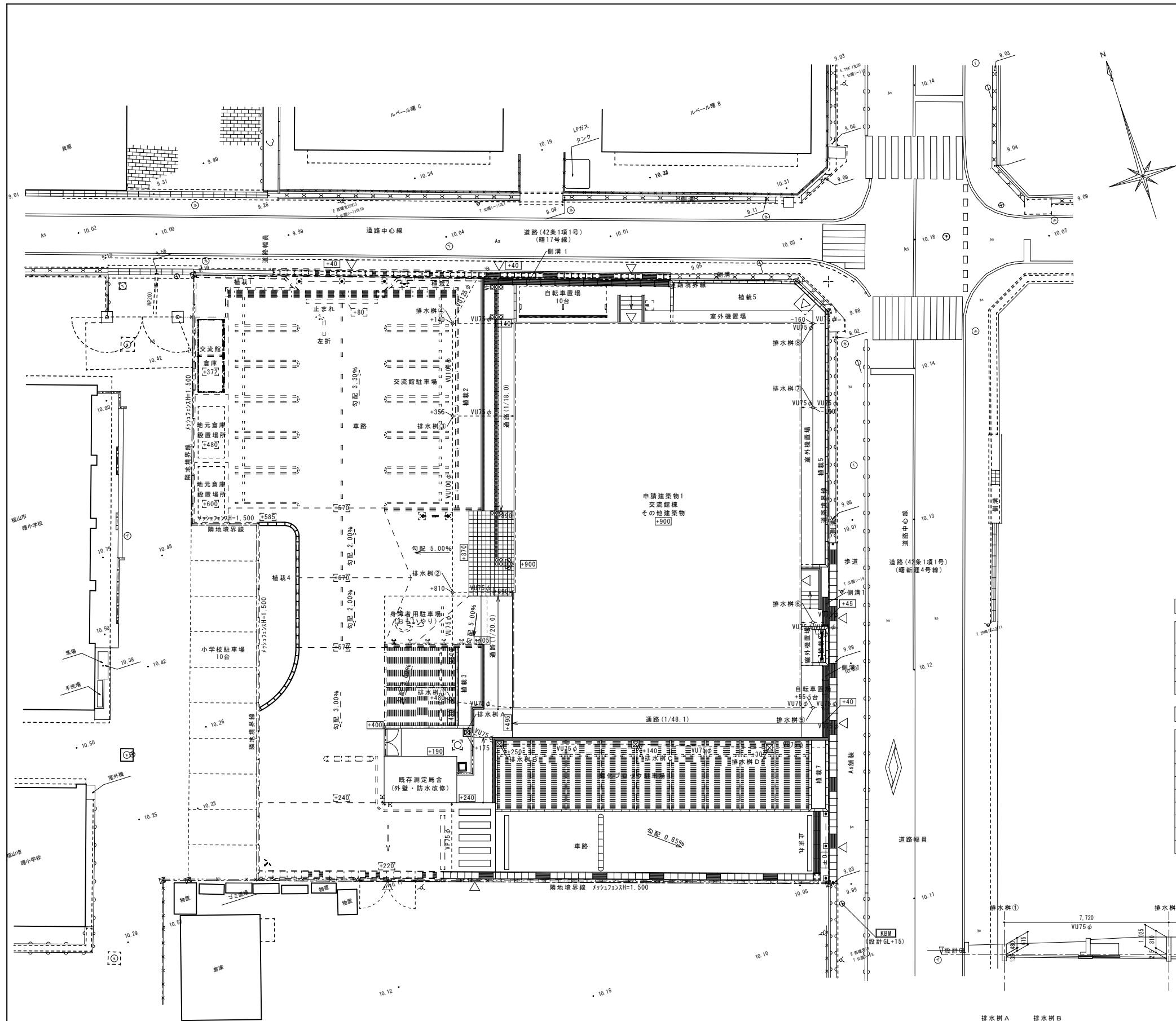


北立面図 S = 1 / 5 0

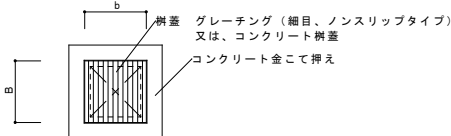


西立面図 S = 1 / 5 0

凡 例
(A) 屋根：下地処理の上ウレタン系塗膜防水(X-2)
(B) 屋根立上り部：下地処理の上ウレタン系塗膜防水(X-2)
(C) 屋根笠木部：下地処理の上ウレタン系塗膜防水(X-2)
(D) 制御盤基礎：下地処理の上ウレタン系塗膜防水(X-2)
(E) ルーフドレン：既存のまま
(F) 軒裏：下地調整の上外装薄塗材E(ゆず肌状ローラー)
(G) 外壁：下地調整の上複層塗材E(ゆず肌状ローラー)
(H) 外壁パラペット部：下地調整の上複層塗材E(ゆず肌状ローラー)
(I) 建具：下地調整の上SOP塗り
(J) 基礎巾木：既存のまま
(K) 雨どい：取替え 足金物：既存のまま 養生管：取替え



側溝 1 詳細図 S=1/10



RC製排水樹 詳細図 S=1/30

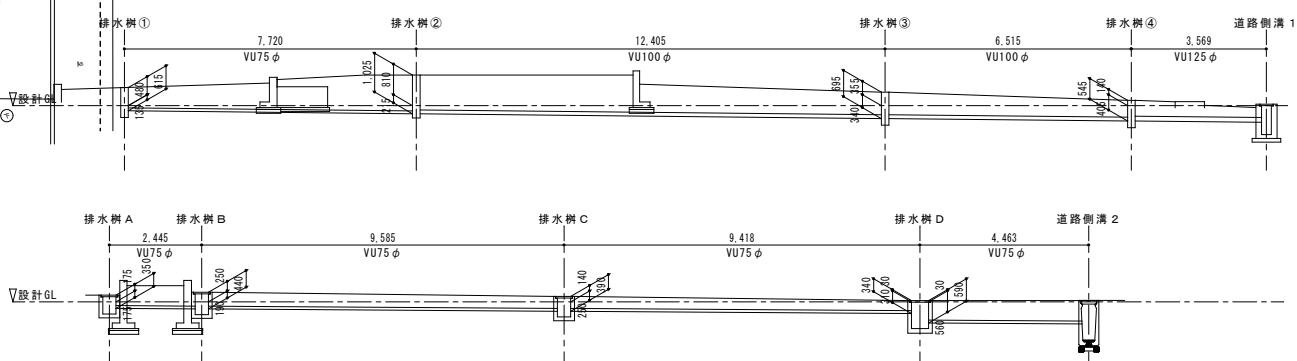
RC製排水樹リスト

記号	A × a	B × b	管底	設計GLからの 樹天端高さ	T	t	箇所	樹 蓋
A	350 × 350	450 × 450	350	+175	100	100	1	グレーチング 蓋 (受付付) T-2
B	350 × 350	450 × 450	440	+250	100	100	1	コンクリート樹蓋 1種 (歩行者用)
C	350 × 350	450 × 450	390	+140	100	100	1	コンクリート樹蓋 1種 (歩行者用)
D	450 × 450	550 × 550	590	+30	120	100	1	コンクリート樹蓋 1種 (歩行者用)

塩ビ製排水樹リスト

*塩ビ製雨水樹はアロンマスAMシリーズ同等品

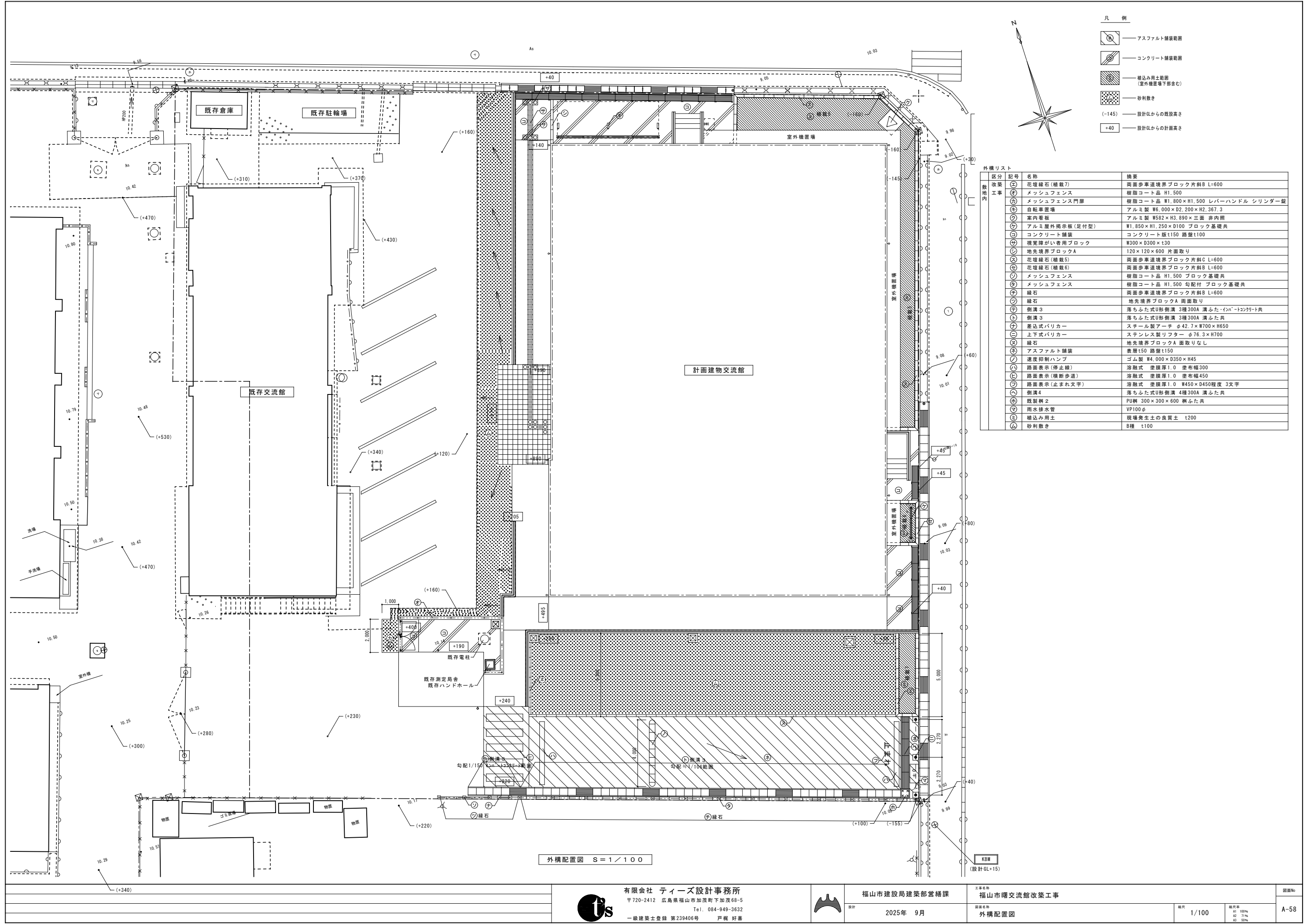
記号	仕様 (管径・樹径)	樹蓋	樹の深さ (管底)	設計GLからの 樹天端高さ	箇所	地盤状況
①	100・150	塩ビ製 150φ	615	+480	1	As
②	100・150	塩ビ製 150φ	1,025	+810	1	As
③	100・150	塩ビ製 150φ	695	+356	1	As
④	150・200	塩ビ製 200φ	545	+140	1	As
⑤	100・150	塩ビ製 150φ	260	+55	1	コンクリート
⑥	100・150	塩ビ製 150φ	260	+50	1	コンクリート
⑦	100・150	塩ビ製 150φ	240	-160	1	土
⑧	100・150	塩ビ製 150φ	240	-160	1	土



雨水排水勾配図 S=1/100

配置図 S=1/150

特記事項
・設計GL=KBM+15とする。
・FL=設計GL+900とする。



① 屋外用消火器ボックス S=1/10 屋外用消火器ボックス：ナカ工業㈱ MFD-3000N同等品 ※ABC10型消火器含む 本体：SUS304 t=0.6 HL 水抜き穴 10φ-2 上下4点リベット止め		④ 測定局舎フェンス基礎 S=1/20 基礎天端 V設計 6L+595 (舗装面) 地盤面 V設計 6L コンクリート設計基準強度：21N/mm2 スラップ：15cm		⑤ 測定局舎フェンス門扉基礎 S=1/20 基礎天端 V設計 6L+415 (舗装面) 地盤面 V設計 6L コンクリート設計基準強度：21N/mm2 スラップ：15cm		⑦① 側溝3 S=1/20 落ちふた式U形側溝 3種 300A 落ちふた式U形側溝蓋 3種又は スチールグレーチング 細目 ノンスリップ T-20 W=300用 インバートコンクリート (㊦のみ) 水勾配 1/150 敷モルタル グレーチングフック：1セット		⑦② 側溝4 S=1/20 落ちふた式U形側溝 4種 300A スチールグレーチング 細目 ノンスリップ T-20 W=300用 敷モルタル			
② 案内看板 S=1/30 S=1/5 案内看板：美装 TRX-6040 (非内照) 同等品 ※印刷は、屋外用印刷フィルム貼りとする。 コンクリート設計基準強度：21N/mm2 スラップ：15cm 【平面図 S=1/30】 【断面図 S=1/5】		⑦ アルミ屋外掲示板(足付型) S=1/30 正面図 S=1/30 側面図 S=1/30 【A-A部 断面図 1/5】 【B-B部 断面図 1/5】 ※屋外掲示板：神栄ホームクリエイト SK-2071-3 (LED灯付) 同等品		③ コンクリート舗装 S=1/10 コンクリート版 溶接金網 φ6×150×150 路盤 再生クラッシャーラン							
② 花壇緑石(植栽5) S=1/10 【正面図 S=1/30】		④ 花壇緑石(植栽6) S=1/10 【正面図 S=1/30】		② メッシュフェンス S=1/20 メッシュフェンス H1,500 勾配付 モルタル詰め モルタル t50 ブロック基礎 #2,000以下		⑦ 緑石 S=1/10 公園 敷地内 再生クラッシャーラン モルタル		⑦ 緑石 S=1/10 公園 敷地内 再生クラッシャーラン モルタル		⑦ 差込式バリアー S=1/20 スチール製アーチ 南京錠 25mm 鋼壁天端 鋼壁</	



有限会社 ティーズ設計事務所
〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂68-5
Tel. 084-949-3632
一級建築士登録 第239406号 戸根 好喜



福山市建設局建築部営繕課
設計 2025年 9月

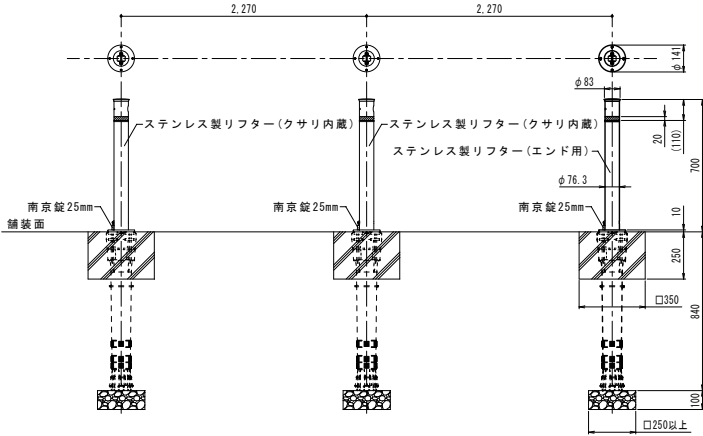
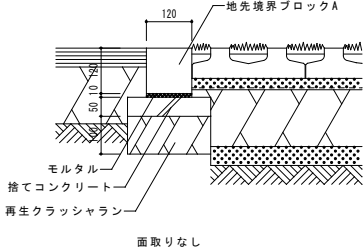
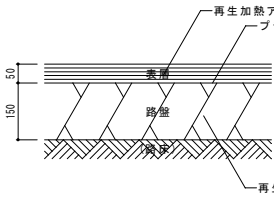
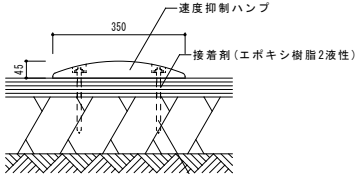
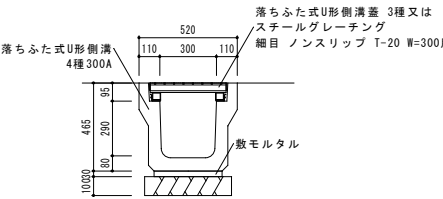
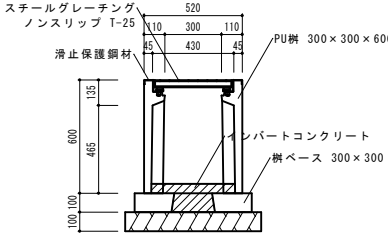
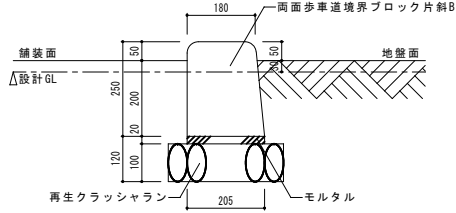
工事名称 福山市曙交流館改築工事
図示 外構詳細図(1)

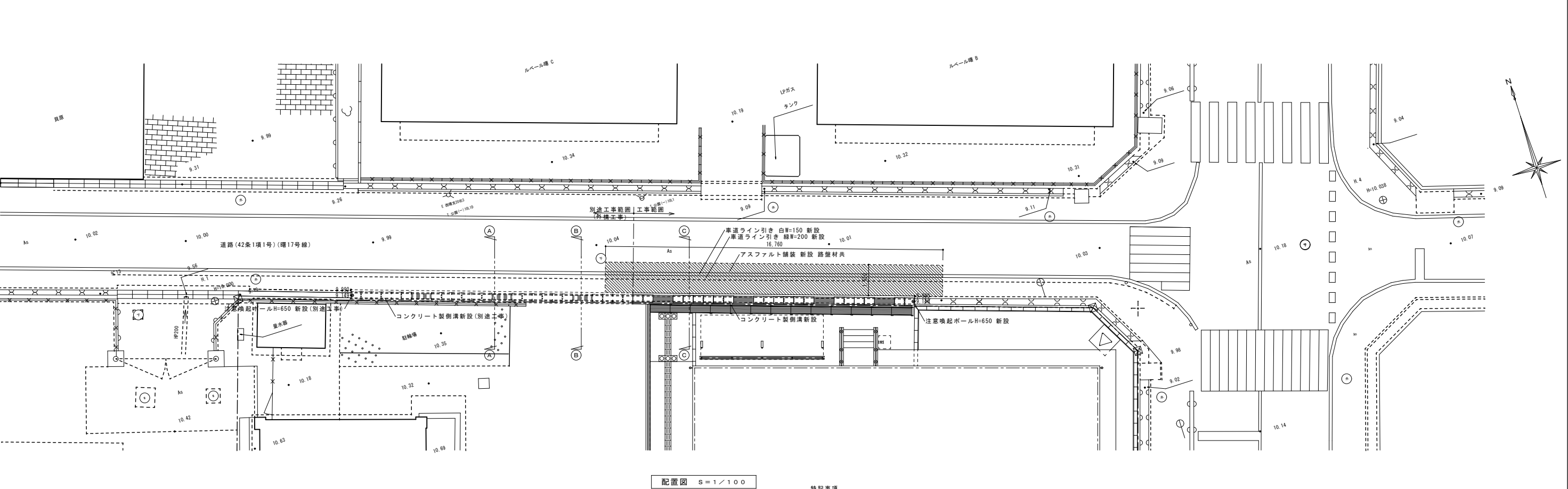
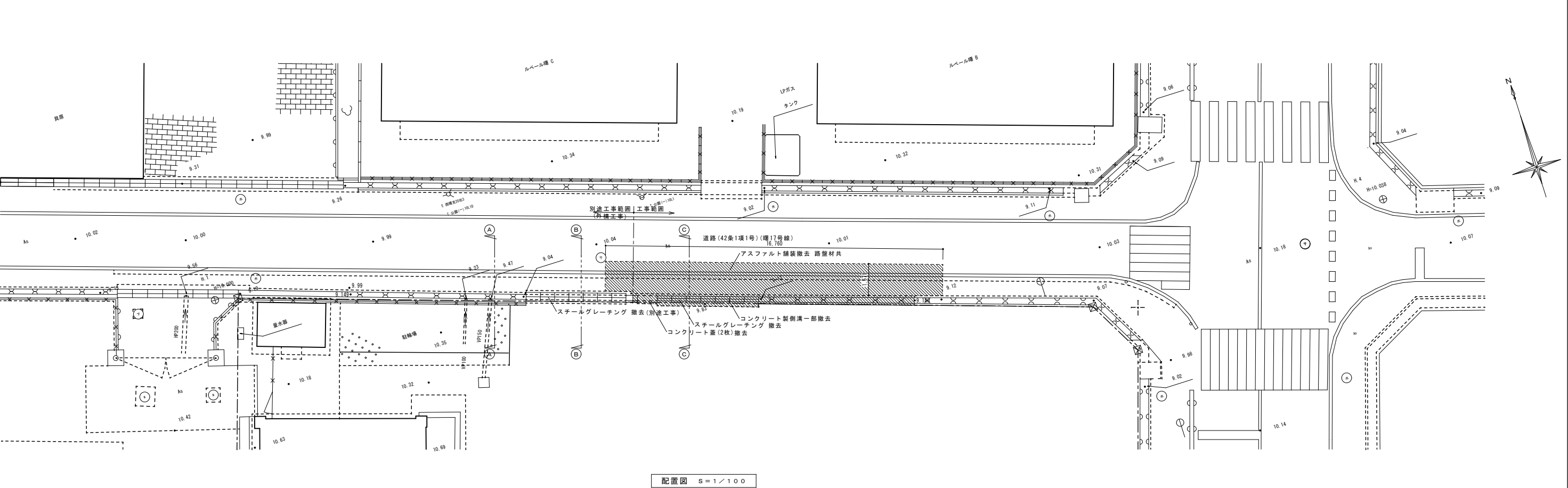
図示

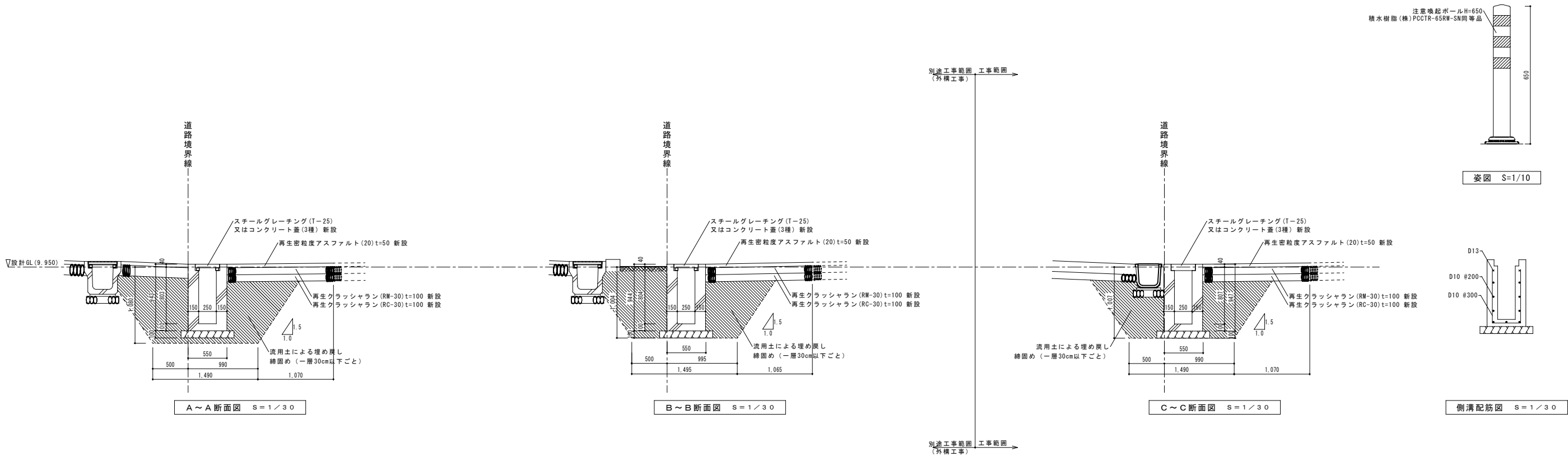
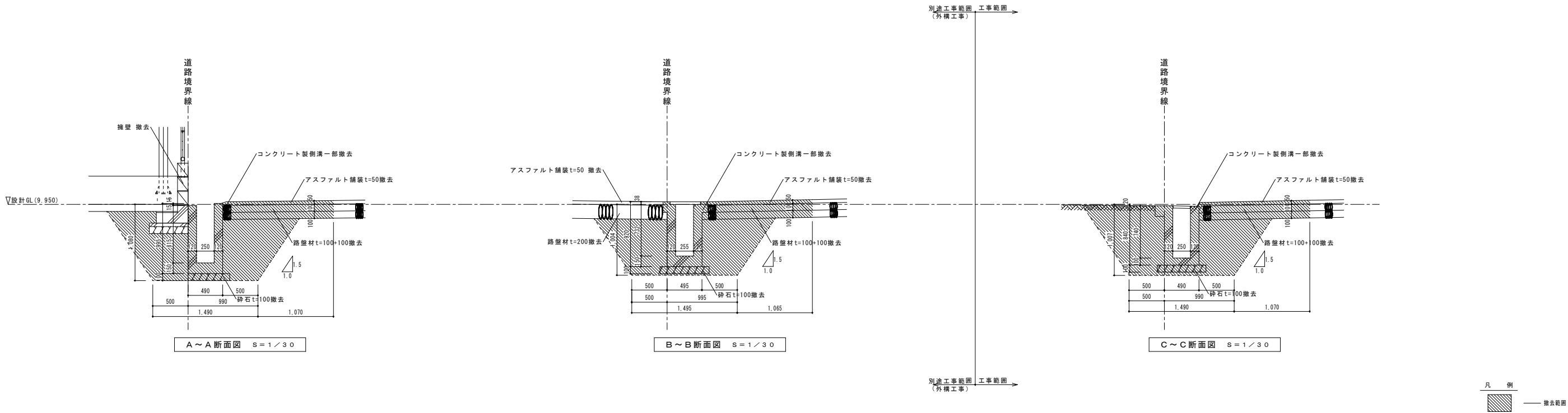
縮尺率
A1: 100%
A2: 71%
A3: 50%

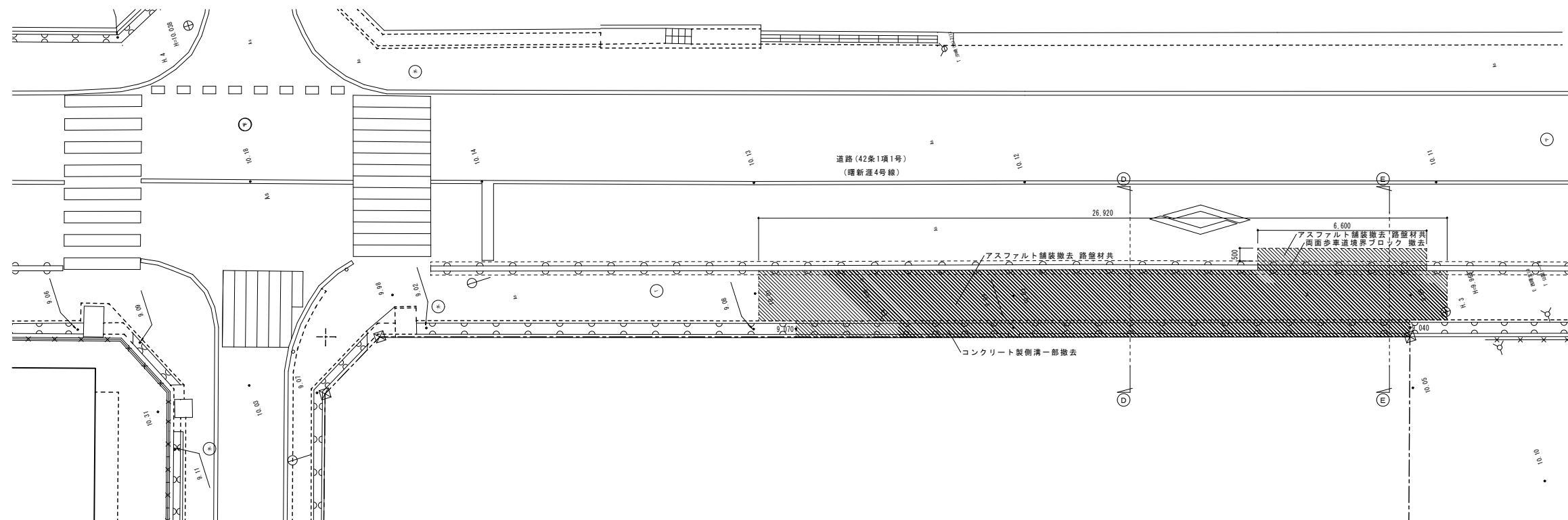
図面No

A-59

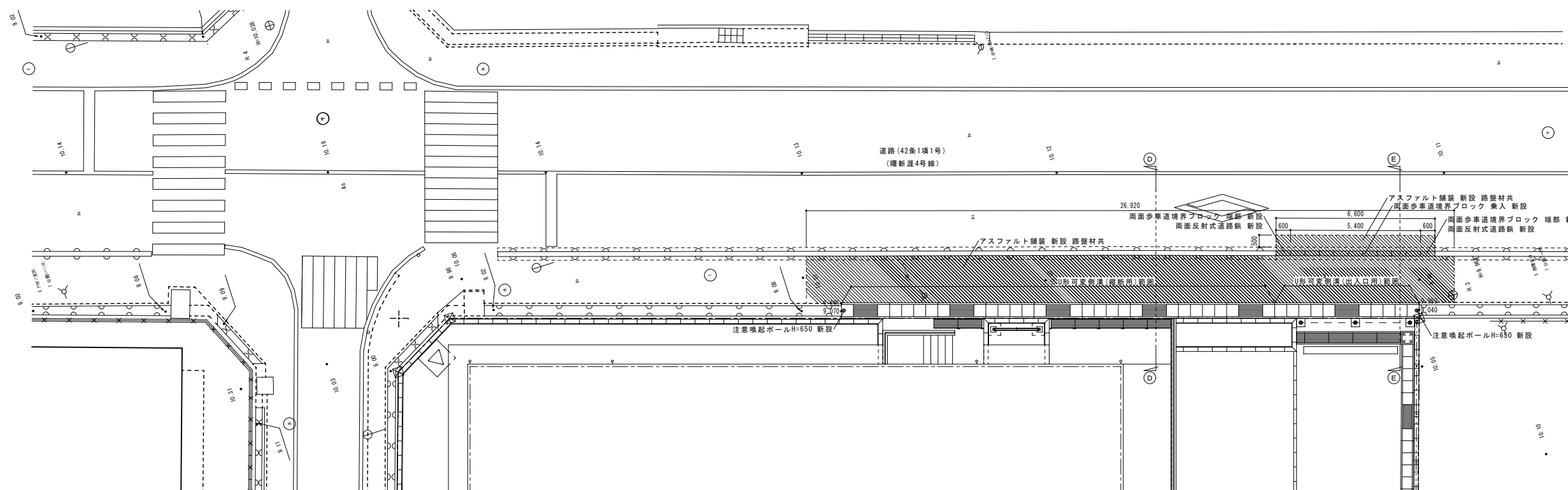
㊦ 上下式バリカー	S = 1 / 2 0	㊦ 縁石	S = 1 / 1 0	㊦ アスファルト舗装	S = 1 / 1 0	㊦ 速度抑制ハンブ	S = 1 / 1 0	㊦ 側溝 4	S = 1 / 2 0
 ステンレス製リフター：サンポール LA-8LC同等品		 面取りなし		 再生クラッシュラン		 速度抑制ハンブ：吾妻商会 SPW-A3同等品		 落ちふた式U形側溝 3種又は スチールグレーチング 細目 ノンスリップ T-20 W=300用	
㊦ 既製樹 2	S = 1 / 2 0	㊦ 花壇縁石 (植栽7)	S = 1 / 1 0						
 スチールグレーチング ノンスリップ T-25		 両面歩車道境界ブロック片斜B							





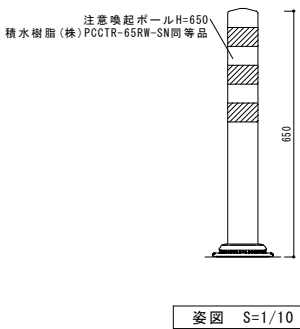
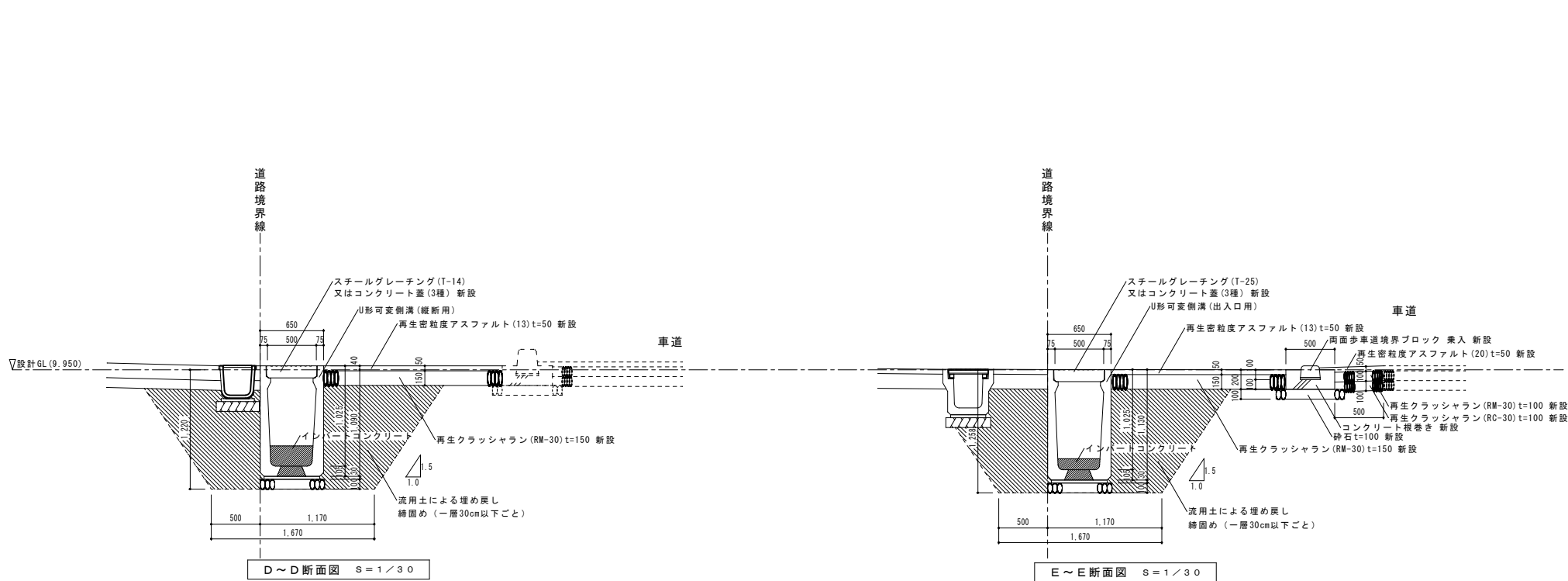
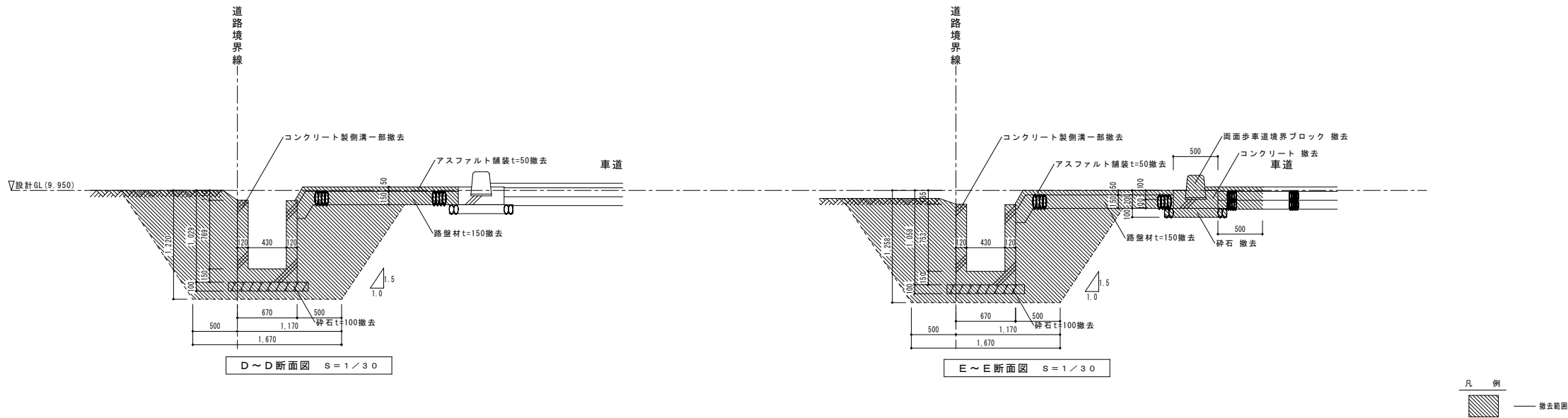


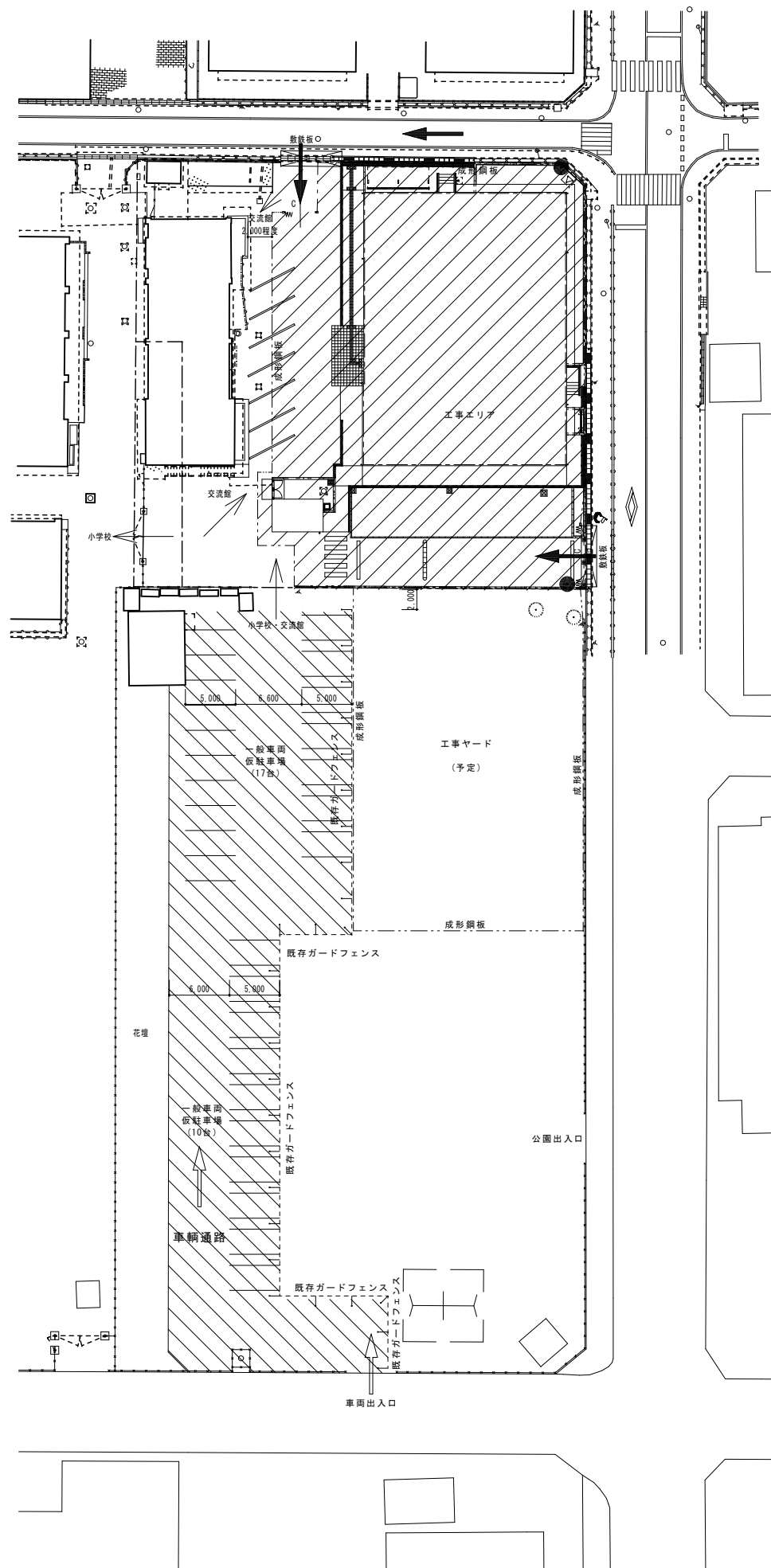
配置図 S = 1 / 100



配置図 S = 1 / 1 0 0

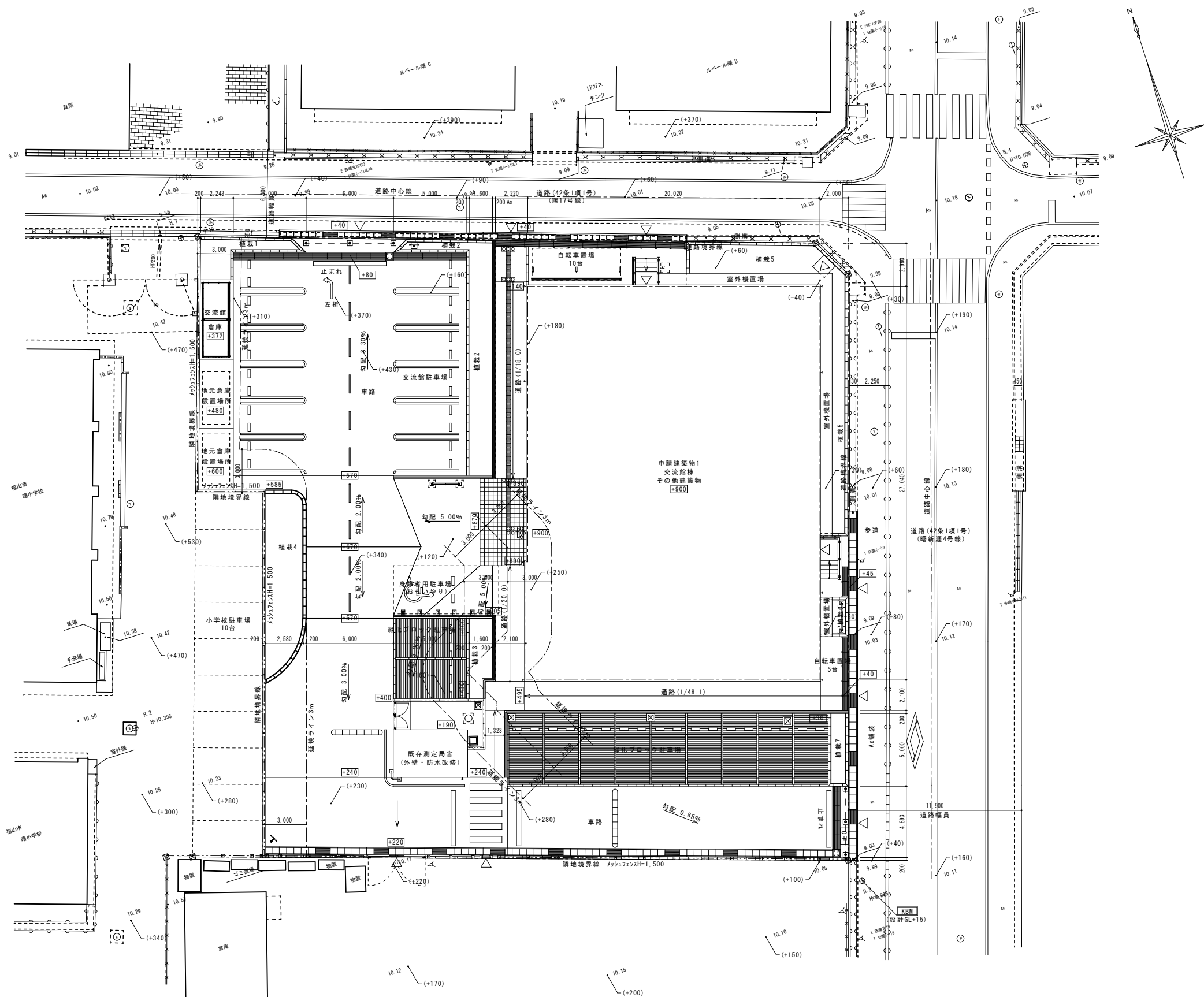
- ・設計GL=KBM-15とする。
- ・FL=設計GL+900とする。





特記事項

1. 工事車両出入口、バネルゲート程度とする。
2. 仮設囲いに記載された仮設等は、発注者の考えを示したものである。実際の施工においては、事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努めること。
3. 仮設囲いは、監督官の承諾を得ること。
4. 既存仮囲い(単管・ガードフンス)は、工事後も残置すること。
5. 通小校の児童の移動が集中する時間帯(登下校時等)は、重機・資材の搬入を避けること。
6. 重機動機士2名以上、昼間は8:05(時間半経過後レベル5)まで、振動は70db(時間1分振動レベル以下)の範囲をなるべく遵守すること。



配置図 S=1/150

特記事項

- ・設計GL=KBM-15とする。
- ・FL=設計GL+900とする。

凡 例

(+170) ——— 設計GLからの現況地盤高さ

[+240] ——— 設計GLからの計画地盤高さ

鉄筋工事仕様書 No. 1

この仕様書は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）5章鉄筋工事により作成する。この仕様書及び図面に明示なき場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）5章鉄筋工事による。

鉄筋の折曲げ基準

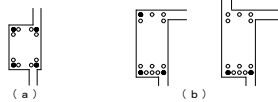
鉄筋の折曲げ形状及び寸法

折曲げ角度	折 曲 げ 図	折曲げ内法直径（D）		
		SD295、SD345	SD390	
		D16以下	D19～D38	D19～D38
180°				
135°				
90°		3d以上	4d以上	5d以上
135° 及び 90°				

- （注）1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90° フック又は135° フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。
2. 90° 未満の折曲げの内法直径は、特記による。

異形鉄筋のフック

- 次の部分に使用する異形鉄筋の末端部には、フックを付ける。
1) 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合。
（下図（a）の●印で示す鉄筋）
2) 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合。（基礎梁を除く）
（下図（b）の●印で示す鉄筋）
3) 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む。）
4) 杭基礎のベース筋
5) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋



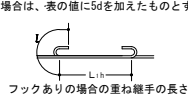
鉄筋の継手及び定着

1. 鉄筋の継手

- 鉄筋の重ね継手は、次による。
なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
1) 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。特記がなければ、耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40d（軽量コンクリートの場合は50d）又は下表の重ね継手長さのうち大きい値とする。
2) 1) 以外の鉄筋の重ね継手の長さは、下表による。

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	L_1 (フックなし)	L_{1h} (フックあり)
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
	30, 33, 36	35d	25d
SD345	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
	30, 33, 36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24, 27	45d	35d
	30, 33, 36	40d	30d

- （注）1. L_1 、 L_{1h} ：重ね継手の長さ、フックありの重ね継手の長さ
2. L_{1h} は、下図に示すようにフック部分1を含む。
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

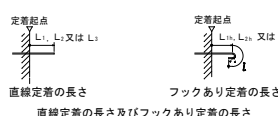


2. 鉄筋の定着

- 1) 鉄筋の定着の長さは、特記による。特記がなければ、下表による。

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	直線定着の長さ		フックあり定着の長さ	
		L_1	L_2	L_{1h}	L_{2h}
SD295	18	45d	40d	10d	10d
	21	40d	35d	10d	10d
	24, 27	35d	30d	10d	10d
	30, 33, 36	35d	30d	10d	10d
SD345	18	50d	40d	10d	10d
	21	45d	35d	10d	10d
	24, 27	40d	35d	10d	10d
	30, 33, 36	35d	30d	10d	10d
SD390	21	50d	40d	10d	10d
	24, 27	45d	40d	10d	10d
	30, 33, 36	40d	35d	10d	10d

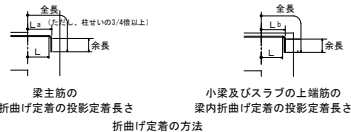
- （注）1. L_1 、 L_{1h} ：（注）2. から4. まで以外の直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ
2. L_2 、 L_{2h} ：割取破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
3. L_2 ：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁を除く。
4. L_{2h} ：小梁の下端筋のフックありの定着の長さ。
5. フックありの定着の場合は、下図に示すようにフック部分1を含む。
また、中間部での折曲げは行わない。
6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。



3) 定着の方法

- 仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さし、フックありの定着の長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法は、特記による。特記がなければ、下記の（1）から（3）までを全て満足するものとする。

- (1) 全長は、2) 1) の直線定着の長さ以上とする。
(2) 余長は、8d以上とする。
(3) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さ L_1 及び L_{1h} は、下図に示す長さとする。
ただし、梁主筋の柱内定着においては、柱せいの3/4以上とする。



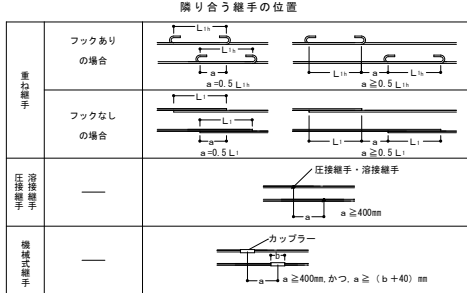
3. 鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	L_1	L_{1h}
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
	30, 33, 36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24, 27	20d	15d
	30, 33, 36	20d	15d
SD390	21	20d	20d
	24, 27	20d	20d
	30, 33, 36	20d	15d

- （注）1. L_1 ：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持梁及び片持ちスラブを含む。）
2. L_{1h} ：小梁及びスラブ上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

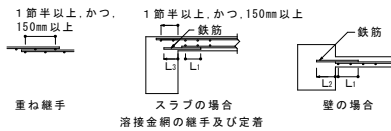
4. 隣り合う継手の位置

- 隣り合う継手の位置は、下図による。ただし、スラブ筋でD16以下の場合及び壁筋の場合は除く。なお、先組工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所に入れる場合は、特記による。

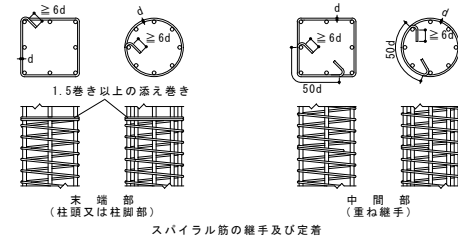


5. 溶接金網の継手及び定着

- L_1 は1. 2) 、 L_2 及び L_{2h} は2. 2) による。



6. スパイラル筋の継手及び定着



鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

1. 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ（mm）
柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

構造部分の種類	最小かぶり厚さ（mm）
スラブ、耐力壁	仕上がりあり 20
以外の壁	仕上がりなし 30
柱	屋 内 仕上がりあり 30
梁	仕上がりなし 30
耐力壁	屋 外 仕上がりあり 30
	仕上がりなし 40
擁壁、耐圧スラブ	40
土に接しない部分	柱、梁、スラブ、壁 40
土に接する部分	基礎、擁壁、耐圧スラブ 60
煙突等高温を受ける部分	60

- （注）1. この表は、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。
2. 「仕上がりあり」とは、モルタル塗り等の仕上がりのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上がり（仕上塗材、塗装等）のものを除く。
3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは、杭先端からとする。

2. 鉄筋相互のあき

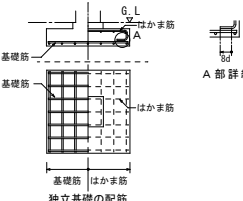
- 1) 次の値のうち最大のもの以上とする。
(1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
(2) 25mm
(3) 隣り合う鉄筋の平均径の1.5倍
2) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきも、同様とする。
3) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
3. 鉄筋の表示記号

丸 鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	28φ	32φ
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D28	D32
記 号	●	×	○	●	○	○	○	○

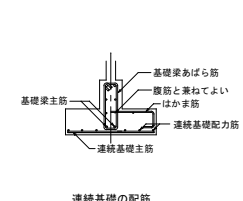
基礎の配筋

1. 直接基礎の配筋

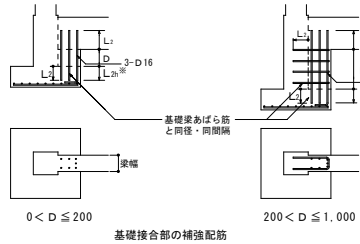
(a) 独立基礎



(b) 連続基礎



2. 基礎接合部の補強配筋

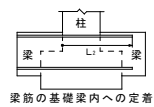


基礎梁の配筋

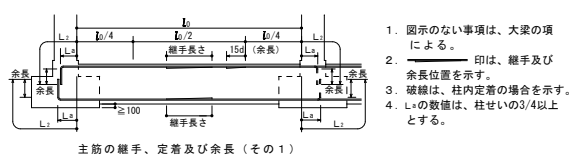
1. 基礎梁主筋の継手、定着及び余長

1) 一般事項

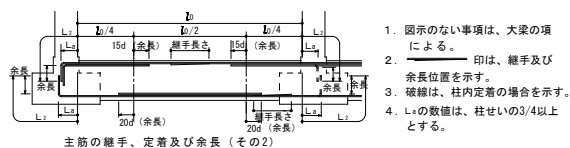
- (1) 梁筋は、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。
(2) 梁筋を柱内に定着する場合は、梁の配筋1. 1) (2) による。



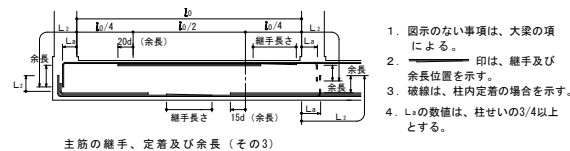
2) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長



3) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長

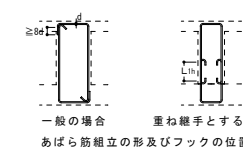


4) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長



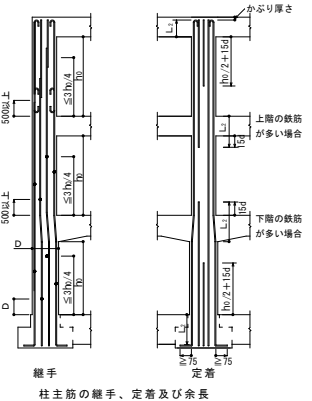
2. 基礎梁のあばら筋

- あばら筋組立の形及びフックの位置は、梁の配筋2. 1) による。ただし、梁の上下にスラブがつく場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、下図によることができる。



柱の配筋

1. 柱主筋の継手、定着及び余長



- （注）1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
2. 隣り合う継手の位置は、「隣り合う継手の位置」による。
3. 柱頭定着長さ L_1 が確保できない場合は、構造計算等により必要長さの確認を行うものとする。
4. 柱頭柱主筋について、梁上端主筋との取合いを考慮し、適切なかぶり厚さを確保する。

2. 帯筋組立の形及び割付け

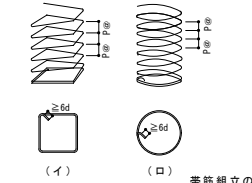
① H形



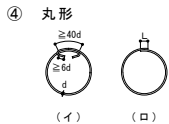
② W-I形



③ S P形（スパイラル筋）

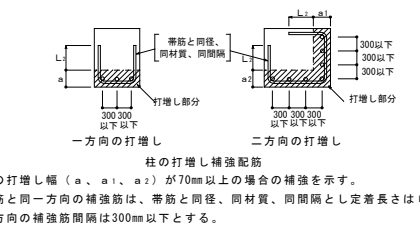


- （注）溶接は、鉄筋の組立前に行う。



- (1) H形を標準とする。
(2) フック及び継手の位置は、交互とする。
(3) 溶接する場合の溶接長さ L_1 は、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。
(4) S P形において、柱頭及び柱筋の端部は、1.5巻き以上の添巻きを行う。
(5) H形の135° 曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。

4. 柱の打ち増し補強

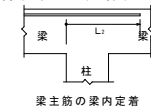


梁の配筋

1. 大梁主筋の継手、定着及び余長

1) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項

- (1) 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着することができる。
ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。

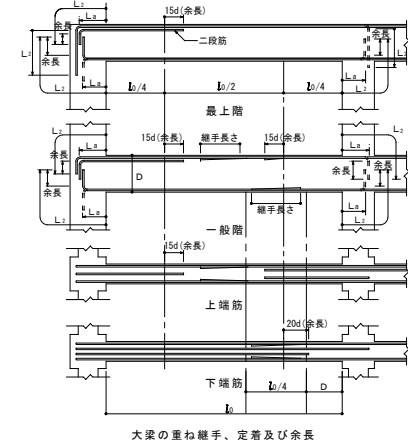


2) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。

- なお、定着の方法は継手及び定着の項による。
上端筋：曲げ降ろす。
下端筋：原則として曲げ上げる。
(3) 段違い梁は、下図による。

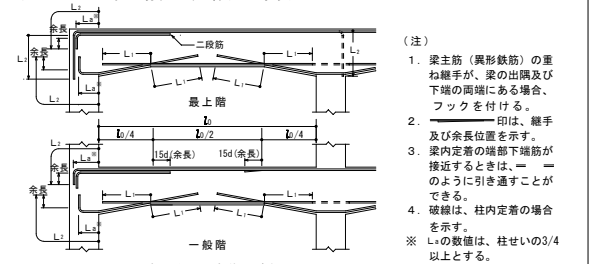


2) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長



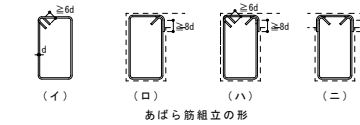
- （注）1. 継手中心位置は次による。
上端筋：中央 $b/2$ 以内
下端筋：柱面より梁せいの D 以上とし、 $b/4$ を加えた範囲以内
2. 梁主筋（異形鉄筋）の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合、フックを付ける。
3. 印は、継手及び余長位置を示す。
4. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L_1 の数値は、柱せいの3/4以上とする。

3) ハンチのある場合の定着及び余長



2. あばら筋（小梁、片持ち梁、基礎梁含む）の組立の形及び割付け等

1) あばら筋組立の形及びフックの位置



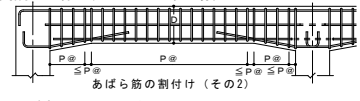
- (1) (イ) 形を標準とする。ただし、L形梁の場合は、(ロ) 又は (ハ)、T形梁の場合は、(ロ) ～ (ニ) とすることができる。
(2) フックの位置は、(イ) の場合は交互とし、(ロ) の場合は、L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。なお、(ハ) の場合は床版の付く側を90° 折曲げとする。

2) あばら筋の割付け

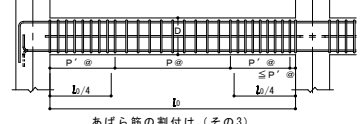
(1) 間隔が一樣で、ハンチのない場合



(2) 間隔が一樣で、ハンチのある場合

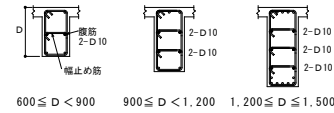


(3) 梁の端部で間隔の異なる場合



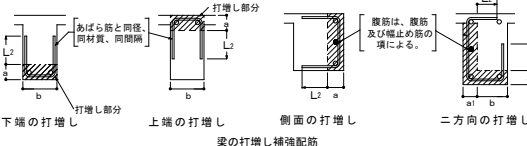
3) 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の梁



1. 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
2. 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000mm程度とする。

2. 打ち増し補強

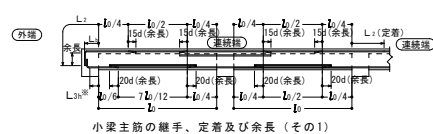


1. 梁の打ち増し幅（ a_1 、 a_2 ）が70mm以上の場合の補強を示す。
2. あばら筋と同一方向の補強筋は、あばら筋と同径、同材質、同間隔とし、定着長さは L_2 とする。

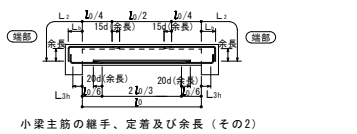
小梁及び片持ち梁

1. 小梁主筋の継手、定着及び余長

1) 連続小梁の場合



2) 単独小梁の場合



- （注）1. 印は、余長位置を示す。
2. 梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。
3. 図示のない事項は、基礎梁及び大梁の項による。

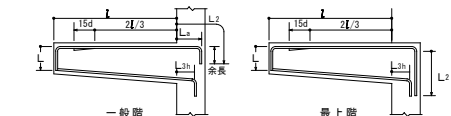
工事名称 福山市曙交流館改築工事

図面名称 鉄筋工事仕様書 No. 1

鉄筋工事仕様書 No. 2

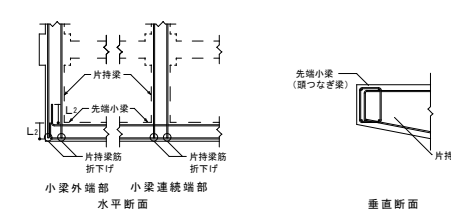
2. 片持梁主筋の継手、定着及び余長

1) 先端に小梁のない場合



- (注)
1. 印は、余長位置を示す。
 2. 先端の折曲げ長さは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。
 3. 図示のない事項は、大梁の項による。
 4. L₁の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

2) 先端に小梁がある場合



- (注)
1. 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。
 2. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
 3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

壁及びその他の配筋

1. 壁の基準配筋

1) 壁の基準配筋は下図による。

種 別	縦筋及び横筋	断 面 図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

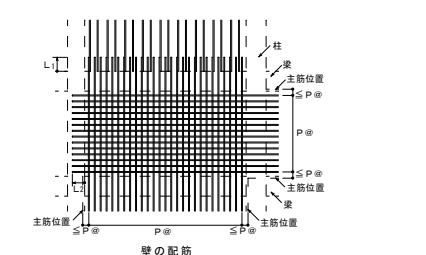
(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

2) 片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋は下図による。

種 別	縦筋及び横筋	断 面 図 (mm)	階段の配筋種別
KW1	縦 筋 D13-200@ タ ダ ル 横 筋 D10-200@ タ ダ ル	180	K A 1 K A 3
KW2	縦 筋 D13-150@ タ ダ ル 横 筋 D10-200@ タ ダ ル	200	K A 2 K A 4

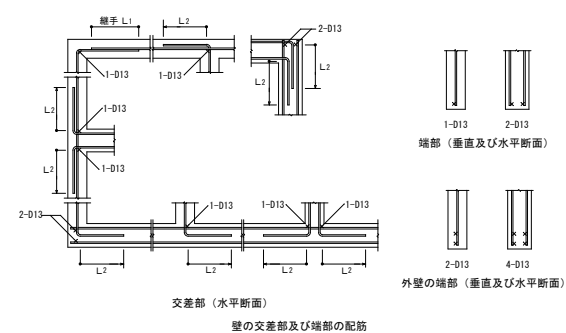
(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

2. 壁の継手及び定着



- (注)
1. 図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。
 2. 壁配筋の重ね継手はL₁、定着長さはL₂とする。
 3. 幅止め筋は、縦横ともD10～1,000@程度とする。
 4. 原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けてはけない。

3. 壁の交差部及び端部の配筋は、下図による。

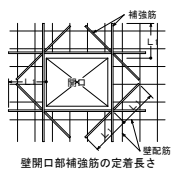


4. 壁開口部の補強

1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

壁開口部補強筋 (A形)			壁開口部補強筋 (B形)		
壁 の 種 別	補 強 筋		壁 の 種 別	補 強 筋	
W12、W15	縦 横	斜 め	W12、W15	縦 横	斜 め
W18、W20	1-D13	1-D13	W18、W20	2-D13	1-D13
	2-D13	2-D13		4-D13	2-D13

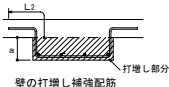
2) 壁開口部補強の定着長さは、下図による。



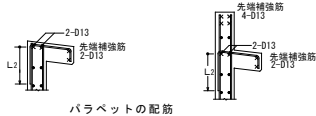
3) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げるにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

5. 壁の打増し補強配筋

壁の打増し厚さ (a) が50mm以上の場合の補強を示す。



6. バラベットの配筋



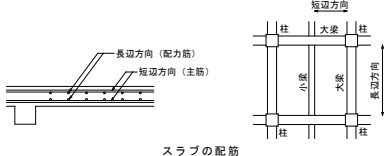
スラブの配筋

1. スラブの基準配筋

1) スラブの基準配筋

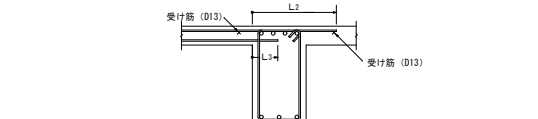
スラブの基準配筋				
配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域	配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域
S 1	D13-100@	D13-100@	S 8	D10、D13-150@
S 2	同 上	D13-150@	S 9	同 上
S 3	同 上	D10、D13-150@	S 10	D10、D13-200@
S 4	D13-150@	D13-150@	S 11	同 上
S 5	同 上	D10、D13-150@	S 12	D10-250@
S 6	同 上	D10-150@	S 13	D10-200@
S 7	D10、D13-150@	D10、D13-150@	S 14	同 上

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

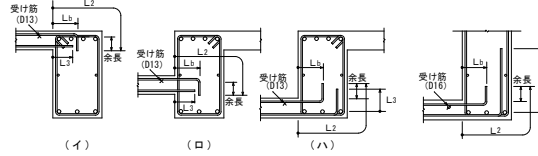


1. 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
2. 鉄筋の重ね継手長さは、L₁とする。

2. スラブ筋の定着及び受け筋



スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その1)

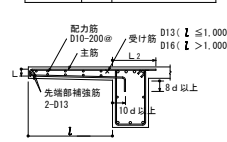


スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その2)

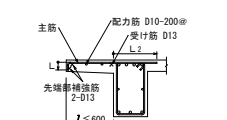
3. 片持ちスラブの基準配筋

1) 片持ちスラブの基準配筋

片持ちスラブの基準配筋					
配筋種別		主筋	配筋種別		主筋
CS1	上	D13-100Ⓢ	CS5	上	D10-200Ⓢ
	下	D13-200Ⓢ		下	D10-400Ⓢ
CS2	上	D13-150Ⓢ	CS6	上	D10、D13-200Ⓢ
	下	D13-300Ⓢ		下	—
CS3	上	D10、D13-150Ⓢ	CS7	上	D10-200Ⓢ
	下	D10、D13-300Ⓢ		下	—
CS4	上	D10、D13-200Ⓢ			
	下	D10-200Ⓢ			

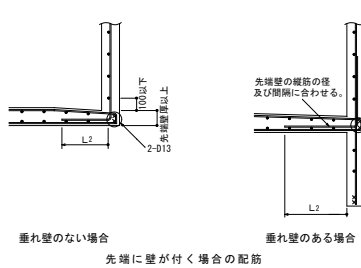


片持ちスラブの配筋 (CS1からCS5)



片持ちスラブの配筋 (CS6及びCS7)

4. 先端に壁が付く場合の配筋は、下図による。



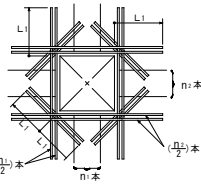
垂れ壁のない場合

垂れ壁のある場合

先端に壁が付く場合の配筋

5. スラブ開口部の補強 (スラブ開口部の最大径が700mm以下の場合に限る。)

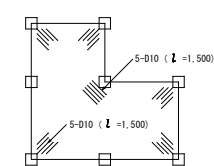
- 1) スラブ開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (L≧2L₁) シングルを上下筋の内側に配筋する。
- 2) スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。



スラブ開口部の補強配筋

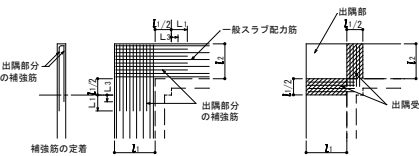
6. 屋根スラブの補強

屋根スラブの出隅部及び入隅部



補強筋を上端筋の下側に配置する。

出隅及び入隅部の補強配筋



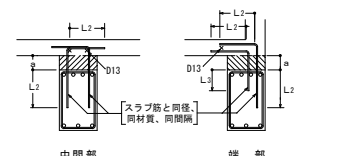
1. L₁ ≧ L₂とする。
1. L₁ ≧ L₂とする。

出隅部分の補強配筋

片持ちスラブ出隅部の補強配筋

7. スラブの打継ぎ補強等

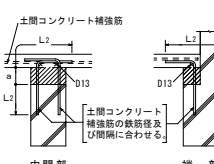
1) 土間スラブの打継ぎ補強



打継ぎ補強配筋

(注) 基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強を示す。

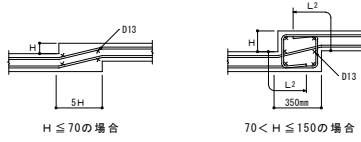
2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋



土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

1. 土間コンクリートとは、土に接するスラブのうち、床荷重を直接支持地盤へ伝達できるものをいい、それ以外は土間スラブとして、梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。
2. a が300mm以下の場合に限る。

8. 段差のあるスラブの補強



段差のあるスラブの補強配筋

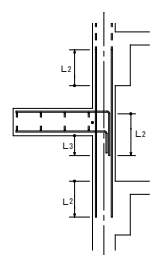
150mm以下の段差のあるスラブの場合に限る。

階段の配筋

1. 片持ちスラブ形階段

片持ちスラブ形階段の基準配筋は、下表及び下図により、寸法及び配筋種別は、特記による。

配筋種別	K A 1	K A 2
配筋図		
配筋種別	K A 3	K A 4
配筋図		



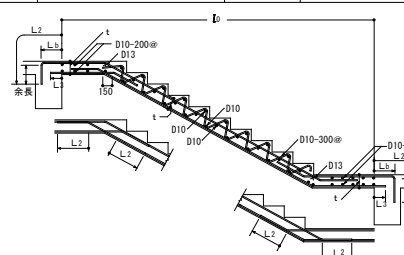
- (注)
1. 壁配筋は、片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋による。
 2. 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に下ろす。
 3. スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、〔鉄筋の定着長さ〕のL₁とする。

片持ちスラブ形階段配筋の定着

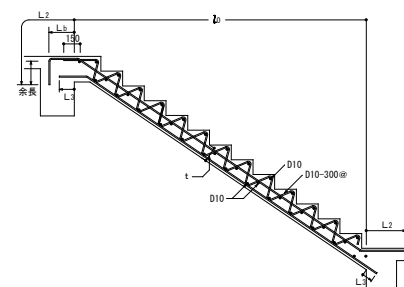
2. 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段の基準配筋

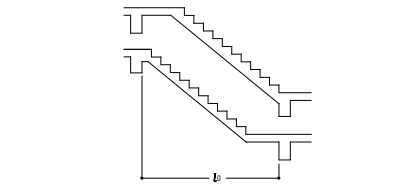
配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)	配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)
K B 1	D13-200@	K B 5	D16-150@
K B 2	D13-150@	K B 6	D16-125@
K B 3	D13-100@	K B 7	D16-100@
K B 4	D13、D16-150@		



二辺固定スラブ形階段配筋 (その1)



(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

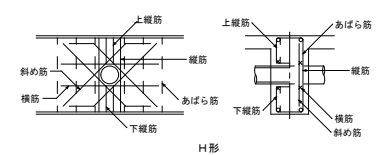


二辺固定スラブ形階段配筋 (その2)

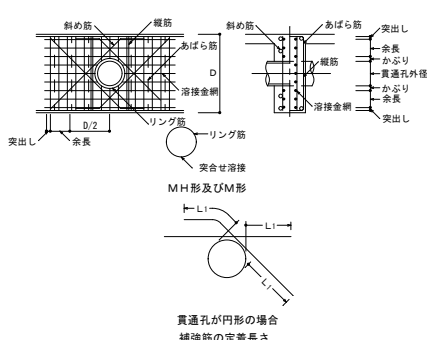
梁貫通孔及びその他の配筋

1. 梁貫通孔の配筋

- 1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。
- 2) 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
- 3) 孔の上下方向の位置は梁せいの中心付近とし、梁中央部においては梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲に設けてはならない。ただし、耐圧スラブ付きの基礎梁の梁中央部においては、梁上端よりD/3の範囲に孔を設けてはならない。
- 4) 孔は、柱面から、原則として、1.5D (Dは梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
- 5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 6) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 7) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、下図による。
- 8) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
- 9) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- 10) 溶接金網の割付け始点は、横筋であばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



H形



2. 梁貫通孔の補強形式

配筋種別	斜め筋	縦 筋	横 筋	上下筋	配 筋 図
H 1	なし	なし	なし	なし	
H 2	2-2-D13	なし	なし	なし	
H 3	4-2-D13	なし	なし	なし	
H 4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 5	4-2-D16	なし	なし	なし	
H 6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 7	4-2-D22	なし	なし	なし	

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

M形配筋

配筋種別	縦 筋	溶接金網	配 筋 図
M 1	2-2-D13	なし	
M 2	4-2-D13	なし	
M 3	4-2-D13	なし	
M 4	6-2-D13	2-6φ-100@	

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

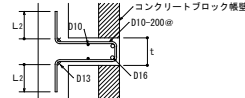
MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦 筋	溶接金網	配 筋 図
MH 1	2-2-D13	なし	なし	
MH 2	2-2-D13	なし	なし	
MH 3	2-2-D13	なし	なし	
MH 4	4-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100@	
MH 5	4-2-D16	なし	なし	
MH 6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100@	
MH 7	4-2-D19	なし	なし	

- (注)
1. 大底認定による既製品を使用する場合は、適用条件はすべて認定内容による。

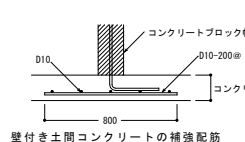
3. コンクリートブロック帳壁との取合い

1) 控壁の配筋



控壁の配筋 (水平、垂直とも)

2) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強



壁付土間コンクリートの補強配筋

工事名称 福山市曙交流館改築工事

図面名称 鉄筋工事仕様書 No. 2

福山市	有限会社ティーズ設計事務所	設計者 一級建築士 第239406号 戸根 好喜	図面 No.
		構造設計者 一級建築士 第346646号 横山 忠志	S-02

木質構造特記仕様書

ver240508

1 共通事項
1. 1 適用範囲
本特記仕様書は構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)、構造用製材及び直交集成板 (DLT) を
主要構造部に用いた木工事に適用する。

1. 2 一般事項
特記事項は 印の付いたものを適用する。 印が付かない場合は ※ 印の付いたものを適用し、
印と ※ 印が付いた場合は共に適用する。

1. 3 準拠規準
- a. 木質構造設計・技術マニュアル (JK木構造グループ) Vol. 3
 - b. 公共建築木造工事標準仕様書 (国土交通省大臣官庁官庁営繕部) 令和7年版
 - c. 木造計画・設計基準及び同資料 (国土交通省大臣官庁官庁営繕部) 平成29年版
 - d. 集成材建築物設計の手引 (日本集成材工業協同組合)
 - e. 大断面木造建築物設計施工マニュアル (日本建築センター) 1988年版
 - f. 木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (日本住宅・木材技術センター) 2017年版
 - g. 木質構造設計規準・同解説 (日本建築学会) 2006年版

2 材料

2. 1 構造用製材

- a. 構造用製材の品質は JAS 1083 (製材) による。
b. 使用材料

部位	樹種名	強度等級	乾燥処理	保存処理	材面の美観	背割り	備考
柱	スギ	E50	S015	—	—	・有 ※無	県産材
					—	・有 ※無	—
					—	・有 ※無	—

- c. 背割りは原則、見えがかり部分、相欠き部材、構造用合板の釘接合面以外の面に行うものとし、
部材と方向の関係については監理者の承認を得る。

2. 2 構造用集成材

- a. 構造用集成材の品質は JAS 1152 (集成材) による。
b. 使用材料

部位	樹種名	品名	強度等級	材面の品質	接着性能	備考
柱・梁・母屋・束	スギ	同一等級	E65-F255	2種又は3種	使用環境 C	県産材
柱・梁・方杖・母屋	スギ	対称異等級	E65-F225	2種又は3種	使用環境 C	県産材
梁・方杖	スギ	同一等級	E65-F255	2種又は3種	使用環境 A	県産材
梁	ヒノキ	対称異等級	E95-F270	2種又は3種	使用環境 C	県産材
梁	オウシュウアカマツ	対称異等級	E105-F300	2種又は3種	使用環境 C	
土台	ヒノキ	同一等級	E95-F315	2種又は3種	使用環境 C	県産材

- c. ホルムアルデヒド放散量による区分は F☆☆☆☆ とする。

2. 3 構造用単板積層材 (LVL)

- a. 構造用単板積層材の品質は JAS 0701 (単板積層材) による。
b. 使用材料

部位	樹種名	種類	区分	曲げ性能	水平せん断性能	接着性能	備考
梁・母屋	カラマツ	A種	1級	140E-375F ₉₀	55V-47H	使用環境C	
筋かい	カラマツ	A種	1級	120E-385F ₉₀	55V-47H	使用環境C	

- c. ホルムアルデヒド放散量による区分は F☆☆☆☆ とする。

2. 4 直交集成板 (DLT)

- a. 直交集成板の品質は JAS 3079 (直交集成板) による。
b. 使用材料

部位	樹 種	強度等級	厚さ	接着性能	備考
壁	スギ	Mx60-5-5	20mm+24mm	B	県産材

- c. ホルムアルデヒド放散量による区分は F☆☆☆☆ とする。

d. 直交集成板の表面仕上げ

- ※ プレーナー仕上げのみ
・ エボキシパテ補修の上、サンダー仕上げ

2. 5 構造用合板

- a. 構造用合板の品質は JAS 0233 (合板) による。
b. 使用材料

部位	樹 種	接着性能	等級	曲げ性能、板面の品質	厚さ	備考
屋根	針葉樹	特類	2級	C-D	24mm	
屋根	針葉樹	特類	2級	C-D	12mm	

- c. ホルムアルデヒド放散量による区分は F☆☆☆☆ とする。

2. 6 無等級製材

a. 使用材料

部位	樹種名	強度等級	乾燥処理	保存処理	材面の美観	背割り	備考
間柱・たるき	スギ	無等級	KD	—	—	・有 ※無	県産材
					—	・有 ※無	

- b. 背割りは原則、見えがかり部分、相欠き部材、構造用合板の釘接合面以外の面に行うものとし、
部材と方向の関係については監理者の承認を得る。

2. 7 保存処理

a. 土台

- ※ K3相当以上の防腐・防蟻処理

仕様： ※ (公財) 日本住宅・木材技術センターが規定する A02 種の認証を受けた

防腐・防蟻処理構造用単板積層材

- ・ ()

- 構造用製材規格等に規定される耐久性区分 D 1 の樹種、またはこれらにより構成される
集成材等の使用

b. 地盤面からの高さが 1m 以内の外壁の軸組 (柱、間柱、筋かい、耐力面材、下地材等)

- ※ 薬剤処理 (現場塗布)

仕様： ※ (社) 日本しろあり対策協会又は (社) 日本木材保存協会認定の防腐・防蟻剤

- ・ ()

- 構造用製材規格等に規定される耐久性区分 D 1 の樹種、またはこれらにより構成される
集成材等の使用

c. その他

- ・ ()

2. 8 既製接合金物

a. 既製接合金物とは梁受け金物、柱頭柱脚金物、筋かい仕口金物のことを示し、ボルト、アンカー

ボルト、ドリフトピン等の接合具単体は含まない。

b. 既製接合金物は (公財) 日本住宅・木材技術センターが規定する Z、C、D、S、Z マーク表示金物 (以下
Z マーク等金物) または設計図に明記された製品を用いる。

c. 既製接合金物は出荷証明書を監理者に提出する。

d. 既製接合金物の接合部に用いる接合具は接合部性能試験時と同規格、同仕様のものとし、

本特記仕様書 2. 9 ~ 2. 15 は適用しない。

e. 既製接合金物の納まり、施工方法等は設計図のほか、各製品の仕様および規定に準拠する。

2. 9 製作接合金物

a. 製作接合金物の鋼材の品質は JIS G3101 (一般構造用圧延鋼材)、JIS G 3106

(溶接構造用圧延鋼材)、JIS G3136 (建築構造用圧延鋼材) に準拠し、材質は設計図による。
設計図に記載がない場合は S400 とする。

b. 製作接合金物の鋼材は品質証明のため、規格証明書を監理者に提出する。

c. 製作接合金物の接合部に用いる接合具は設計図に記載なき限り、

本特記仕様書 2. 9 ~ 2. 15 を適用する。

2. 10 ボルトおよびナット

a. 適用規格

※ JIS B1180 (六角ボルト) 本体規格もしくは附属書

※ JIS B1181 (六角ナット) 本体規格もしくは附属書

- ・ Z マーク等金物

b. 鋼材品質

ボルト ⑧ 強度区分 4. 6 ⑧ 強度区分 4. 8 ⑨ Z マーク等金物の仕様 ・ ()

ナット ・ 強度区分 5 または 4T ⑧ 強度区分 5 または 5T

⑨ Z マーク等金物の仕様 ・ ()

c. 防錆処理

⑧ JIS H8610 (電気亜鉛めっき) 2 種 CM2 3 級 適用範囲 (—)

⑧ JIS H8641 (溶融亜鉛めっき) HDZT49 適用範囲 (—)

⑨ Z マーク等金物の仕様 適用範囲 (—)

・ JIS K5674 (鉛・クロムフリーさび止めペイント) 1 種 2 回塗り 適用範囲 (—)

d. ボルトの規格に本体規格を用いる場合、ボルトの軸径の最大寸法はねじの呼び径の値以下とする。

2. 11 両ねじボルト

a. 鋼材品質

⑨ S400

⑧ SNR400B

- ・ SNR490B

⑨ Z マーク等金物の仕様

b. 防錆処理

⑧ JIS H8610 (電気亜鉛めっき) 2 種 CM2 3 級 適用範囲 (—)

⑧ JIS H8641 (溶融亜鉛めっき) HDZT49 適用範囲 (—)

⑨ Z マーク等金物の仕様 適用範囲 (—)

・ JIS K5674 (鉛・クロムフリーさび止めペイント) 1 種 2 回塗り 適用範囲 (—)

2. 12 ドリフトピン

a. 適用規格

JIS G3191 (熱間圧延棒鋼及びバーインコイルの形状、寸法、質量及びその許容差) による。

b. 鋼材品質

⑧ S400

⑨ SNR400B

- ・ SNR490B

・ JIS B1180 (六角ボルト) の強度区分 4. 6 もしくは 4. 8 に適合する炭素鋼

c. 形状

木質構造標準図による。

d. 防錆処理

⑧ JIS H8610 (電気亜鉛めっき) 2 種 CM2 3 級 適用範囲 (—)

⑧ JIS H8641 (溶融亜鉛めっき) HDZT49 適用範囲 (—)

⑨ Z マーク等金物の仕様 適用範囲 (—)

・ JIS K5674 (鉛・クロムフリーさび止めペイント) 1 種 2 回塗り 適用範囲 (—)

2. 13 ラグスクリュー

a. 鋼材品質

- ※ 設計図による。

b. 形状

- ※ 設計図による。

c. 防錆処理

⑧ JIS H8610 (電気亜鉛めっき) 2 種 CM2 3 級 適用範囲 (—)

⑧ JIS H8641 (溶融亜鉛めっき) HDZT49 適用範囲 (—)

⑨ Z マーク等金物の仕様 適用範囲 (—)

・ JIS K5674 (鉛・クロムフリーさび止めペイント) 1 種 2 回塗り 適用範囲 (—)

2. 14 産金

a. 鋼材品質

JIS B1256 (平産金) に準拠する鋼材、JIS B1251 (ばね産金) に準拠する鋼材もしくは
S400 とし、その適用は設計図による。

b. 防錆処理

⑧ JIS H8610 (電気亜鉛めっき) 2 種 CM2 3 級 適用範囲 (—)

⑧ JIS H8641 (溶融亜鉛めっき) HDZT49 適用範囲 (—)

⑨ Z マーク等金物の仕様 適用範囲 (—)

・ JIS K5674 (鉛・クロムフリーさび止めペイント) 1 種 2 回塗り 適用範囲 (—)

2. 15 アンカーボルト

a. 適用規格

⑧ JIS B1220 (構造用ねじアンカーボルトセット)

⑨ Z マーク等金物

b. 鋼材品質

⑨ S400

⑧ SNR400B

- ・ SNR490B

⑨ JIS B1180 (六角ボルト) の強度区分 4. 6 もしくは 4. 8 に適合する炭素鋼

⑨ Z マーク等金物の仕様

c. 防錆処理

⑧ JIS H8610 (電気亜鉛めっき) 2 種 CM2 3 級 適用範囲 (—)

⑧ JIS H8641 (溶融亜鉛めっき) HDZT49 適用範囲 (—)

⑨ Z マーク等金物の仕様 適用範囲 (—)

⑧ JIS K5674 (鉛・クロムフリーさび止めペイント) 1 種 2 回塗り 適用範囲 (—)

2. 16 釘

a. 適用規格

※ JIS A5508 (くぎ)

b. 種類

※ NZ くぎ (めっき鉄丸くぎ)

※ CNZ くぎ (めっき大め鉄丸くぎ)

2. 17 木質構造用ねじ

木質構造用ねじは評価機関が評価したものの、または試験成績書があるものを使用する。

※ タルキック (シネジック製)

※ パネリッド (シネジック製)

- ・

- ・

構造設計者
一級建築士 第346646号
横山 忠志



有限会社 ティーズ設計事務所
〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂68-5
Tel. 084-949-3632
一級建築士登録 第239406号 戸橋 好喜



福山市建設局建築部営繕課

設計

2025年 9月

工事名称
福山市曙交流館改築工事

図面名称
木質構造特記仕様書 (1)

縮尺

縮尺率
A1 100%
A2 71%
A3 50%

図面No

S-03

3 工作一般

3. 1 一般事項

部材および接合金物等の製作にあたっては製作要領書を提出し、監理者の承認を受ける。

3. 2 施工図（承認図）

施工図は設計図書をもとに、全体の納まりや詳細などについて十分検討した上で作成し、監理者の承認を受ける。

3. 3 現寸模型

下記の指定部位および部材製作が著しく困難な部位は現寸模型を製作する。
指定部位（ ）

3. 4 鋼製巻尺の確認

a. 鋼製巻尺は、JIS B 7512（鋼製巻尺）による1級品を用いる。
同一工事に用いる巻尺は、それら相互の誤差の少ないものを使用する。
b. 工場製作用巻尺と現場作業用巻尺とを照合して、その誤差を確認する。
照合に関して、巻尺に対する張力は50Nとする。

3. 5 墨付け

墨付けを行う場合は加工図にしたがって、定規、型板および鋼製巻尺を用いておこなう。

3. 6 含水率検査

材料の含水率は、製造した工場のJAS認定証の提出により確認する。

3. 7 表面仕上げ

※ブレーナー仕上げ
※サンダー仕上げ

3. 8 構造用木質部材の養生塗装

a. 素地調整
塗装前に塗装面のよごれ、付着物を除去する。
b. 養生塗装
工事中の汚染や損傷を目的として、適切な木材保護塗料を用いて養生塗装を行う。
用いる塗料のホルムアルデヒド放散量による区分はF☆☆☆☆とする。
塗料の仕様は1回塗りとする。

3. 9 直交集成板（DLT）の耐久措置

a. 措置方法
※基礎と接する面は、JIS A6930（住宅用プラスチック系防湿フィルム）に準拠した防湿フィルムを貼付する。
※コンクリート及び筋骨と接する面は、吸水防止性能について評価機関が評価したもの、または試験成績書があるものを使用する。
仕様： ※もくめ～る小口シール和SZ-02（玄々化学工業製）
・（ ）

3. 10 接合金物の溶接

溶接工は下記の技量を有する者とする。
※手溶接 JIS Z 3801（溶接技術検定試験における試験方法および判定基準）
※半自動溶接 JIS Z 3841（半自動溶接技術検定試験における試験方法および判定基準）

3. 11 接合金物の防錆処理

a. 製作接合金物（屋内）
※JIS K 5674（鉛・クロムフリーさび止めペイント）1種2回塗り
※JIS H 8641（溶融亜鉛めっき）HDZT77
b. 製作接合金物（屋外）
※JIS K 5674（鉛・クロムフリーさび止めペイント）1種2回塗り
※JIS H 8641（溶融亜鉛めっき）HDZT77

c. 既製接合金物
※各製品の仕様による。

3. 12 木質部材の寸法精度

a. 木質部材の寸法精度は以下による。

名称	図	管理許容差	限界許容差
部材の長さ		$-2\text{mm} \leq \Delta L \leq +2\text{mm}$	$-3\text{mm} \leq \Delta L \leq +3\text{mm}$
断面のせい		D < 800mm : $-2\text{mm} \leq \Delta D \leq +2\text{mm}$ D ≥ 800mm : $-3\text{mm} \leq \Delta D \leq +3\text{mm}$	D < 800mm : $-3\text{mm} \leq \Delta D \leq +3\text{mm}$ D ≥ 800mm : $-4\text{mm} \leq \Delta D \leq +4\text{mm}$
断面の幅		$-2\text{mm} \leq \Delta B \leq +2\text{mm}$	$-3\text{mm} \leq \Delta B \leq +3\text{mm}$
部材の曲がり		梁：e ≤ L/1500 かつ e ≤ 7mm 柱：e ≤ L/1500 かつ e ≤ 5mm	梁：e ≤ L/1000 かつ e ≤ 10mm 柱：e ≤ L/1000 かつ e ≤ 8mm
部材のねじれ		$\delta \leq 60/1000$ かつ $\delta \leq 5\text{mm}$	$\delta \leq 90/1000$ かつ $\delta \leq 8\text{mm}$
断面の直角度		e ≤ D/100 かつ e ≤ 4mm	e ≤ 1.5D/100 かつ e ≤ 6mm
切断線の直角度（長辺）		e ≤ 2mm	e ≤ 3mm
切断線の直角度（短辺）		e ≤ 1mm	e ≤ 1.5mm
直交集成板の厚さ		$-1.5\text{mm} \leq \Delta t \leq +1.5\text{mm}$	$-2\text{mm} \leq \Delta t \leq +2\text{mm}$
直交集成板の幅		$-2\text{mm} \leq \Delta B \leq +2\text{mm}$	$-3\text{mm} \leq \Delta B \leq +3\text{mm}$
直交集成板の長さ		$-3\text{mm} \leq \Delta L \leq +3\text{mm}$	$-5\text{mm} \leq \Delta L \leq +5\text{mm}$
接合部スリット幅		$-0.5\text{mm} \leq \Delta t \leq +1\text{mm}$	$-1\text{mm} \leq \Delta t \leq +1.5\text{mm}$
接合部スリット長さ		$-2\text{mm} \leq \Delta l \leq +2\text{mm}$	$-3\text{mm} \leq \Delta l \leq +3\text{mm}$
接合具孔の芯ずれ		e ≤ 1mm	e ≤ 1.5mm
接合具孔相互の間隔		$-1\text{mm} \leq \Delta P \leq +1\text{mm}$	$-1.5\text{mm} \leq \Delta P \leq +1.5\text{mm}$
他部材取合部の加工位置		$-2\text{mm} \leq \Delta l \leq +2\text{mm}$	$-3\text{mm} \leq \Delta l \leq +3\text{mm}$

3. 13 製作接合金物の寸法精度

a. 製作接合金物の寸法精度はJASS6（2018）付則6. による。

4 検査

4. 1 木質部材の検査

a. 適用範囲
本節の適用範囲は「2. 1構造用製材」、「2. 2構造用集成材」、「2. 3構造用単板積層材（LVL）」、「2. 4直交集成板（DLT）」とし、「2. 5構造用合板」、「2. 6無等級製材」は適用範囲外とする。
b. 木質部材の検査の実施
※実施する ・実施しない
木質部材の検査は本特記仕様書に従い実施する。ただし各製品の製作方法の特性等を踏まえて、より合理的な検査方法を提案し、監理者の承認が得られた場合に限り検査方法を変更することができる。

c. 検査ロットの層別

※柱、梁等の部位ごと
※製材、集成材、LVL等の材料種類ごと
※直通材、湾曲材、支断面等の断面種類ごと
※樹種及び強度等級ごと
・断面寸法ごと

d. 木材加工工場社内検査

※実施する ・実施しない
木材加工工場社内検査は受注者（元請負人）製品検査に先立ち、以下の検査を実施し、社内検査成績表を作成する。
1. 検査項目及び採取率
(1) 寸法検査
部材の長さ(A) ※100% ・（ ）%
断面のせい(A) ※100% ・（ ）%
断面の幅(A) ※100% ・（ ）%
部材の曲がり(B) ※100% ・（ ）%
部材のねじれ(B) ※100% ・（ ）%
断面直角度(B)（矩形断面以外の断面の場合は(A)） ※100% ・（ ）%
接合部スリット幅および長さ(B) ※100% ・（ ）%
接合具孔位置(B) ※100% ・（ ）%
（ ） ※100% ・（ ）%
(2) 外観検査
節および穴(C) ※100% ・（ ）%
腐れ(C) ※100% ・（ ）%
割れ(C) ※100% ・（ ）%
その他の欠点(C) ※100% ・（ ）%
（ ） ※100% ・（ ）%
2. 検査方法および記録
採取り検査の採取率はランダムサンプリングとし、「4. 1 d. 1. 検査項目及び採取率」に示す(A)、(B)、(C)の分類ごとに以下の検査および記録を行う。
(A)：寸法測定のうち、社内検査成績表に計測寸法および誤差寸法を記録する。
(B)：目視検査のうち、基準を逸脱していると思われるものについてのみ寸法測定（二次検査）を行い、社内寸法成績表に良・否の結果を記録する。
ただし二次検査移行箇所については良・否の結果の記録とともに計測寸法および誤差寸法を記録する。
(C)：目視検査のうち、社内検査記録表に良・否の結果を記録する。
? 3. 含否判定基準
寸法検査の含否判定基準は「3. 12 木質部材の寸法精度」の「限界許容差」による。
ただし、全数検査を行わない場合は「限界許容差」を超える割合が0%かつ「管理許容差」を超える割合が5%以下のとき、そのロットを合格とする。
外観検査の含否判定基準は適合するJASの基準による。
e. 受注者（元請負人）製品検査
1. 寸法検査
(1) 書類検査 ※実施する ・実施しない
書類検査の方法は社内検査成績表の記録を基に製品の寸法精度の確認を行う。
含否判定は社内検査の含否判定基準に準じる。
(2) 対物検査 ※実施する ・実施しない
対物検査の方法は断面のせい、断面の幅、部材の長さの3項目について寸法測定を行う。採取りは合理的な方法にて監理者が指定するものとし、含否判定はJASS6（2018）付則7. の「対物検査」に準じる。
部材の曲がり等、上記3項目以外の項目に関しては全数目視確認のうえ、必要に応じて検査器具等を用いて寸法測定を行う。
含否判定は「3. 12 木質部材の寸法精度」の「限界許容差」による。
2. 外観検査
※実施する ・実施しない
外観検査は節および穴、割れ等について全数目視確認を行う。
含否判定は適合するJASの基準による。
3. 材料検査
※実施する ・実施しない
材料検査は製品に添付されたJASラベルまたは材料の出荷証明書の確認を行う。
また原産地が指定されている材料については産地証明書の確認を行う。
4. 含水率検査
※実施する ・実施しない
材料の受入検査時に実施したJAS認定証の確認を行う。

4. 2 接合金物の検査

a. 適用範囲
本節の適用範囲は製作接合金物とし、既製接合金物は適用範囲外とする。
b. 接合金物の検査の実施
※実施する ・実施しない
c. 接合金物製作工場社内検査
※実施する ・実施しない
接合金物製作工場社内検査は受注者（元請負人）製品検査に先立ち、全数寸法検査および外観検査を実施し、社内検査成績表を作成する。含否判定はJASS6（2018）付則6. 「限界許容差」による。
d. 受注者（元請負人）製品検査
※実施する ・実施しない
1. 寸法検査
監理者が任意で指定する10製品について採取り、製品の幅、高さ等の主要寸法項目について寸法測定を行う。
含否判定はJASS6（2018）付則6. 「限界許容差」による。ただし「管理許容差」を超えた場合の対応は監理者との協議による。
2. 外観検査
部材表面、切断面、溶接部の外観について全数目視確認のうえ、必要に応じて検査器具等を用いて寸法測定を行う。含否判定はJASS6（2018）付則6. 「限界許容差」による。

5 搬出、運搬

5. 1 輸送計画
製品の輸送計画にあたっては、建方計画に支障の生じないように道路状況、現場の作業の手順などを考慮し、十分な検討をおこなう。
5. 2 部材（製品）の仕分け
各部材（製品）には、加工図等に基づき部材符号（製品符号）を明示する。
ただし、部材符号の明示は見えがかり部には行わないようにする。
5. 3 輸送
積込み、荷降ろしまたは輸送中に製品がひずみ・変形などを生じないように荷台を調整し、長尺物、異形状物などは適切な補強や有効な措置を講ずる。

6 建方

6. 1 一般事項

a. 現場建方は予め建方計画書を提出し、監理者の承認を受けるものとする。
b. 建方計画は建方精度に規定する諸寸法を保持するよう部材の組立て順序を立案し、あわせて作業期間中の安全を考慮する。
c. 建方に用いる機械は、最大吊荷重、作業半径および建物の規模・形状により最適な機械を選定しその機械の特性に適した使用方法を計画するとともに、不慮の衝撃などに対しても安全であるようにする。
d. 建方中の木材に、機械、資材等の置ききを行う場合は、各部材・接合部に過大な応力がかけられないよう適切な補強や有効な措置をとる。

6. 2 搬入および仕分け

a. 製品の受入れにあたっては、工場からの送り状と照合し、数量を確認する。
受入検査は建方計画書に基づいて行う。
b. 製品は建方順序に従い仕分けして集積する。
c. 集積の際、部材は適切な受台の上に置き、材に曲がり・ねじれなどの損傷を与えないようにする。
d. 部材の曲がり・ねじれなどを発見した場合は、監理者に報告のうえ対応方法を協議する。
e. 保管に関しては適切な養生を行う。

6. 3 地組

建方に先立って地組をおこなう場合は、寸法精度を保持するために適切で有効な架台・治具などを用いて行う。

6. 4 建方

a. 建方計画書に基づき、順次建方をおこなう。この際、原則として筋かい、方づえなどの斜材を同時に取付けながら進める。
b. 必要に応じて仮設支柱を立てて架構を保持する。この仮設支柱は本接合が完了するまで保持する。
c. 建方完了後または定められた工程の建方が完了した場合、建方の検査を行う。
ただし、検査記録により、その一部または全部を省略することがある。
d. 本接合は、建入れひずみを修正したのち、あらかじめ定められた順序、工法に基づいておこなう。
e. 建方の作業中、風圧力その他の荷重に対しては、必要に応じ仮設の筋かいその他の支持材で補強する。
f. トラス、その他の吊上げまたは建方にあたっては、適切な補強をおこなう。
g. 建方の作業中、横架材上に材料または機械などの重量物を積載し、あるいは柱に大きな引張力を与える場合は、監理者の承認を受け、かつ必要な補強をおこなう。
h. 建方の精度基準は下記による。また、建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し、対応策を協議する。

名称	図	管理許容差	限界許容差
建物の倒れ		$e \leq H/4000+7\text{mm}$ かつ $e \leq 30\text{mm}$	$e \leq H/2500+10\text{mm}$ かつ $e \leq 50\text{mm}$
建物の湾曲		$e \leq L/4000$ かつ $e \leq 20\text{mm}$	$e \leq L/2500$ かつ $e \leq 25\text{mm}$
アンカーボルトの位置ずれ		$-1.5\text{mm} \leq \Delta a \leq +1.5\text{mm}$	$-2.5\text{mm} \leq \Delta a \leq +2.5\text{mm}$
柱据付け面の高さ		$-3\text{mm} \leq \Delta H \leq +3\text{mm}$	$-5\text{mm} \leq \Delta H \leq +5\text{mm}$
階高		$-5\text{mm} \leq \Delta H \leq +5\text{mm}$	$-8\text{mm} \leq \Delta H \leq +8\text{mm}$
梁の水平度		$e \leq L/1000+3\text{mm}$ かつ $e \leq 10\text{mm}$	$e \leq L/700+5\text{mm}$ かつ $e \leq 15\text{mm}$
柱の倒れ		$e \leq H/1000$ かつ $e \leq 10\text{mm}$	$e \leq H/700$ かつ $e \leq 15\text{mm}$

7 その他

7. 1 製作工場の選定、承認
設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場を選定し、監理者の承認を受ける。

構造設計者
一級建築士 第346646号
横山 忠志

有限会社 ティーズ設計事務所

〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂68-5

Tel. 084-949-3632

一級建築士登録 第239406号 戸梶 好喜

福山市建設局建築部営繕課

設計

2025年 9月

工事名称
福山市曙交流館改築工事

図面名称
木質構造特記仕様書（2）

縮尺
縮尺率
A1 100%
A2 71%
A3 52%

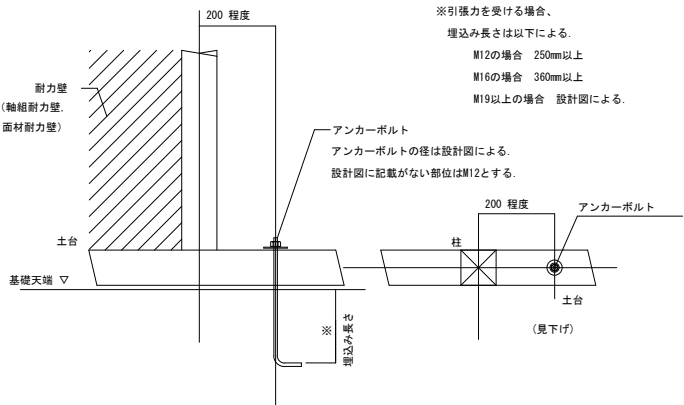
図面No
S-04

木質構造標準図（1）

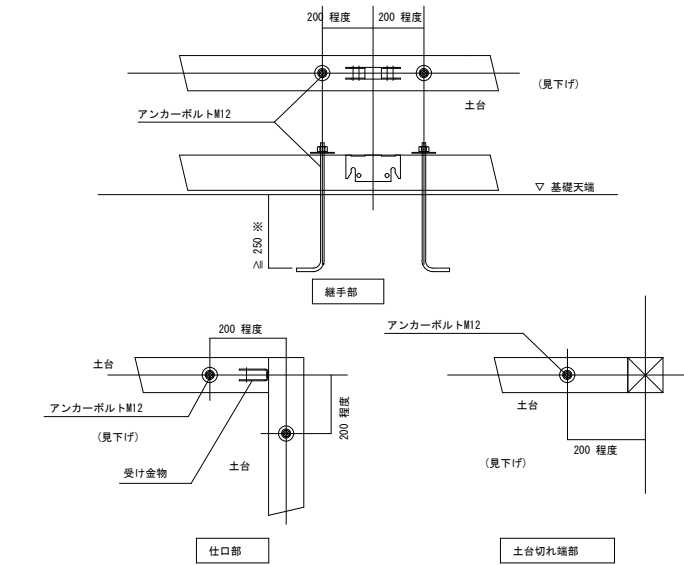
1. アンカーボルト

1. 1 土台固定用アンカーボルト

- a. 一般部
アンカーボルト径およびピッチ：M12@2000
アンカーボルトの埋め込み長さ：250mm以上
- b. 耐力壁（軸組耐力壁、面材耐力壁）の下部

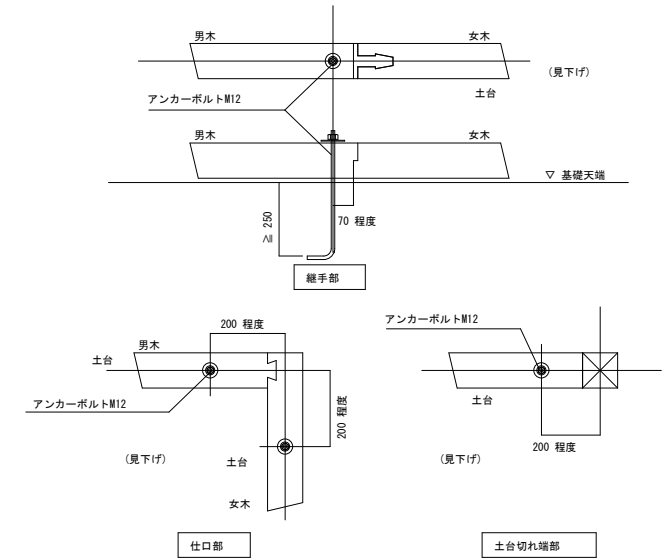


c. 土台の継手・仕口及び土台切れ端部（金物を使用する場合）



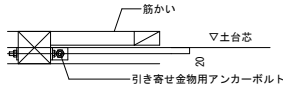
土台の 樹種グループ	短期許容せん断力 (kN)	
	M12	M16
J1	9.18	16.32
J2	8.62	15.33
J3	8.02	14.26

d. 土台の継手・仕口及び土台切れ端部（金物を使用しない場合）



1. 2 引き寄せ金物用アンカーボルト

- a. ボルトの径
設計図による。設計図に記載がない場合はM16とする。
- b. 基礎への埋込み長さ
設計図による。設計図に記載がない場合は360mm以上とする。
- c. 筋かいとの取り合い
筋交い構面に引き寄せ金物を用いる場合で筋かいと引き寄せ金物用アンカーボルトが干渉する箇所は、引き寄せ金物用アンカーボルトを土台芯から20mmオフセットする。



1. 3 アンカーボルトの施工

- a. アンカーボルトの先端は、ナットの外にねじが3山以上出るようにする。
- b. アンカーボルトの芯出しは、型板を用いて基準壁に正しくあわせ、適切な機器などで正確に行う。
- c. アンカーボルトの保持および埋込みは、鉄筋などを用いて組み立て、移動・下部の振れなどが
ないよう適切な補助材で型枠の隅に固定して、コンクリートの打ち込みを行う。
- d. アンカーボルトは、衝撃などにより有害な曲がりが生じないように取り扱う。
- また、ねじ部の損傷、さびの発生、汚損を防止するために布、ビニールテープなどを巻いて養生を行う。

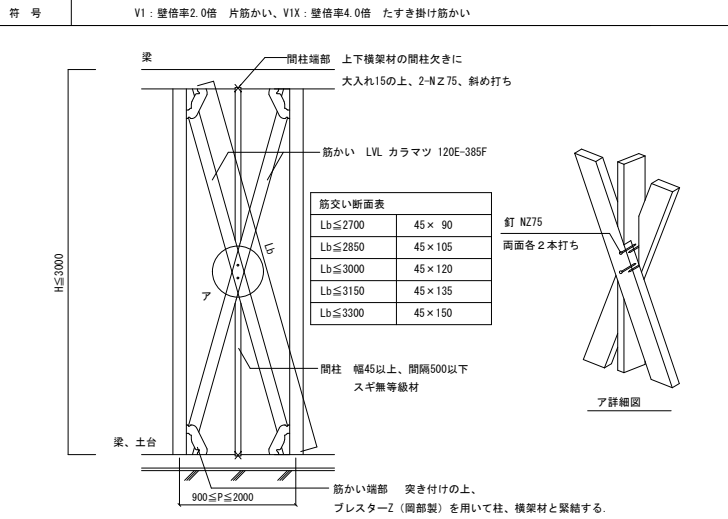
2. 鉛直構面

2. 1 共通事項

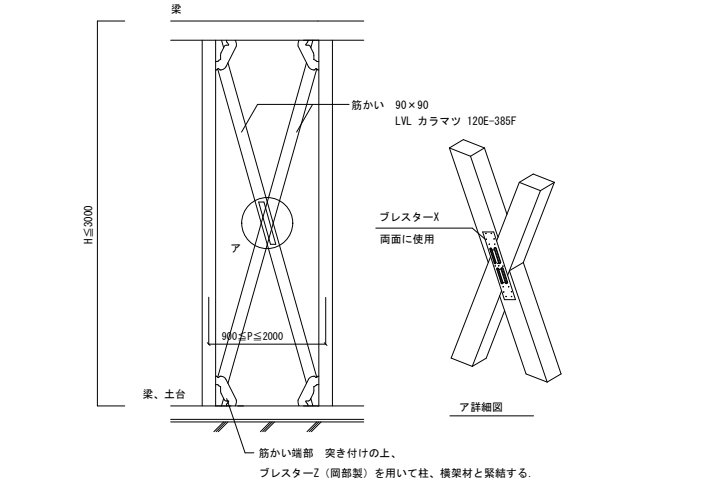
本要領は建築基準法施行令および建設省告示第1100号に準じる耐力壁に適用する。
耐力壁下部の土台と基礎との間は、基礎パッキンもしくは気密パッキンを挿入し隙間を埋める。

2. 2 軸組耐力壁の仕様

寸法単位 mm



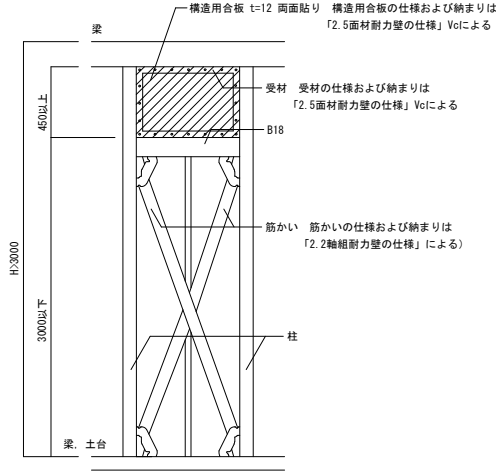
符 号 V1：壁倍率2.0倍 片筋かい、V1X：壁倍率4.0倍 たすき掛け筋かい



2. 3 構造用階高Hが3000mmを超える軸組耐力壁の要領

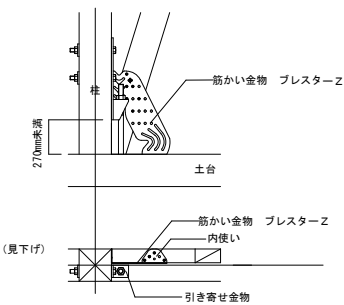
寸法単位 mm

- a. 本要領は構造用階高H（下図）が3000mmを超えるVa、VaX、Vb、VbX軸組耐力壁に適用する。
- b. 以下の要領図に従い、筋かい部の高さが3000mm以下となるようにする。
- c. 筋かいや構造用合板の仕様、納まり等、本要領図に記載がないものは「2.2軸組耐力壁の仕様」および「2.5面材耐力壁の仕様」に従う。



2. 4 筋かい接合金物プレスターZ（岡部製）の納まり要領

- a. 引き寄せ金物下端が土台上端から270mm未満の場合、引き寄せ金物と筋かい接合金物
プレスターZが干渉しないよう、筋かい接合金物プレスターZは内使いで取り付ける。



- b. 筋かい端部に床合板が取合う場合、床合板上から筋かい接合金物を取付ける。
ただし、床合板の厚さが30mm以下の場合に限る。

構造設計者
一級建築士 第346646号
横山 忠志



有限会社 ティーズ設計事務所
〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂68-5
Tel. 084-949-3632
一級建築士登録 第239406号 戸根 好喜



福山市建設局建築部営繕課

設計 2025年 9月

工事名称
福山市曙交流館改築工事

図面名称
木質構造標準図（1）

縮尺
縮尺率
A1 100%
A2 71%
A3 50%

図面No

S-05

木質構造標準図（2）

2. 5 面材耐力壁の仕様		寸法単位 mm				
符号	W1A 壁倍率2.5倍、W3 壁倍率3.7倍			W1B 壁倍率4.3倍		
仕様	大壁、 準拠：建設省告示第1100号			大壁、 準拠：建設省告示第1100号		
部材	面材	構造用合板 t=9mm 以上			面材	構造用パーティクルボード t=9 または 構造用MDF t=9
	胴つなぎ	見付90以上 スギ無等級材 端部：まぐさ欠きに大入れ15の上、2-N75、斜め釘打ち			胴つなぎ	見付90以上 スギ無等級材 端部：まぐさ欠きに大入れ15の上、2-N75、斜め釘打ち
	間柱	見付45以上 スギ無等級材 間隔500以下 端部：間柱欠きに大入れ15の上、2-N75、斜め釘打ち			間柱	見付45以上 スギ無等級材 間隔500以下 端部：間柱欠きに大入れ15の上、2-N75、斜め釘打ち
接合	W1A	㊦ 合板外周部 釘 N50@150以下 ㊧ 合板中間部 釘 N50@150以下			W1B	㊦ 合板外周部 釘 N50@75以下 ㊧ 合板中間部 釘 N50@150以下
	W3	㊦ 合板外周部 釘 CN50@75以下 ㊧ 合板中間部 釘 CN50@150以下				
備考	柱及びはりに対する構造用合板のかかり寸法 22.5以上 合板に対する釘のヘリあき 10以上 軸材に対する釘のヘリあき 12.5以上 釘がその他の金物等に干渉する場合は金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする。			柱及びはりに対する構造用合板のかかり寸法 22.5以上 合板に対する釘のヘリあき 10以上 軸材に対する釘のヘリあき 12.5以上 釘がその他の金物等に干渉する場合は金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする。		
符号	W2A 壁倍率2.5倍、W4 壁倍率3.3倍			W2B 壁倍率4.0倍		
仕様	真壁、 準拠：建設省告示第1100号			真壁、 準拠：建設省告示第1100号		
部材	面材	構造用合板 t=9mm 以上			面材	構造用パーティクルボード t=9 または 構造用MDF t=9
	胴つなぎ	見付90以上 スギ無等級材 端部：突き付けの上、2-N75、斜め釘打ち			胴つなぎ	見付90以上 スギ無等級材 端部：突き付けの上、2-N75、斜め釘打ち
	間柱	見付45以上 スギ無等級材 間隔500以下 端部：突き付けの上、2-N75、斜め釘打ち			間柱	見付45以上 スギ無等級材 間隔500以下 端部：突き付けの上、2-N75、斜め釘打ち
	受材	見付45以上 スギ無等級材			受材	見付45以上 スギ無等級材
接合	W2A	㊦ 合板外周部 釘 N50@150以下 ㊧ 合板中間部 釘 N50@150以下 ㊨ 受材と柱梁 釘 N90@300以下、両面構造用合板張りの場合@120以下			W2B	㊦ 合板外周部 釘 N50@75以下 ㊧ 合板中間部 釘 N50@150以下 ㊨ 受材と柱梁 釘 N90@120以下、両面構造用合板張りの場合@60以下
	W4	㊦ 合板外周部 釘 CN50@75以下 ㊧ 合板中間部 釘 CN50@150以下 ㊨ 受材と柱梁 釘 N90@200以下、両面構造用合板張りの場合@100以下				
備考	受材に対する構造用合板のかかり寸法 22.5以上 合板に対する釘のヘリあき 10以上 軸材に対する釘のヘリあき 12.5以上 釘がその他の金物等に干渉する場合は金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする。			受材に対する構造用合板のかかり寸法 22.5以上 合板に対する釘のヘリあき 10以上 軸材に対する釘のヘリあき 12.5以上 釘がその他の金物等に干渉する場合は金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする。		
符号	W5 壁倍率5.0倍			W6 壁倍率5.0倍		
仕様	大壁、 準拠：大臣認定番号 大壁 FRM-0297、 大壁床勝ち FRM-0296			真壁、 準拠：大臣認定番号 真壁 FRM-0298、 真壁床勝ち FRM-0298		
部材	面材	構造用合板 t=24			面材	構造用合板 t=24
	胴つなぎ	見付90以上幅45以上 スギ無等級材 端部：突き付けの上、2-N75、斜め釘打ち			胴つなぎ	見付90以上幅45以上 スギ無等級材 端部：突き付けの上、2-N75、斜め釘打ち
	柱	105×105以上			柱	105×105以上
	受材	見付45以上 スギ無等級材			受材	見付45以上 スギ無等級材
接合	W5	㊦ 合板外周部 釘 CN75@100以下			W6	㊦ 合板外周部 釘 CN75@100以下 ㊧ 受材と柱梁 釘 CN90@150以下、両面構造用合板張りの場合@75以下
備考	合板に対する釘のヘリあき 15以上 軸材に対する釘のヘリあき 20以上 床勝ち納まりの場合は水平横面を構造用合板 t=24又は28とする。			合板に対する釘のヘリあき 15以上 軸材に対する釘のヘリあき 20以上 床勝ち納まりの場合は水平横面を構造用合板 t=24又は28とする。		

構造設計者
一級建築士 第346646号
横山 忠志

有限会社 ティーズ設計事務所
〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂68-5
Tel. 084-949-3632
一級建築士登録 第239406号 戸根 好喜



福山市建設局建築部営繕課
設計 2025年 9月

工事名称
福山市曙交流館改築工事
図面名称
木質構造標準図（2）

縮尺
縮尺率
A1 100%
A2 71%
A3 50%

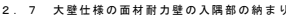
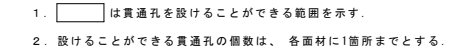
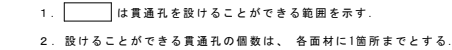
図面No

S-06

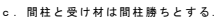
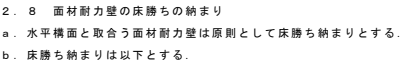
2. 6 面材耐力壁の貫通孔要領

寸法單位 mm

a. 面材耐力壁に貫通孔を設ける場合の要領は以下による。



a. 大壁仕様の面材耐力壁が直交する入隅部の納まりは以下とする。



2. 9 合板釘打ち接合

a. 釘頭のめり込みは2mmを限度とし、2mmを超えた場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちする。

b. 合板に対する釘のへりあき距離は特記なき限り以下による。

1. 構造用合板 $t=12: 10\text{mm}$ 以上
2. 構造用合板 $t=24: 20\text{mm}$ 以上

木質構造標準図（４）										ver240508
３．水平構面										
３．１　水平構面の仕様										寸法単位　mm
符　号	H1			H2			H3			
短期許容せん断耐力	7.84kN/m			3.53kN/m			—1.96kN/m—　1.37kN/m			
										３．２　合板釘打ち接合
										a．釘頭のめり込みは2mmを限度とし、2mmを超えた場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちする。 b．合板に対する釘のへりあき距離は特記なき限り以下による。 １．構造用合板　t=12　10mm以上 ２．構造用合板　t=24　20mm以上
										３．３　梁と段差のある水平構面
										a．梁上端レベルと構造用合板下端レベルが異なる場合の段差部の収まりは以下による。 水平構面がH1、H2、H3の場合　　水平構面がH4の場合 b．段差と梁成の関係等により a．の収まりが困難な場合は監理者との協議による。
										３．４　転び止め
										a．転び止めは軒先や棟だけではなく、垂木を受ける母屋・桁等すべての横架材に設ける。 b．転び止めの母屋等横架材への止付けは以下による。
備考	合板に対する釘のへりあき　20以上 軸材に対する釘のへりあき　20以上 準拠規格　木造軸組工法住宅の許容応力度設計			合板に対する釘のへりあき　20以上 軸材に対する釘のへりあき　20以上 準拠規格　木造軸組工法住宅の許容応力度設計			合板に対する釘のへりあき　10以上 軸材に対する釘のへりあき　12.5以上 準拠規格　木造軸組工法住宅の許容応力度設計			
符　号	H4			HeA			HeB			
短期許容せん断耐力	14.1kN/m			13.5kN/m（合板釘ピッチ75mm）			19.1kN/m（合板釘ピッチ50mm）			
										３．５　垂木
										a．垂木はタルキック（シネジック製）を用いて接合する。 b．垂木により、梁もしくは母屋を切り欠く場合の要領は以下による。
										３．６　甲乙梁と梁が対面する場合の納まり
										a．甲乙梁と梁が対面する場合、以下により、甲乙梁端部は大入れしない。
各部材料	面材：構造用合板t=24 甲乙梁：90×90@1000以下　スギ無等級製材			面材：構造用合板t=24 軒先転び止め：幅105×せい300の製材を用い、天端は屋根面に合わせ切り欠く 軒先転び止めの外面に直貼りする面材：構造用合板t=12						
仕口	Ⓐ 甲乙梁端部：梁に対して深さ15程度の大入れ Ⓑ 甲乙梁端部：床受材に対して深さ15×せい60切り欠き、甲乙梁はせい60分大入れ（床受材勝ち納まり）			Ⓐ 母屋端部：登梁に対して深さ15程度の大入れ						
釘打及びビス止め	⑦ N75@75、日の字釘打ち、横架材・甲乙梁・床受材に留め付け			⑦ N75@75、四周（口の字）釘打ち、登梁・母屋に留め付け ① 母屋端部：木質構造用ねじφ5、L=170（頭部径φ12.5以上、ねじ部長さ50以上）1本を斜め打ち ② 軒先転び止めの外面に直貼りする面材：N50@50、平鳥打ち、軒先大梁・軒先転び止めに留め付け			⑦ N75@50、四周（口の字）釘打ち、登梁・母屋に留め付け			
備考	合板に対する釘のへりあき　20以上 軸材に対する釘のへりあき　20以上 準拠規格　JIS A3301（木造校舎の構造設計標準）			合板に対する釘のへりあき　20以上 軸材に対する釘のへりあき　20以上 準拠規格　JIS A3301（木造校舎の構造設計標準）						
										</

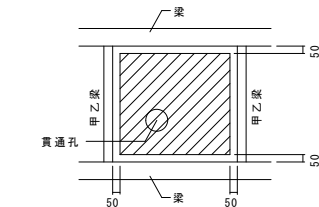
木質構造標準図（5）

3. 水平構面

3. 7 水平構面貫通孔要領

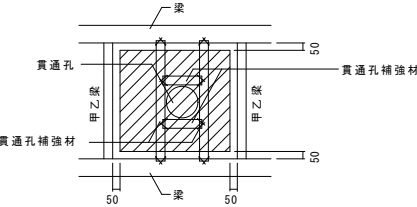
a. 水平構面H1、H2の貫通孔要領

1. 貫通孔径 d≦150mmの場合



- 1) は貫通孔を設けることができる範囲を示す。
2) 原則として設けることができる貫通孔の個数は、 範囲内に1箇所までとする。

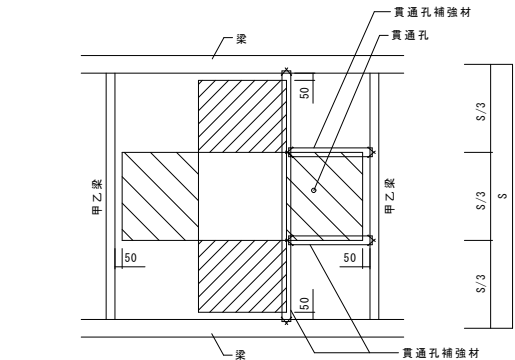
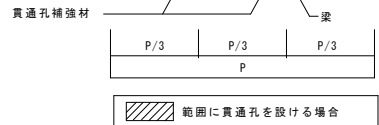
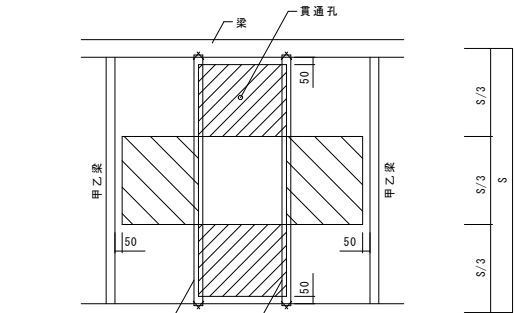
2. 貫通孔径 d>150mmの場合



- 1) は貫通孔を設けることができる範囲を示す。
2) 原則として設けることができる貫通孔の個数は、各 範囲内に1箇所までとする。
3) 貫通孔補強材は60mm×60mm（スギ無等級材）とし、貫通孔四周に設ける。
貫通孔補強材端部は15mm大入れの上、斜めビス2本留めとする。

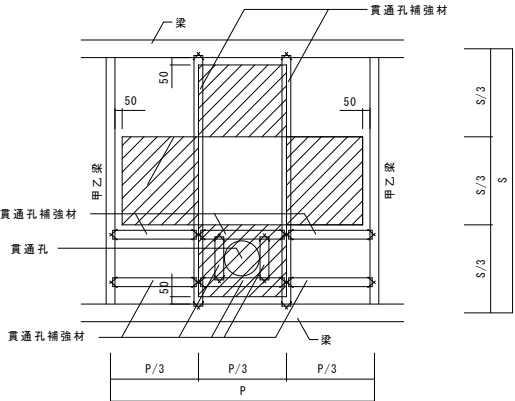
b. 水平構面H4の貫通孔要領

1. 貫通孔径 d≦30mmの場合



- 1) および は貫通孔を設けることができる範囲を示す。
2) 各区画に設けることができる貫通孔の個数は、各々1箇所までとする。
3) 貫通孔補強材は90mm×90mm（スギ無等級材）とし、貫通孔補強材端部は深さ15mm、高さ45mm腰掛けの上、斜めビス2本留めとする。
4) 合板は梁、甲乙梁のほか、貫通孔補強材に釘打ちする。
貫通孔補強材への釘仕様は、N75@75とする。

2. 貫通孔径 d>30mmの場合



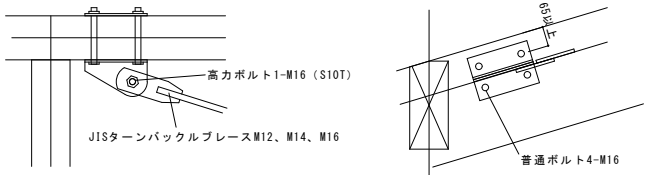
- 1) 貫通孔径 d は240mm以下とする。
2) は貫通孔を設けることができる範囲を示す。
3) P×Sの範囲内に設けることができる貫通孔の個数は、1箇所までとする。
4) 貫通孔補強材は90mm×90mm（スギ無等級材）とし、貫通孔補強材端部は深さ15mm、高さ45mm腰掛けの上、斜めビス2本留めとする。
5) 合板は梁、甲乙梁のほか、貫通孔補強材に釘打ちする。
貫通孔補強材への釘仕様は、N75@75とする。

3. 8 水平ブレース

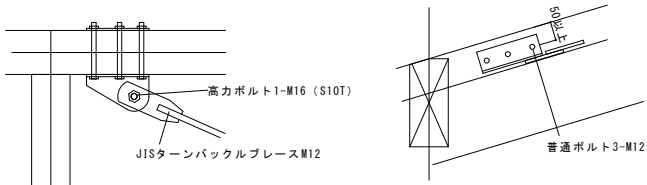
a. 水平ブレースの接合に用いるブレース接合金物は部材リストによる。

b. ブレース接合金物と横架材の接合ボルトはJIS B 1180 強度区分4.6もしくは4.8に適合するボルトとする。

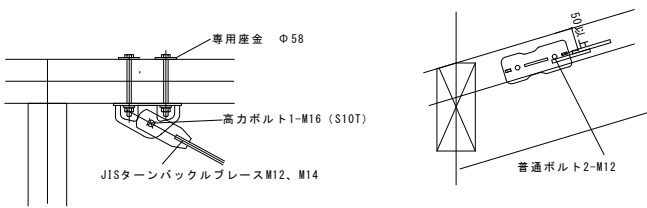
c. ブレース接合金物の取り付け要領は以下による。



ツインガセット(ダイドーハント製)

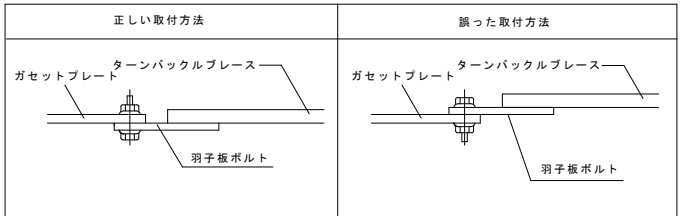


シングルガセット(ダイドーハント製)



V1コネクト(タツミ製)

d. ターンバックルブレースは羽子板ボルトに対して接合金物と同じ側に取り付ける。



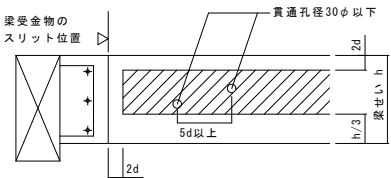
e. ターンバックルブレースは建て入れ直し後に取り付ける。

木質構造標準図（6）

4. 梁貫通孔

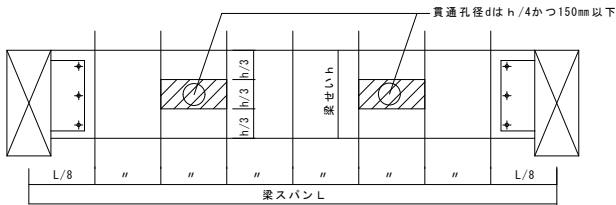
4. 1 梁貫通孔要領

- a. 本要領は単純梁に適用し、トラス梁等の梁には適用しない。
b. 貫通孔径 $d \leq 30$ の場合の要領は以下による。



1. は貫通孔を設けることができる範囲を示す。

- c. 貫通孔径 $d > 30$ の場合の要領は以下による。

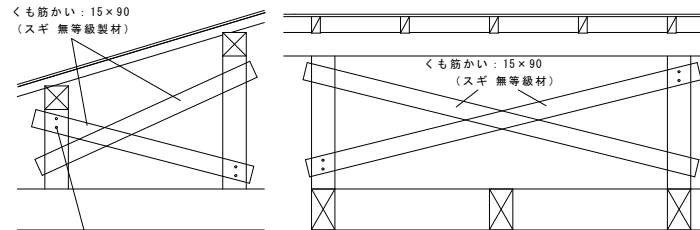


1. は貫通孔を設けることができる範囲を示す。
2. 設けることができる貫通孔の個数は、各 範囲内に1箇所までとする。

5. 小屋組

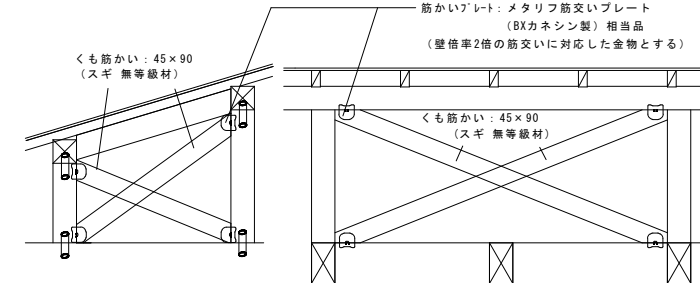
5. 1 くも筋交い

- a. くも筋交いの配置及び部材は梁伏図および軸組図による。
b. くも筋交いの接合要領は以下による。



くも筋交い15×90の場合の接合要領

0 AS=2.00 kN/組



横架材に勾配がある場合

くも筋交い角度が45° 以上の場合

くも筋交い角度が45° 以下で横架材に勾配がない場合

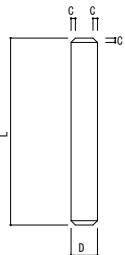
くも筋交い45×90の場合の接合要領

0 AS=7.84 kN/組

6. 接合金物

6. 1 ドリフトピン形状

- a. ドリフトピンの形状は以下による。



呼び径	12φ	16φ	20φ
D(径)	12	16	20
C(面取り)	2	3	4
L(長さ)	材幅-5mm		

- b. 埋木をする場合のドリフトピンの長さはa. によらずc. による。

- c. ドリフトピン接合部の埋木の適用部位は以下による。

埋木の仕様	埋木厚	L(長さ)	適用部位
埋木なし	無耐火	-	材幅-5 例：建物外周部(外壁取合い部)
	30分率耐火	-	材幅-5 例：建物外周部(外壁取合い部)
埋木あり	無耐火	10mm	材幅-25 例：現しとなる部位
	30分率耐火	10mm	材幅-25
	45分率耐火	10mm	材幅-25
	60分率耐火	20mm	材幅-45

6. 2 座金

- (a) ボルトおよび両ねじボルト接合部に用いる座金の種別は以下による。

部位	ボルト頭側	ナット側
木材に接する座金	平座金b	平座金b+ばね座金
鋼材に接する座金	平座金a	ばね座金

- (b) 各座金の仕様は以下による。

- ばね座金：JIS B 1251（ばね座金）3号（重荷重用）
- 平座金a：JIS B 1256（平座金）
- 平座金b：設計図による。ただし、引張を受けないボルトで設計図に記載がない場合の座金寸法は以下の表により、鋼材品質はSS400とする。

引張を受けないボルトの平座金bの標準寸法（単位：mm）

ボルト径	12	16	20	22	24
座金の厚さ	3.2	4.5	6	6	6
丸座金の直径	40	60	70	75	80

6. 3 ボルト接合部の座廻りおよび埋木

- (a) ボルト接合部の座廻りおよび埋木の適用部位は以下による。

座廻り・埋木の仕様		埋木厚	適用部位
座廻りなし	埋木なし	-	例：下記以外
	無耐火	15mm	例：建物外周部(外壁取合い部)
	30分率耐火	25mm	
	45分率耐火	35mm	
	60分率耐火	45mm	

- (b) ボルト接合部の座廻り寸法は以下による。ボルト頭の向きは監理者の指示による。

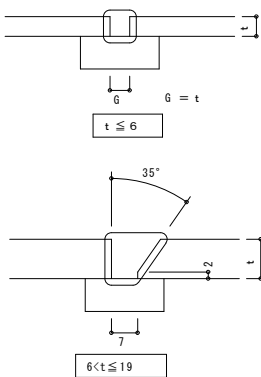
ねじの呼び		M12		M16		M20		M22		
座廻り深さ (mm)	部位	ボルト頭側	ナット側	ボルト頭側	ナット側	ボルト頭側	ナット側	ボルト頭側	ナット側	
	埋木なし	15	30	15	35	20	40	20	45	
	埋木あり	無耐火	30	45	30	50	35	55	35	60
		30分率耐火	40	55	40	60	45	65	45	70
		45分率耐火	50	65	50	70	55	75	55	80
	60分率耐火	60	75	60	80	65	85	65	90	

- (c) ボルト接合部の座廻り径は座金の外径+2mmとする。

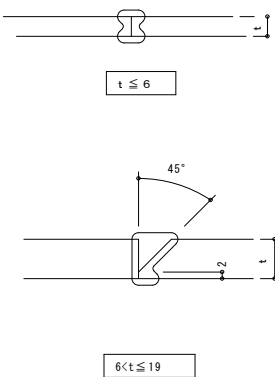
6. 4 溶接基準

完全溶込み溶接（突合せ溶接）

1（片面溶接）

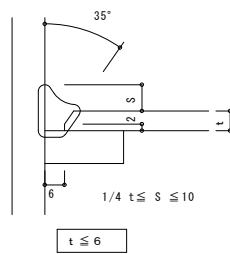


2（両面溶接）

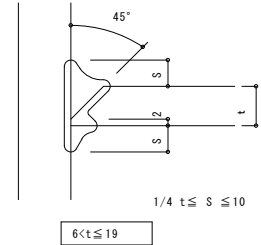
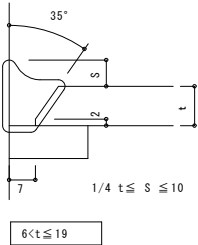
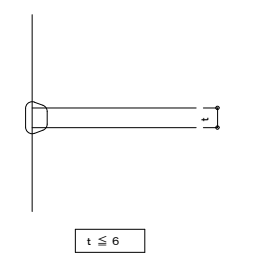


完全溶込み溶接（T継手）

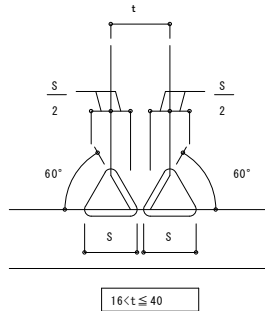
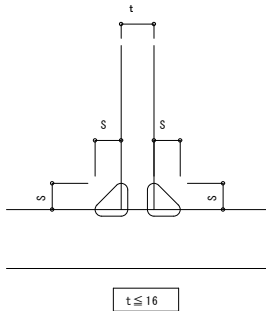
1（片面溶接）



2（両面溶接）



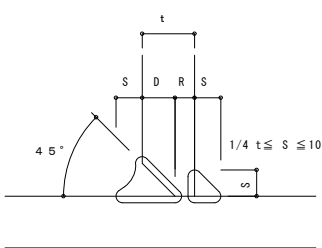
隅肉溶接



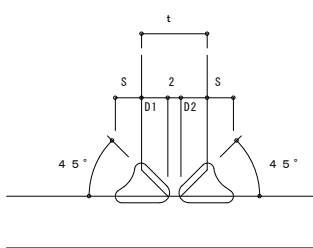
t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	15	17	19	21	24

部分溶込み溶接

1（片面溶接）



2（両面溶接）



t	6	7	8	9	10	12	16	19	22	25	28	32	36	40
D	5	6	7	8	8	10	11	12	13	13	14	15	15	16
R	1	1	1	1	2	2	5	7	9	12	14	17	21	24

1/4 t ≤ S ≤ 10
D1= (t-2) /2
D2= (t-2) /2

構造設計者
一級建築士 第346646号
横山 忠志



有限会社 ティーズ設計事務所
〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂68-5
Tel. 084-949-3632
一級建築士登録 第239406号 戸梶 好喜



福山市建設局建築部営繕課
設計 2025年 9月

工事名称
福山市曙交流館改築工事
図面名称
木質構造標準図（6）

縮尺
縮尺率
A1 100%
A2 71%
A3 50%

図面No

S-10

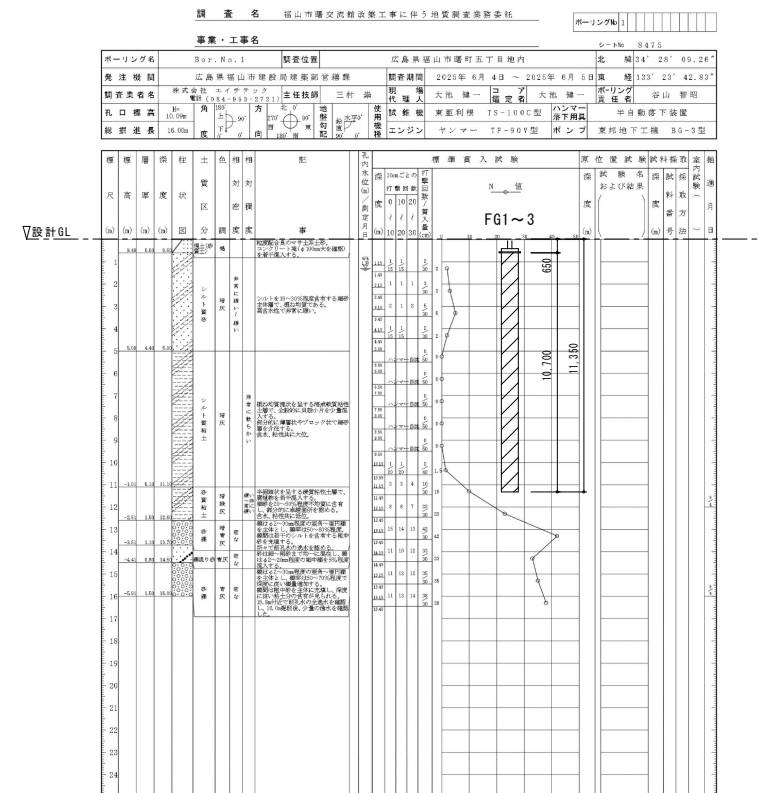
7. 1 木質部材の加工寸法

種類	加工寸法	備考
ドリフトピン孔径	ドリフトピン径 $\pm 0.0\text{mm}$	
ボルト孔径	M16未満: $d=1.0\text{mm}$ M16以上: $d=2.0\text{mm}$	d: 呼び径
ラグスクリュー孔径	胴部: 胴部径 $\pm 0.0\text{mm}$ ねじ部: ねじ山径の60%~70%の径	2段穴明けとする
引きボルト接合用 ボルト孔径	$d+5.0\text{mm}$	d: 呼び径
LSB孔径	(b)による	
挿入鋼板スリット幅	$t+2.0\text{mm}$	t: 鋼板板厚
面取り CLTを除く	せい1450mm以上: $c=9\text{mm}$ 以下 せい1450mm未満: $c=3\text{mm}$ 以下	
面取り CLT	$c=3\text{mm}$ 以下	

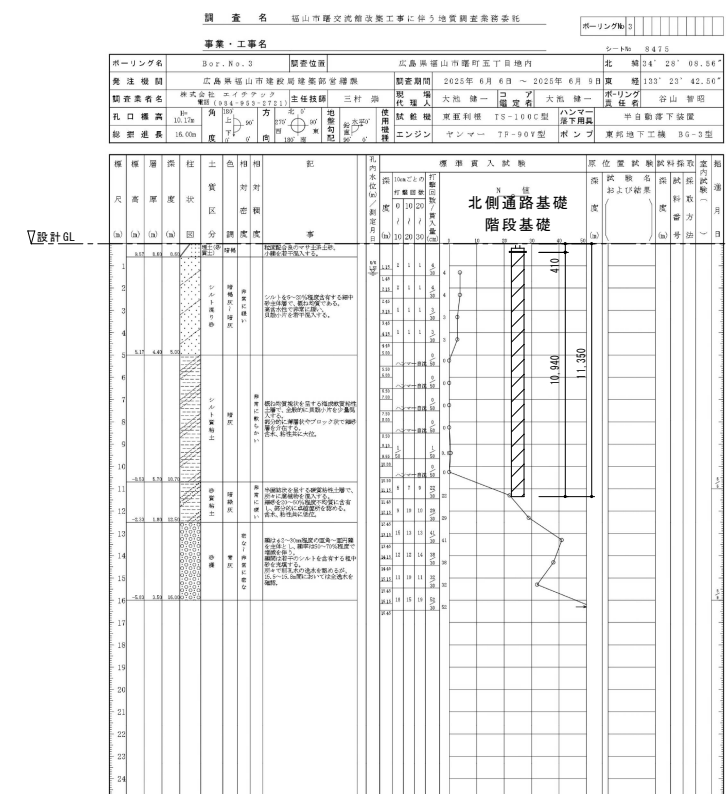
LSB仕様	呼び径 (mm)	山径 (mm)	谷径 (mm)	木部先孔径 (mm)
GW仕様	Φ 19	Φ 19.4	Φ 14.4	Φ 15
	Φ 25	Φ 25.4	Φ 20.4	Φ 21
	Φ 35	Φ 35	Φ 27	Φ 27.5
MK仕様	Φ 19	Φ 19.4	Φ 14	Φ 15
	Φ 25	Φ 25	Φ 20	Φ 22
HT仕様	Φ 18	Φ 18	Φ 13.6	Φ 16

種類	加工寸法	備考
ドリフトピン孔径	16Φ未満：d+1.0mm 16Φ以上：d+1.5mm	d：ドリフトピン径
ボルト孔径	M16未満：d+1.0mm M16以上：d+1.5mm	d：呼び径
ラグスクリュー孔径	胴部径16Φ未満：d+1.0mm 胴部径16Φ以上：d+1.5mm	d：胴部径
LSB孔径	d+5.0mm	d：雄ねじ部または 雌ねじ部取合いボルトの呼び径
アンカーボルト孔径	d+5.0mm	d：呼び径
CLT引張金物用 両引きボルト孔径	d+5.0mm	d：呼び径 既成接合金物は含まない
木質構造用ねじ孔径	d+0.5mm	d：ねじ胴部径
接合具干渉部 引きボルト孔径	d+5.0mm	d：呼び径

ボーリング柱状図

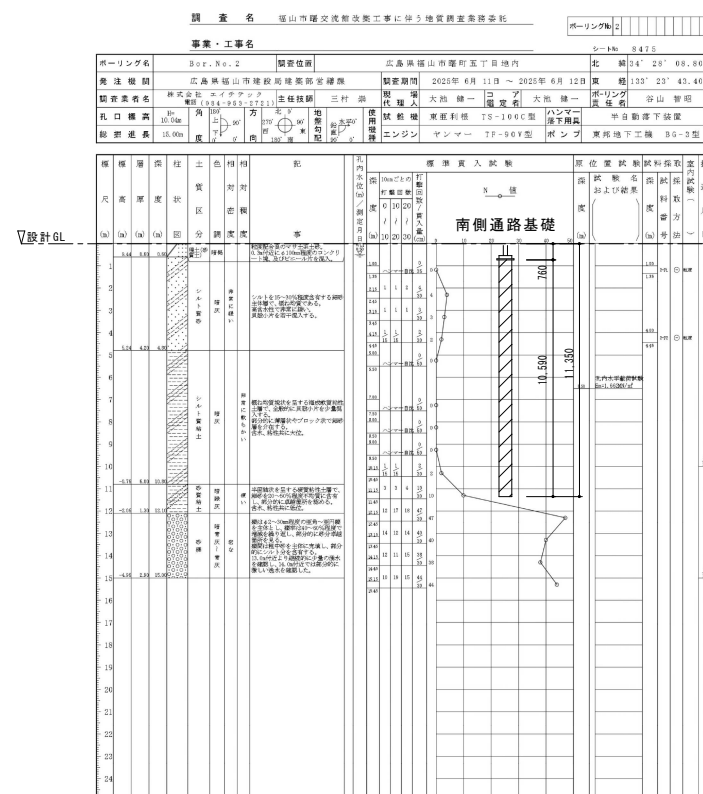


ボーリング No. 3

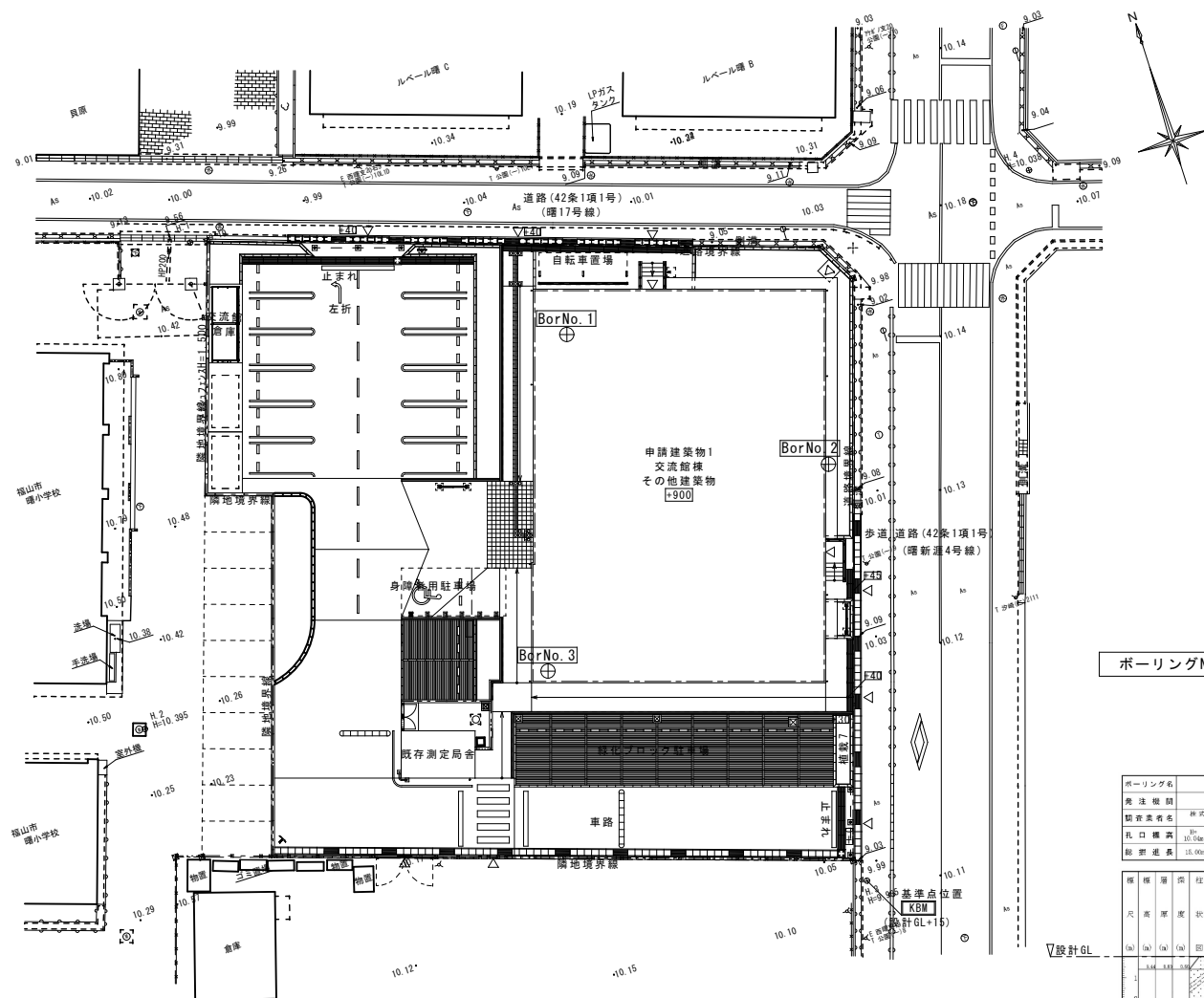


ボーリング柱状図

ボーリングNo. 2



ボーリング柱状図



ボーリング位置図 S = 1 / 2 5 0

特記事項

- ・ 設計GL=KBM-15とする。
- ・ FL=設計GL+900とする。

テノコラム地業特記仕様書

1. 工事概要

本事業は、テノコラム工法による地盤改良地業である。テノコラム工法は、スラリー状のセメント系固化材（以下、固化材液と称す）を地盤に注入しながら、共回り防止翼を装着した攪拌装置を用いて、原位置土と機械的に攪拌混合し、固化材の固化反応により所要の強度を持つ改良柱体（以下、コラムと称す）を築造するものである。

2. 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか「改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針(平成16年 4月)」(日本建築センター)による。

3. 特記事項

- (1) コラムの径、掘削深度（設計コラム長+空掘長）、本数配置等は設計図書による。ただし、コラムの径・長さ・本数・位置及び固化材液の配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切だと判断される場合は、監督員の承認の下に変更することができる。
- (2) コラムの設計基準強度は $F_c = \frac{700}{\quad} \text{ kN/m}^2$ ($\frac{0.70}{\quad} \text{ N/mm}^2$) とする。
- (3) 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理および品質検査を実施する。
- (4) 本工事は、テノコラム工法（財団法人 先端建設技術センター先端建設技術・技術審査証明第2001号）とする。
- 又、品質確保の為、技術審査証明取得業者が常駐管理の元に施工を行う。

4. 施工計画

- (1) 本工事施工業者は、本工法の施工技術に精通したもので、テノコラム協会に所属する会員とする。
- (2) 施工計画書
- 工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。施工計画書は、次の事項を明記する。
- | | |
|--|-----------------------|
| ① 工事件名及び工事場所 | ⑦ 固化材配合条件 |
| ② コラム仕様（コラム径・掘削深度〔設計コラム長＋空掘長〕
・本数・設計基準強度） | ⑧ 施工管理（立会い、管理項目、施工記録） |
| ③ 工事期間及び工程 | ⑨ 品質検査 |
| ④ 工事の組織（建築請負業者の本工事責任者、コラム施工業者名
及び責任者、各種作業の主たる従事者） | ⑩ 安全衛生対策 |
| ⑤ 施工手順 | ⑪ 地盤概要（土質柱状図） |
| ⑥ 施工機器 | ⑫ コラム伏図 |
| | ⑬ 技術審査証明書（写） |

5. 施工

- (1) 作業地盤は、施工機械が傾斜・転倒しないよう養生する。
- (2) 基本的な施工手順を以下に示す。施工の障害になる事項が出現した場合は、別途検討する。
 - a. 攪拌混合装置をコラム心に合せる。
 - b. 固化材液を吐出せずに、空掘部を所定の深度まで掘進する。
 - c. 固化材液を吐出しながら掘進・攪拌混合する。
 - d. 注入掘進工程が終了したら、固化材液の吐出を停止し先端部の練り返しを行う。
 - e. 先端部練り返し工程が終了したら、攪拌軸を逆回転引き上げ攪拌混合する。
- (3) 実施コラム長は、設計図書で示された支持地盤に着底する長さとする。
- (4) 本工事により排出される発生残土は場内処分とする。

6. 施工機械

- (1) 共回り現象を防止する機構を有し、固化材液と原位置土を確実に攪拌混合できる攪拌装置を用いること。
- (2) 所定の施工管理項目を計測、記録できる管理装置を用いること。
- (3) 改良機本体は本工事の施工仕様を満足させる施工制御機器を装備したもので、自走式とする。
- (4) ミキシングプラントは、所定吐出量を十分供給できるものとする。

7. 配合管理

- (1) 固化材液に使用する材料は、セメント又はセメント系固化材とする。
- (2) 配合強度
変動係数を25%と想定し、9項に規定する抜取ヶ所数N、合格確率80%とした下表を用いて設定する。

N	1	2	3	4~6	7~8	9~
α	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594

$$X_f = \alpha \times F_c \quad [\alpha : \text{割り増し係数、} X_f : \text{配合強度}]$$

- (3) 室内配合試験
- 固化材液の配合（W/C）と使用量（添加量）は、室内配合試験の結果に基づいて、現場室内強度比を考慮して、配合強度を満足するように決定する。
- あるいは正確に土質を把握し、かつその土質に対する既存データがある場合は、その結果を用いて添加量を決定する。

8. 施工管理

- (1) 施工の安定性を確保するため以下に示す項目について施工管理する。
- | | | |
|---------|----------|----------------------------|
| ① 形状・寸法 | 鉛直性 | 改良機本体のリーダー内に設置された傾斜計で管理する。 |
| | コラム心 | 事前にコラム心にマークを設ける |
| | 掘削深度 | 深度計で計測し記録する |
| | コラム径 | 攪拌装置の形状・寸法を記録する |
| ② 固化材 | 材料計量 | 水、固化材の重量 |
| | 固化材液の密度 | マッドバランス（泥水比重計）等で計測する |
| | 固化材液の添加量 | スーパーシステムにて施工管理を行い、記録する。 |
| ③ 攪拌混合度 | 攪拌混合回数 | スーパーシステムにて施工管理を行い、記録する |
| ④ 支持地盤 | 仕事量 | スーパーシステムにて施工管理を行い、記録する。 |
- （施工管理装置は、施工時に管理基準値を満たさない場合、警報等にて修正背負うを促す装備とする。）
- (2) コラムの芯ズレ
- コラムの芯ズレが許容値を超えた場合は、監督員（監理者）と協議し、設計検討により応力照査を行った上、安全であると判断した場合、合格とする。
- (3) 施工の立会い
- 建築工事の請負者は、本地業責任者（請負業者の中から選定）及び施工責任者を定め、両者は本地業の施工中は立会うものとする。

9. 品質検査

- (1) 検査対象群、検査対象層、検査ヶ所数
- ① 検査対象群は概ねコラム300本を1単位とする。土層毎に検査対象層を決めるが、最小層厚を0.5mとする。
- ② 検査対象層は 砂質土 , 粘性土 , _____ であり、設計対象層を 粘性土 とする。
- 設計対象層の平均強度は他の検査対象層の平均強度を超えないこと。
- 超えている場合は、最も低い平均強度の層を設計対象層とする。
- ③ 調査ヶ所数
- 頭部コア調査100本に1ヶ所とする。
- 深度コア調査100本に1ヶ所とする。
- (2) コア採取率による調査
- 深度コア調査の内、検査対象群に1ヶ所の割合でボーリングによりオールコアサンプリングを行い、コア採取率を調査する。
- コア採取率が、全長に対して粘性土層90%、砂質土層95%以上、かつ深さ1m毎に粘性土層85%、砂質土層90%以上であることを確認する。
- (3) 合否の判定
- ① 設計対象層についての抜取ヶ所数をNとする。1抜取ヶ所当り3個のコア供試体を取り、その平均強度をその抜取ヶ所の強度とする。
- ② 一軸圧縮強度は公的機関あるいは検査員立会いの下に行うものとする。
- ③ 検査手法は検査手法A（品質のバラツキを想定する場合の検査手法）による。
- ④ 検査手法Aによる品質検査
- 合否の判定は検査対象層におけるNヶ所（抜取ヶ所）の一軸圧縮試験結果が下式を満足すれば合格とする。
- $$\bar{X}N \geq XL = Fc + ka \cdot \sigma d$$
- $\bar{X}N$: Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値 (N/mm², kN/m²)
- XL : 合格判定値 (N/mm², kN/m²)
- Fc : 設計基準強度 (N/mm², kN/m²)
- ka : 合格判定係数
- σd : 想定したコア強度の標準偏差 (N/mm², kN/m²) であり、 $\sigma d = Vd \cdot \sqrt{qu d}$
- （ Vd : 変動係数、品質確認書により想定する
 $\sqrt{qu d}$: 想定した平均一軸圧縮強さ (N/mm², kN/m²)

10. 報告

工事完了後、次の事項について施工報告書をまとめ、監督員に提出する。

- | | | | |
|---|----------------------|---|----------------------------------|
| ① | コラムの伏図及び番号 | ⑥ | 仕事量又は掘進速度及び電流値（又はトルク値） |
| ② | コラムの施工日 | ⑦ | 固化材液の配合と固化材の使用量 |
| ③ | コラムの径及び実施コラム長 | ⑧ | コア供試体の一軸圧縮強度試験結果及びボーリングコアを用いた採取率 |
| ④ | 掘削深度（実施コラム長＋空掘長） | ⑨ | 合否の判定結果 |
| ⑤ | 攪拌混合回数又は掘進速度及び引き上げ速度 | | |

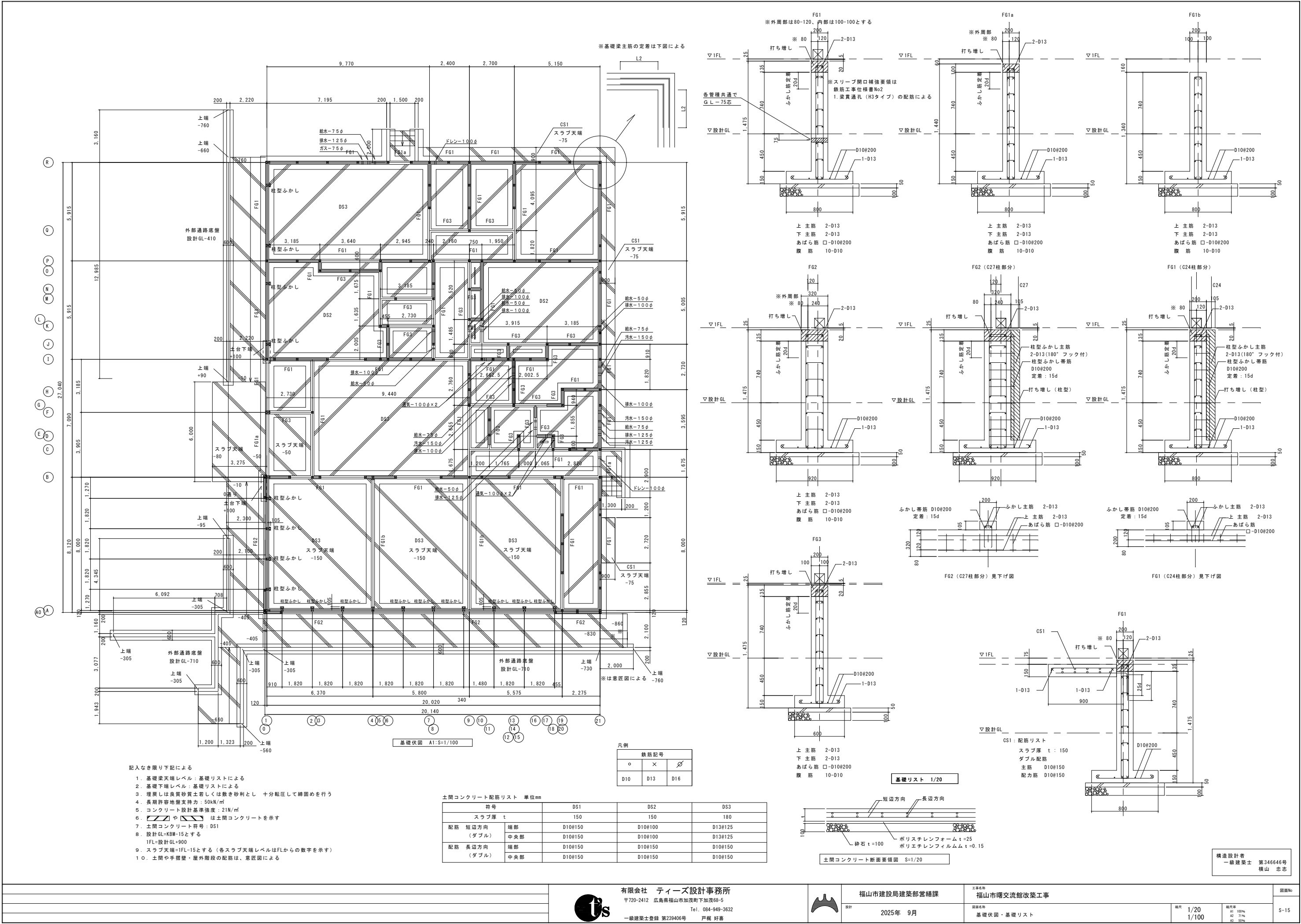
11. その他

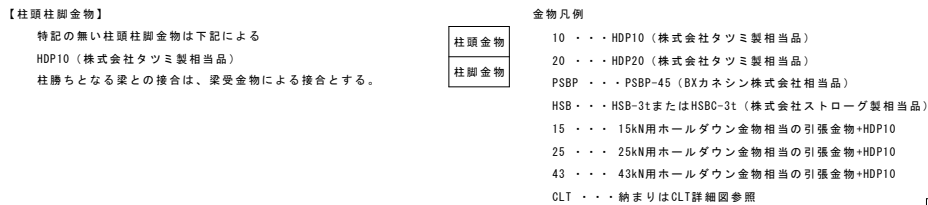
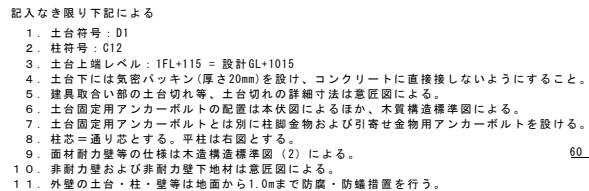
施工にあたっては、セメント系固化材等を使用した改良土の六価クロム溶出試験を実施し、環境庁告示46号の土壌環境基準値(検液1Lにつき0.05mg)以下であることを確認する。

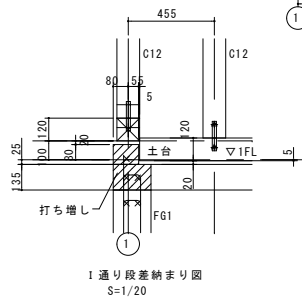
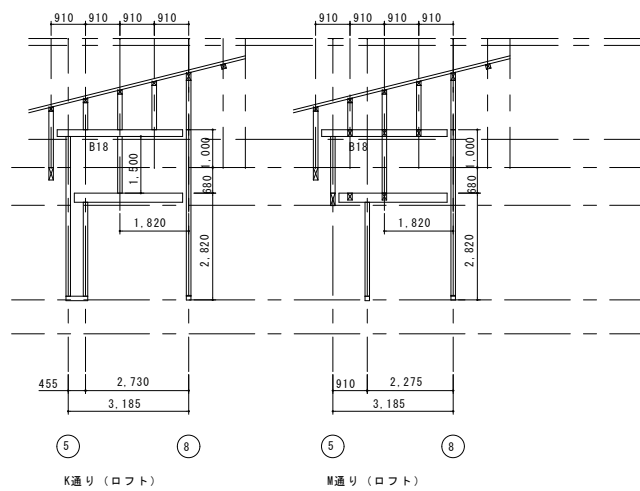
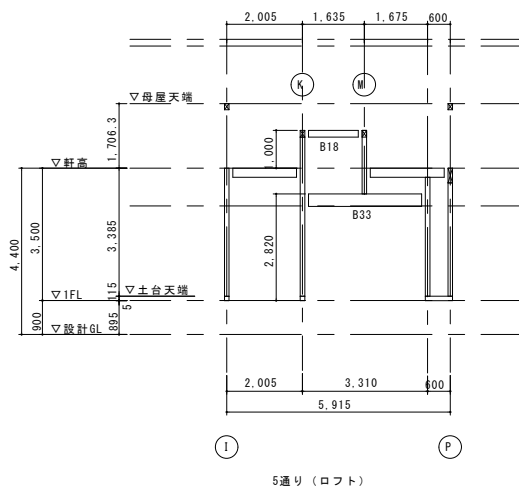
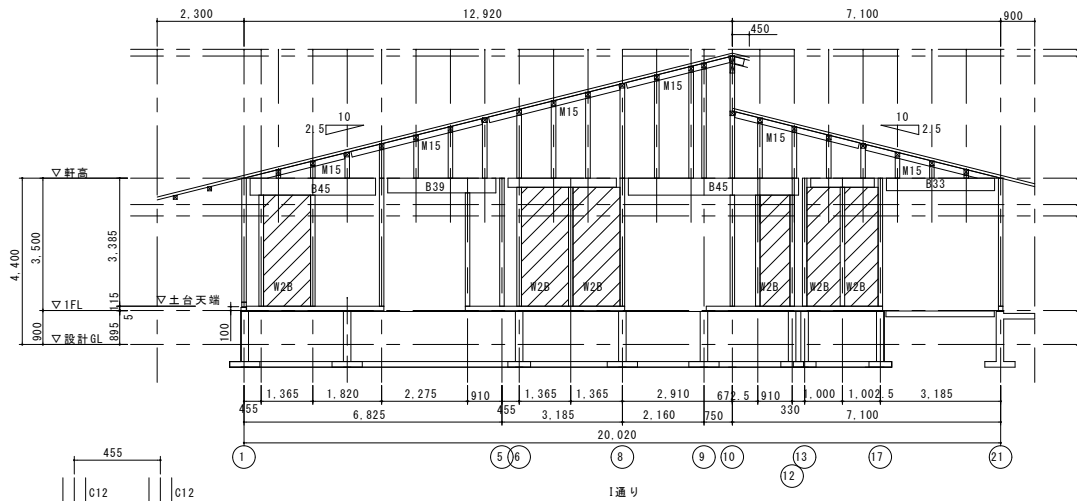
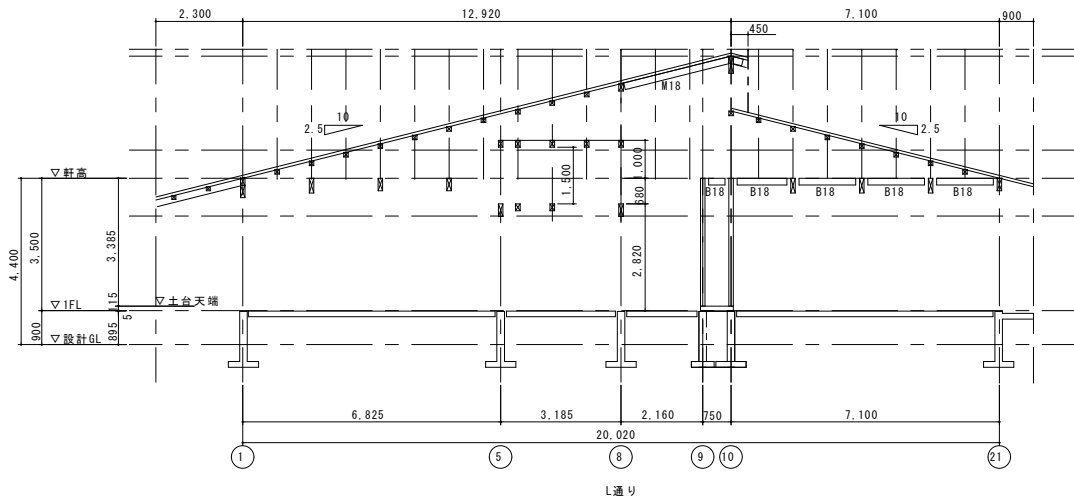
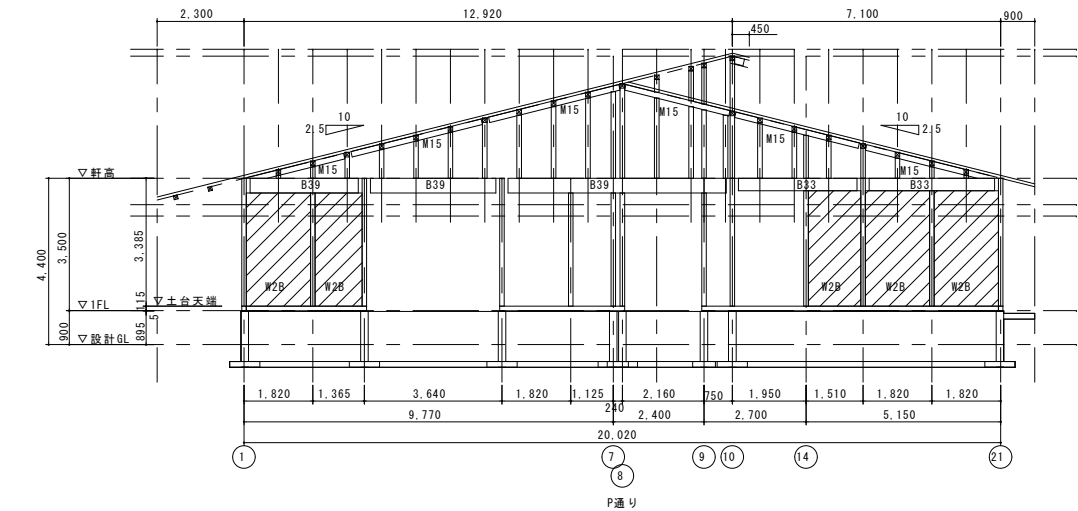
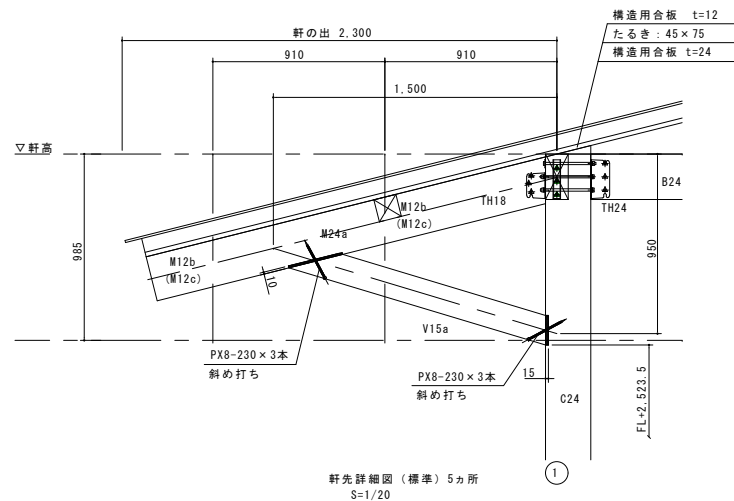
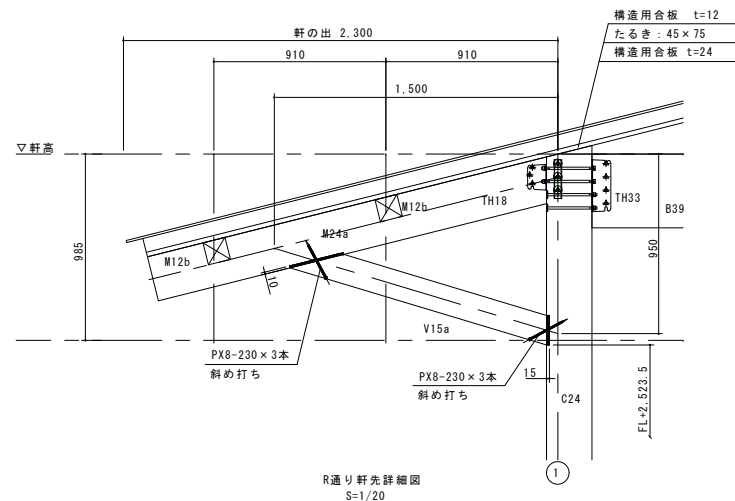
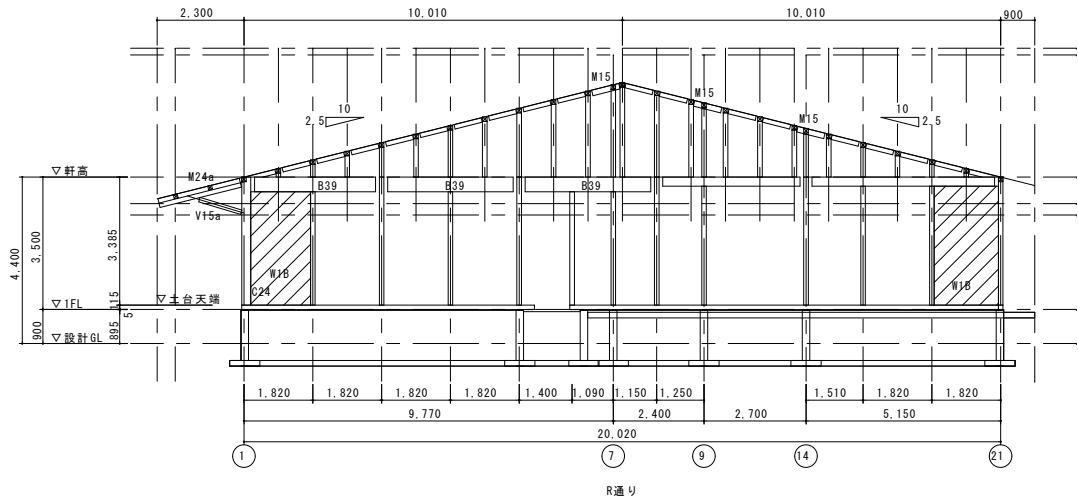
試験方法は、平成13年4月20日付国官技第16号国営建第1号「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領(案)」の一部変更についてによる。

試験方法及び試験の個数：配合設計の段階で実施する環境庁告示46号溶出試験、1 検体

	 有限会社 ティーズ設計事務所 〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂68-5 Tel. 084-949-3632 一級建築士登録 第239406号 戸根 好喜		福山市建設局建築部営繕課	工事名称 福山市曙交流館改築工事	図面No
設計			2025年 9月	図面名称 柱状地盤改良地業 特記仕様書	S-13







記入なき限り下記による

- 柱符号: C12、束符号: P12
- 梁符号: B24、母屋符号: M12b

耐力壁凡例

- W1B・・・面材耐力壁(大壁) 4.3倍(パーティクルボード t=9)
- W2B・・・面材耐力壁(真壁) 4.0倍(パーティクルボード t=9)

構造設計者
一級建築士 第346646号
横山 志志



有限会社 ティーズ設計事務所
〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂68-5
Tel. 084-949-3632
一級建築士登録 第239406号 戸梶 好喜



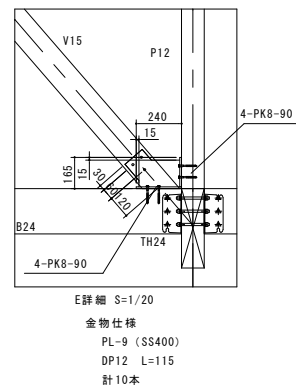
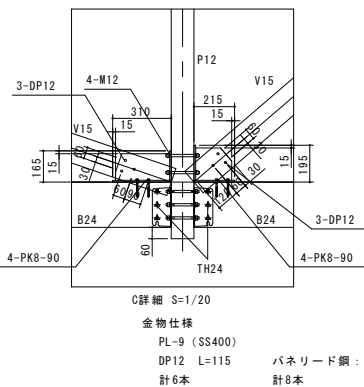
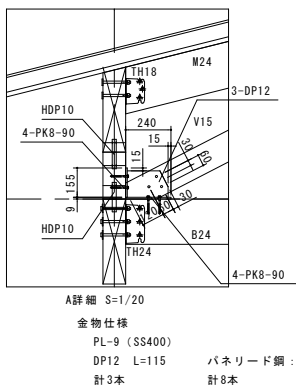
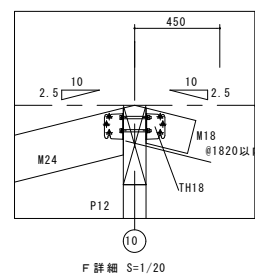
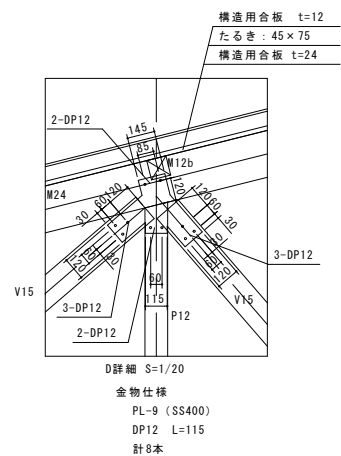
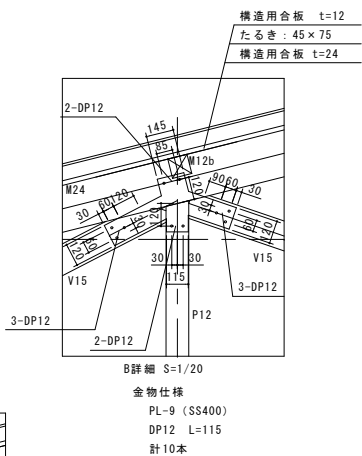
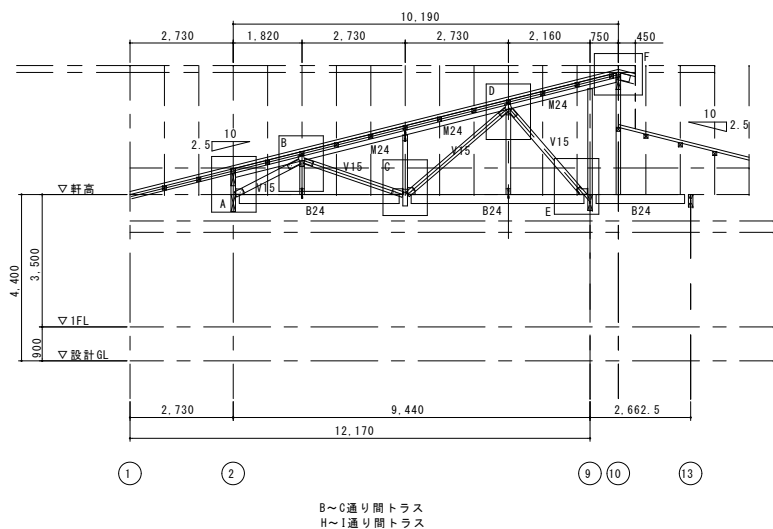
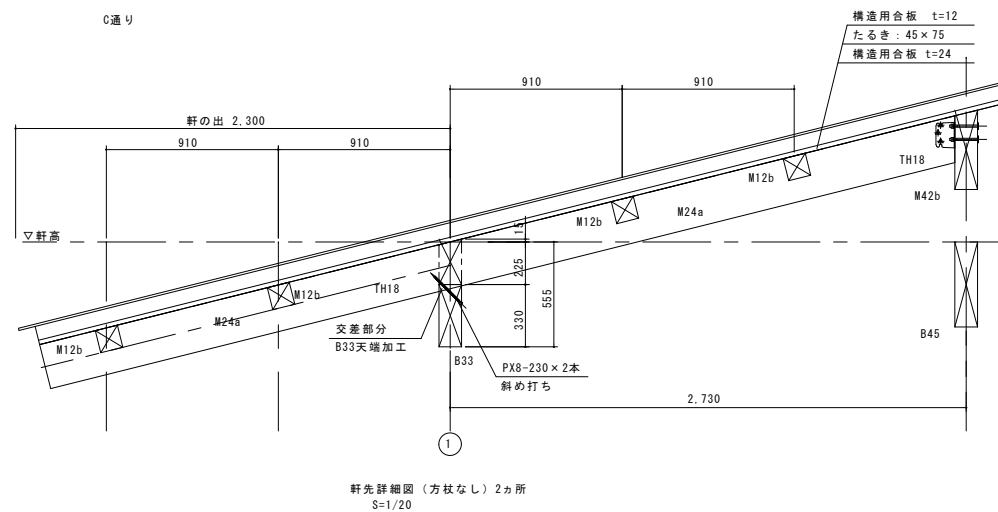
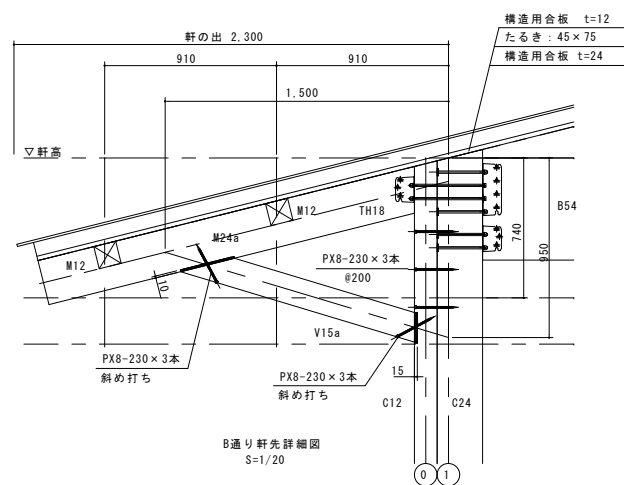
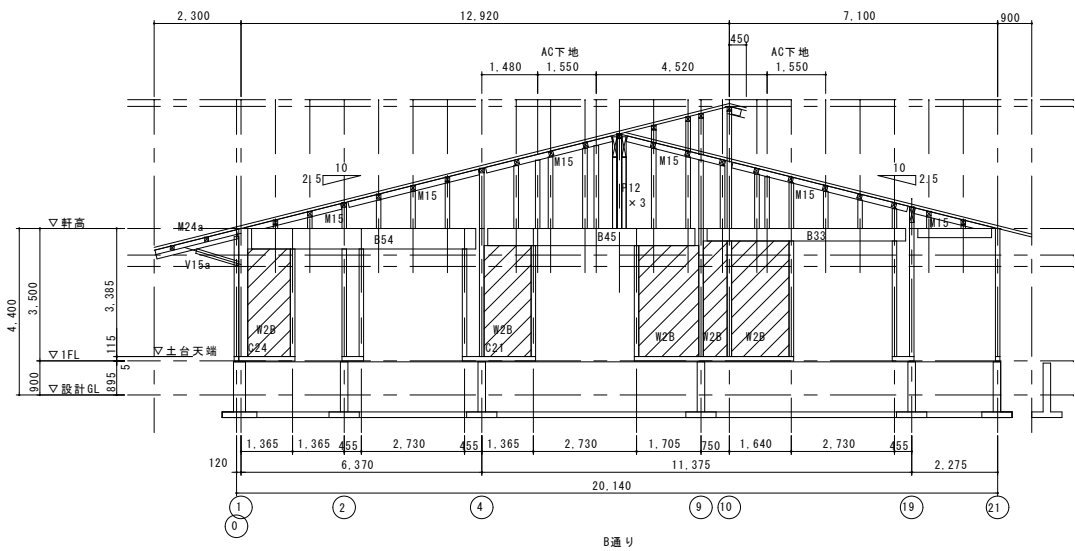
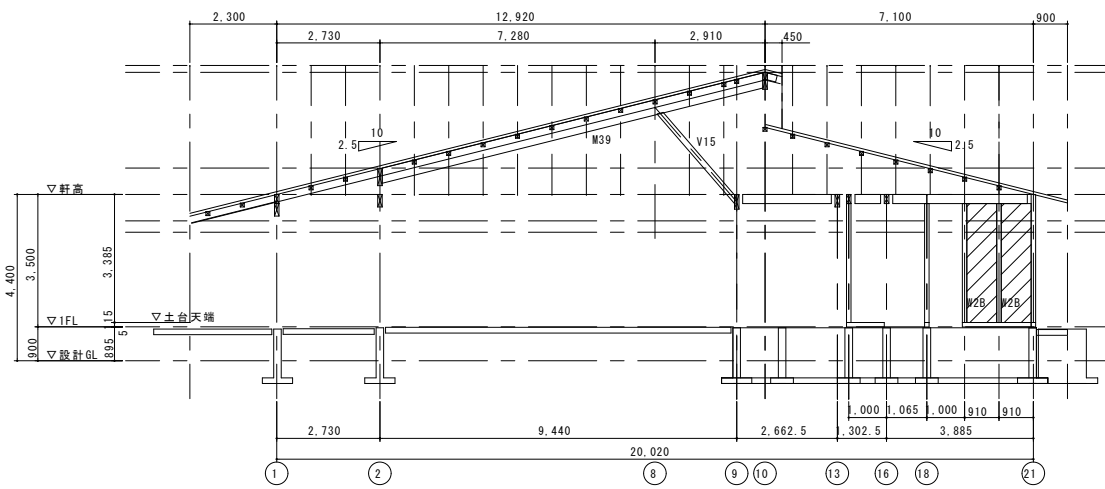
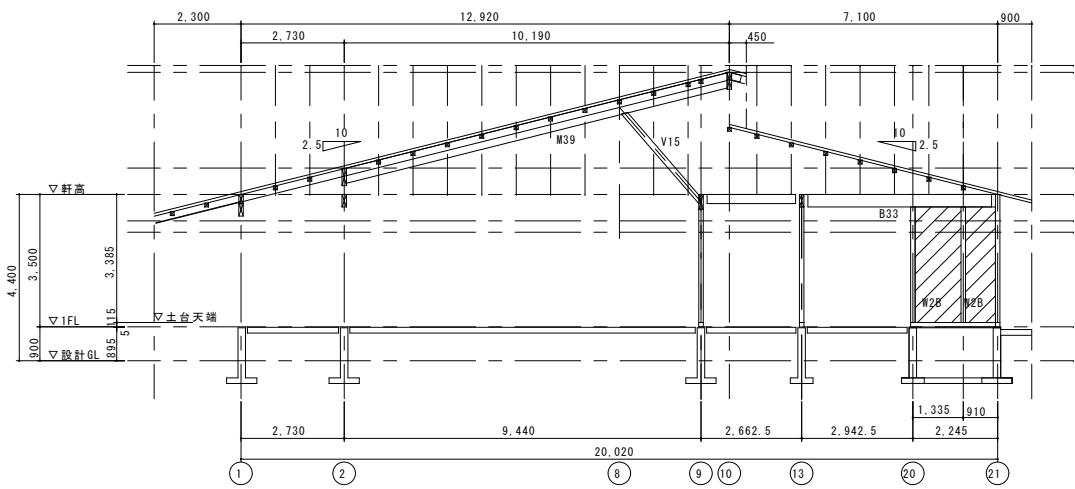
福山市建設局建築部営繕課
設計
2025年 9月

工事名称
福山市曙交流館改築工事
図面名称
軸組図 1

縮尺
1/20
1/100

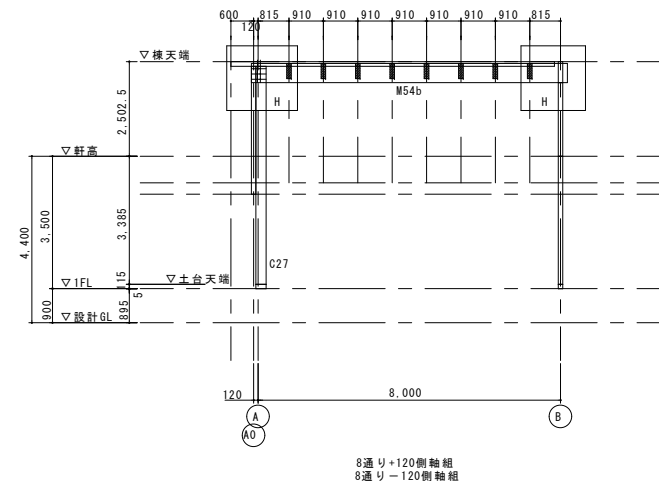
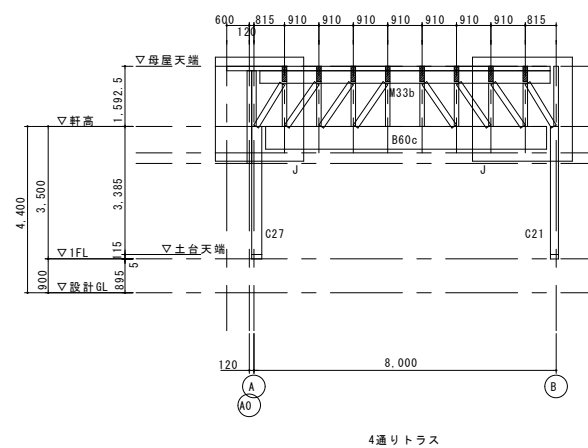
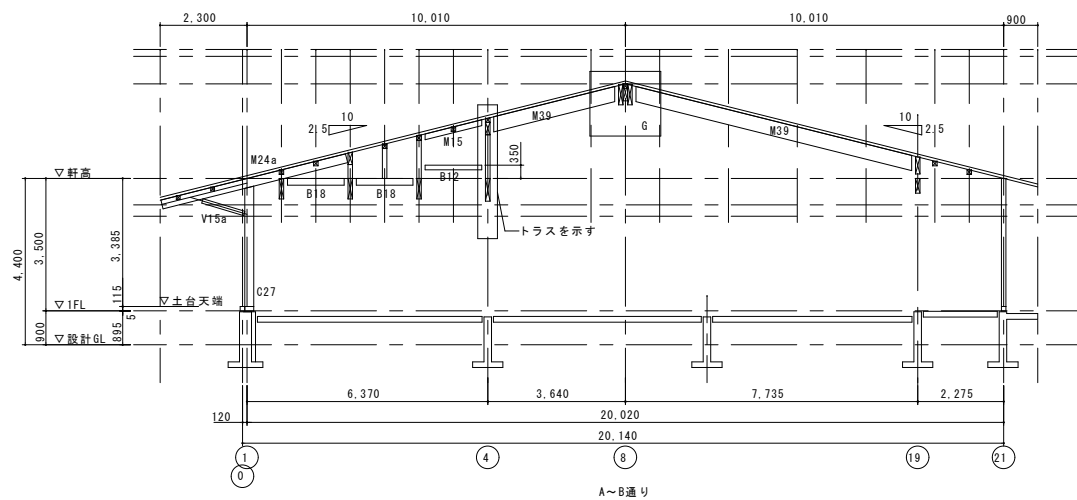
縮尺率
A1 100%
A2 75%
A3 50%

図面No
S-18



記入なき限り下記による
1. 柱符号: C12, 束符号: P12
2. 梁符号: B24, 母屋符号: M12b
耐力壁凡例
W18 . . . 面材耐力壁 (大壁) 4.3倍 (パーティクルボード t=9)
W28 . . . 面材耐力壁 (真壁) 4.0倍 (パーティクルボード t=9)

構造設計者
一級建築士 第346646号
横山 忠志



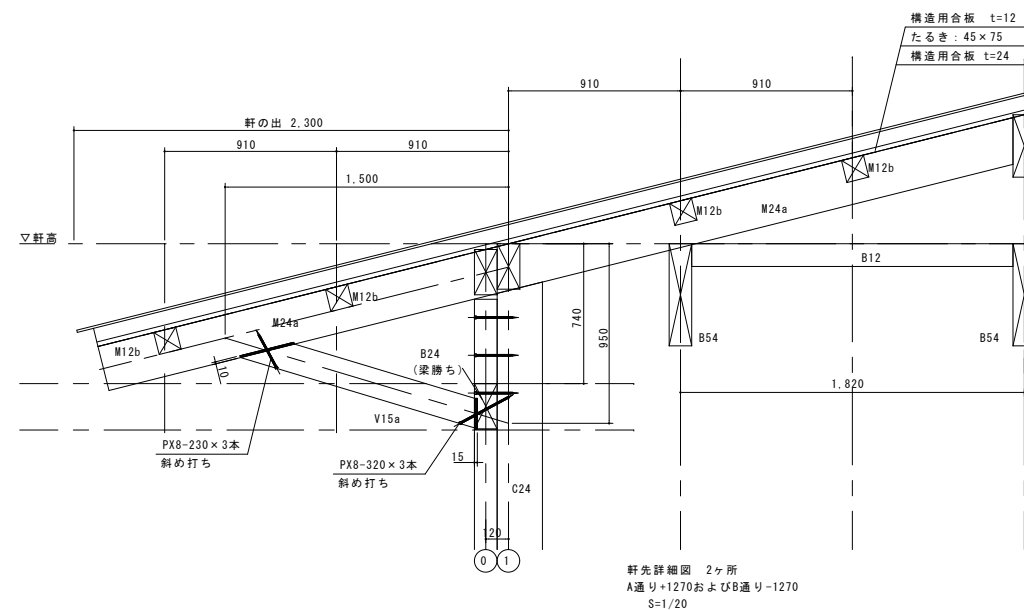
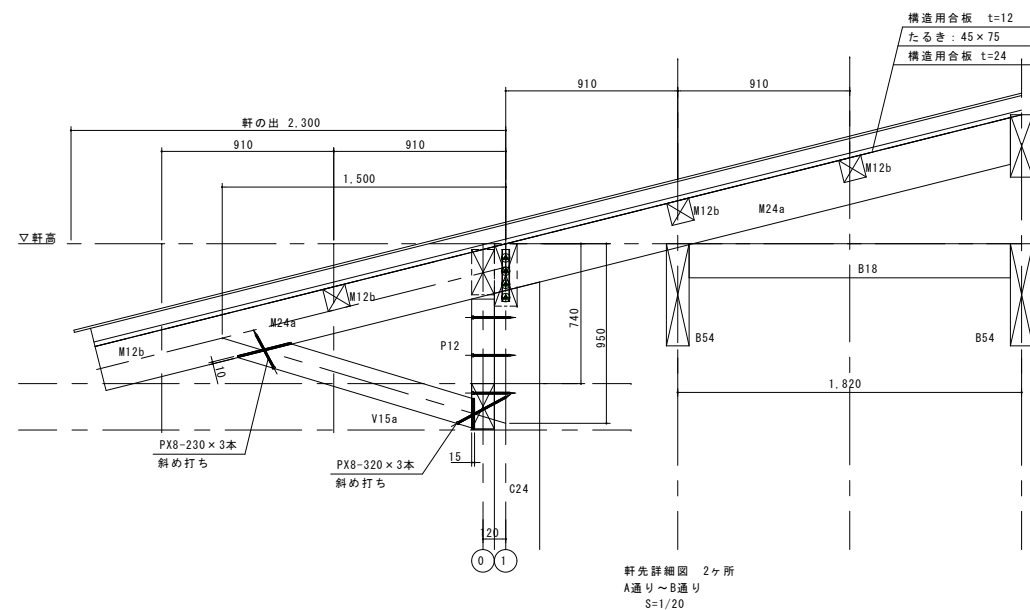
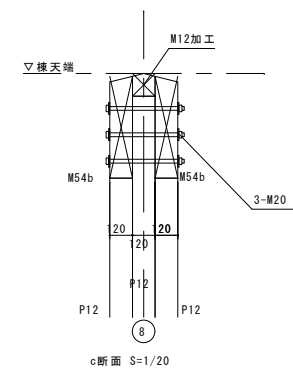
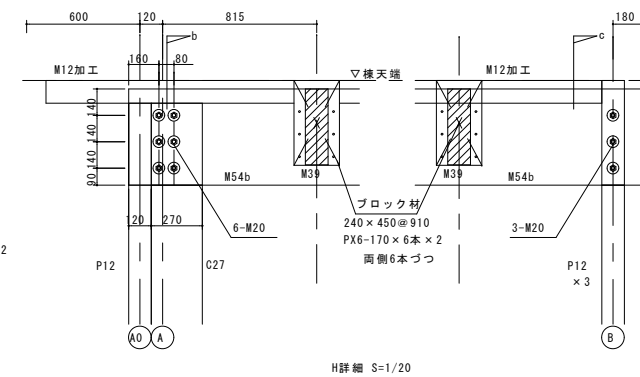
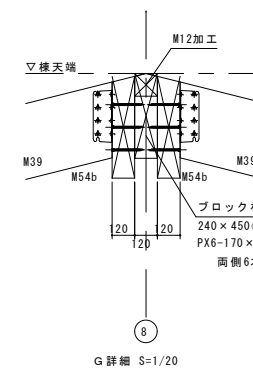
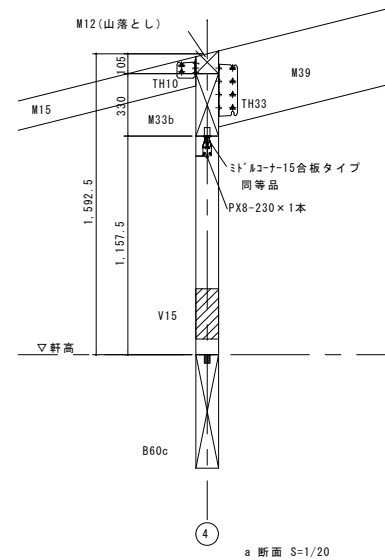
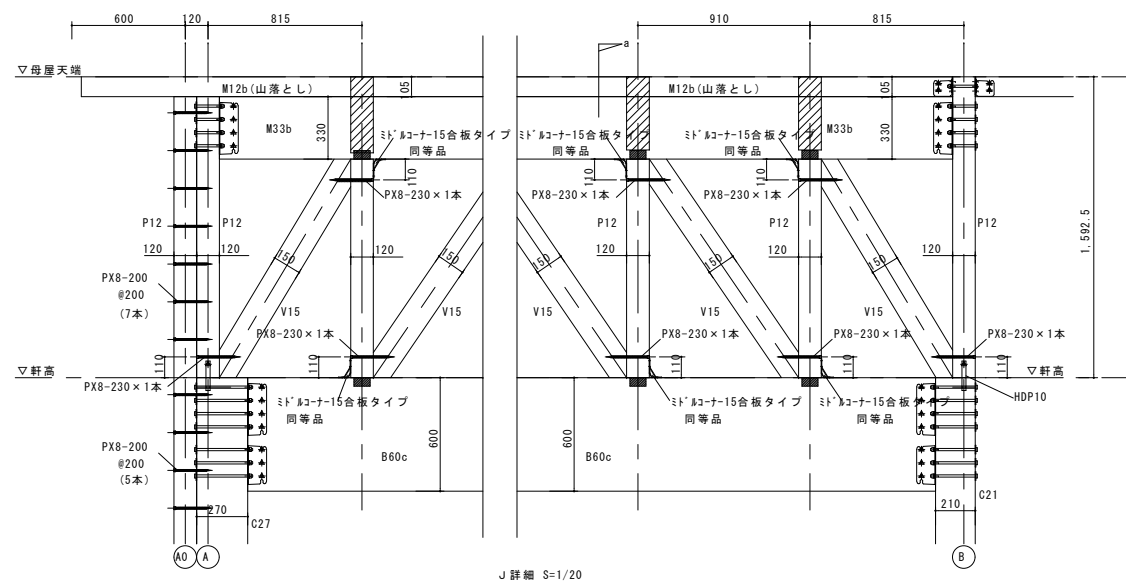
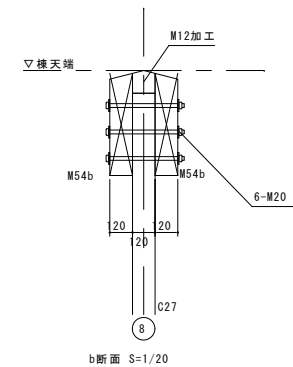
記入なき限り下記による

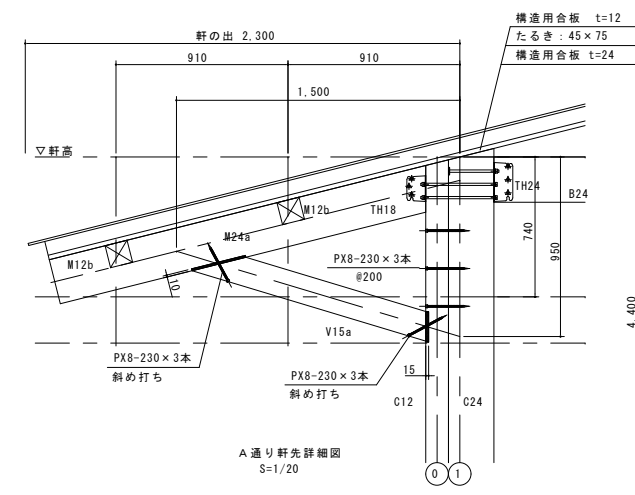
1. 柱符号: C12、 束符号: P12
2. 梁符号: B24、 母屋符号: M12

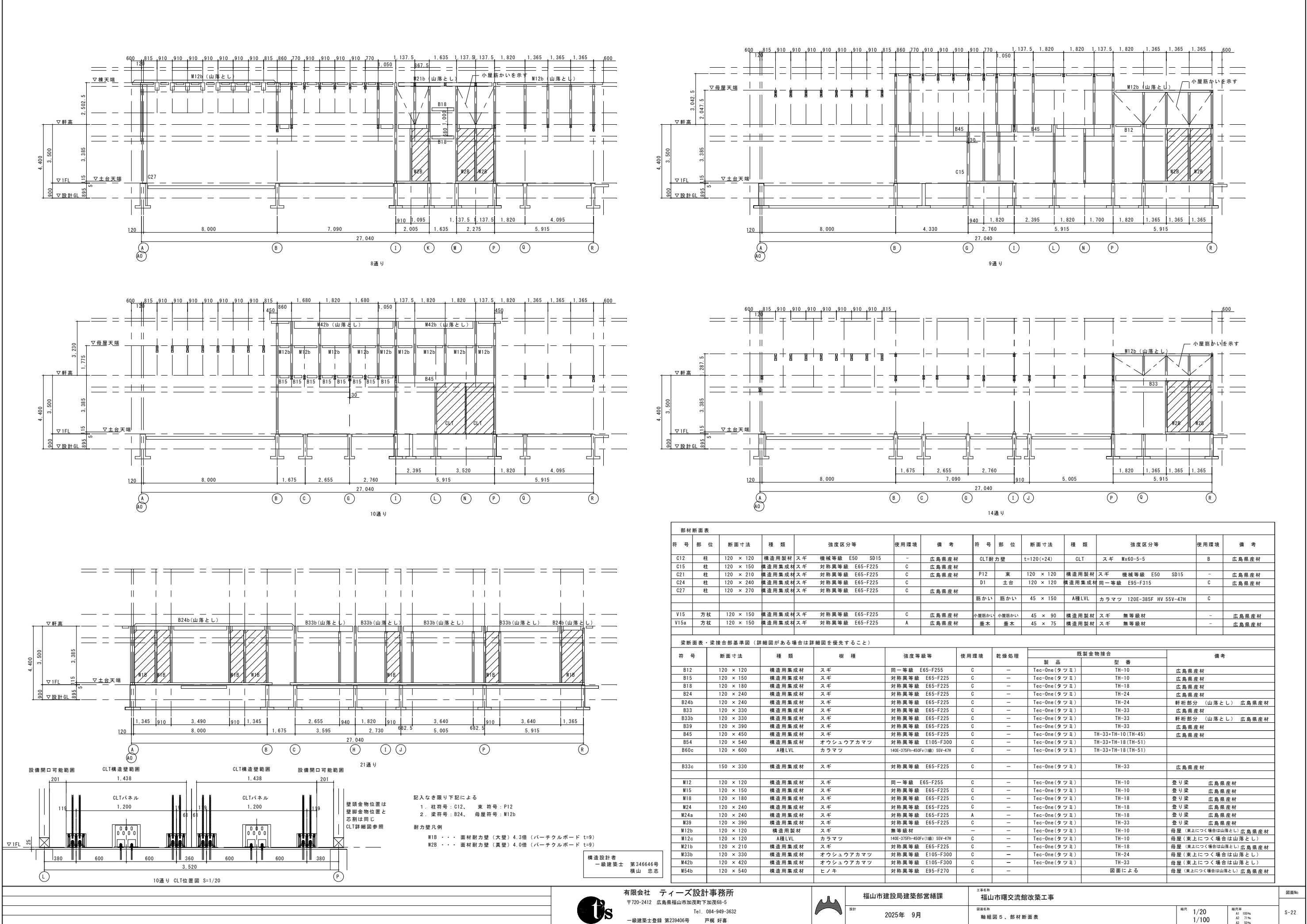
耐力壁凡例

W1B・・・面材耐力壁（大壁）4.3倍（パーティクルボード t=9）

W2B . . . 面材耐力壁 (真壁) 4.0倍 (パーティクルボード t=9)

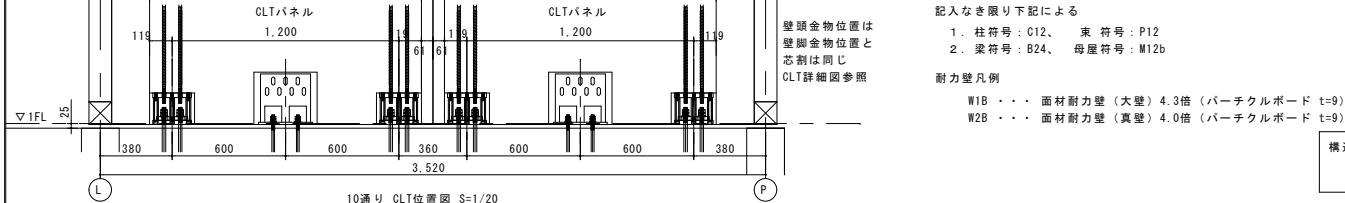


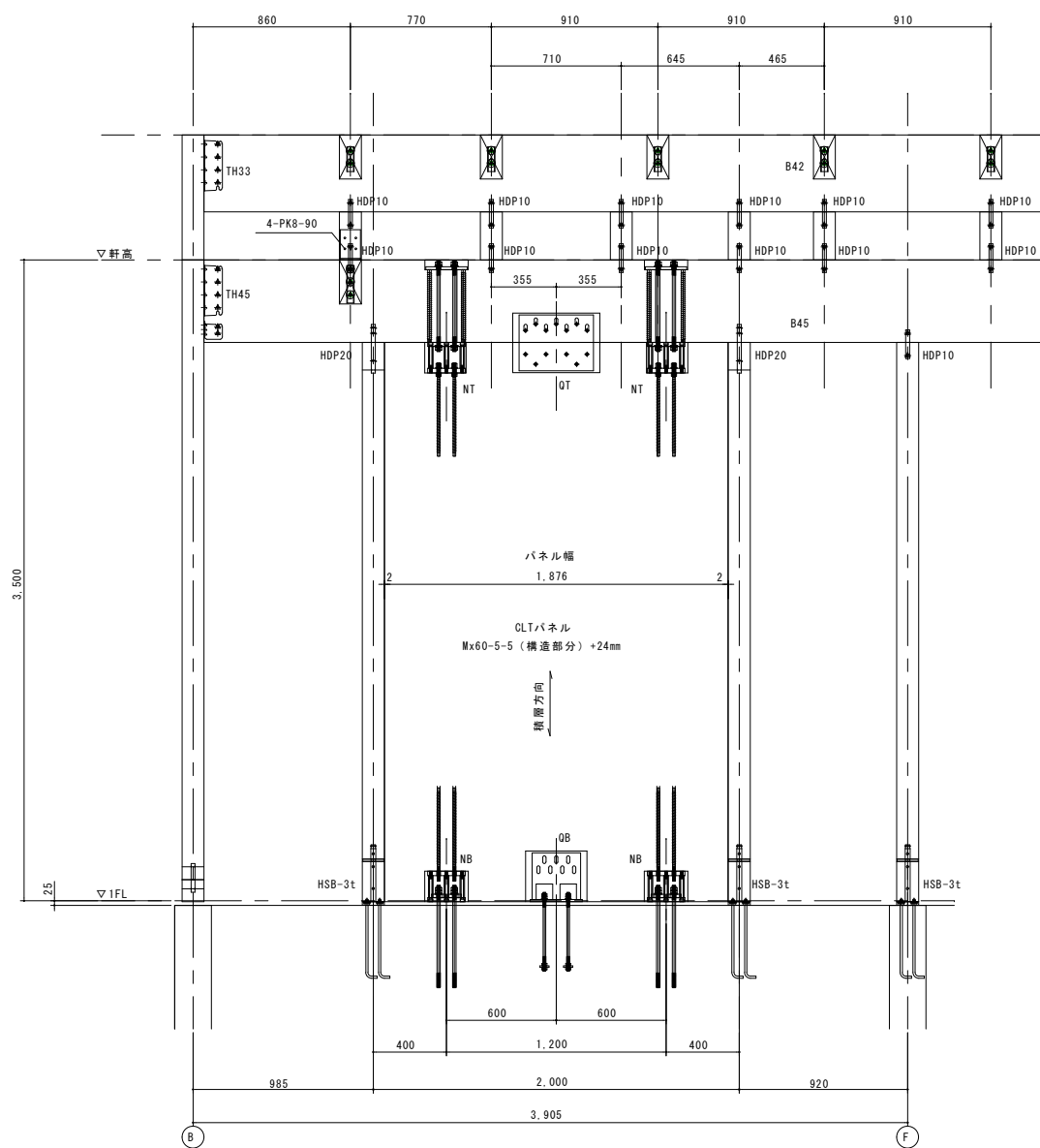




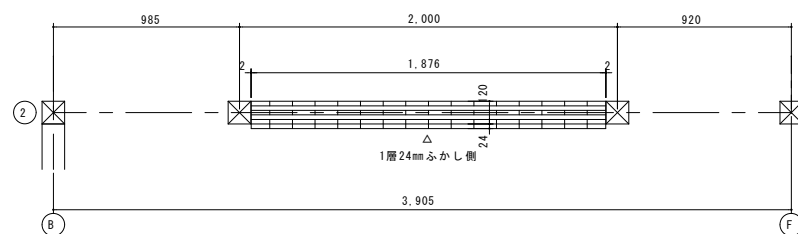
部材断面表																	
符 号	部 位	断面寸法	種 類	強度区分等		使用環境	備 考		符 号	部 位	断面寸法	種 類	強度区分等		使用環境	備 考	
C12	柱	120 × 120	構造用集成材	スギ	機械等級 E50 SD15	-		広島県産材	CLT耐力壁	t=120(+24)	CLT	スギ	Mx60-5-5		B		広島県産材
C15	柱	120 × 150	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C		広島県産材									
C21	柱	120 × 210	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C		広島県産材	P12	束	120 × 120	構造用集成材	スギ	機械等級 E50 SD15	-		広島県産材
C24	柱	120 × 240	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C		広島県産材	D1	土台	120 × 120	構造用集成材	同一等級 E95-F315		C		広島県産材
C27	柱	120 × 270	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C		広島県産材									
									筋かい	筋かい	45 × 150	A種LVL	カラマツ	120E-385F HV 55V-47H	C		
V15	方杖	120 × 150	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C		広島県産材	小屋筋かい	小屋筋かい	45 × 90	構造用集成材	スギ	無等級材	-		広島県産材
V15a	方杖	120 × 150	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	A		広島県産材	垂木	垂木	45 × 75	構造用集成材	スギ	無等級材	-		広島県産材

梁断面表・梁接合部基準図（詳細図がある場合は詳細図を優先すること）											
符 号	断面寸法	種 類	樹 種	強度等級等	使用環境	乾燥処理	既製金物接合		備 考		
							製 品	型 番			
B12	120 × 120	構造用集成材	スギ	同一等級 E65-F255	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-10	広島県産材		
B15	120 × 150	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-10	広島県産材		
B18	120 × 180	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-18	広島県産材		
B24	120 × 240	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-24	広島県産材		
B24b	120 × 240	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-24	野桁部分 (山落とし)	広島県産材	
B33	120 × 330	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-33	広島県産材		
B33b	120 × 330	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-33	野桁部分 (山落とし)	広島県産材	
B39	120 × 390	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-33	広島県産材		
B45	120 × 450	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-33+TH-10(TH-45)	広島県産材		
B54	120 × 540	構造用集成材	オウシュウアカマツ	対称異等級 E105-F300	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-33+TH-18(TH-51)	広島県産材		
B60c	120 × 600	A種LVL	カラマツ	140E-375F-450Fv(1級) 55V-47H	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-33+TH-18(TH-51)	広島県産材		
B33c	150 × 330	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-33	広島県産材		
M12	120 × 120	構造用集成材	スギ	同一等級 E65-F255	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-10	盛り梁	広島県産材	
M15	120 × 150	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-10	盛り梁	広島県産材	
M18	120 × 180	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-18	盛り梁	広島県産材	
M24	120 × 240	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-18	盛り梁	広島県産材	
M24a	120 × 240	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	A	-	Tec-One(タツミ)	TH-18	盛り梁	広島県産材	
M39	120 × 390	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-33	盛り梁	広島県産材	
M12b	120 × 120	構造用集成材	スギ	無等級材	-	-	Tec-One(タツミ)	TH-10	母屋 (東上につく場合は山落とし)	広島県産材	
M12c	120 × 120	A種LVL	カラマツ	140E-375F-450Fv(1級) 55V-47H	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-10	母屋 (東上につく場合は山落とし)	広島県産材	
M21b	120 × 210	構造用集成材	スギ	対称異等級 E65-F225	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-18	母屋 (東上につく場合は山落とし)	広島県産材	
M33b	120 × 330	構造用集成材	オウシュウアカマツ	対称異等級 E105-F300	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-24	母屋 (東上につく場合は山落とし)	広島県産材	
M42b	120 × 420	構造用集成材	オウシュウアカマツ	対称異等級 E105-F300	C	-	Tec-One(タツミ)	TH-33	母屋 (東上につく場合は山落とし)	広島県産材	
M54b	120 × 540	構造用集成材	ヒノキ	対称異等級 E95-F270	C	-		図面による	母屋 (東上につく場合は山落とし)	広島県産材	

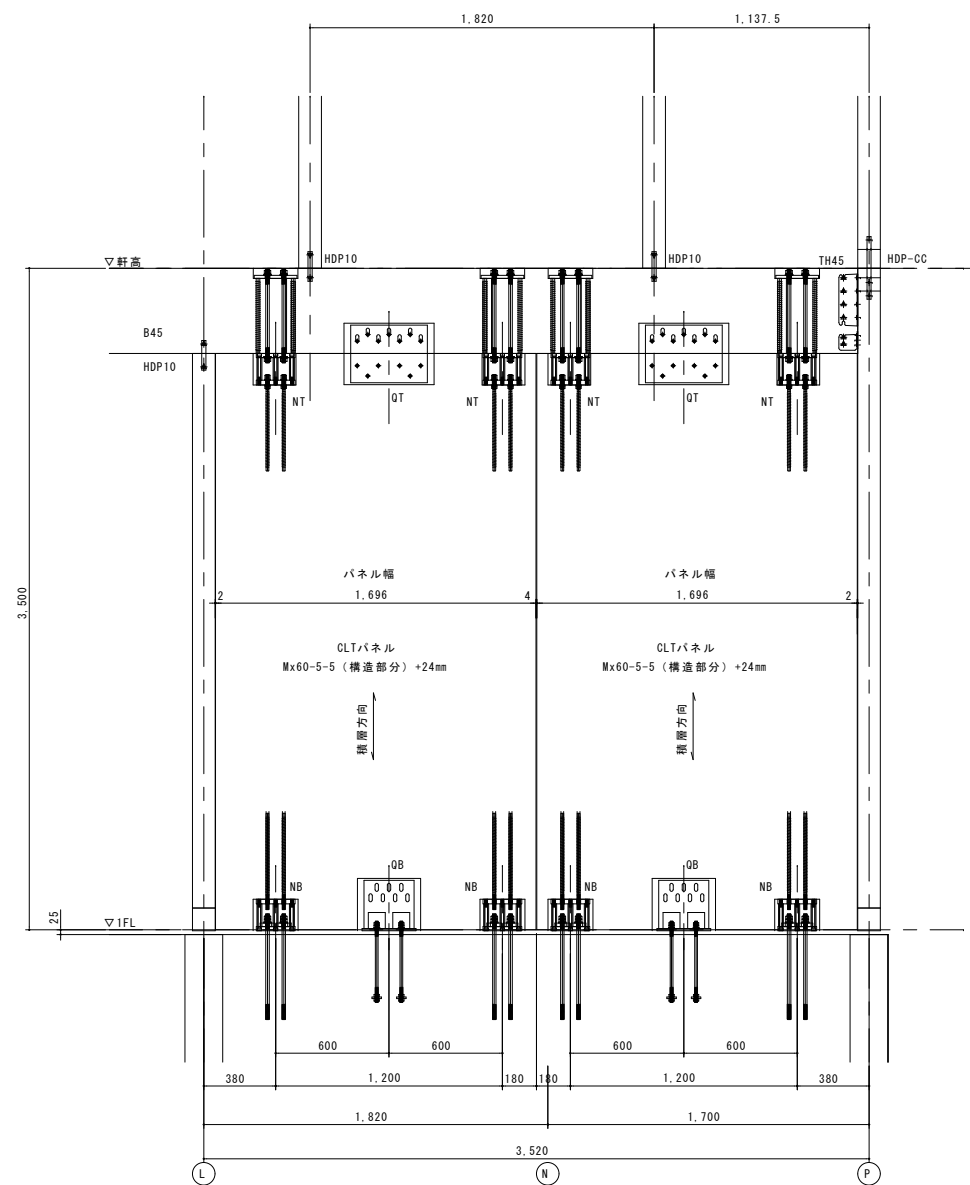




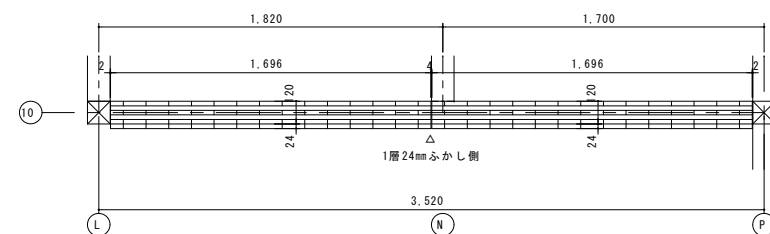
2連り軸組詳細図



2連りCLT部分 伏図



10連り軸組詳細図



10連りCLT部分 伏図

CLTパネル詳細図 S=1/20

構造設計者
一級建築士 第346646号
横山 忠志



有限会社 ティーズ設計事務所
〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂68-5
Tel. 084-949-3632
一級建築士登録 第239406号 戸根 好喜



福山市建設局建築部営繕課
設計 2025年 9月

工事名称
福山市曙交流館改築工事
図面名称
CLTパネル詳細図

縮尺
1/20

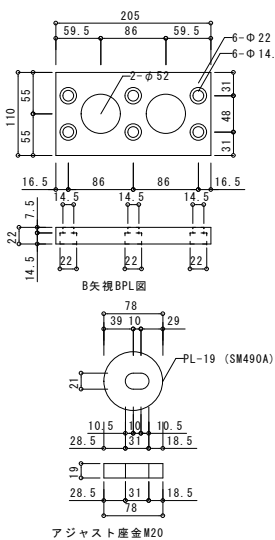
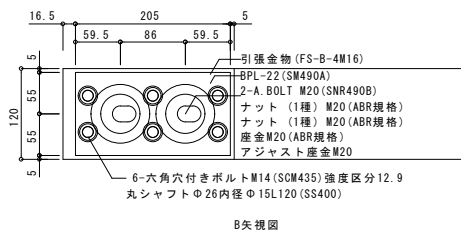
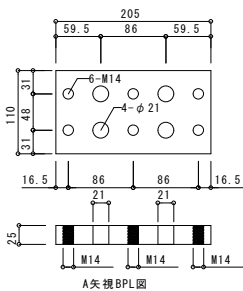
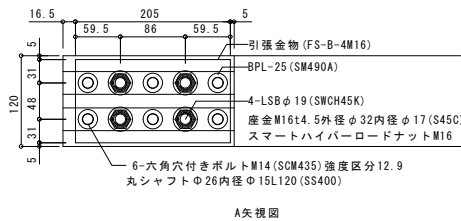
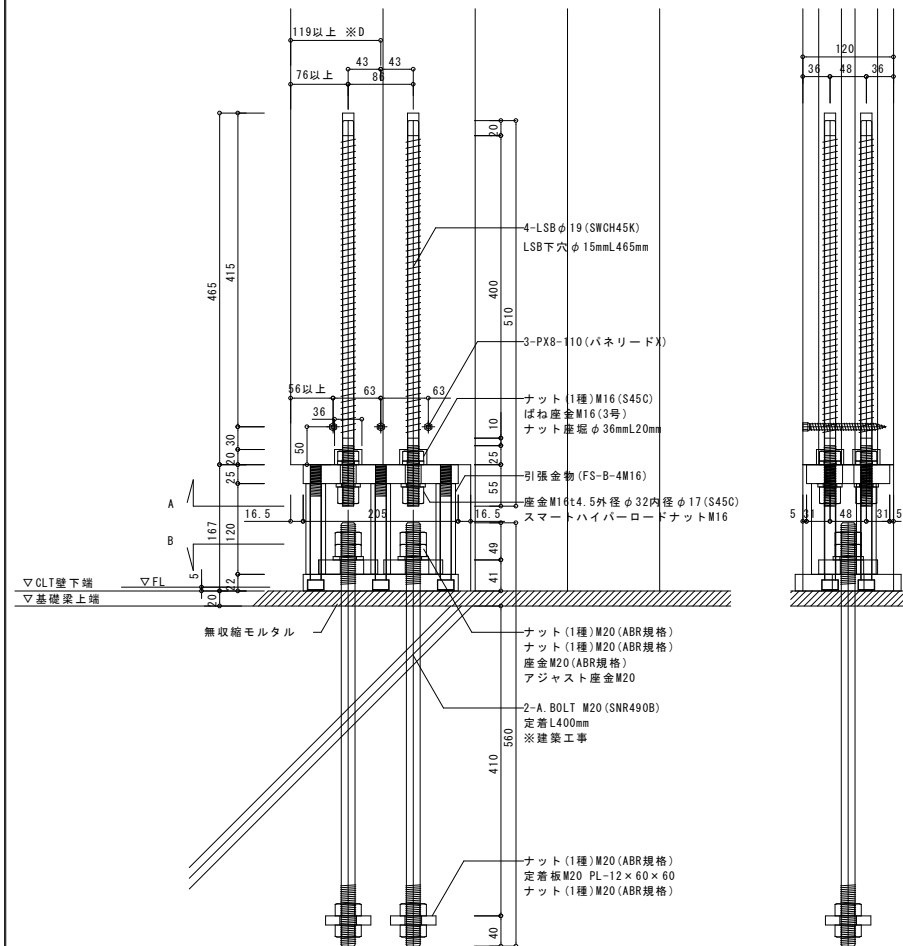
縮尺率
A1 100%
A2 71%
A3 50%

図面No
S-23

TEシステム詳細図

壁脚引張接合部

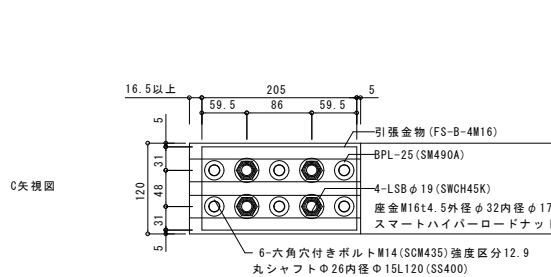
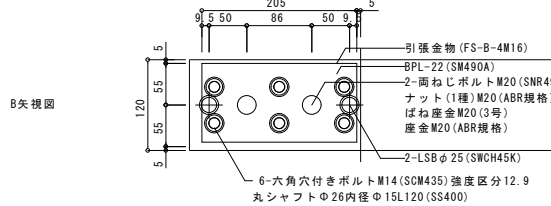
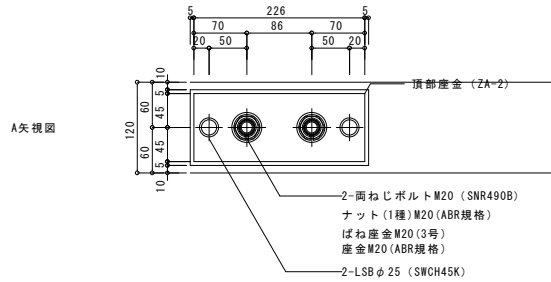
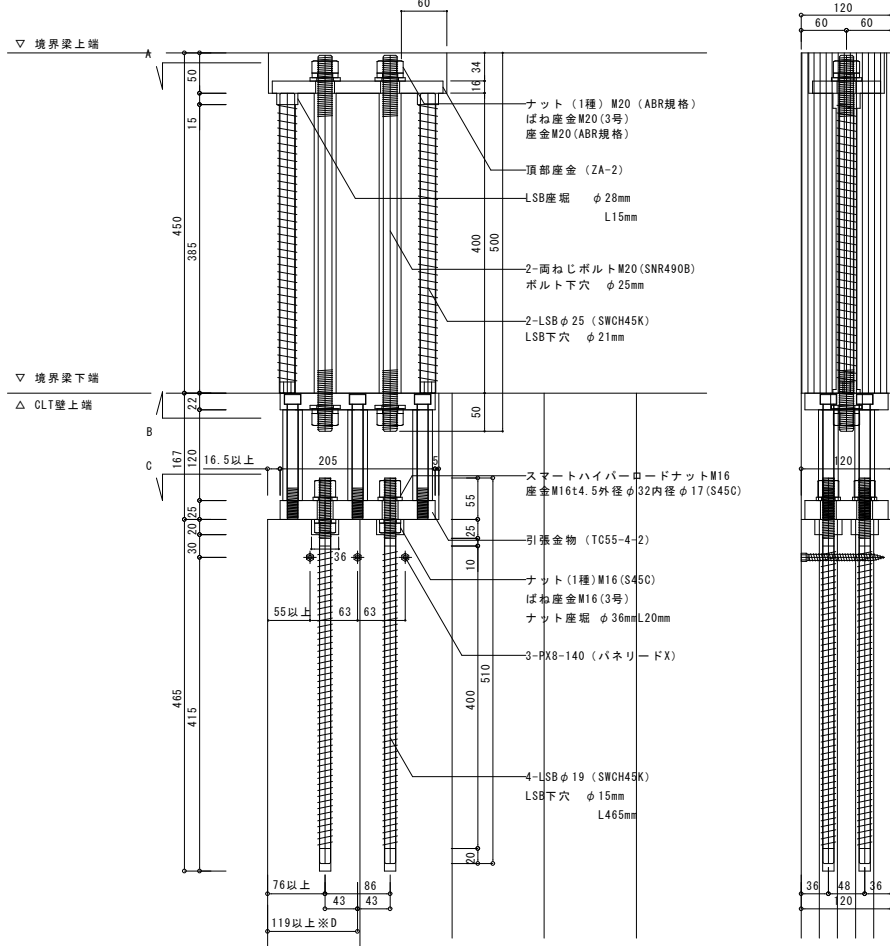
NB



※D 特記なき限り、躯体面から金物芯までの距離を示す。
異なる位置は軸組図による。

壁頭引張接合部

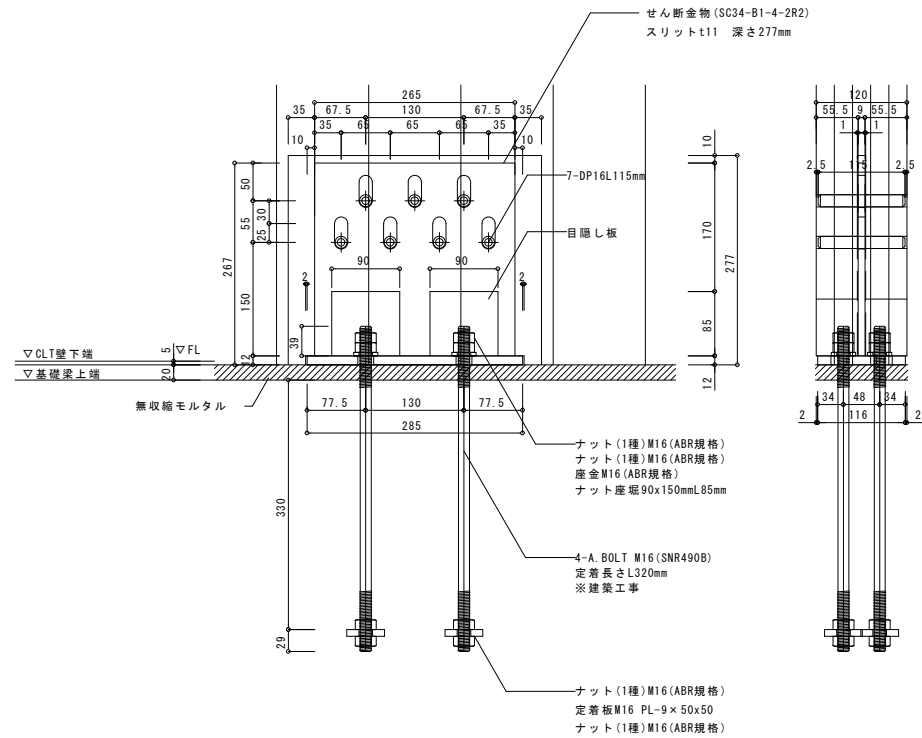
NT



※D 特記なき限り、躯体面から金物芯までの距離を示す。
異なる位置は軸組図による。

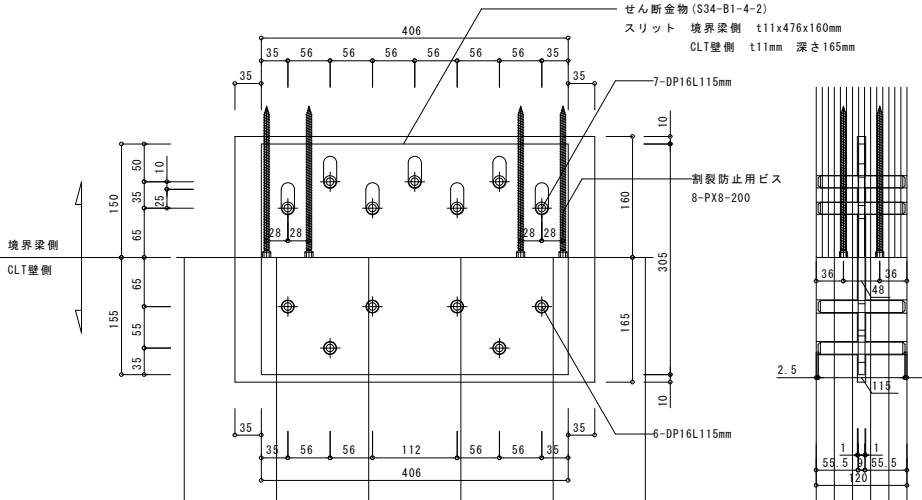
壁脚せん断接合部

QB



境界梁せん断接合部

QT



注意事項

- TEシステム用金物の施工について
- 図面に記載なき詳細寸法、施工法等は、
「TEシステム（日本木材技術センター木造建築新工法性能認証
認証番号：新工法NSK15a1）」に準じるものとする
 - 専門工事会社は上記認証を取得した会社とする

構造設計者
一級建築士 第346646号
横山 忠志



有限会社 ティーズ設計事務所
〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂68-5
Tel. 084-949-3632
一級建築士登録 第239406号 戸根 好喜



福山市建設局建築部営繕課
2025年 9月

工事名称
福山市曙交流館改築工事
図面名称
CLT接合詳細図

縮尺
1/5

縮尺率
A1 100%
A2 71%
A3 30%

図面No

S-24

参考数量書

§ 工事名称 福山市曙交流館改築工事

§ 工事場所 福山市曙町五丁目 1 6 番 1 号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 （建築工事積算研究会制定）

設 計 書

工事名称 福山市曙交流館改築工事
工事場所 福山市曙町五丁目 1 6 番 1 号

【工事概要】

構造：木造 平家建
規模：延べ面積 5 4 2 . 3 1 m²
附属建物：延べ面積
自転車置場 1 3 . 4 0 m²

【別途工事】

電気設備工事
給排水衛生設備工事
空調設備工事
ガス設備工事
カーテン取付工事

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

[illegible]

交流館棟					
名 称		数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
土工		1	式		
地業		1	式		
鉄筋		1	式		
コンクリート		1	式		
型枠		1	式		
防水		1	式		
石		1	式		
タイル		1	式		
木工		1	式		
屋根及びとい		1	式		
金属		1	式		
左官		1	式		
建具		1	式		
塗装		1	式		
内装		1	式		
ユニット及びその他		1	式		
発生材処理		1	式		
計					

[illegible]

[illegible]

交流館棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	一般地業	1	式		
地業	地盤改良地業	1	式		
計					
鉄筋	躯体	1	式		
計					
コンクリート	躯体	1	式		
計					
型枠	躯体	1	式		
型枠	外部仕上	1	式		
計					
防水	外部	1	式		
防水	内部	1	式		
計					
石	内部	1	式		
計					
タイル	外部	1	式		

交流館棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
タイル	内部	1	式		
計					
木工	躯体	1	式		
木工	外部	1	式		
木工	内部	1	式		
計					
屋根及びとい	外部	1	式		
計					
金属	外部	1	式		
金属	内部	1	式		
計					
左官	外部	1	式		
左官	内部	1	式		
計					
建具	アルミニウム製建具	1	式		
建具	銅製軽量建具	1	式		
建具	木製建具	1	式		
建具	電動式天井収納間仕切り	1	式		
建具	ガラス	1	式		
計					

交流館棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
塗装	外部	1	式		
塗装	内部	1	式		
計					
内装	外部	1	式		
内装	内部	1	式		
計					
ユニット及びその他	外部	1	式		
ユニット及びその他	内部	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

自転車置場棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
土工		1	式		
計					
地業		1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート		1	式		
計					
型枠		1	式		
計					
ユニット及びその他		1	式		
計					

[illegible]

[illegible]

測定局舎棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修		1	式		
計					
外壁改修		1	式		
計					
塗装改修		1	式		
計					
その他改修	撤去	1	式		
その他改修	改修	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

交流館棟						
コンクリート				躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
普通コンクリート	捨てコンクリート JIS A5308 FC=18 S15 粗骨材20	15.4	m3			
普通コンクリート	基礎部 JIS A5308 FC=21 S15 粗骨材20	131	m3			
普通コンクリート	土間 JIS A5308 FC=21 S15 粗骨材20	112	m3			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート ポンプ打設 30m3/回程度 S15～S18 － 圧送費、基本料別途	15.4	m3			
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 100m3/回以上 S15～S18 － 圧送費、基本料別途	131	m3			
コンクリート打設手間	土間 ポンプ打設 100m3/回以上 S15～S18 － 圧送費、基本料別途	112	m3			
コンクリートポンプ 圧送	100m3/回以上 基本料金別途加算	243	m3			
コンクリートポンプ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	15.4	m3			
コンクリートポンプ圧送 基本料金	100m3/回以上	3	回			
コンクリートポンプ圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	1	回			
構造体強度補正	補正值3N/mm2 (24N/mm2-21N/mm2 S15)	243	m3			
計						

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

交流館棟		木工		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1) 軸組						
(製材)						
柱	構造用製材 杉 120×120 機械等級 E50 SD15 広島県産材 L=3.0m 7本	0.3	m3			
柱	構造用製材 杉 120×120 機械等級 E50 SD15 広島県産材 L=4.0m 101本	5.9	m3			
柱	構造用製材 杉 120×120 機械等級 E50 SD15 広島県産材 L=5.0m 4本	0.3	m3			
柱	構造用製材 杉 120×120 機械等級 E50 SD15 広島県産材 L=6.0m 8本	0.7	m3			
柱	構造用製材 杉 120×120 機械等級 E50 SD15 広島県産材 L=7.0m 1本	0.1	m3			
(集成材)						
土台	構造用集成材 桧 120×120 同一等級 E95-F315 使用環境C 加圧注入防腐・防蟻処理材 (K3) 広島県産材 L=3.0m 2本	0.1	m3			
土台	構造用集成材 桧 120×120 同一等級 E95-F315 使用環境C 加圧注入防腐・防蟻処理材 (K3) 広島県産材 L=4.0m 49本	2.8	m3			
柱	構造用集成材 杉 120×150 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=3.0m 1本	0.1	m3			
柱	構造用集成材 杉 120×150 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=4.0m 1本	0.1	m3			
柱	構造用集成材 杉 120×210 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=5.0m 1本	0.1	m3			
柱	構造用集成材 杉 120×240 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=4.0m 8本	0.9	m3			
柱	構造用集成材 杉 120×270 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=4.0m 7本	0.9	m3			
柱	構造用集成材 杉 120×270 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=5.0m 4本	0.7	m3			
柱	構造用集成材 杉 120×270 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=6.0m 3本	0.6	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×120 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=3.0m 3本	0.1	m3			

交流館棟		木工		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
梁	構造用集成材 杉 120×120 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=4.0m 9本	0.5	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×150 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=4.0m 3本	0.2	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×180 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=3.0m 1本	0.1	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×180 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=4.0m 29本	2.5	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×240 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=3.0m 12本	1	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×240 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=4.0m 62本	7.1	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×240 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=5.0m 6本	0.9	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×330 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=3.0m 1本	0.1	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×330 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=4.0m 3本	0.5	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×330 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=5.0m 2本	0.4	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×330 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=3.0m 1本	0.1	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×330 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=4.0m 13本	2.1	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×330 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=5.0m 3本	0.6	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×330 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=6.0m 4本	1	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×330 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=7.0m 1本	0.3	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×330 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=8.0m 1本	0.3	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×390 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=4.0m 7本	1.3	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×390 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=6.0m 9本	2.5	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×450 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=3.0m 1本	0.2	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×450 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=4.0m 1本	0.2	m3			

交流館棟		木工		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
梁	構造用集成材 杉 120×450 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=5.0m 1本	0.3	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×450 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=6.0m 2本	0.7	m3			
梁	構造用集成材 杉 120×450 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=7.0m 2本	0.8	m3			
梁	構造用集成材 欧州赤松 120×540 対称異等級 E105-F300 使用環境C L=6.5m 1本	0.4	m3			
梁	構造用集成材 欧州赤松 120×540 対称異等級 E105-F300 使用環境C L=8.0m 3本	1.6	m3			
梁	A種LVL 唐松 120×600 140E-375Fh-450Fv(1級) 55V-47H 使用環境C L=8.0m 1本	0.6	m3			
方杖	構造用集成材 杉 120×150 対称異等級 E65-F225 使用環境A 広島県産材 L=3.0m 12本	0.7	m3			
2)小屋組						
(製材)						
母屋	構造用製材 杉 120×120 無等級材 広島県産材 L=3.0m 2本	0.1	m3			
母屋	構造用製材 杉 120×120 無等級材 広島県産材 L=4.0m 79本	4.6	m3			
母屋	構造用製材 杉 120×120 無等級材 広島県産材 L=6.0m 20本	1.8	m3			
母屋	構造用製材 杉 120×120 無等級材 広島県産材 L=6.5m 21本	2	m3			
母屋	構造用製材 杉 120×120 無等級材 広島県産材 L=7.0m 7本	0.7	m3			
母屋	構造用製材 杉 120×120 無等級材 広島県産材 L=9.0m 3本	0.4	m3			
母屋	構造用製材 杉 120×120 無等級材 広島県産材 L=9.5m 1本	0.1	m3			
束	構造用製材 杉 120×120 機械等級 E50 SD15 広島県産材 L=3.0m 1本	0.1	m3			
束	構造用製材 杉 120×120 機械等級 E50 SD15 広島県産材 L=4.0m 126本	7.3	m3			
小屋筋かい	構造用製材 杉 45×90 無等級材 広島県産材 L=4.0m 11本	0.2	m3			
垂木	構造用製材 杉 45×75 無等級材 広島県産材 L=4.0m 462本	6.5	m3			

交流館棟		木工		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(集成材)						
母屋	構造用集成材 唐松 120×120 A種LVL 140E-375Fh-450Fv (1級) 55V-47H 使用環境C L=4.0m 4本	0.2	m3			
母屋	構造用集成材 杉 120×150 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=3.0m 3本	0.2	m3			
母屋	構造用集成材 杉 120×150 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=4.0m 19本	1.4	m3			
母屋	構造用集成材 杉 120×180 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=3.0m 3本	0.2	m3			
母屋	構造用集成材 杉 120×210 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=6.0m 1本	0.2	m3			
母屋	構造用集成材 杉 120×240 対称異等級 E65-F225 使用環境A 広島県産材 L=3.0m 20本	1.7	m3			
母屋	構造用集成材 杉 120×240 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=10.5m 2本	0.6	m3			
母屋	構造用集成材 欧州赤松 120×330 対称異等級 E105-F300 使用環境C L=9.0m 1本	0.4	m3			
母屋	構造用集成材 杉 120×390 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=4.0m 8本	1.5	m3			
母屋	構造用集成材 杉 120×390 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=8.0m 8本	3	m3			
母屋	構造用集成材 杉 120×390 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=10.5m 5本	2.5	m3			
母屋	構造用集成材 欧州赤松 120×420 対称異等級 E105-F300 使用環境C L=5.0m 1本	0.3	m3			
母屋	構造用集成材 欧州赤松 120×420 対称異等級 E105-F300 使用環境C L=6.5m 1本	0.3	m3			
母屋	構造用集成材 欧州赤松 120×420 対称異等級 E105-F300 使用環境C L=7.0m 1本	0.4	m3			
母屋	構造用集成材 欧州赤松 120×420 対称異等級 E105-F300 使用環境C L=8.0m 1本	0.4	m3			
母屋	構造用集成材 桧 120×540 対称異等級 E95-F270 使用環境C 広島県産材 L=8.5m 2本	1.1	m3			
母屋 フロツ材	構造用集成材 桧 120×450 対称異等級 E95-F270 使用環境C 広島県産材 L=4.0m 2本	0.4	m3			
斜材	構造用集成材 杉 120×150 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=3.0m 6本	0.3	m3			
斜材	構造用集成材 杉 120×150 対称異等級 E65-F225 使用環境C 広島県産材 L=4.0m 10本	0.7	m3			

交流館棟		木工		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
3) 壁						
(製材)						
間柱	無等級製材 杉 45×105 無等級 KD 広島県産材 L=3.0m 55本	0.8	m3			
間柱	無等級製材 杉 45×105 無等級 KD 広島県産材 L=4.0m 82本	1.6	m3			
間柱	無等級製材 杉 45×120 無等級 KD 広島県産材 L=3.0m 125本	2	m3			
間柱	無等級製材 杉 45×120 無等級 KD 広島県産材 L=4.0m 211本	4.7	m3			
受け材	無等級製材 杉 45×45 無等級 KD 広島県産材 L=3.0m 21本	0.1	m3			
受け材	無等級製材 杉 45×45 無等級 KD 広島県産材 L=4.0m 35本	0.3	m3			
胴つなぎ	無等級製材 杉 90×105 無等級 KD 広島県産材 L=3.0m 3本	0.1	m3			
胴つなぎ	無等級製材 杉 90×105 無等級 KD 広島県産材 L=4.0m 9本	0.3	m3			
胴つなぎ	無等級製材 杉 90×120 無等級 KD 広島県産材 L=3.0m 1本	0.1	m3			
胴つなぎ	無等級製材 杉 90×120 無等級 KD 広島県産材 L=4.0m 4本	0.2	m3			
(集成材)						
壁 筋かい	構造用単板積層材 唐松 45×150 A種LVL 120E-385Fw 55V-47H 使用環境C L=4.0m 4本	0.1	m3			
壁 直交集成板 (CLT)	t=150(仕上:1層24mmふかし) W1700×H2935 杉 Mx60-5-5 使用環境B 広島県産材	2	枚			
壁 直交集成板 (CLT)	t=150(仕上:1層24mmふかし) W1880×H3055 杉 Mx60-5-5 使用環境B 広島県産材	1	枚			
4) 構造用面材						
屋根 構造用合板	t=12 針葉樹 特類 2級 CD [715.81m2]	433	枚			
屋根 構造用合板	t=24 針葉樹 特類 2級 CD [715.81m2]	433	枚			
構造用パネェルホート	t=9.0 [189m2]	115	枚			

交流館棟		木工		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
5)加工・建て方						
アンカーボルト取付手間	M12 L=450	220	か所			
アンカーボルト取付手間	M16 L=370	1	か所			
アンカーボルト取付手間	M16 L=900	29	か所			
アンカーボルト取付手間	M16 L=400	12	か所			
アンカーボルト取付手間	M20 L=510	12	か所			
土台用 アンカーボルト	M12 L=450 Zマーク金物	220	本			
土台用 アンカーボルト	M16 L=370	1	本			
土台用 アンカーボルト	M16 L=900 フック付	29	本			
CLT取付金物 アンカーボルト	M16 (SNR490B) L=430 (定着長320mm以上) 定着板:PL-9×50×50 タプルナット・座金共 [S-23図]	12	本			
CLT取付金物 アンカーボルト	M20 (SNR490B) L=560 (定着長400mm以上) 定着板:PL-12×60×60 タプルナット・座金共 [S-23図]	12	本			
気密パッキン	厚さ20mm	181	m			
防腐防蟻処理	(社)日本しろあり対策協会又は (社)日本木材協会認定	10.6	m ²			
(金物類)						
引寄せ金物	15kN Zマーク金物	44	か所			
引寄せ金物	25kN Zマーク金物	13	か所			
引寄せ金物	43kN Zマーク金物	2	か所			
ホールダウンパイプ	HDP10 (樹タミ同等品)	486	か所			

交流館棟		木工		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ホルタ [®] ウシパ [®] イブ [®]	HDP20 鋼タミ同等品	2	か所			
梁受け金物	鋼タミ:TH-10同等品	693	か所			
梁受け金物	鋼タミ:TH-18同等品	162	か所			
梁受け金物	鋼タミ:TH-24同等品	233	か所			
梁受け金物	鋼タミ:TH-33同等品	146	か所			
接合金物	BXカネシ:ミドルコーナー15合板タイプ 同等品	16	か所			
筋かい	SUS製 ステンロッド:M10 L=3.4m コボット×2個・接続金具共 大臣認定:コボットシステム同等品	10	本			
火打金物	Zマーク表示同等品	92	本			
記号PSBP 柱脚金物	PSBP-45 BXカネシ(株)同等品	1	か所			
記号HSB 柱脚金物	120×270角用 ドリフトピン・ 専用アンカーボルト共 鋼ストローグ [®] HSB-3tまたはHSBC-3t同等品	14	か所			
記号HSB 柱脚金物	120角用 ドリフトピン・ 専用アンカーボルト共 鋼ストローグ [®] HSB-3tまたはHSBC-3t同等品	4	か所			
CLT QB 壁脚せん断接合金物	SC34-B1-4-2R2 TEシステム NT 認証番号:NSK15a1同等	3	か所			
CLT NB 壁脚引張接合金物	BPL-t25(SM490A)+ BPL-t22(SM490A) (丸シャフトΦ26+ボルトM14)×6か所 TEシステム NT 認証番号:NSK15a1同等	6	か所			
CLT QT 壁頭せん断接合金物	S34-B1-4-2TEシステム NT 認証番号:NSK15a1同等	3	か所			
CLT NT 壁頭引張接合金物	BPL-t25(SM490A)+ BPL-t22(SM490A) (丸シャフトΦ26+ボルトM14)×6か所 頂部座金共 TEシステム NT 認証番号:NSK15a1同等	6	か所			
製作金物	SS400 PL-9 斜材-下弦材	2	か所			
製作金物	SS400 PL-9 斜材-上弦材・束	2	か所			
製作金物	SS400 PL-9 斜材-下弦材・束	4	か所			

交流館棟		木工		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
製作金物	SS400 PL-9 斜材-上弦材・束	2	か所			
製作金物	SS400 PL-9 斜材-下弦材・束	2	か所			
トリアフピン	φ12×115	4,697	本			
トリアフピン	φ16×115	39	本			
座付きボルト	M16 L=570	6	本			
座付きボルト	M16 L=650	5	本			
座付きボルト	M16 L=800	4	本			
中ボルト	M12 L=150 Zマーク表示同等品	1,696	本			
中ボルト	M12 L=210 Zマーク表示同等品	66	本			
中ボルト	M12 L=270 Zマーク表示同等品	16	本			
中ボルト	M12 L=300 Zマーク表示同等品	6	本			
中ボルト	M20 L=400	9	本			
両ねじボルト	M20 (SNR490B) L=480 ボルト・座金共	6	か所			
ワグスクリューボルト	Φ19 (SWCH45K) L=510 ナット・座金共 [S-23図]	48	本			
ワグスクリューボルト	Φ25 (SWCH45K) L=400 ナット・座金共 [S-23図]	12	本			
座金	M12 Zマーク表示同等品	881	か所			
木材加工	工場加工	1	式			
木材運搬	養生費共	1	式			
建て方	現場加工、補足材共	1	式			

福 山 市

交流館棟		木工		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
床構造用合板張り	厚24 現し	9.3	m ²			
床下地張り	ラワン合板 厚12.0	139	m ²			
乾式二重床用 隠根太	H=106 杉 広島県産材	51.1	m			
木製幅木	高さ75 杉(白太) t=18 素地 広島県産材	62.2	m			
木製幅木	高さ75 杉(白太) t=18 広島県産材	37	m			
木製幅木	高さ75 杉(白太) t=24 広島県産材	8.7	m			
木製幅木	高さ115 杉(白太) t=9 広島県産材	21.2	m			
木製幅木	高さ115 杉(白太) t=18 広島県産材	36.2	m			
間柱	杉 60×45 @450程度 広島県産材	14	m ²			
間柱	杉 75×45 @450程度 広島県産材	18.9	m ²			
間柱	杉 120×45 @450程度 広島県産材	12.5	m ²			
フック取付下地	杉 45×120 広島県産材	1.7	m			
手洗いカウンター補強 下地	杉 45×90 広島県産材	2.7	m			
手摺取付補強下地	杉 60×120 広島県産材	0.9	m			
壁横胴縁組み	杉 18×45 @300程度 (板継ぎ部:18×90) 広島県産材	1,061	m ²			
壁合板張り	ラワン 厚9.0	178	m ²			
天然木リブハネル張 り	塗装品 天龍木材:粋彩スライブハネル (スギ県産材)同等品	36	m ²			
天然木ウォールハネル張 り	塗装品 天龍木材:ハネルウォール (スギ県産材)同等品	30.5	m ²			
木製腰壁見切	杉 40×27 広島県産材	35.4	m			
木製出隅見切	杉 40×40 面取り:10 広島県産材	11.9	m			

交流館棟		木工		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
木製枠	杉 220×40 広島県産材	2.5	m			
木製笠木	杉 210×40 広島県産材	8.6	m			
天井点検口裏当	ﾌﾗﾝｽ合板 t=4 450角	21	か所			
天井点検口裏当	ﾌﾗﾝｽ合板 t=4 600角	2	か所			
天井木製下地	野縁:杉 30×40 @450程度 (板継ぎ部:2本抱き合わせ) 吊木:杉 30×40 @900程度 吊木受:杉 30×40 広島県産材	492	m ²			
ビクチャール取付部廻縁	杉 24×40 広島県産材	10.5	m			
木製下り壁見切	杉 40×40 広島県産材	2	m			
木製天井出隅見切	杉 40×40 面取り:10 広島県産材	25.9	m			
収納1 木製吊棚	棚板:ﾌﾗﾝｽ合板 t=9 幅600 前框・後框:杉 45×90 根太:杉 40×45 @360程度 雑巾摺:杉 20×15 吊木:杉 90×90 @1800程度 吊木受:杉 45×90 広島県産材	7.9	m			
収納4 中棚	W1530×D550 棚板:ﾌﾗﾝｽ合板 t=9 前框・後框:杉 45×90 根太:杉 40×45 @360程度 雑巾摺:杉 20×15 広島県産材	1	か所			
収納4 枕棚	W1530×D400 棚板:ﾌﾗﾝｽ合板 t=9 前框・後框:杉 45×90 根太:杉 40×45 @360程度 雑巾摺:杉 20×15 広島県産材	1	か所			
収納2-1 中段	W2160×D700(開口:W200×D400) 棚板:ﾌﾗﾝｽ合板 t=9 前框・後框:杉 45×90 根太:杉 40×45 @360程度 雑巾摺:杉 20×15 広島県産材	1	か所			
収納2-1 枕棚	W1960(前框:W2160)×D400 棚板:ﾌﾗﾝｽ合板 t=9 前框・後框:杉 45×90 根太:杉 40×45 @360程度 雑巾摺:杉 20×15 広島県産材	1	か所			

交流館棟		木工		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
収納2-2 中段	W2160×D700 棚板:ラワン合板 t=9 前框・後框: 杉 45×90 根太: 杉 40×45 @360程度 雑巾摺: 杉 20×15 広島県産材	1	か所			
収納2-2 枕棚	W2160×D400 棚板:ラワン合板 t=9 前框・後框: 杉 45×90 根太: 杉 40×45 @360程度 雑巾摺: 杉 20×15 広島県産材	1	か所			
壁 ルーバー	杉 30×60 @60程度 広島県産材	11.7	m ²			
壁 ルーバー (扉部分)	杉 W559.5×H1500 30×60 @60程度 広島県産材	1	か所			
壁ルーバー 下地 扉	W559.5×H1500 開口枠:30×90 中棧: 杉 90×60 広島県産材 戸当り マグネットキャッチ	1	か所			
壁ルーバー 下地 柱	杉 90×90 広島県産材	6.9	m			
壁ルーバー 下地 間柱	杉 90×75 広島県産材	2.3	m			
壁ルーバー 下地 受材	杉 90×60 広島県産材	8.2	m			
壁ルーバー 下地 まぐさ	杉 90×60 広島県産材	0.6	m			
壁ルーバー 下地 壁つなぎ	杉 90×90 広島県産材	5	m			
壁ルーバー 下地 はわせ	杉 90×60 広島県産材	5	m			
天井 ルーバー	杉 30×60 @60 広島県産材	6.5	m ²			
天井 ルーバー (点検口部分)	杉 450×450 30×60 @60 広島県産材	1	か所			
天井ルーバー 下地 点検口枠	杉 450角 25×90 広島県産材 点検口受アンクル:SUS L=40×40×3 L=100(4箇所共)	1	か所			
天井ルーバー 下地 点検口受材	杉 60×90 広島県産材	2.3	m			
天井ルーバー 下地 受材	杉 60×90 広島県産材	10.2	m			
天井ルーバー 下地 吊材	杉 60×90 広島県産材	7.9	m			
BB1 フライトボックス	杉 t=25 W150×H150 L=1680 天井埋込 広島県産材	2	か所			

交流館棟		木工		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
BB1 フライント®ボックス	杉 t=25 W150×H150 L=3500 天井埋込 広島県産材	3	か所			
BB2 スクリーン兼ハート®ボックス	杉 t=25 W450×H200 L=4300 壁付 コ型 広島県産材	1	か所			
SB1 スクリーン®ボックス	杉 t=25 W150×H150 L=1680 壁付 コ型 広島県産材	1	か所			
SB2 スクリーン®ボックス	杉 t=25 W150×H150 L=3020 天井埋込 広島県産材	1	か所			
SB3 スクリーン®ボックス	杉 t=25 W120×H200 L=1700 壁付 L型 広島県産材	6	か所			
SB4 スクリーン®ボックス	杉 t=25 W199×H150 L=1700 天井埋込 広島県産材	4	か所			
SB5 スクリーン®ボックス	杉 t=25 W199×H485 L=1700 天井埋込 広島県産材	2	か所			
三方枠	W900×H2000 杉 220×25 広島県産材	1	か所			
WD-1 自閉式 片引き込み戸用 三方枠	W1050×H2000 杉 上枠+縦枠:211×40 方立枠:75.5×40/85.5×40 額縁共 広島県産材	1	か所			
WD-2 自閉式 片引き込み戸用 三方枠	W1300×H2000 杉 上枠+縦枠:211×40 方立枠:75.5×40/85.5×40 額縁共 広島県産材	1	か所			
WD-2 自閉式 片引き込み戸用 三方枠	W1300×H2000 杉 上枠+縦枠:221×40 方立枠:85.5×40 額縁共 広島県産材	2	か所			
WD-3 自閉式 片引き込み戸用 三方枠	W1050×H2000 杉 上枠+縦枠:201×40 方立枠:75.5×40 額縁共 広島県産材	2	か所			
WD-3 自閉式 片引き込み戸用 三方枠	W1050×H2000 杉 上枠+縦枠:211×40 方立枠:75.5×40/85.5×40 額縁共 広島県産材	2	か所			
WD-4 自閉式 片引き込み戸用 三方枠	W1150×H2000 杉 上枠+縦枠:211×40 方立枠:75.5×40/85.5×40 額縁共 広島県産材	2	か所			

交流館棟		木工		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
WD-5 引違い戸用三方枠	W1446×H2000 杉 上枠+縦枠:211×40 額縁共 広島県産材	1	か所			
WD-6 自閉式 片引き込み戸用 三方枠	W1050×H2000 杉 上枠+縦枠:211×40 方立枠:75.5×40/85.5×40 額縁共 広島県産材	1	か所			
WD-7 自閉式 片引き込み戸用 三方枠	W1050×H2000 杉 上枠+縦枠:211×40 方立枠:75.5×40/85.5×40 額縁共 広島県産材	1	か所			
WD-8 自閉式 片引き込み戸用 三方枠	W1050×H2000 杉 上枠+縦枠:211×40 方立枠:75.5×40/85.5×40 額縁共 広島県産材	1	か所			
WD-9 引違い戸用三方枠	W2079×H2000 杉 上枠+縦枠:201×40 額縁共 広島県産材	2	か所			
WD-10 両開き戸用三方枠	W739×H2000 杉 上枠+縦枠:216×52 戸当り・額縁共 広島県産材	1	か所			
WD-11 両開き戸用三方枠	W811×H2000 杉 上枠+縦枠:211×52 戸当り・額縁共 広島県産材	1	か所			
WW-1 引違い窓用三方枠	W1600×H1100 杉 上枠+縦枠:211×40 額縁共 広島県産材	1	か所			
AD・AW額縁	杉 30×40 広島県産材	2.8	m			
AD・AW額縁	杉 35×40 広島県産材	7.9	m			
AD・AW額縁	杉 59×25 広島県産材	30.9	m			
AD・AW額縁	杉 59×40 広島県産材	12.4	m			

交流館棟		木工		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
AD・AW額縁	杉 100×24.5 広島県産材	2.8	m			
AD・AW額縁	杉 100×25 広島県産材	158	m			
AD・AW額縁	杉 110×25 広島県産材	5.8	m			
構造用パーティクルボード	t=9	185	m ²			
梁間ふさぎ	杉 120×45 広島県産材	7.9	m			
天井扇取付材	杉 120×120 広島県産材	0.8	m			
WPCフローリング	釘留め工法(直張り) C種 杉(県産材) 厚12.0 合板面 大建工業:コミュニケーションⅡ DW (地域産材対応突板)同等品	139	m ²			
木製手摺	珞集成材 35Φ クリア塗装品 ブラケット @900程度共	33	m			
収納式はしご	639×1250程度 大建工業:スライドラップ 9尺用同等品	1	か所			
木製入隅見切	杉 25×25	9	m			
計						

交流館棟		屋根及びとい		外部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
嵌合式立平葺き	塗装溶融55%アルミニウム 亜鉛合金めっき鋼板 t=0.5	682	m ²			
断熱材	フェノールフォーム断熱材 1種2号CⅡ t=30 (継目気密テープ貼り)	563	m ²			
下葺き材	アスファルトルーフィング 940	682	m ²			
棟包み	屋根同材 t=0.5 エプソン共	29	m			
軒先唐草	屋根同材 t=0.5	56.5	m			
ケラハ 唐草	屋根同材 t=0.5	53.8	m			
軒先水切り	屋根同材 t=0.5	56.5	m			
ケラハ 水切り	屋根同材 t=0.5	53.8	m			
水上取合い水切	屋根同材 t=0.5 エプソン共	13.1	m			
雨押え	屋根同材 t=0.5	6	m			
換気棟	既製品 (株)タカハシ 棟まどS形同等品	29	m			
雨押え換気	既製品 (株)タカハシ 雨押さえS形同等品	13.1	m			
軒樋	塗装溶融55%アルミニウム 亜鉛合金めっき鋼板t=0.5(既製品) W165×H103.8 SUS製受け金物φ600内外	56.5	m			
軒といトレン	丸落し90φ	8	か所			
堅樋	塗装溶融55%アルミニウム 亜鉛合金めっき鋼板 φ89 SUS製受け金物φ1200内外	45	m			
計						

福 山 市

交流館棟		金属		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
建具取付下地	St FB-6×65	20.3	m			
WD くつずり	ステンレス製 厚さ1.5 幅40	16.2	m			
WD 敷居	ステンレス製 厚さ1.5 幅100 レール:2本	5.6	m			
床見切	SUS FB-6×15 HL仕上げ	2.6	m			
床見切(R付)	SUS FB-6×15 HL仕上げ r=2000 1/4円 3.14m	1	か所			
はしご取付金物	W500 22φ SUS304 FB-6×50 SUS304 梁にビス止め	1	か所			
スクリーンボックス用 ブラケット	スチール製 FB-3.0×50 L-100×100 塗装別途	24	か所			
スクリーンボックス用 ブラケット	スチール製 FB-3.0×50 L-150×150 塗装別途	4	か所			
スクリーンボックス用 ブラケット	スチール製 FB-6.0×50 L-450×200 塗装別途	9	か所			
衝突防止柵	W750×D50×H800 アンカーボルト(ナット付) M8×65L SS400 皿小ネジ 4-M5 SUS サンボール:FNA-7U75-800同等品	3	か所			
消火器ボックス	埋込型 W280×D158.2×H650 ナカ工業:NHED-FTW同等品	2	か所			
ビッチャーレール(壁付)	取付ネジ(Φ4.0) @450以内 (端部 50以内) トソー:L-1同等品 許容荷重:15kg程度 先入フック:2個/2m程度 ハンガー別途	19.9	m			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	21	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 600角	2	か所			
計						

福 山 市

福 山 市

交流館棟		建具	アルミニウム製建具			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
AD-1 引分け自動ドア	W3580×H2760 見込:100 アルミ(標準色) シリンダー錠(サムターン付) SUSレール アルミ額縁 見切縁 自動ドア開閉装置 標準金物一式	1	か所			
AD-2 片引き自動ドア	W2380×H2760 見込:100 アルミ(標準色) シリンダー錠(サムターン付) SUSレール アンカールビース(交流スペース) アルミ額縁(風除室) 自動ドア開閉装置 標準金物一式	1	か所			
AD-3 親子開き戸+ 縦すべり出し窓	W2940×H2760 見込:70 アルミ(標準色) SUSレバーハンドル 電気錠(別途工事) ドアクロージャー(ストップ付) SUS丁番 SUS下枠 カムタッチハンドル 網戸 アンカールビース 見切縁 ハンドルオペレーター(埋込) 標準金物一式	1	か所			
AD-4 片開き戸	W850×H2460 見込:70 A3 K7 アルミ(標準色) SUSレバーハンドル シリンダー錠(サムターン付) ドアクロージャー(ストップ付) SUS丁番 SUS下枠 アルミ額縁 見切縁 標準金物一式	1	か所			
AD-5 片開き戸	W900×H2460 見込:70 A3 K7 アルミ(標準色) SUSレバーハンドル シリンダー錠(サムターン付) ドアクロージャー(ストップ付) SUS丁番 SUS下枠 アンカールビース 見切縁 標準金物一式	1	か所			
AW-1 引違い窓+FIX窓	W16250×H2345 見込:70 アルミ(標準色) クレセント(抗ウイルス・抗菌) 網戸 アンカールビース 見切縁 標準金物一式	1	か所			
AW-2 引違い窓+FIX窓	W5330×H2345 見込:70 アルミ(標準色) クレセント(抗ウイルス・抗菌) 網戸 アンカールビース 見切縁 標準金物一式	1	か所			
AW-3 二連引違い窓	W3420×H1360 見込:70 アルミ(標準色) A4 K3 クレセント(抗ウイルス・抗菌) 網戸 アンカールビース 見切縁 標準金物一式	1	か所			
AW-4 二連引違い窓	W3420×H1360 見込:70 アルミ(標準色) A4 K3 クレセント(抗ウイルス・抗菌) 網戸 アルミ額縁 見切縁 標準金物一式	1	か所			
AW-5 引違い窓	W1600×H510 見込:70 アルミ(標準色) A4 K3 クレセント(抗ウイルス・抗菌) 網戸					

交流館棟		建具		アルミニウム製建具		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	アルミ額縁 見切縁 標準金物一式	2	か所			
AW-6 引違い窓	W1600×H1360 見込:70 アルミ(標準色) A4 K3 クレセント(抗ウイルス・抗菌) 網戸 アンク°ルビ°ース 見切縁 標準金物一式	1	か所			
AW-7 引違い窓	W1600×H1360 見込:70 アルミ(標準色) A4 K3 クレセント(抗ウイルス・抗菌) 網戸 アンク°ルビ°ース 見切縁 標準金物一式	1	か所			
AW-8 二連引違い窓	W3420×H1360 見込:70 アルミ(標準色) A4 K3 クレセント(抗ウイルス・抗菌) 網戸 アンク°ルビ°ース 見切縁 標準金物一式	2	か所			
AW-9 縦すべり出し窓	W690×H1160 見込:70 アルミ(標準色) A4 K3 カムフッチハンド°ル 網戸 アルミ額縁 見切縁 標準金物一式	2	か所			
AW-10 二連引違い窓	W3270×H360 見込:70 アルミ(標準色) A4 K3 クレセント(抗ウイルス・抗菌) 網戸 アンク°ルビ°ース 見切縁 標準金物一式	1	か所			
AW-11 オーニング°窓	W690×H1160 見込:70 アルミ(標準色) A4 K3 アーム ボ°-ルチェン 操作ひもクリップ° 回転棒 連動棒 ハンド°ル アンク°ルビ°ース 見切縁 標準金物一式	1	か所			
AW-12 FIX窓	W675×H2760 見込:70 アルミ(標準色) アンク°ルビ°ース(交流スハ°-ース) アルミ額縁(風除室) 標準金物一式	1	か所			
AW-12a FIX窓	W690×H2760 見込:70 アルミ(標準色) アンク°ルビ°ース(交流スハ°-ース) アルミ額縁(風除室) 標準金物一式	1	か所			
AW-13 引違い窓	W1580×H605 見込:70 アルミ(標準色) A4 K3 ハンド°ルオペ°レーター(埋込) アンク°ルビ°ース 見切縁 標準金物一式	3	か所			
AW-13a 引違い窓	W1440×H605 見込:70 アルミ(標準色) A4 K3 ハンド°ルオペ°レーター(埋込)					

福 山 市

交流館棟		建具		鋼製軽量建具		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
LSD-1 自閉式片引き戸	W950×H2000 見込:222 S7 K20 G3 扉:化粧鋼板 t=0.6 枠:溶融亜鉛めっき鋼板 t=1.6 焼付塗装 SUS引き棒 L=450(抗菌仕様) 戸先ゴム 戸尻ゴム 指詰め防止ゴム 上吊式引戸金具 標準金物一式	2	か所			
LSD-2 自閉式片引き戸	W950×H2000 見込:222 S7 K20 G3 扉:化粧鋼板 t=0.6 枠:溶融亜鉛めっき鋼板 t=1.6 焼付塗装 SUS引き棒 L=450(抗菌仕様) 戸先ゴム 戸尻ゴム 指詰め防止ゴム 上吊式引戸金具 引戸錠(表示錠/大型サムターン) 標準金物一式	1	か所			
LSD-3 自閉式片引き戸	W1150×H2000 見込:222 S7 K20 扉:化粧鋼板 t=0.6 枠:溶融亜鉛めっき鋼板 t=1.6 焼付塗装 SUS引き棒 L=450(抗菌仕様) 戸先ゴム 戸尻ゴム 指詰め防止ゴム 上吊式引戸金具 引戸錠(シンタター/サムターン) 標準金物一式	1	か所			
LSD-4 両開き戸	W1566×H2000 見込:212.5 S3 K22 扉:化粧鋼板 t=0.6 枠:溶融亜鉛めっき鋼板 t=1.6 焼付塗装 掘込取手 シンタター錠 SUS丁番 ドアローザー(ストップ付) 標準金物一式	1	か所			
運搬・取付費		1	式			
計						

交流館棟		建具		木製建具		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
WD-1 自閉式片引き戸	W1050×H2000 見込:36 表面板:両面メラミン樹脂化粧板 小口・押縁:桧 SUS引き棒 L=450 戸先ゴム 引戸錠(シリンダー/キムターン) 上吊式引戸金具	1	か所			
WD-2 自閉式片引き戸	W1300×H2000 見込:36 表面板:両面メラミン樹脂化粧板 小口・押縁:桧 SUS引き棒 L=450 戸先ゴム 引戸錠(シリンダー/キムターン) 上吊式引戸金具	3	か所			
WD-3 自閉式片引き戸	W1050×H2000 見込:36 表面板:両面メラミン樹脂化粧板 小口・押縁:桧 SUS引き棒 L=450 戸先ゴム 引戸錠(シリンダー/キムターン) 上吊式引戸金具	4	か所			
WD-4 自閉式片引き戸	W1150×H2000 見込:36 表面板:両面メラミン樹脂化粧板 小口・押縁:桧 SUS引き棒 L=450 戸先ゴム 引戸錠(シリンダー/キムターン) 上吊式引戸金具	2	か所			
WD-5 引違い戸	W1446×H2000 見込:36 表面板:片面メラミン樹脂化粧板 (裏面しな合板) 小口:桧 堀込引手 戸先ゴム 引違い錠(シリンダー/キムターン) SUSフラットレール SUS戸車	1	か所			
WD-6 自閉式片引き戸	W1050×H2000 見込:36 表面板:両面メラミン樹脂化粧板 小口・押縁:桧 SUS引き棒 L=450 戸先ゴム 引戸錠(シリンダー/キムターン) 上吊式引戸金具	1	か所			
WD-7 自閉式片引き戸	W1050×H2000 見込:36 表面板:両面メラミン樹脂化粧板 小口・押縁:桧 SUS引き棒 L=450 戸先ゴム 引戸錠(シリンダー/キムターン) 上吊式引戸金具	1	か所			
WD-8 自閉式片引き戸	W1050×H2000 見込:36 表面板:両面メラミン樹脂化粧板 小口・押縁・カマリ:桧 SUS引き棒 L=450 戸先ゴム 引戸錠(シリンダー/キムターン) 上吊式引戸金具	1	か所			
WD-9 引違い戸	W2079×H2000 見込:36 表面板:片面メラミン樹脂化粧板 (裏面しな合板) 小口:桧 堀込引手 戸先ゴム SUSフラットレール SUS戸車	2	か所			

福 山 市

福 山 市

交流館棟		建具		ガラス		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
フロート板ガラス	厚さ5 特寸 2.18㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	0.9	㎡			
複層ガラス	F4+A6+FL4 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	0.6	㎡			
複層ガラス	FL4+A6+FL4 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	4.7	㎡			
複層ガラス	FL5+A6+FL5 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	1.2	㎡			
複層ガラス	T4(F)+A6+T4 特寸 0.3㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	2	㎡			
複層ガラス	T4(F)+A6+T4 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	13.5	㎡			
複層ガラス	T4+A6+T4 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	66.5	㎡			
複層ガラス	T5+A6+T5 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	13.7	㎡			
フロスト加工加算	片面マット加工 ～12mm 特寸2.18㎡以下	3.4	㎡			
強化フロストガラス	厚さ 4mm 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	3.4	㎡			
強化型板ガラス	厚さ 4mm 特寸 0.3㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	0.5	㎡			
強化型板ガラス	厚さ 4mm 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	0.6	㎡			
強化ガラス	厚さ 4mm 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	1.8	㎡			
強化ガラス	厚さ 5mm 特寸 4.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	5.1	㎡			
強化ガラス	厚さ 6mm 特寸 4.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	3.8	㎡			
フィルム小口施工費		1	式			
ガラスとめ(シーリング)	シリコン 1成分形 SR-1 10×8	889	m			
ガラスとめ(シーリング)	シリコン 1成分形 SR-1 6×8	83.3	m			
ガラスとめ(シーリング)	木建用	39.5	m			
目隠しフィルム貼り	サンゲツ:パーフェクトホワイトⅡ同等品	3.5	㎡			

福 山 市

福 山 市

交流館棟		塗装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
錆止め塗料塗り (糸幅300mm以下)	鉄鋼面 工程B種 現場2回目 塗料As種(鉛・クロムフリー1種) 屋内外 1回目別途	20.3	m			
S O P 塗り (糸幅300mm以下)	鉄鋼面 工程B種 錆止現場1回共	17.8	m			
E P - G 塗り	ボート面(継目) 工程B種(一般) 素地A種	168	m ²			
C L 塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種 素地B種	24.7	m			
自然保護塗料塗り	木部 半透明着色 1回塗り オスモカラー:ウットワックス又はワココートオンリー同等品 素地B種	172	m ²			
自然保護塗料塗り (糸幅300mm以下)	木部 半透明着色 1回塗り オスモカラー:ウットワックス又はワココートオンリー同等品 素地B種	962	m			
自然保護塗料塗り	木製建具面 半透明着色 2回塗り オスモカラー:ウットワックス又はワココートオンリー同等品 素地B種	3.2	m ²			
自然保護塗料塗り (糸幅300mm以下)	木製建具面 半透明着色 2回塗り オスモカラー:ウットワックス又はワココートオンリー同等品 素地B種	199	m			
自然保護塗料塗り	木製建具枠・額縁面 半透明着色 素地B種 オスモカラー:ウットワックス又はワココートオンリー同等品	19.3	m ²			
自然保護塗料塗り (糸幅300mm以下)	木製建具枠・額縁面 半透明着色 素地B種 オスモカラー:ウットワックス又はワココートオンリー同等品	81.2	m			
計						

交流館棟		内装		外部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
防鼠付通気土台水切	塗装溶融55%アルミニウム 亜鉛合金めっき銅板製	64.8	m			
外壁見切縁	カラーGL鋼板 t=0.35 W25×H52	2.8	m			
軒先軒天換気材	カラーGL鋼板 t=0.35	110	m			
窯業系化粧サイディング張り	t=16 横張り 留付金具共	242	m ²			
透湿防水シート		255	m ²			
建具周囲防水テープ [※] (フチルテープ [※])		205	m			
ガラス繊維入モルタルセメント板	t=12.5	13.1	m ²			
ベースコート	t=3	13.1	m ²			
軒裏化粧ハルフ繊維混入セメント板張り	t=12	118	m ²			
鼻隠し	繊維混入セメントけい酸カルシウム 押出成形板240×17(塗装品)+ 325×17(塗装・H80のみ)	53.8	m			
破風板	繊維混入セメントけい酸カルシウム 押出成形板240×17(塗装品)+ 325×17(塗装・H80のみ)	56.5	m			
化粧梁廻り 天井見切り縁	アルミ製	10.4	m			
計						

交流館棟		内装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
視覚障がい者用ビニル床タイル張り	厚さ8.0 300mm角	13	枚			
ビニル床タイル	標準柄 厚さ3.0 450角 コンボーションビニル床タイルKT 一般床	111	m ²			
ビニル床シート	マーブル 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法 -	150	m ²			
ビニル床シート	マーブル 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法 -	4.9	m ²			
ビニル床シート	マーブル 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 耐汚染・消臭仕様 一般床 熱溶接工法 -	67	m ²			
ビニル床シート	マーブル 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 耐汚染・消臭仕様 多湿部 熱溶接工法 -	29.8	m ²			
ビニル床シート立上	H=75 マーブル 厚さ2.0 織布積層ビニル床シートFS 耐汚染・消臭仕様 多湿部 熱溶接工法	37.1	m			
乾式二重床システム	H=126 パーティクルボード t=20 樹脂製支持脚 材工共 フレキシブルシステム同等品	139	m ²			
置き敷き畳	厚13 半帖 ダイケン: ここち和座「清流(防炎)」同等品	30	枚			
ビニル幅木	高さ75	89.3	m			
幅木天端見切 ジョイナー		0.6	m			
ビニル床シート立上天 端見切 ジョイナー		37.1	m			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け - -	40.3	m ²			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 - -	444	m ²			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚 9.5 準不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け 下張GB-R 厚12.5共	164	m ²			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚 9.5 準不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5共	33.5	m ²			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け - -	37.1	m ²			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り - -	159	m ²			
壁化粧ケイ酸 カルシウム板張り	厚6.0 目地シール共 (他部材取合いシール別計上)	149	m ²			

交流館棟		内装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
壁ガラス繊維入モルタルセメント板	厚12.5	14.1	m ²			
壁紙張り	壁 塩化ビニル樹脂系 ポート面素地B種	304	m ²			
壁グラスウール充填	厚50 24kg/m3	126	m ³			
壁グラスウール充填	厚100 24kg/m3	288	m ³			
天井 せっこうポート張り (GB-R)	厚 9.5 準不燃 継目処理	35.2	m ²			
天井 せっこうポート張り (GB-R)	厚 9.5 準不燃 下地張り	328	m ²			
天井 化粧 せっこうポート張り (GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラハチン突付け	129	m ²			
天井 ロックウール化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚 9 不燃 下張別途	328	m ²			
壁紙張り	天井 塩化ビニル樹脂系 ポート面素地B種	35.2	m ²			
天井裏グラスウール敷込み	厚50 24kg/m3	492	m ³			
硬質塩ビタックシート張り	電動間仕切面	41.5	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	724	m			
下り壁見切縁	塩化ビニル製	5.6	m			
天井角度付きジョイナー	塩化ビニル製 入隅 166度程度	8.6	m			
計						

福 山 市

交流館棟		ユニット及びその他		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(トイレブース)						
TB-1 トイレブース	W2072+D580×1+D1520×1 H=2500 見込:40 扉:W600×2 表面材:高压メラミン樹脂化粧板 枠材:MDF 芯材:ベニアコア 中心吊钩レギュレーション 表示付スライドロック(非常開錠付) 戸当り 標準金物一式	1	か所			
TB-2 トイレブース	W3012+D610×1+D1520×2 H=2500 見込:40 扉:W600×3 表面材:高压メラミン樹脂化粧板 枠材:MDF 芯材:ベニアコア 中心吊钩レギュレーション 表示付スライドロック(非常開錠付) 戸当り 標準金物一式	1	か所			
TB-3 トイレブース	W1520+D920×1 H=2500 見込:40 扉:W600×1 表面材:高压メラミン樹脂化粧板 枠材:MDF 芯材:ベニアコア 中心吊钩レギュレーション 表示付スライドロック(非常開錠付) 戸当り 標準金物一式	1	か所			
運搬・取付費		1	式			
小計						
(ライニングカウンター)						
ライニング天板	メラミンボートフォームカウンター 100×19 ボード面:9r	7.2	m			
ライニング天板	メラミンボートフォームカウンター 150×19 ボード面:9r	12.4	m			
小計						
鍵箱	鋼製既製品 30個用	1	個			
(スクリーン・ハット)						
スプリング巻上スクリーン	W2414×H2418 シネ工房:CKL-100WX同等品	1	か所			
手動昇降ハット	W4000×H2490 シネ工房:BKK-4025同等品	1	か所			

交流館棟		ユニット及びその他		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
小計						
(鏡)			%			
鏡	W600×H900 t5.0	1	か所			
鏡	W1600×H1000 t5.0 面取り加工	1	か所			
鏡	W1962.5×H1000 t5.0 面取り加工	1	か所			
F-5 大会議室 鏡	W2380×H1880 厚6.0	1	か所			
小計						
(トイレ設備)						
荷物用フック	TOTO:YKH22同等品	2	か所			
L型手摺	L-700×700 D120 TOTO:T112CL10同等品	7	か所			
小便器用手摺	W600×D550×H470 TOTO:T112CU22同等品	1	か所			
可動手摺	W700 TOTO:T113HK7R同等品	1	か所			
荷物棚	W300×D150 TOTO:YKH51A同等品	6	か所			
ベビーカーチェア	W300×D315×H950 TOTO:YKA16S同等品	2	か所			
ベビーカーシート	W780×D560(135)×H1145 TOTO:YKA25同等品	1	か所			
ユニバーサルシート	W640×D1620(300)×H1120	1	か所			
洗面カウンター	W1600×D450×H922 TOTO:MDWD同等品	1	か所			
洗面カウンター	W1962.5×D450×H922 TOTO:MDWD同等品	1	か所			
小計						
(キッチン設備)						

交流館棟		ユニット及びその他		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
湯沸室 流し台	W1215×D600×H900 エントペ 祓付 W1215×D370×H700 吊戸棚 W1200 1段 水切棚 H50 天井フイター LIXIL:TIO同等品	1	か所			
実習室 流し台	W1815×D600×H900 エントペ 祓付 W1065×D370×H700 吊戸棚 W750×D605×H700 レンジフード H300 天井フイター LIXIL:TIO同等品	1	か所			
実習室 流し台	W1815×D600×H900 W1065×D370×H700 吊戸棚 W750×D605×H700 レンジフード H300 天井フイター LIXIL:TIO同等品	3	か所			
小計						
(家具)						
SK 面台上部棚	W810×D200 厚20 マラミン® ストフォーム 棚受けアングル共	1	か所			
F-1 風除室 傘立て	W750×D305×H500	2	か所			
F-2 交流スペース/事務室 カウンター	上段:W1690×D500 厚30 下段:W1690×D440 厚30	1	か所			
F-3 交流スペース 本棚	W3560×D350×H1420	1	か所			
F-4 交流スペース 本棚	W(2300+1190)×D350×H1420 L型	1	か所			
F-5 大会議室 扉付姿 見鏡	W3760×D120×H2040 (鏡別計上)	1	か所			
F-6 事務室 文書ボックス	W1800×D450×H2500	1	か所			
F-7 事務室 収納	W3004×D600×H2500	1	か所			
F-8 印刷室 用紙保管 棚	W1800×D450×H1805.9	1	か所			
F-9 実習室 食器棚	W3447×D600×H2650	1	か所			
F-10 実習室 収納棚	W900×D453×H2000	1	か所			
F-11 実習室 試食台	W1800×D900×H800	5	か所			

交流館棟		ユニット及びその他		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
F-12 実習室 作業台	W3400×D600×H900	1	か所			
F-13 収納5 掃除具掛付 棚	W690×D430×H1600	1	か所			
小計						
(白板・掲示板)						
WB-1 風除室 Uシルエット枠平面白板	W1500×H900 アルミ枠 案内板(ホワイトボード)	1	か所			
WB-2a 多目的室 Uシルエット枠平面白板	W3000×H1200 アルミ枠 暗線なし(ホワイトボード)	1	か所			
WB-2a 団体交流室 Uシルエット枠平面白板	W3000×H1200 アルミ枠 暗線なし(ホワイトボード)	1	か所			
WB-2b 実習室 Uシルエット枠平面白板	W1800×H1200 アルミ枠 暗線なし(ホワイトボード)	1	か所			
WB-3 大会議室 木 枠扉付 ホワイトボード(引分式)	W3760×H1140 木枠(集成材) 暗線なし(ホワイトボード) 扉付(ホリ合板) CL塗装:別計上	1	か所			
WB-4 事務室 Uシルエット枠平面白板	W1200×H900 アルミ枠 月予定表(ホワイトボード)	1	か所			
K-1 交流スペース 木枠掲示板	W5245×H1140 木枠(集成材) マグネットクロス(掲示板) CL塗装:別計上	1	か所			
小計						
(サイン)						
サイン1: 持出型プレート(室名)	W195×H252.4×D15	1	か所			
サイン2: 持出型プレート(ビクト)	W195×H252.4×D15	2	か所			
サイン3: 平付型プレート(室名 1)	W150×H250×D(15+3)	5	か所			
サイン4: 平付型プレート(室名 2)	W250×H100×D(15+3)	4	か所			
サイン5:平付型プレート (在空表示付室名)	W150×H250×D(12+3)	1	か所			
サイン6: 平付型プレート(ビクト 1)	W150×H250×D(15+3)	2	か所			

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

[illegible]

福 山 市

外構 排水						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A RC製排水樹	内法350角×H350	1	か所			
B RC製排水樹	内法350角×H440	1	か所			
C RC製排水樹	内法350角×H390	1	か所			
D RC製排水樹	内法450角×H590	1	か所			
① 塩ビ製排水樹	φ150×H615 90L (アロンマスAMシリーズ 同等品)	1	か所			
② 塩ビ製排水樹	φ150×H1025 90Y (アロンマスAMシリーズ 同等品)	1	か所			
③ 塩ビ製排水樹	φ150×H695 90Y (アロンマスAMシリーズ 同等品)	1	か所			
④ 塩ビ製排水樹	φ200×H545 90Y (アロンマスAMシリーズ 同等品)	1	か所			
⑤ 塩ビ製排水樹	φ150×H260 ST (アロンマスAMシリーズ 同等品)	1	か所			
⑥ 塩ビ製排水樹	φ150×H260 ST (アロンマスAMシリーズ 同等品)	1	か所			
⑦ 塩ビ製排水樹	φ150×H240 ST (アロンマスAMシリーズ 同等品)	1	か所			
⑧ 塩ビ製排水樹	φ150×H240 ST (アロンマスAMシリーズ 同等品)	1	か所			
グレーチング 樹蓋	350角用 細目 ノスリップ T-2 受枠付	1	か所			
コンクリート樹蓋	350角用 1種(歩行者用)	2	か所			
コンクリート樹蓋	450角用 1種(歩行者用)	1	か所			
側溝1 角フリューム	呼び名300 L=2000 溝ふた共	20	m			
地中埋設管	VU75 φ	58.8	m			
地中埋設管	VU100 φ	18.2	m			
地中埋設管	VU125 φ	3.3	m			
テ 側溝3	落ちふた式U形側溝 3種300A 溝ふた・インポートコンクリート共	3.2	m			

[illegible]

外構 舗装						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ネ アスファルト舗装	A-5-15 再生密粒 再生クランッシュ 500㎡未満	105	㎡			
コ コンクリート舗装	車道C-15-10(溶接金網共) 路盤材共 再生クランッシュ	52	㎡			
ム 砂利敷き	B種	170	㎡			
サ 視覚障がい者用ブ ロック	誘導型 300×300×t30 下地モルタル共	6	か所			
サ 視覚障がい者用ブ ロック	点字型 300×300×t30 下地モルタル共	6	か所			
シ 地先境界ブロックA	120×120×600 片面取り	2.6	m			
チ 縁石	両面歩車道境界ブロック 片斜B L=600	23.7	m			
ツ 縁石	地先境界ブロックA 両面取り モルタル仕上含む	4.7	m			
ヌ 縁石	地先境界ブロックA 両面取りなし	26.3	m			
ス 花壇縁石(植栽5)	両面歩車道境界ブロック 片斜C L=600	32.5	m			
セ 花壇縁石(植栽6)	両面歩車道境界ブロック B斜C L=600	4.6	m			
エ 花壇縁石(植栽7)	両面歩車道境界ブロック B斜C L=600	5	m			
ノ 速度抑制ハンプ	コム製 W4000×D350×H45 (吾妻商会:SPW-A3同等品)	1	か所			
ハ 路面表示(停止線)	塗布幅30cm 白 塗膜厚1.0mm	7.8	m			
ヒ 路面表示(横断歩 道)	塗布幅45cm 白 塗膜厚1.0mm	11	m			
フ 路面表示(止まれ 文字)	W450×D450程度 3文字	1	か所			
計						

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

交流館棟		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
遣方		1	式			別紙 00-0014
遣方	一 般	556	m ²			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0015
墨出し	一 般 - -	542	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0016
養生	一 般 - -	542	m ²			
計						
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0017
整理清掃 後片付け	一 般 - -	542	m ²			
計						

交流館棟 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
外部足場		1	式			別紙 00-0018
地足場	掛払い手間	542	m ²			
地足場	供用30日賃料 修理費含む	542	m ²			
地足場	基本料 修理費含む	542	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 12m未満 - -	605	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用90日賃料 修理費含む 12m未満 - -	605	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 12m未満 - -	605	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	103	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用90日賃料 修理費含む -	103	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	103	m			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0019
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類 掛払い手間 -	605	m ²			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類 供用90日賃料 修理費含む - -	605	m ²			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類 基本料 修理費含む - -	605	m ²			
計						

交流館棟 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
内部足場		1	式			別紙 00-0020
内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場 階高4.0m以下 -	141	m ²			
内部仕上足場	供用30日賃料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 -	141	m ²			
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 平家用	141	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	掛払い手間 枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満 -	207	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	供用30日賃料 修理費含む 枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満 -	207	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	基本料 修理費含む 枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満 平家用	207	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	掛払い手間 枠組棚足場 階高5.0m以上5.7m未満 -	116	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	供用30日賃料 修理費含む 枠組棚足場 階高5.0m以上5.7m未満 -	116	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 枠組棚足場 階高5.0m以上5.7m未満 平家用	116	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	掛払い手間 枠組棚足場 階高5.7m以上7.4m未満 -	115	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	供用30日賃料 修理費含む 枠組棚足場 階高5.7m以上7.4m未満 -	115	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	基本料 修理費含む 枠組棚足場 階高5.7m以上7.4m未満 平家用	115	m ²			
計						

福 山 市

交流館棟		地業		地盤改良地業		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
地盤改良工事	深層混合処理工法 Fc=700kN/m ² φ 800×長11.35m×123本 φ 1000×長11.35m×12本 φ 600×長11.35m×30本 φ 600×長11.35m×15本	1	式			別紙 00-0022
施工費(空掘部)		117	m			
施工費(改良部)		1,926	m			
材料費		258	t			
機械運搬費		1	式			
機械組立解体費		1	式			
室内配合試験費		1	式			
室内配合試験費用 試料土採取費	BorN01 5.0m～11.1m(粘土)	1	箇所			
一軸圧縮試験費	頭部コア:2set 深度コア:22set	24	set			
六価クロム溶出試験 費	配合試験時	1	検体			
頭部コア採取費		2	箇所			
全長コアホーリング費	改良長10.7m→11set×2コア	2	箇所			
現場管理費		21	日			
諸経費	法定福利費含む	1	式			
計						

測定局舎棟		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
養生		1	式			別紙 00-0023
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	24	m ²			
養生(外壁改修)		20.7	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0024
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	24	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		20.7	m ²			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0025
墨出し (屋上防水改修)		24	m ²			
墨出し(外壁改修)		20.7	m ²			
計						

測定局舎棟		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
外部足場		1	式			別紙 00-0026
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 12m未満 - -	78.2	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用30日賃料 修理費含む 12m未満 - -	78.2	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 12m未満 - -	78.2	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	24.7	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用30日賃料 修理費含む -	24.7	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	24.7	m			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0027
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類 掛払い手間 -	78.2	m ²			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類 供用1日賃料 修理費含む -	78.2	m ²			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類 基本料 修理費含む -	78.2	m ²			
計						
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0028
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	78.2	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	24.7	m			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		78.2	m ²			
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
仮囲い	仮囲鉄板 H=2.0m 供用日数300日	207	m			
キャスターゲート	W3.0mXH1.8m 供用日数300日	1	か所			
キャスターゲート	W6.0mXH1.8m 供用日数300日	1	か所			
仮設鉄板敷	敷鉄板 1524×6096×22mm 供用日数300日	2	枚			
交通誘導警備員B		160	人日			
ラフテレンスクレーン (油圧伸縮ジブ型)	25t吊り オペレータ付き 賃料 標準	20	日			
騒音計及び振動計	2台	1	式			
化学物質の濃度測定	ハッシュ型採取機器 完成後 ホルムアルデヒド トルエン キシレン エチルベンゼン スチレン	6	か所			
建設用防護管取付	基本料、追加料金共 引込線防護	1	式			
工事中情報共有 システム利用料		1	式			
公園占用料	工事ヤード	1	式			
計						